

多摩大学 副学長日誌

志塾の風 2017年度

久恒 啓一

副学長日誌
「志塾の風」

2017 年度

久恒啓一

目次

2017 年 4 月 1 日	4 月 1 日からの新任務に挑む	11
2017 年 4 月 3 日	挨拶の日:新入生オリエンテーションと教員への辞令交付式。	12
2017 年 4 月 4 日	副学長日誌	14
2017 年 4 月 5 日	2017 年度入学式・保護者説明会――史上最多の入学者を史上最強の教育スタッフ(教員・職員)が迎える	14
2017 年 4 月 6 日	副学長日誌	16
2017 年 4 月 7 日	学部の授業「ビジネスコミュニケーション」、大学院の授業「インサイト・コミュニケーション」が始まる	16
2017 年 4 月 8 日	インターゼミ 2017 年度が始まる	19
2017 年 4 月 12 日	副学長日誌	20
2017 年 4 月 13 日	副学長日誌	20
2017 年 4 月 14 日	ビジネスコミュニケーション	21
2017 年 4 月 19 日	人事委員会。学部運営委員会。理事長報告。学修支援サービスコーナー見学。	21
2017 年 4 月 20 日	2017 年度のリレー講座始まる。初回は寺島学長。	22
2017 年 4 月 21 日	朝、多摩。昼、九段。夜、品川	23
2017 年 4 月 22 日	インターゼミ(九段サテライト)	26
2017 年 4 月 25 日	副学長日誌	28
2017 年 4 月 26 日	副学長日誌	29
2017 年 4 月 27 日	リレー講座:西崎文子東大教授。「歴史から読むアメリカの今」	29
2017 年 4 月 28 日	学内で授業・ラジオ・ミーティング。学外で出版関係者と懇談	30
2017 年 5 月 1 日	副学長日誌	31
2017 年 5 月 6 日	大学院:修士論文予備審査会・教授会。インターゼミ:4 つの班が始動。	31
2017 年 5 月 9 日	副学長日誌	33
2017 年 5 月 10 日	副学長日誌	33
2017 年 5 月 11 日	副学長日誌	35
2017 年 5 月 12 日	副学長日誌	36
2017 年 5 月 13 日	インターゼミ(九段サテライト)	39
2017 年 5 月 16 日	副学長日誌	41
2017 年 5 月 17 日	副学長日誌	42
2017 年 5 月 18 日	下斗米先生「転換期の世界と日口関係」	42
2017 年 5 月 19 日	本日の授業のテーマは「大学生の国語力低下を憂う」	44
2017 年 5 月 20 日	経営情報学部後援会役員会	44
2017 年 5 月 21 日	第 2 回多摩大学運動会	45

2017年5月22日 「野田一夫 90歳 バースデーパーティ」は900人が参集.....	49
2017年5月23日 副学長日誌.....	51
2017年5月24日 副学長日誌.....	52
2017年5月25日 リレー講座:寺島学長「日本経済および社会構造の変化」.....	52
2017年5月26日 今日はフルコース:多摩(学部授業)・九段(会議)・品川(大学院授業)...	55
2017年5月27日 九段サテライトにてインターゼミ。.....	58
2017年5月29日 T-Studioに「福澤諭吉」と「大隈重信」をアップ.....	62
2017年5月31日 多摩大「シルバー・デモクラシー企画」第一弾「山梨県南アルプス市で田植え体験X講座」、大成功！.....	62
2017年6月1日 本日のリレー講座は白井さゆり先生「金融政策と経済物価情勢」.....	63
2017年6月2日 副学長日誌.....	64
2017年6月3日 研究活性化委員会主催のFD勉強会:プログラムが充実しており、教授陣の研究活動が進む.....	65
2017年6月4日 自己点検ヒヤリングの日.....	67
2017年6月7日 副学長日誌.....	68
2017年6月8日 副学長日誌.....	69
2017年6月9日 ハードな一日:学部授業「ビジネスコミュニケーション」。教育内容説明会「大学改革の多摩大モデル」。大学院授業「インサイトコミュニケーション」.....	70
2017年6月10日 「大いなる多摩学会」の総会を高幡不動信徒会館で開催.....	73
2017年6月11日 多摩大フットサル部、まずは東京で優勝、今年は全国制覇を！.....	78
2017年6月13日 グローバルスタディーズ学部の学部運営委員会に出席.....	79
2017年6月14日 副学長日誌.....	79
2017年6月15日 副学長日誌.....	80
2017年6月16日 「東京都議会議員選挙」.....	81
2017年6月20日 副学長日誌.....	82
2017年6月21日 副学長日誌.....	82
2017年6月22日 リレー講座:寺島学長「17世紀オランダからの視界――世界認識の再構築――オスマン、サファヴィー朝ペルシャ、鄭和の大航海、インド史の深層、東南アジア.....	82
2017年6月23日 朝、多摩キャンパス(学部授業「東京都議選」)。午後、湘南キャンパス(教育内容説明会)。夜、品川キャンパス(大学院授業「東京都議選」).....	84
2017年6月24日 副学長日誌.....	85
2017年6月25日 多摩大学経営情報学部後援会教育セミナーを開催.....	88
2017年6月27日 「東京都議会議員選挙」の公約の図解、学生たちの変化は？.....	90
2017年6月28日 副学長日誌.....	91
2017年6月29日 リレー講座:海部陽介(国立科学博物館)――「ヒトはどのような生き物か・700万年の進化史から考える」.....	92

2017 年 6 月 30 日 学部授業「都議会議員選挙」。投票率は 66%。自民 31%、公明 22%、都民 19%、共産 6%、民進 6%、、という結果に、、。	93
2017 年 7 月 2 日 沖縄の結婚式。	94
2017 年 7 月 5 日 『偉人の命日 366 名言集』ーYoutub。	96
2017 年 7 月 6 日 T-Studio 久恒啓一の「名言との対話」第 19 回をリリース。	96
2017 年 7 月 7 日 中国・上海東海学院の学生達のコメント。社会人大学院生のコメント	99
2017 年 7 月 8 日 品川キャンパスと九段サテライト。	102
2017 年 7 月 11 日 副学長日誌。	103
2017 年 7 月 13 日 文部科学省の学校法人運営調査。夜は「元祖・THE CLUB」の集まり。	103
2017 年 7 月 14 日 副学長日誌。	103
2017 年 7 月 15 日 FD・SD・高大接続ALの初の合同研修会(大学は 2 学部1研究科・目黒高校の教員・職員)	104
2017 年 7 月 18 日 副学長日誌。	106
2017 年 7 月 19 日 副学長日誌。	106
2017 年 7 月 21 日 春学期の最終講義:学部「ビジネスコミュニケーション」、大学院「インサイトコミュニケーション」	106
2017 年 7 月 22 日 副学長日誌。	109
2017 年 7 月 23 日 副学長日誌。	111
2017 年 7 月 24 日 「あなたはこの授業を受けてどう変わりましたか？」	111
2017 年 7 月 25 日 多摩大学ゲスト講師の会ー出版、テレビ、ホテル、新聞、百貨店、観光、IT、政府、、	112
2017 年 7 月 27 日 副学長日誌。	114
2017 年 7 月 28 日 副学長日誌。	114
2017 年 7 月 28 日 T-Studio での収録。大学戦略会議。自己点検委員会。大学経営・運営合同会議。	114
2017 年 8 月 1 日 副学長日誌。	115
2017 年 8 月 3 日 インターゼミ合宿(箱根)初日	115
2017 年 8 月 4 日 インターゼミ二日目:学長講演	121
2017 年 8 月 5 日 品川:大学院修士論文審査会。大学院修士論文審査会。九段:非常勤講師への教育方針説明会。蕎麦屋で懇親会。	122
2017 年 8 月 8 日 副学長日誌。	124
2017 年 8 月 17 日 副学長日誌。	124
2017 年 8 月 28 日 3 年間の『学部長日誌』が完成	124
2017 年 8 月 29 日 副学長日誌。	125
2017 年 8 月 30 日 T-Studio 久恒啓一の「名言との対話」第 21 回ー「レオナルド・ダ・ヴィンチ」(「幸福が来たら、ためらわず前髪をつかめ、うしろは禿げているからね」)	125

2017 年 9 月 1 日 インターネット放送局 T-Studio の「名言との対話」第 22 回は、ミケランジェロ。「最大の危険は、目標が高すぎて達成出来ないことではない。目標が低すぎて、その低い目標を達成してしまうことだ」	126
2017 年 9 月 6 日 3 年間の「学部長日誌」、2 年間の「副学長・学部長日誌」が完成。	126
2017 年 9 月 7 日 大学院で「図解・修士論文の書き方」を講義	127
2017 年 9 月 8 日 全国経営学部長会議(日本橋)。グローバルスタディーズ学部運営委員会(湘南台)	129
2017 年 9 月 9 日 大学院秋季修了式。大学院入学式。	131
2017 年 9 月 12 日 大学。学会。	134
2017 年 9 月 13 日 副学長日誌	134
2017 年 9 月 14 日 副学長日誌	135
2017 年 9 月 15 日 モンゴル訪問団——ウランバートルのチンギスハン空港に到着	135
2017 年 9 月 16 日 モンゴル外務省。国立博物館。モンゴル国立大学。北東アジア協会。モンゴル主催の交流パーティ。	138
2017 年 9 月 17 日 チベット仏教寺院。デパート。ザヘサンの丘。ボブトハーン宮殿。GOBIコーポレーション。ゲルキャンプに宿泊	144
2017 年 9 月 18 日 モンゴル訪問の旅の総括	157
2017 年 9 月 19 日 寺島文庫リレー塾秋の第 1 回は、寺島実郎「2017 年秋 世界の構造転換」	158
2017 年 9 月 20 日 人事委員会・学部運営委員会・共同研究成果発表会、	161
2017 年 9 月 21 日 副学長日誌	161
2017 年 9 月 22 日 秋学期の授業が始まる。大学院「立志人物論」(「中年の危機」克服のために「知の再武装」を！)。学部「立志人物伝」	161
2017 年 9 月 23 日 秋のインターゼミ開始	166
2017 年 9 月 27 日 副学長日誌	168
2017 年 9 月 28 日 リレー講座始まる。寺島学長「2017 年秋 世界はどう動いているのか」	170
2017 年 9 月 29 日 午前は多摩で授業。午後は九段で会議	171
2017 年 9 月 30 日 大学院教授会(品川)。インターゼミ(九段)。	173
2017 年 10 月 1 日 オリンパスホールでの「八王子市 市制施行 100 周年記念式典」に出席。小池百合子都知事、萩生田自民党幹事長代行の挨拶あり	174
2017 年 10 月 4 日 副学長日誌	176
2017 年 10 月 5 日 リレー講座は富士通総研の柯隆 先生の中国の話。尚美学園の前理事長の松田義幸先生の「世界遺産」のミニ講義	176
2017 年 10 月 6 日 午前:多摩キャンパスで学部の授業「立志人物伝」。夜:品川キャンパスで大学院の授業「立志人物論」。	179
2017 年 10 月 7 日 午前はFD/SD研修会。午後はインターゼミ	182

2017 年 10 月 10 日	多摩キャンパスから、湘南キャンパスへ	183
2017 年 10 月 11 日	副学長日誌	184
2017 年 10 月 12 日	リレー講座:渡部恒雄先生「トランプ政権の行方」	184
2017 年 10 月 13 日	多摩:授業「立志人物伝」(岡本太郎・三島由紀夫)。トレンドウオッチャー収録(久米信行先生)。事務局とのミーティング。九段:セミナー「ソ連崩壊と対中央アジア外交――日本が知らない親日国」	185
2017 年 10 月 14 日	インターゼミ	187
2017 年 10 月 16 日	副学長日誌	187
2017 年 10 月 18 日	会議の日	188
2017 年 10 月 19 日	リレー講座:金美德先生「朝鮮半島をめぐる国際政治と日本」	188
2017 年 10 月 20 日	学部「立志人物伝」と、大学院「立志人物論」	189
2017 年 10 月 21 日	インターゼミ	193
2017 年 10 月 23 日	副学長日誌	194
2017 年 10 月 25 日	多摩「教授会」	195
2017 年 10 月 26 日	リレー講座:寺島学長「日本経済の現状――貧困化する中間層」	195
2017 年 10 月 27 日	教学マネジメント会議。大学戦略会議。大学運営会議。授業。客員の久米先生。客員の橋川先生。	197
2017 年 10 月 28 日	品川:修士論文予備審査会。大学院教授会。九段:インターゼミ(社会工学研究会)	199
2017 年 10 月 29 日	台風接近中、一日書斎で過ごす	199
2017 年 10 月 31 日	「問題解決学入門」で講義――「図解思考を用いた問題解決の軌跡――私の問題解決人生」	200
2017 年 11 月 1 日	T-Studio「トレンドウオッチャー」(久米信行客員教授)をリリース。T-Studioでの録画・録音「名言との対話」はセンテナリアンの「日野原重明」と「片岡球子」	201
2017 年 11 月 2 日	大森拓也先生の授業参観。T-Studioでの公開講座「読書への回帰」に出演。リレー講座:西垣通「AIの過去・現在・未来」	202
2017 年 11 月 3 日	文化の日も授業:朝は学部「立志人物伝」。夜は大学院「立志人物論」	205
2017 年 11 月 4 日	「ライト・アクティブラーニング」の橋本メソッドを学ぶ高大接続FD/SD勉強会	207
2017 年 11 月 5 日	多摩大学主催シルバー・デモクラシー企画第三弾「山梨ぶどうX講座」	209
2017 年 11 月 6 日	2017 年度第 2 回研究開発機構評議員会	211
2017 年 11 月 7 日	全国戦略経営塾 2017――ウーバー・ジャパンの高橋社長。経済産業省の前田審議官。三重大の西村副学長。寺島塾長。	212
2017 年 11 月 8 日	文科省の平成 29 年度「私立大学研究ブランディング事業」に採択された。「大都市郊外型高齢化へ立ち向かう実践的研究――アクティブ・シニア活用への経営情報学的手法の適用」	216

2017 年 11 月 9 日 午前:昭島市と顔合わせ。午後:リレー講座は米倉誠一郎先生「日本の創造的対応を求めてーイノベーターたちの日本史」.....	216
2017 年 11 月 10 日 副学長日誌.....	218
2017 年 11 月 11 日 多摩祭初日ー「私の志」小論文・スピーチコンテスト.....	218
2017 年 11 月 12 日 多摩祭二日目ー「多摩大・立志人物伝」.....	221
2017 年 11 月 14 日 副学長日誌.....	223
2017 年 11 月 15 日 丸の内の日本興業倶楽部で坂村健先生の講演「オープンIoTの考え方と実践。IoTからIOSへ」.....	223
2017 年 11 月 16 日 リレー講座:浜矩子「これからどうなるグローバル経済と日本」.....	224
2017 年 11 月 17 日 長い一日:学部「立志人物伝」。「トレンドウオッチャー」収録。事務局との定例会議。赤坂。品川の大学院「立志人物論」.....	226
2017 年 11 月 18 日 インターゼミ.....	228
2017 年 11 月 21 日 T-Studio「名言との対話」:センテナリアンの「片岡球子」(第 23 回)と「日野原重明」(第 24 回)をリリース.....	230
2017 年 11 月 22 日 多摩:学部教授会。新人先生の授業見学。品川:大学院運営委員会。.....	230
2017 年 11 月 23 日 多摩大インターネット放送局「トレンドウオッチャー」第 10 回ー久米信行さんとの対談は「音声データ」がテーマ.....	231
2017 年 11 月 24 日 副学長日誌.....	232
2017 年 11 月 26 日 学部の「立志人物伝」:8 回目は「女性」の偉人編。与謝野晶子・樋口一葉・石井桃子・向田邦子・草間弥生・志村ふくみ.....	232
2017 年 11 月 27 日 ビジネススクエア多摩.....	233
2017 年 11 月 29 日 文庫リレー塾は寺島塾長の「2017 年の総括と 2018 年への展望」.....	234
2017 年 11 月 30 日 ・ リレー講座:小林先生「変わりゆく組織と個人の関係」.....	235
2017 年 12 月 1 日 午前は多摩:「立志人物伝」の授業。午後は九段:研究活性化センター運営委員会・大学戦略会議・大学運営会議。夜は品川:「立志人物論」の授業.....	235
2017 年 12 月 2 日 高大接続アクティブラーニング研究会。インターゼミ.....	237
2017 年 12 月 5 日 多摩大学インターネット放送局「T-Studio」久恒啓一の『名言との対話』ー第 25 回は「石井桃子」.....	238
2017 年 12 月 6 日 夜:多摩大「志塾会」(学部OB会・大学院OB会)のセミナーで講師。午後:日本私立大学協会・教育学術研究委員会。午前:研究室で仕事。.....	239
2017 年 12 月 7 日 リレー講座:寺島学長「2017 年の総括と 2018 年への展望」.....	241
2017 年 12 月 8 日 授業「立志人物伝」11 回目:テーマは「日本への回帰」ー司馬遼太郎と梅棹忠夫.....	242
2017 年 12 月 9 日 多摩大アクティブラーニング発表祭(9回目。2学部1研究科。外部2大学。附属高校):史上最高の発表数。.....	242
2017 年 12 月 12 日 「名言との対話」第 26 回「土屋文明」をリリース.....	248

2017 年 12 月 13 日	人事委員会。学部運営委員会。	248
2017 年 12 月 14 日	リレー講座:佐高信「権力とジャーナリズムーわが筆禍史と舌禍史」。	248
2017 年 12 月 15 日	朝:学部の授業「立志人物伝」。昼:「トレンドウオッチャー」録画。夜:大学院の授業「立志人物論」。	249
2017 年 12 月 16 日	品川で大学院教授会。九段でインターゼミ。	252
2017 年 12 月 18 日	トレンドウオッチャー第 10 回「AIスピーカーが暮らしを変える」。ラウンジで「ちよい飲み会」。	253
2017 年 12 月 20 日	多摩:「事業構想論」で講義、教授会。野田先生を囲む会	254
2017 年 12 月 22 日	副学長日誌。	255
2017 年 12 月 23 日	第 9 期インターゼミの最終発表会ーサービスエンタメ班・AI班・アジアダイナミズム班・多摩学班	256
2018 年 1 月 5 日	大学は仕事始め。	259
2018 年 1 月 6 日	インターゼミ「新年リゾリューション」	260
2018 年 1 月 9 日	午後、多摩。夕刻、湘南。	262
2018 年 1 月 10 日	副学長日誌。	263
2018 年 1 月 11 日	多摩市議会の議長らが来訪。リレー講座最終回:寺島学長「2018 年の展望。17 世紀オランダ論」。	263
2018 年 1 月 12 日	大学院「立志人物論」の最終回は、フィールドワークで「渋沢(栄一)史料館」を訪問。	265
2018 年 1 月 13 日	大学入試センター試験初日。	269
2018 年 1 月 14 日	センター試験二日目。「センター側のミスがあったのは多摩大(東京都多摩市)の会場、、、」	269
2018 年 1 月 16 日	T-Studio で 2 本の番組を録画:「ポッドキャスト」と「平成命日編」	270
2018 年 1 月 18 日	副学長日誌。	270
2018 年 1 月 19 日	相談。打ち合わせ。授業。録画。ミーティング。面会。移動。会議。相談。	270
2018 年 1 月 20 日	一般入試。インターゼミ。脳力のレッスン「2018 年への確かな視座」	271
2018 年 1 月 21 日	サテライト入試 2 日目	271
2018 年 1 月 22 日	「立志人物伝」14 回目の授業の感想から。	271
2018 年 1 月 23 日	「この授業(立志人物伝)を受けてあなたはどうか変わりましたか?」	273
2018 年 1 月 24 日	「志」入試センター会議。	276
2018 年 1 月 25 日	品川キャンパスで大学院運営委員会。	276
2018 年 1 月 26 日	副学長日誌。	277
2018 年 1 月 27 日	インターゼミの打ち上げパーティ。	277
2018 年 1 月 28 日	後援会主催「就職セミナー」。	279
2018 年 1 月 29 日	副学長日誌。	282
2018 年 1 月 30 日	副学長日誌。	282

2018 年 1 月 31 日	人事委員会と学部運営委員会。カンカンガクガク、。	282
2018 年 2 月 3 日	『ポッドキャスト 偉人の名言 366 一日一言』の紹介番組	283
2018 年 2 月 5 日	多摩大シルバー・デモクラシー企画参加者懇親会	283
2018 年 2 月 7 日	来年度執行部による学内施設点検ツアーを実施。徳川斉昭「何事にて、我より先なる者あらば、聴くことを恥じず」	284
2018 年 2 月 8 日	多摩大総研運営委員会。学園本部で折衝	285
2018 年 2 月 9 日	副学長日誌	286
2018 年 2 月 10 日	大学院修士論文審査会・教授会・人事委員会	286
2018 年 2 月 13 日	研究開発機構評議員会	286
2018 年 2 月 14 日	全体方針共有会	286
2018 年 2 月 15 日	副学長日誌	288
2018 年 2 月 19 日	副学長日誌	288
2018 年 2 月 20 日	湘南キャンパスでグローバルスタディーズ学部の学部運営委員会に出席	288
2018 年 2 月 21 日	役員室(会議)。研究室(ミーティング)。ラウンジ(相談)。研究室(打ち合わせ)	289
2018 年 2 月 22 日	多摩大”志塾会”の第 3 回セミナー。講師は望月照彦名誉教授。「シンギュラリティ時代の世界徘徊老人の生き方」ー頭脳都市・渋谷を構想する」	289
2018 年 2 月 23 日	副学長日誌	291
2018 年 2 月 24 日	共同研究発表会――共同と研究と	291
2018 年 2 月 25 日	大学院「授業の様子」コーナーに秋学期の「立志人物論」が掲載	293
2018 年 2 月 26 日	大学院「授業の様子」コーナーに秋学期の「立志人物論」が掲載された	293
2018 年 2 月 28 日	副学長日誌	293
2018 年 3 月 1 日	副学長日誌	293
2018 年 3 月 2 日	ラウンジ(相談)と研究室(準備)	294
2018 年 3 月 4 日	経営情報学部FD(教員)・SD(職員)高校大学接続合同研究合宿。テーマはアクティブラーニング	294
2018 年 3 月 5 日	副学長日誌	304
2018 年 3 月 6 日	副学長日誌	305
2018 年 3 月 7 日	学部長・学科長連絡ミーティング	305
2018 年 3 月 8 日	新宿	305
2018 年 3 月 9 日	副学長日誌	306
2018 年 3 月 10 日	大学院学位授与式	306
2018 年 3 月 13 日	「改善と改良」。「進歩と進化」	307
2018 年 3 月 14 日	脳波測定。新メンバーの学部運営委員会	308
2018 年 3 月 15 日	T-Studio「名言との対話」第 29 回をリリース	308
2018 年 3 月 16 日	目黒:多摩大目黒高校卒業式で来賓挨拶	308

2018 年 3 月 19 日	予定を鳥瞰し整心へ。整頓から整理へ。ワクワクする未来へ.....	310
2018 年 3 月 21 日	彼岸の日の雪の卒業式.....	310
2018 年 3 月 22 日	品川(大学院):入試最終予測、運営委員会、研究発表会.....	311
2018 年 3 月 23 日	多摩大学教職員懇親会(京王プラザホテル).....	312
2018 年 3 月 24 日	品川での大学院教員勉強会に出席.....	313
2018 年 3 月 27 日	T-Studio「名言との対話」第 30 回をリリース:スポーツ編「力道山」「山内一弘」 「小林繁」.....	314
2018 年 3 月 28 日	学内最高の位置にある「物見の塔」で桜観照の会。聚楽第、天守閣での酒盛り.....	314
2018 年 3 月 29 日	2018 年度に向けて、学内調整の日.....	316
2018 年 3 月 30 日	第 2 回研究ブランディングタスクフォース戦略会議.....	317

2017 年 4 月 1 日 4 月 1 日からの新任務に挑む

5 年間の多摩大学経営情報学部長と後半 2 年の副学長兼務が終わった。

2012 年 3 月の学部長就任時の挨拶では、「尊敬する人は二人。野田一夫先生と寺島実郎先生。野田先生が創り、寺島先生が現学長の多摩大の再建は、私の天命と受け止めている」と教授会で語ったことを思い出す。

それから 5 年経った。教職員の協働によるきめの細かい努力の結果、教学面では文科省の改革総合支援事業での「大学改革ランキング全国 1 位」の獲得(全学)、経営情報学部の入試は定員 320 名のところ 2 年連続で 400 名を越え、就職率も大変好調だ。そしてグローバルスタディーズ学部は 3 年連続、大学院もようやく今年定員を充足した。外形的な量的な意味での再建の第一ステージは終了した。

今後は、副学長として、グローバルスタディーズ学部と大学院を含め、全学の質の充実に力を注ぎ、同志と一緒に多摩大再建の第二ステージに挑みたい。

品川キャンパスで大学院入学式。

始まる前に学長と懇談：自民党。全国戦略経営塾。国立科学博物館。大自然史博物館、、、。



- 寺島学長：知の再武装。2016 年：65 歳以上 3300 万人、80 歳以上 1000 万人。2050 年：65 歳以上 4000 万人、80 歳以上 2000 万人。スキルと全体知。人的ネットワーク。インターゼミ。
- 田村理事長：平均 36 歳。素晴らしい教授人。志の高い院生。同窓会ネットワーク。
- 徳岡研究科長：深い専門領域。それらを結びつけるつながり。80 科目。知の再武装。イノベーターシップ。ビジネスモデル、ルール形成、データサイエンス。

- 武井同窓会長：深いつながりの同窓会。大学院の一番良かったのは刺激。
 - 大久保院生代表：イノベーターシップ＝イノベーション＋リーダーシップ。実践知。現場の問題解決。
 - 新入生代表：ライフシフト。100 歳人生。変身資産。48 歳。知の再武装。仕事と家庭と学業。入学者が多いため「勢い」がある。また入学者の面構えもいい。楽しみだ。終了後、田村理事長から辞令をいただく：「副学長」。「研究開発機構長」。武井同窓会長に「大学改革ランキング全国 1 位」の資料を渡し説明。
- 水木客員教授

金先生・高野課長とスケジュールの打ち合わせ



2017 年 4 月 3 日 挨拶の日：新入生オリエンテーションと教員への辞令交付式。

2017 年度が始まった。

午前中は、新入生オリエンテーションと教員への辞令交付式。

2017 年度が始まった。

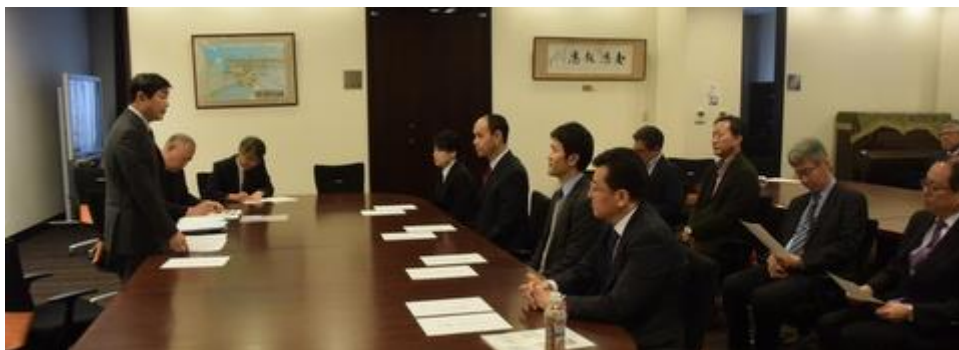
午前中は、新入生オリエンテーションと教員への辞令交付式。

10 時 40 分から辞令交付式。司会是小林学長室長。

4 人の新任教員と 5 人の新委員長への訓示。前列は新人。後列は新委員長。

「再建途上。第二ステージ。組織の発展・活性化の中核は人。不断に新しく。転職すると風景がー変。外部の新しい目。良い転職と悪い転職。人的ネットワーク。仕事が仲間をつくる。異動すると

景色が代わる。内部を新しい目で。昇進で鳥の目。異動で複眼。同じ景色を仲間にコミュニケーションで伝える。進化した新しい目で多摩大を新たなステージに引き上げていこう。健闘を。」



新人は前のめり。旧人(?)はリラックス。司会と新学部長はせっせとメモ。神妙に(?)辞令を受け取る新学部長の杉田先生。



9時半から新入生オリエンテーション。
冒頭の私の挨拶は15分。
写真は杉田学部長の挨拶。手前は教務課の中沢さん。



- 出勤途上に学長室の山本さんと一緒になる。T-Studioの次回の放送などを相談しながら大学へ。
- JALからの転職者の総務課職員を川手課長から紹介される。
- 杉本係長:戦略会議。民芸品の椅子。
- 趙先生:水。
- 中庭就職委員長:「景色が変わる」。企業開拓。
- 高野課長
- 研究室で秘書の近藤さんとスケジュールなどを打ち合わせ。

2017 年 4 月 4 日 副学長日誌

- 水谷IR室長:2017 年度入学生分析
- 高野課長:人事委員会

2017 年 4 月 5 日 2017 年度入学式・保護者説明会――史上最多の入学者を史上最強の教育スタッフ(教員・職員)が迎える

2017 年度入学式。

経営情報学部 406 名(史上最高)。グローバルスタディーズ学部 183 名(史上最高)。

寺島学長:大人への準備期間。自立。学び。友人・先生。人的ネットワーク。気づきを行動に。2つの課題。高齢化社会:2016 年で 65 歳以上 3300 万人・80 歳以上 1000 万人。2050 年で 65 歳以上 4000 万人・80 歳以上 2000 万人。人生設計。アジア・ダイナミズム:アジアとの貿易 5 割。10 年後 6 割。インバウンド 2400 万人、8 割はアジア。時代を見抜く目、そのための人的ネットワーク。

田村理事長:現代の志塾。卒業後の特許庁勤務、初代長官は高橋是清。自伝。職務で大成すること。学問は使ってみて初めて効用。実学の多摩大。学園歌。輝ける日々、、、。

阿部多摩市長:大変化。EU。トランプアメリカ。ナショナリズム。多摩市 14.8 万人。歴史と文化。青春を謳歌。

八木多摩信金理事長:多摩市・多摩大・多摩信金の三者連携。421 万人の人口。全国トップ規模の信金。多摩の未来を託せる人材。勉強の継続。

経営情報学部の青田代表:福島。小学 6 年生で東日本大震災に遭遇。南相馬でサムライフフェスティバル。アクティブラーニングの多摩大。問題解決。志。

グローバルスタディーズ学部のリン代表:2014 年台湾から来日。高知明德義塾。異文化理解。英語・日本語・中国語。グローバル人。少人数。チャンス。友人をつくり、留学。



終了後、保護者向け説明会。

- 概況(久恒)。方針(杉田)。プレゼミ(趙)。アクティブラーニング(小西)。留学(バトル)。就職(中庭)。
- プレゼミのクラス別担当教員挨拶。
- 個別相談会

多摩大史上最強の教育スタッフ陣(教員・職員)であることを確信した。



2017 年 4 月 6 日 副学長日誌

- 杉田学部長: 人事案件(採用)
- 事務局との定例会議: 宮地事務局長、川手総務課長、水嶋教務課長。杉田学部長、私。「入学式の総括。非常勤教員。副委員長。処理でなく遂行、、、」。教員側と職員側の意思疎通のための重要な毎週のミーティング。



- プレゼミの担当学生(2年生)と面談
- 杉本係長: 戦略会議(入試)
- 杉田学部長: 相談
- 渡辺客員教授: 本日は今年度最初の講義。情報交換。

2017 年 4 月 7 日 学部の授業「ビジネスコミュニケーション」、大学院の授業「インサイト・コミュニケーション」が始まる

多摩キャンパス

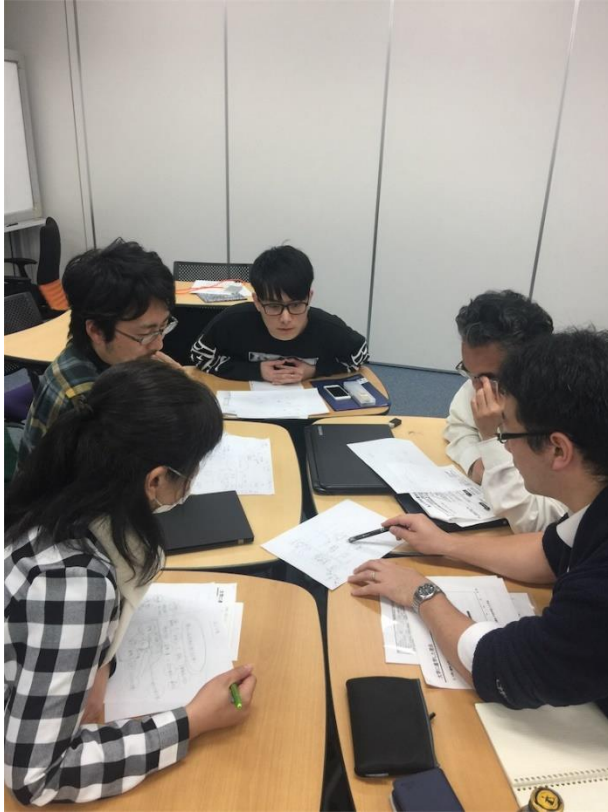
- 午前: 学部の講義が始まる。ビジネス・コミュニケーション。100 名規模の講義。留学生がかなり出席している。先輩に勧められているようだ。
- 終了後、客員の橘川先生と歓談。インターネット放送局「トレンドウオッチャー」の日程を山本さんも同席して調整。
- 飯田先生: 「読書メーター」の多読会の活性化
- 杉本係長: 戦略会議の文案
- 高野課長: 明日のインターゼミ打ち合わせ

品川キャンパス

- 日本未来学会の和田事務局長を徳岡研究科長、滝川課長に紹介。品川での未来学講座の

打ち合わせ。品川塾、、、。

- 18 時半から 21 時 40 分まで「インサイト・コミュニケーション」の最初の授業。11 名。うち留学生は 2 人。



以下、受講生のフェイスブックへの書き込み。本日の授業の感想。

- 箇条書きでお許しください。◆図解が必要な理由。箇条書きは項目間の関係性が分からないため、課題の深堀ができない。◆図解の仕方・文章を書く前に図を描く(全体像から)・A4 サイズの大きさがベスト・数字や実体験を入れるとリアルになる・仕事の成果の先に社会が良くなることを意識すると良い。◆図解のメリット。・読書をしただけでは頭に残らない、図解で自分なりに考えてみると忘れない・考えるトレーニングになる・そもそも、考えることは、関係を考えることである・物事の構造を立体的に考えられる・ずらしたり、新たに矢印を引くと全く違うものが見えてくる。◆印象に残った言葉「図解は関係学」「ロジカルシンキングは単純パターン！アメリカの MBA はそればかり」「マインドマップには関係構造がないから、頭を使わなくて済む。だから人気がある」◆気づいたこと
- ・矢印がないところに矢印を引いて見ると、改めてその項目の関係性について考えさせられる・文章でごまかす自分を省みた・マインドマップが楽しいのは、楽に一人で発想できるから。図解は思考法だから苦しいが、伝わりやすいコミュニケーションツールにもなる。・自分の仕事を描いてみたら、大切にしているのが多様な人との関係性であることが分かったので、今後もそれを強みにしていこうと思います。久恒先生、皆さん、ありがとうございました。
- 図解してみてその威力を実感しました。①作成時には全体像をイメージすることになり必然

的に頭の整理につながる。②説明時には疑問な箇所を示しながら質問することで論点の焦点がぶれず相互理解が早い。③対話の中から新しい関係性を発見し課題解決のツールとしても使える。今回作成した図はシンプル過ぎて表現能力の不足を実感しておりますが、分かることから作成し後から追加し進化させていけばよいとの言葉に勇気づけられました。

- 第一講ありがとうございました ●私の弱みはまさに、説明や意思を簡潔かつ的確に他者へ伝える力の欠如です。省内新聞や業務文書も活字量が多いため、受講を通して、読み手の理解を促進する図解表現を訓練させてください。追伸：全府省や関連独法の仕事図解本 ✧是非出版してほしいです。
- 「私の仕事」を図にしてみて、今まで組織を中心に考えてきたものにとって自分を中心を考えるということに慣れていないということに改めて気づかされました。図で自分の仕事の部分を囲んでみて自分の位置づけが理解できるようになったと思います。
- 「考えるとは関係性を考えること」。この言葉が強く印象に残りました。図の材料である○と○の間に何があるんだろう？と考えながら練習を重ねたいと思います。
- 今日はありがとうございました。私にとって、図でコミュニケーションするのはとても難しいです。図はきれいであればいいだと思いましたが、深い関係を考えていない。また、今の仕事をテーマとして、練習しましたが、やっぱりみんなとの考え方が違います。みんなの意見をいただき、ありがとうございます。
- 今日はありがとうございました。図解＝思考法であり図は進化する、という事を胸に刻んで学んでいきたいと思います。関係性に敏感になる事で、仕事だけではなく人生が豊かに出来そうな、そんな可能性を感じました。
- 講義ありがとうございました。今まで自分の考えを説明する際に図解を使ったことはありませんでしたが、今後は他人の話を図解で理解してみたいと思います。



2017 年 4 月 8 日 インターゼミ 2017 年度が始まる

品川キャンパス: 12 時 10 分から大学院教授会。

- 審議承認事項: 平成 29 年 4 月入学者。特待生。異動。コース変更。論文予備審査。
- 報告事項: 大学院事業計画。自己点検。分科会メンバー。入試広報分科会。教務分科会。院生分科会。企業派遣分科会。プロジェクト分科会。データサイエンスコース報告。ルール形成コース報告。ポラリスユニバーシティ報告。グローバルスタディーズ学部セッション授業。災害障害保険。授業料半額対象者。教授会時間変更。事務。その他。

九段サテライト: インターゼミ(2017 年度)第 1 回。

- 学長講話: 社会工学研究会。独りでは課題解決はできない。タテ社会。仕事を通じて時代と関わり貢献するのが人生。インターゼミは模擬実験。過去の取り組み(8 年間の実績の積み上げを読む)。知の力(時代・技術・競合、)。歴史認識によって時代認識をつくる。多摩学班(シルバーデモクラシー。ビジネス。社会運動)。アジア班(モンゴルが世界史に与えたインパクト。元。元寇。李氏朝鮮。清朝。満州国。インドのムガル帝国。イランはイスラム化したモンゴル。ロシア、ユーラシア史。サービス・エンタメ班(視界を広げるか)。地方・環境班(ICT/AI/ビッグデータ)。この 8 年で何が変わったか。ICTの加速。格差と貧困。アナログが重要に。生身の人間に語かける。学部生(参加しにくい。クオリティが上がっている。かまわない)。ヒューマンリレーションマップとアセットマップ。
- 丹下先生(中小企業の海外展開)。水盛先生(中国の歴史。宇都宮太郎日記。外務省分析官として現代中国)。野坂先生(被災地の水産業のイノベーション)。韓先生(観光まちづくり。フィールドワーク。身障者観光)。杉田先生(スポーツ社会学。レジャー。余暇開。名古屋のレゴランド)。荻野先生(朝日新聞。東洋学園大。あらたにす)。木村先生(NHK。アジア・多摩学・震災・エネルギー。ジャーナリズムの死。トッド。ボクシングのトレーナー)
- 松井(早稲田で日本史。江戸天保。文学研究科。マザーズ投資家。センター試験 2021 年度無くなる。調査書の点数化。大学は様々な人を求めてくる)。渡辺(金融。フィールドワーカー。アイルランド、カンボジア、原発、福島、チェルノブイリ、)王(早大院。高齢者福祉とNPO)。追分(院OB。LAのジャパントウン開発。移民の受け入れ。アクティビシニア事業。結婚相談所)。新部(日立。自動運転。ヒューマンリレーションマップ)。菊永(東芝、再生へ)。川合(院OB。医療機器メーカー。資格サポート)。葛生(院OB。ハワイ滞在者に物件紹介。葛飾区で空屋対策)。服部(旅行会社。サウジアラビア。地域資源学会。欧州型カジノ)。越田(内閣府で青年交流。中年の危機。大企業病)



終了後、蕎麦屋で懇親会。

金先生、杉田先生、バトル先生、水盛先生、野坂先生、丹下先生、私。

2017 年 4 月 12 日 副学長日誌

研究室: 秘書とスケジュール調整。授業・講演の準備。

ラウンジ: 高野課長

2017 年 4 月 13 日 副学長日誌

- 杉田学部長: 採用人事関係
- 事務局との定例ミーティング: 入試。、、、。
- 明日の授業準備

2017 年 4 月 14 日 ビジネスコミュニケーション

- 橘川客員教授:情報交換
- 高野課長:スケジュール。インターゼミ、、、。
- 「ビジネスコミュニケーション」の2回目の授業。150人ほどが登録。日経から出した DVD で、図解の技術を説明。簡単な演習を行う。次回から本格的に。
- 趙先生:沖縄

2017 年 4 月 19 日 人事委員会。学部運営委員会。理事長報告。学修支援サービスコーナー見学。

午前

- 人事委員会(早朝 8 時から):採用。昇格。非常勤。
- 学部運営委員会(10 時 40 分から 12 時 15 分)

午後

- 杉田学部長
- 理事長報告:今回から杉田学部長と一緒に報告するスタイル。出版企画。来年度の入試戦略。人事。、、、、。報告と意見交換。
- 入試の森島課長・酒井さん:教育内容説明会は両学部とも「大学改革の『多摩大モデル』」で講演することに。
- アクティブラーニングセンター見学(図書館):図書サービス・ITサービス・学修支援サービス。学修支援サービスコーナーでは新任の小西先生と水盛先生が学生の相談にあたっている。川手課長、公平係長。
- 小西先生「50 人。単位取得を中心によろず相談になっている。、、、、」



2017 年 4 月 20 日 2017 年度のリレー講座始まる。初回は寺島学長。

客員の渡辺先生の本日のゲストは、外務省経済局経済安全保障課の石田伸介研究調査員。食料安保をテーマとした講義。



- 中澤先生
- 木村先生
- 杉田学部長
- 金先生:寄付講座
- 杉田先生:戦略会議
- 学長報告・打ち合わせ:戦略会議(入試)。人事(採用・昇格)。出版。湘南。
- 2017 年度春学期のリレー講座が始まる。累計で 11 万人の受講生。



寺島実郎学長「世界の構造変化の本質を考える」

- ・ 反知性主義・ポピュリズムなど価値軸の混乱の時代(BREXIT。フランス大統領選は進歩と愛国(ルペン)の戦い。米トランプ)。逆さまの世界(周金平の自由主義とトランプの保護主義)。こういう時代には自前の羅針盤が必要だ。
 - ・ 「歴史の進歩とは何か」。ジグザグしながら結局は条理の方向にいく。市井三郎「不条理の軽減が進歩。社会的・制度的解決」。ローズの正義論「最大多数の最大幸福」。内村鑑三「後世への最大遺物」。自分の役割への問いかけを。
 - ・ 2017 年の世界経済は上方修正で 3.5%成長。BRICSのブラジル・ロシアが復調、インド好調・中国は持ちこたえている。アジアダイナミズム(アセアン5は 5.0%成長)。
 - ・ シルバーデモクラシー:イギリスのBREXITは 43 歳が分岐点だった。若者は残留支持。唯一のバイタル産業・金融界は離脱支持。メイ首相の離脱の基本方針と解散総選挙決断などはサッチャーを髣髴させる。Bloody Difficult Woman。
 - ・ アメリカのトランプ大統領当選はヒラリーの敗戦。若者はサンダース支持、白人貧困層の苛立ちがヒラリーを拒否。支持基盤が弱い政権でありポピュリズムに。トランプの経済政策は分裂。産業政策は保護主義(脱TPP)、金融政策は新自由主義(規制緩和)。化石燃料シフト。マネーゲーマーが政権に。
 - ・ 日本のシルバーデモクラシー:2050 年前後に 1 億人(65 歳以上が 4000 万人。80 才以上が 2000 万人に迫る)。現在は 80 歳以上は 1000 万人、100 歳以上は 6.5 万人。首都圏の国道 16 号線沿いに産業戦士のための団地 10 万戸を 1950 年から 1970 年にかけて建設。現時点で単身・母子・父子・夫婦世帯は 63.7%で 3388 万世帯。これが単身化する。コンクリート空間の独居老人。田舎の高齢者は一次産業に参加できる。都会の高齢者が問題。「多摩大のシルバーデモクラシー企画」に参加を。
- 杉田学部長:寄付講座
 - 山本さん:「名言との対話」の次回打ち合わせ

2017 年 4 月 21 日 朝、多摩。昼、九段。夜、品川

今日は、3 つのキャンパスを駆け巡った日。

午前が多摩、午後は九段、夜は品川。

多摩キャンパス

- 橘川先生:互いの近況交換
- 授業、3 回目。図解のテーマは「私はこんな人です」。実習。グループプレゼン。6 人ほどの全体プレゼン。徐々に慣らしていく。連休明けから本格的に。

九段サテライト

- 大学戦略会議:テーマは入試。量の時代から質の時代への分岐点。入学者の目標数を議論

し、方向を確認。いい議論と合意ができた。

- 大学運営会議：私からは直前の戦略会議の報告。学長「質・クオリティとは何か、志を持った入学者、具体的にイメージできるモデル。教員採用について。社会人が参画できる大学発のビジネスモデル、収入源、農業、子育て、次につなげる」

品川キャンパス

- 滝川課長
- 授業：今期は 10 人が登録。今回のテーマは「新聞の社説」を図解すること。「英国メイ首相総選挙」「衆院選区割り」「働き方改革」「アメリカの温暖化対策」「学術会議声明」「朝鮮半島有事」「シリア空爆」など。最近の話題。日経・読売・東京・朝日、北海道新聞・琉球新報。



- 文章の図解はキーワードを選び出しその関連性を自分の頭で再構築することだと学びました。文章を「整理・理解しよう」とするよりも「誰かに説明しよう」と試みる方が考えが纏まりやすいと気づきました。また社説を図解してみて事実と意見を一緒に述べている箇所が多い。そうすることで意見を普遍的な事実と思われるように意図的に表現しているのではという疑念が生まれました。様々な気づきや発見をもたらしてくれる図解の威力を今回も実感しました。
- 1票の格差の問題についても、新聞社の問題のとらえ方によって主張する点も大きく違い、視点も違う。それを図にするとその違いがより分かりやすくなると感じました。同じ問題をそれぞれの視点でどのように考えているのかを見てみるのも面白いと思いました。
- 皆さまからの温かいご指摘のとおり、まだまだ箇条書き思考から抜けだせない自分がいます。箇条書き、つまり理解したつもりになっている、そのことを体感させて頂きました。ただ、今回の私の拙い図解でも、皆さまと共有することで、新たな発想や視点、疑問が生まれ、自分の思考が広がるとともに深まっていくのを感じました。また、様々な個性ある図解、大変勉強になりました。有り難うございました。
- 今夜は「社説」を図解にする練習。限られた時間でキーワードを読み拾い、箇条書は極力控

え、図で関連づけ。特派員として皆に解説する際、聴き手の前提とする知識量やレベルが異なるので、一工夫要。◆割振り記事「米のシリア空爆 単独攻撃 即断の危うさ」

- 文章を図解する方法①文章の大切なところに線を引く②線の中の大切なキーワードを丸で囲む③丸で囲んだキーワードを図解する●図解の有効な点①論理の破綻がないか確認できる②大切なことだけが浮き上がってくる③図解することで自分の頭で考え直すので、理解ができ、自分のものにできる→疑問がわいて、質問ができるようになる④異なるテーマの図と図を合わせようとする、そこに重なりができる。この重なりは、その人独自の発見になる！●図解を説明するときのコツ
- ①前提条件を共有すること専門家は前提条件を説明しないから話が分かりづらい●私の気づき①文章を図解しようすると、興味がなかったことにも興味が持てました。②これまでは言葉や事柄を平坦に並べて眺めていましたが、思考が立体的になりました。③図解は思い切って捨てるのがコツだと思います。④図解すると書き手の意図や触れられたくない点が出っすらと浮かんできます。そうすると、より内容に興味湧きますし、自分自身の意見を強く意識するようになります。自分の意見との対比をするから、頭に残るのかも知れません。⑤他の人の書いた図は面白い！長い文章を読むのは苦痛ですが、図解の解説は、パズルを組み立てていくように楽しいです。⑥作るのに行き詰まった図は、思い切って捨てる→でも、捨てた図も無駄にならない！（無駄にしない）●今後、学びたいこと
- 今回は、文章からキーワードを抜き出したので、図を組み上げるだけでしたが、様々な情報を集めて組み上げなければならないことが多いので、情報の整理でなく、創作に活用できるようにしたいです。ありがとうございました。
- 社説を図解にするためには、何度も読み返し理解を深める必要がありました。一読するだけではいろいろな部分を落として表面的な理解に留まってしまう場合がある事に気づかされました。そして、この結論は何か？と能動的に読み込む事で、批判的な視点も生まれた事も図解の効果だと感じました。
- ペンの色が薄くて、クラスを一時停滞させて、みんなの時間を無駄にして申し訳ございませんでした。文章の背景を紹介せずに発表し、理解しにくかったと思い反省しています。次回から注意します。また絵が上手に描けないので、理解を深めて頂くために分かりやすい記号をもっと活用するべきでだったと思います。
- 社説を読んでみた感想です。そこに書かれている問題に詳しくない場合、文字情報だけだと問題の背景がわかり辛かったです。その主張が正しいのかを考える意味でも、社説には文字だけでなく図解も載せて欲しいと思いました。
- 社説を図解して自分なりに理解したと思い発表しました。ところが、発表後に質問や意見を聞いてからの方がはるかに理解が深まっていることに驚きました。講義という場があり、発表を聞きあうことができる良さを感じます。余談ですが、1 票の格差問題を聞いていて、夏の高校野球は問題にならないのか疑問に思いました。東京と山陰では一校の格差が相当あるような気がします。こう思うのも自分なりに考えていたということでしょうか…。



2017 年 4 月 22 日 インターゼミ(九段サテライト)

16 時から九段サテライトでインターゼミ。



(1 年生よ、メモをとれ！)



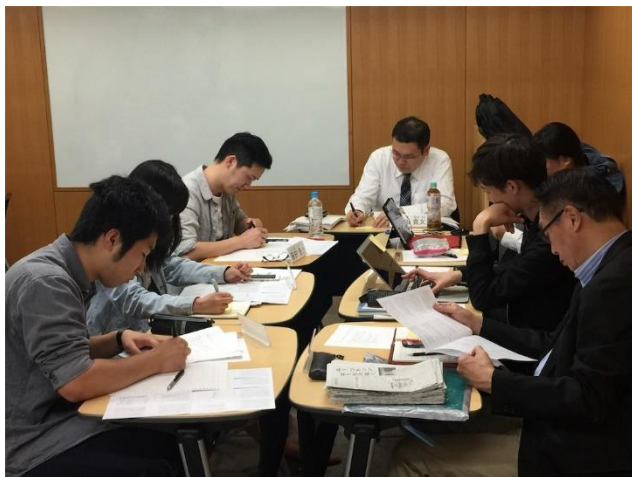
学長講話

- 本気で。チームプレー。社会工学。
- 17世紀オランダ論：近代とは何か。世界観の構築。日本史・東洋史・世界史。ユーラシア大陸史。パラダイム転換。相関性！
- 宗教改革 500 年：638 年中国唐長安に景教（キリスト教ネストリウス派。ネストリウスはシリアの人。ビザンチン帝国）寺院。645 年大化の改新。736 年景教が日本に。1517 年ルターの宗教改革（カトリックへの挑戦）。1549 年イエズス会のフランシスコ・ザビエルが日本（カトリック側の対抗宗教改革）。キリシタン禁制へ。1708 年最後の宣教師シドッチ屋久島上陸。新井白石との 4 回の問答。「西洋紀聞」。3 年前オランダ屋敷に 3 体の骨を発見。DNA鑑定でイタリア人シドッチと断定。オランダ（共和国・プロテスタント）はスペインと戦い建国。アメリカ合衆国につながる。憲法第一条は「宗教の自由」。トランプのイスラム教対策という皮肉。
- 文京区の切支丹屋敷訪問。マックスウェーバー「資本主義の精神」再読。17 世紀オランダ論を連休に読み込み。

アジア・ユーラシア班（教授：金・水盛）。



AI班（教授：久保田・大場・木村）



多摩学班(教授:丹下・野坂・荻野)



サービス・エンターテインメント班(教授:バートル・ハン・杉田・安田)



終了後、蕎麦屋へ。

金先生、杉田先生、丹下先生、目黒高校の松井先生と歓談。

帰りは、杉田先生の車で話をしながら帰る。学部のこと、ゴルフのこと、。。

2017 年 4 月 25 日 副学長日誌

- 川手課長:リスク管理。
- 高野課長:人事委員会。モンゴル。目黒高校。
- その子先生:渡辺先生イベント
- 一般社団法人言の葉協会:柿本理事・大槻常務理事と面談。「言の葉」と「私の志」のコラボの可能性。
- 斉藤S先生:秘書関係学会の講演打ち合わせ

2017 年 4 月 26 日 副学長日誌

- 人事委員会:採用
- 学部運営委員会:教授会前の執行部打ち合わせ
- 教授会:4 月から私は大学戦略会議と大学運営会議の報告
- 高野課長:モンゴル、卒寿の会
- 酒井さん:教育内容説明会
- 志賀入試委員長:入試戦略
- 斉藤 S 先生:日本ビジネス実務学会での講演の件
- 趙学生委員長、大森副委員長、杉田学部長:学生関係
- 教授会での留学生紹介。中国、韓国、フランスから。



2017 年 4 月 27 日 リレー講座:西崎文子東大教授。「歴史から読むアメリカの今」

- リレー講座:西崎文子東大教授。「歴史から読むアメリカの今」
 - ・ トランプ 100 日。何をなしたか。100 日はFノルーズベルト大統領の 100 日改革に因む。
 - ・ 二つのレンズ:凸レンズ(遠視用)「今日のトランプ」:公約の実現の暗雲・失敗。「ムスリムの入国制限」(連邦裁の差し止め)。「メキシコの壁」(議会が難色)。「オバマケアの見直し」(見直しの失敗)。「予算案」(議会審議に暗雲:国防・安全・退役軍人は増、環境・労働・農業・エネ・教育・文化などは減)。さらに税制改革(15%)も議会が難色か。
 - ・ 失敗の理由は「反オバマ」が目的かしたこと。軍事力強化。政治手続きが下手。法治感覚の薄さ。利益相反の疑い。ネプチズム(親族優先主義)による権力闘争。

- ・ 凹レンズ(近視用)「歴史の中の現在」:アメリカ 240 年史。同時代史。現在は過去と直結という感覚。100 年前(19Cから20C)の転換と重なる。「人種問題」。「移民問題」(北・東ヨーロッパ、南欧・アジアの増加による不安の増大から移民排斥・制限へ 1924 年の出身国割当て制)。「格差と労働」(1870 年以降の産業化の進展。農民を置き去り。悪環境テネメント生活。富裕層への憧れ。格差の拡大。
- ・ ポピュリズムの登場:人民党(第3党)の活動は民主党に吸収される。革新主義運動とポピュリズム運動の分岐。アメリカは分極・分裂へ。
- ・ 分配:格差による亀裂の拡大
- ・ 価値:人口構成の変化。人種・世代。譲れない。新しい分裂。
- ・ 知的潮流:啓蒙主義思想(自由・平等)から価値多元化へ。無限でよいのか。この亀裂でオバマが登場。
- ・ トランプ:信念。イデオロギーはない、政治手法がポピュリズム。「恐怖」を煽る。「本音」主義。「排外」主義。要するに強烈な「自己本位主義」。
- ・ 攪乱から距離を置き長期に見つめることだ:リベラリズムを問い直す。どうやったら自由を、どうやったら平等を。政治制度をどうするか。
- 杉田学部長:出校日と出講日。
- 高野課長
- 川手課長
- 渡辺先生:本日のゲスト講師・香港政庁の広報ウーマンと挨拶。近況交換。
- 知研・高橋さん:大館松下村塾での講演。北海道、仙台、、、。
- 中庭先生:大学連携のアイデア
- 杉田先生:経営学部長会議

2017 年 4 月 28 日 学内で授業・ラジオ・ミーティング。学外で出版関係者と懇談
連休まえのたて込んだスケジュールをこなす。

多摩キャンパス

- 午前:授業 4 回目。「私の大学生生活、この 1 年」。
- 昼:T-Studioでラジオ収録:橘川先生と対談。シンポ「参加型メディアの未来」がテーマ。
- 午後:事務局との定例ミーティング:杉田学部長。宮地事務局長、水嶋課長。

東京

- 夕方:出版社(PHP)の編集者と企画の相談(九段の文庫カフェ)
- 夜:日本地域社会研究所(荻窪)で落合社長と遅くまで懇談

2017 年 5 月 1 日 副学長日誌

高野課長の車で富士宮へ。8時出発。8時30分愛川で圏央道。8時40分東名。9時15分新東名。裾野、沼津、9時半新富士インター。富士宮 10 時 15 分着。施設見学。清水へ。

2017 年 5 月 6 日 大学院:修士論文予備審査会・教授会。インターゼミ:4 つの班が始動。

- 9時半:修士論文予備審査会:徳岡先生と河野先生。院生4人のテーマは、「二宮町」、「企業人事と行政」、「稼ぐこと」、「ノンアルコールビール」。院生は大企業のビジネスマンと起業家。それぞれコメントをしたが、日本の産業社会の現実と課題がわかるのでこの時間は面白い。
- 12時10分:大学院教授会:修士論文予備審査会の報告。自己点検・教務分科会。入試広報分科会。院生分科会。データサイエンスコース。ルール形成コース。ポラリスユニバーシティ。ロビースペースリニューアル。AED。
- 16時:インターゼミ
荻野先生「二宮尊徳」。久恒「人物記念館:吉田茂・島崎藤村・徳富蘇峰・横尾忠則・清水次郎長・歌川国芳」、...

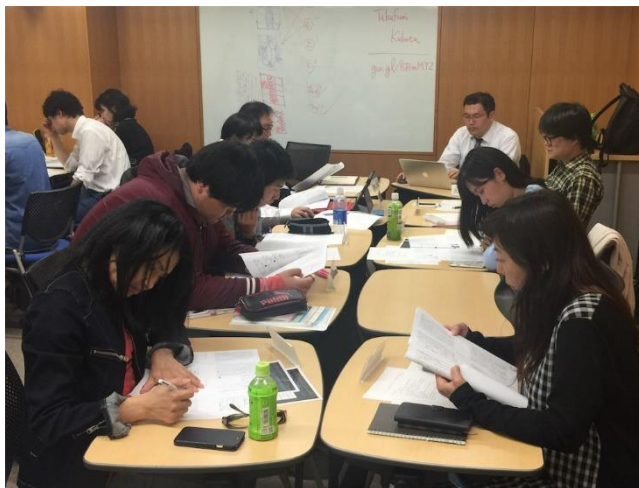
学長講話

- ・ アジア:トルコのマツソス以東の得体の知れない存在、西欧の対置概念。多摩学:思想、食と農の現場に立つ、大学が地域の課題解決にあたる。サービス:脱ものづくり国家、サービス産業の高度化。AI:人間とは何か。4つのチムのシナジーで何がみえるか?
 - ・ 北朝鮮の空気。70数年前の日本。再びならないともいえない。朝鮮半島は35年間日本の一部。アジア的退嬰。同胞感覚を持つ人がいるだろうか。絶望からの戦争。日本をターゲットとするオレンジ計画は日露戦争後から。北朝鮮を対象とするブラックスワン計画。不人気政権は対外緊張で人気取りに走る。カーボーイメンタリティ「追い込んで先に拳銃を抜かせ、反撃にでる」。海上封鎖をやると必ずコンフリクトが起こる。中国には褒め殺し作戦。ロシアの存在。近代戦はサイバー情報戦争へ。情報網を遮断し機能不全に。専制体制は弱い。「メジャー・コンフリクトいなる」。核・化学兵器・ミサイルで反撃してくるから金政権は崩壊する。このシナリオは20-25%しか描けていないとティラーソン國務長官。中国・ロシアは韓国主導の統一は好ましく思っていない。核を持った統一朝鮮の出現も。日本にとっては分断は有利という判断も。朝鮮情勢はヒトゴトではない。
 - ・ 人の本音を引き出す力をどうつけるか。質問の内容。課題解決のためのインテリジェンス。相手を本気にさせるものをもっているか。
 - ・ ワシントンの空気は一変した。ジャパンハンドラー・ジャパノロジストなど窓口がいなくなった。東アジアの専門家が政権にいなくなった。
 - ・ どういう夏になるか。メモをつくりながら一人一人がこの夏に対峙しなければならない。
- 本日から班のメンバーが正式決定。

- ・ 多摩学班



- ・ AI班



- ・ サービス・エンターテイメント班



- ・ アジア・ユーラシアダイナミズム班



2017 年 5 月 9 日 副学長日誌

多摩キャンパス

- 秘書とスケジュール調整、授業準備など。
- 杉本係長:大学戦略会議の打ち合わせ
- 高野課長:打ち合わせ
- 森島入試課長:数字
- 野田先生から電話:卒寿の会

湘南キャンパスでグローバルスタディーズ学部の学部運営委員会(新メンバー)に参加。

- 卒業研究。教職の学校推薦。退学者数・休学者数。準内定。チャレンジ枠。就職の出足。藤沢市商工会から地域貢献賞。
- 私から「多摩大出版会」「多摩大モデルの本」「課長の副委員長」など。

2017 年 5 月 10 日 副学長日誌

インターネット放送局「名言との対話」の収録。大学創立者。

- 早稲田大学創立者の大隈重信:「予は朝にあるも野にあるも主義とする所は則ち一なり」: 15 分
- 慶応義塾大学創立者の福澤諭吉:「今日も生涯の一日なり」「先成獣身而後養人心」: 20 分余。



杉田学部長と一緒に、事務局に入る新人職員への説明と懇談。

北島(総務課)。小野塚(学生課)。穴場(総務課)。入内嶋(総務課)。佐藤(入試課)。

前職が興味深い。コカコーラ。国際大学。日本航空。Z 会。西武信金。 私からは多摩大の現状と課題の説明。「前職の経験と人脈を生かして欲しい」と激励。



田村理事長報告。杉田学部長と一緒に。

私からは、大学院、グローバルスタディーズ学部を含めた大学全体の動向と課題を説明。3 人で懇談。

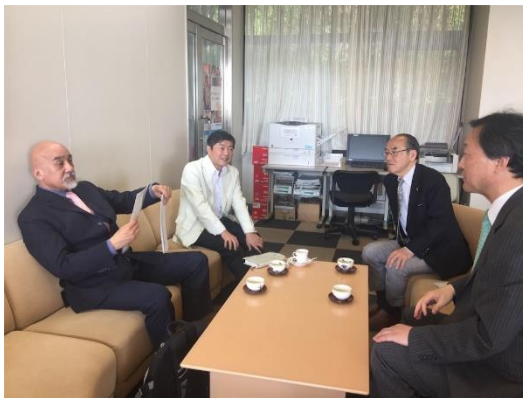
2017 年 5 月 11 日 副学長日誌

午前:研究室にて仕事

昼:渡辺先生から本日のゲストの台湾観光協会の野村産さんを紹介される。

午後:

- 下井先生:SGSのFD(研究)の件。多摩大出版会。
- 渡辺先生、安田SGS学部長:ホテル講座の打ち合わせ。
- 金先生も加わり歓談



- 高橋さん(知研)来訪:支部再編のアイデア
- リレー講座:本日のゲストは安田学部長。

「18－19 世紀中国の異文化理解:東西文化交流からの学び」



- 帰りに駅で買った文藝春秋 6 月号の「蓋棺録」。亡くなった著名人の短い紹介のコーナーだ。4 月は、渡部昇一、ペギー葉山、松本俊夫、京唄子、大岡信が紹介されてる。大岡信のコーナーを読むと、万葉集は 4600 首(余首)、朝日新聞の「折々のうた」は 6762 回という数字が書いてあった。このブログも本日で 4608 日だから、万葉集の歌の数を超えたことになる。次は大岡信の 6762 か。あと 5-6 年はかかる勘定だ。

2017 年 5 月 12 日 副学長日誌

多摩キャンパス

- 授業 5 回目。
- 橘川先生、松本先生と 6 月の「大いなる多摩学会」総会の打ち合わせ。信頼資本。あやのや、、、。多摩大出版会。



- 事務局長・川手課長、杉田学部長と定例ミーティング
- 水谷IR室長

荻窪の日本地域社会研究所を訪問。「偉人の命日 366 名言」の進捗状況、、、。NPO法人小石川後樂園保存会の本多忠夫副理事長と名刺交換。

夜は品川キャンパス

- 滝川課長と研究開発機構評議員会の打ち合わせ
- 大学院授業：本日のテーマは「憲法」。現行憲法と自民党草案。



受講生の感想から。

- ・ 担当した内閣について一見、現行憲法と自民党案はほとんど同じように写りましたが内閣総理大臣の権限の強化を巧妙に忍び込ませている事を見つけることが出来ました。法律の条文は難解で近づきたいイメージがありましたが全体像を意識することにより論点を整理しやすくなる図解の威力を今回も実感することができました。
- ・ 前回の講義でも感じましたが、図解のすごいところは、興味がなかったり、無味乾燥な文章・記事が生き生きと理解できることです。「生き生き」というのは、今日の講義の後、留学生と話していて、気づいたことです。彼女から、「他の方の図解は生き生きしている、私のは感情がない、どうしたらよいのでしょうか」と質問されて、無味乾燥な憲法が、図解を通せば生き生きして見えるのだ、ということに驚いたと同時に、気づかせてもらえた次第です。私が担当した「第二章 安全保障」は、なんと、条文は第九条の一つしかありません！話題の第九条とは言え、他の章で条文がたった一つしかない、なんてありえないと思います。その位、特殊な章でした。私自身、関心が高かった割に、現在の日本国憲法と自民党草案をきちんと読んだことがなかったのですが、図解してみて分かったのは、70年前と現在では、国や国民の安全を脅かす状況が全く変わった、ということです。それに全く憲法が追いついていなかった、そのために、憲法改正ではそのギャップを埋めようとしている、と言う意志を強く感じました。こうした憲法草案の意思を読み取って、改めて、自分の憲法改正に対する意思を明確にでき、また、憲法改正をテーマにした課題では、疑問も意見も明確に表明できる自信ができました。前回の講義で、久恒先生が「図解ができれば、質問ができる」とおっしゃっていましたが、まさにその通りだと確信しました。実は、憲法記念日の直前、自民党の石破さん、民進党の細野さんが目の前で話すイベントに参加しており、今回の図解をしていたら、もっと鋭い質問ができたのに・・・と反省しました。5月3日は憲法記念日で、安倍首相が2020年に憲法改正を目指

す、との発言をしたと話題に上りましたが、多くの国民が現在の日本憲法も、自民党の草案も読んだことがないと思います。マスコミも国民もいい加減だなと(さっき自分も読んだばかりのくせに)思いました。先程、あらためて確認して気づきましたが、自民党のサイトに掲載されている草案、実に5年前のものでした。5年も見たことがなく、ニュースでも開設されないとは…。日本の憲法議論はいい加減ですね。これも、今日の配付資料が最新版でなかったから気づけたことだと思います。そんな配付資料に感謝します。出来事にはすべて意味があると思います。これからも、無味乾燥で興味を持てないことや、長期過ぎてなかなかじっくり考えられないことを図解で考え、疑問・質問を出し、そこへの回答を探すことで思考を深めていきたいと思っています。こうして自分の中、奥深くに思考が進み、かつ本質は何かを図解している中で考えるので、「インサイトコミュニケーション」なのかと思いました。国民全員に大切なのに、無味乾燥で読むことのなかった憲法を題材にくださった久恒先生に感謝します。また、私たち日本人とは全く違う視点でいらっしゃる中国人留学生の悩みに寄り添っていらした棟方さん、澤辺さん、気づきを与えてくださったことにも感謝しています！中国の憲法も知りたくなりました。中国は憲法改正をもうとっくにしているんですね！日本は何をしているんでしょう！

- ・ 読み物は現行憲法と自民党草案について、環境の変化につれて、憲法の内容も変わっていくと思います。恥ずかしいですが、今まで中国憲法を読んでいなくて、私と関係がないようです。さらに、私の図解は文が長すぎて、どうすればきれいなデザインでいきいきとして表現できますか。もし時間あれば直していただき、進歩は早くなると思います。
- ・ 皆さんと違い今夜私は脳が働かず、半箇条書で矢印・囲い枠のみを用いた発表となりました…「図解表現で周囲の理解を促す」練習を重ねる授業なので、発表後に記事自身の理解・解釈に関するコメントを戴くだけでなく、実際に先生なら同じ記事でどのように図解されるか、という思考見本も今後の参考にプリントで毎回もらえると嬉しいです。
- ・ 私が担当した天皇の部分についても、自民党案にはよく読まなければ内閣総理大臣の権限強化が隠されていたりするので、さらっと読んだだけでは見逃しそうな内容になっていると感じました。図解することによって惑わされないようになることが肝要かと思います。憲法問題はこれからの日本の方向を決める問題でもあるので惑わされないよう注視していきたいと思っています。
- ・ 私が担当したのは、国民の権利義務が列挙されている箇所。全体を大きくとらえると何を表しているのかをまず考え、次に、権利義務の本質は何か？を意識しながら分類してその上で、現行憲法と自民党草案の違いを意識しながら図解を作成しました。俯瞰してから、細分化するという流れで作成したせいか全体像を理解しやすかったように思います。集中して図解を行い、その直後に発表を聞きあったせいか普段よりも情報が頭に入りやすく、理解の感度が高まっていたように感じました(その分終わってからどっと疲れを感じましたが…)。また、発表を聞きながら、一単語、一文字変わるだけで印象が大きく変わることも実感しました。普段自分がどんな意図でその言葉を使ったのか、あまり意

識せずに書いたり話したりしていました。少しでも意識を向けてみようと思います。

- ・ 憲法という難しく読みにくい文章であっても、図解を試みることで、重要なポイントが浮かびあがり、全体を俯瞰した思考が生まれた感覚がありました。部分最適ではなく、全体最適。今後も図解能力向上によるマネジメント力アップも目指していきたいと思います。また、現行憲法と自民党草案を詳細に比較したことで、一つ一つの単語の違いの重みを感じました。言葉を選ぶことの難しさ、大切さを改めて実感しています。
- ・ 本日は現行の日本国憲法と自民党草案を図解。憲法を理解しようと真面目に読んだのは初めてかも知れません。ただ条文を一つずつ比較するのではなく、担当部分の構成要素(権利、自由等)とその関係性で整理しようと思ったのも図解的な意識による賜物だと感じました。街があって人々の生活があってという大きな一枚絵に憲法を重ね描くと、日々の生活に憲法の存在を感じ憲法への意識も変化するかも。

2017 年 5 月 13 日 インターゼミ(九段サテライト)

九段サテライトでインターゼミ

- 明治大へ転出した奥山先生と懇談。







- 17 時過ぎから蕎麦屋で池淵さんと高野課長と 30 周年出版の打ち合わせ
- 18 時過ぎからインターゼミ終了後の教員メンバーが加わりミニ宴会



2017 年 5 月 16 日 副学長日誌

- 今泉先生・彩藤先生
- 入試課酒井さん: 静岡放送の人を紹介される
- 杉本係長: 研究センター。多摩祭。
- 高野課長: 情報交換
- アクティブ・ラーニングセンターの学修支援室の看板。



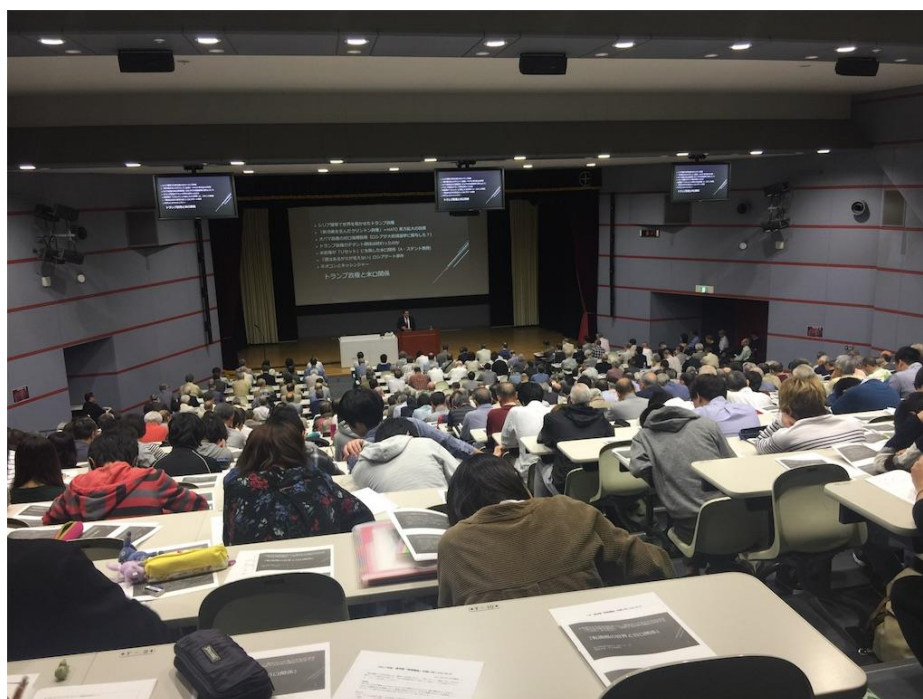
2017 年 5 月 17 日 副学長日誌

インターネット放送局T-Studioの「久恒啓一の名言との対話」第 16 回の大隈重信がリリースされた。<http://www.tama.ac.jp/t-studio/hisatune/index.html>

2017 年 5 月 18 日 下斗米先生「転換期の世界と日口関係」

- 久保田先生: ペッパー君をオープンキャンパスでしゃべるように指導中。
- 渡辺先生: 本日のゲスト講師のタイ政府観光局の藤村さんを紹介してもらう。
- 高野課長: 大いなる多摩学会の会報誌。「大学改革の多摩大モデル」出版の件。
- 渡辺先生: グローバルスタディーズ学部でのホテル講座の件の進捗状況。
- 松本先生: 多摩大出版会の企画書
- 杉田先生・趙先生
- 小西先生: 学修支援の状況
- 高橋さん(BMネットワーク): 知研。6 月の秋田・大館の講演会の打ち合わせ。
- 杉田学部長・中庭先生: 大学間連携のグッドアイデア。
- リレー講座: 本日の講師は法政大の下斗米先生「転換期の世界と日口関係」
 - ・ ロシア革命 100 年と変わる世界: 1917 年から 100 年。ソ連崩壊から 25 年。孤立主義の英米(トランプ・メイ)と国際社会に戻ってきたロシア(プーチン)。
 - ・ トランプ政権と米口関係: ロシアゲート「煙は見えるが火が見えない」。

- ・ ウクライナ紛争の現状:ウクライナはロシアとは兄弟国家。セバストリー軍港に面しているからロシアは取り戻したかった。2018 年 3 月に大統領選がありプーチンは動けない。
- ・ シリア問題と米ロ関係:
- ・ ロシアの内政と外交:クリミア併合(聖地奪還・心の故郷)。二次大戦の戦後処理を行った土地(ソ連参戦と千島列島の交換)。エネルギー価格低下。
- ・ ロシアの内政課題:大統領支持率は 84%。与党は三分の二。2024 年以降をどうするか。人事にみる新プーチン。
- ・ ロシアの「脱欧入亜」:ウラジオストック自由港計画。一帯一路の北方のアイスロード。
- ・ 55 年体制と領土問題:
- ・ プーチン政権と日ロ交渉:プーチン「平和条約がないのはアナクロ」。2006 年以降アジアシフト。日本との関係は今後の課題。
- ・ 突破口を開いた日ロ関係
- ・ 八項目提案
- ・ 北極海からオホーツク海を経て日本海へ:北方領土の位置づけが変化。エネルギー、物流。中国の一帯一路。パイプライン。シェールガス。
- ・ 共同経済活動の射程:特別の制度。北極ルート。日ロ新時代へ。2つの国の主権下での共同経済活動。南極条約による共同管理、ノルウェーのベルゲン島などを参考。
- ・ ノルウェーの国境画定(2010)、スピッツベルゲン島(共同管理から国境確定へ)
- ・ 2017 年の新展開:新アプローチ。中間条約。トランプは日ロ交渉を認めた。9 月東方フォーラム。パイプライン。国際条約から平和条約へ。
- ・ 問題提起:平和条約から平和友好条約へ



2017 年 5 月 19 日 本日の授業のテーマは「大学生の国語力低下を憂う」

- ビジネスコミュニケーションの 6 回目の授業:「大学生の国語力低下を憂う」の2回目。実習と全体発表。写真は図解に静かにそして熱心に取り組んでいる姿。



- 橘川先生:京都の報告。次回の対談の日程とテーマ。未来学会。
- パートル先生:モンゴル
- 杉本係長:スピーチコンテストへの問い合わせ
- 事務局との定例ミーティング:多摩大出版会。多摩大モデル。講義日。、、、
- 飯田先生:「名言との対話」について

2017 年 5 月 20 日 経営情報学部後援会役員会

- 午前。経営情報学部後援会役員会を開催。司会は川手総務課長。書記は北嶋
 - ・ 議案は 2016 年度事業計画・決算報告案(金井)。2017 年度事業計画・予算案(五位淵)。2017 年度役員選任(新会長、新副会長、新理事)
 - ・ 私は冒頭に常任理事退任の挨拶と、副学長として大学の動きについて 10 分程の話をした。続いて杉田学部長の経営情報学部の教育方針の説明。
 - ・ 水嶋教務課長「新入生オリエンの出席率 99%と最高。履修登録。学修サービス」
 - ・ 高野就職課長「4 年生の内定率 19%(昨年 16.9%)。学内合同説明会。3 年生のインターシップ説明会」
 - ・ 黒瀬学生課長「フットサル部 2 年連続全国 3 位。女子フットサル部を新設。離学対策としてのサークル活動に着目。多摩祭は総合力を見せる場、今年は昨年比倍増の 18 名の実行委員。韓国チェジュ島研修」
 - ・ 趙学生委員長「チェジュ島平和フォーラム研修は 5 回目。ゴア副大統領が参加。第四次産業革命と資本主義。32 人の学生が参加。田村理事長参加。目黒高校生も初参加」

- ・ 高野学長室課長「学長の動き。異次元の高齢化への大学対応。保護者向けメルマガ」
- ・ 米倉会長挨拶「最長3年。後援会は大学のバックアップが使命。異次元の高齢化に立ち向かう大学。事業という面、、、」。浅田新会長の挨拶、、、

終了後、昼食会

午後

- グランドパレスホテルにて立岡さんと情報交換。クラウドファンディング、AI、障害者雇用、マレーシア、テクノロジー商社、知的財産権、、、。
- インターゼミ：安田学部長（ホテル講座・自己点検）。金先生（学生手帳）。松井先生（単位化）、、、。

2017年5月21日 第2回多摩大学運動会

第2回多摩大学運動会。聖ヶ丘小学校の校庭。下井先生の企画。

私の開会の挨拶「運動会は日本独特。クールジャパンとして注目。2020年には世界大会も。熱中症とけがに気をつけて」

「宅配便競争」でピストルを撃っているのは私です。下井先生が嬉しそうにみえています。

参加した先生は、今泉先生、金先生、大森先生、趙先生、小林先生、小西先生、丹下先生、水盛先生、野坂先生、下井先生、私。









下井先生の総括。

「いつも大変お世話になっております。本日も大変お忙しい中、本当にどうもありがとうございました。大変感謝申し上げます。私の力不足で、集まった人数が少なく、大変申し訳ございませんでした。ただ、無事にけが人や熱中症などの急病人を出すことなく、また、楽しく終えることができました。大変感謝申し上げます。来年以降、もし平日でやるとしたら、学生委員会や教務委員会で共同で、実行委員会を立ち上げたほうがいいかもしれません。」

2017年5月22日「野田一夫 90歳 バースデーパーティ」は900人が参集

「野田一夫 90歳 バースデーパーティ」に参加。品川。900名が参集。

華麗、かつ豪華。一番の高齢が野田先生というパーティ。若い人、女性経営者も多い。凄い人氣に改めて驚く。

第一部：野田先生と、弟子の澤田HIS会長、南部パソナ代表との掛け合い。

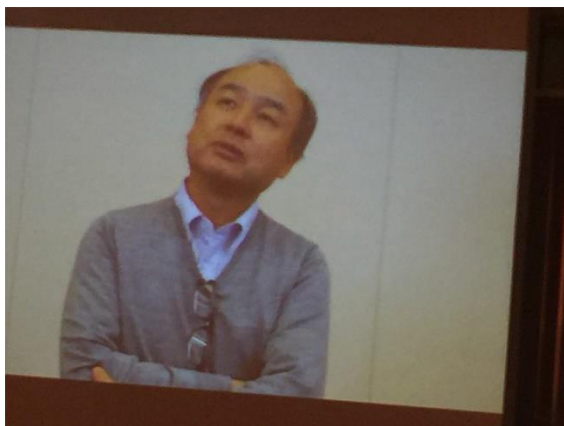
第二部：司会は石田純一。発起人挨拶はキッコーマンの茂木友三郎。乾杯は小泉純一郎総理。花束贈呈はジュディオング。

小泉純一郎の乾杯の挨拶。印象に残る短い挨拶。



以下、映像メッセージ

孫正義。サウジアラビアにいるので出席できない。



コシノ・ジュンコ



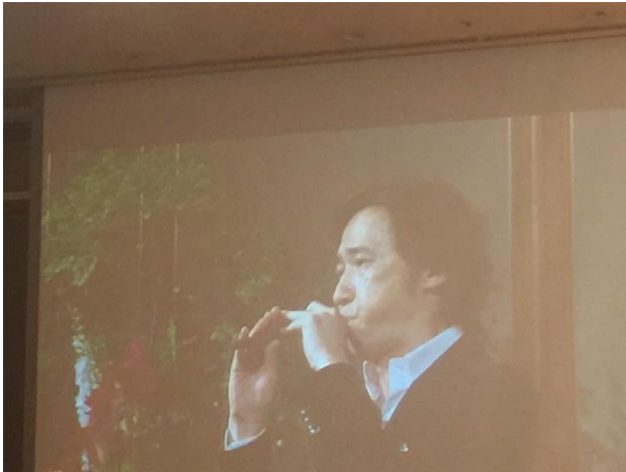
栗城史多(登山家)。ヒマラヤ 7000 メートルから。



野中ともよ



東儀秀樹



左から、富田さん(私の仙台のゴルフの師匠)、野田先生、小生、杉田先生(東京のゴルフの師匠)



出席者への野田先生の挨拶状

「小生未だ心身ともに壮健で、赤坂のオフィスを拠点に昔と変わらぬ人生を送っております、、」

2017 年 5 月 23 日 副学長日誌

研究室

- 授業準備(学部・大学院)

ラウンジ

- 今泉先生、彩藤先生:アマゾンのプライムビデオとミュージック
- 杉本係長:戦略会議
- 高野課長

総研

- 松本先生:研究開発機構評議員会資料
日本地域社会研究所にて打ち合わせ



2017 年 5 月 24 日 副学長日誌

委員会

- 人事委員会:10時から
- 学部運営委員会 10時40分から12時30分

研究室

- 大学院授業準備:共謀罪
- 学部授業準備:社長メッセージ

ラウンジ

- 荻坂客員教授:学部の授業。大学院OB会、、、。
- 杉本係長:戦略会議資料
- 高野課長:「多摩大モデル」
- 杉田学部長:事業構想
- 大森映子先生
- 金先生:アクティブラーニングの動き
- 趙先生・飯田先生:読書コンクール

2017 年 5 月 25 日 リレー講座:寺島学長「日本経済および社会構造の変化」

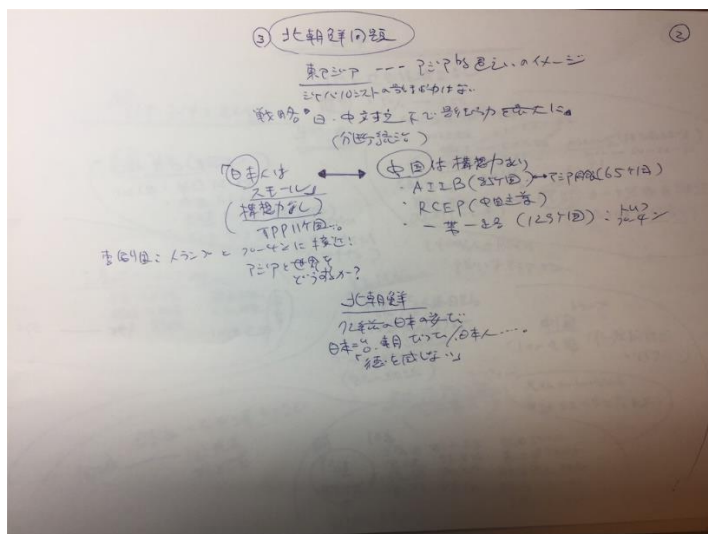
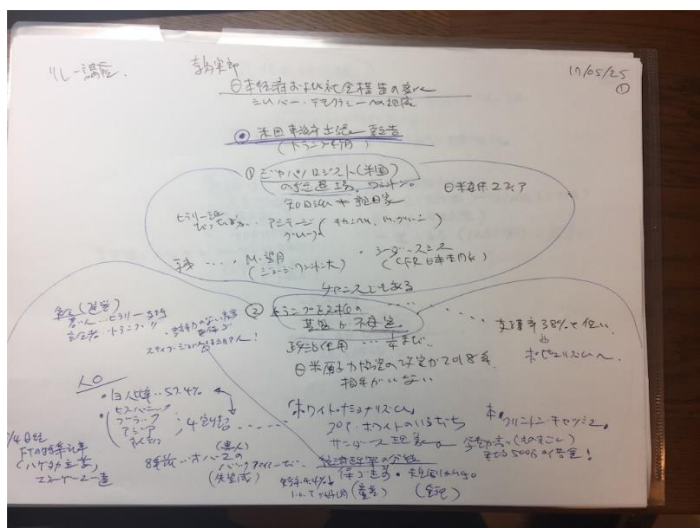
加計学園問題。

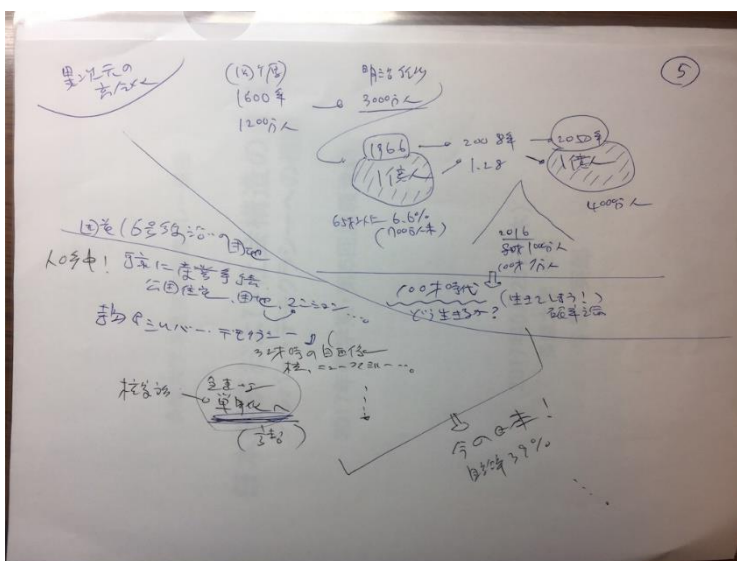
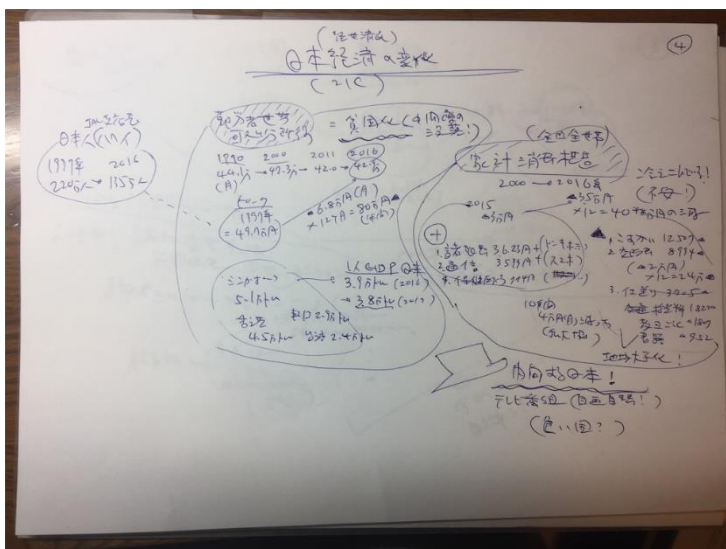
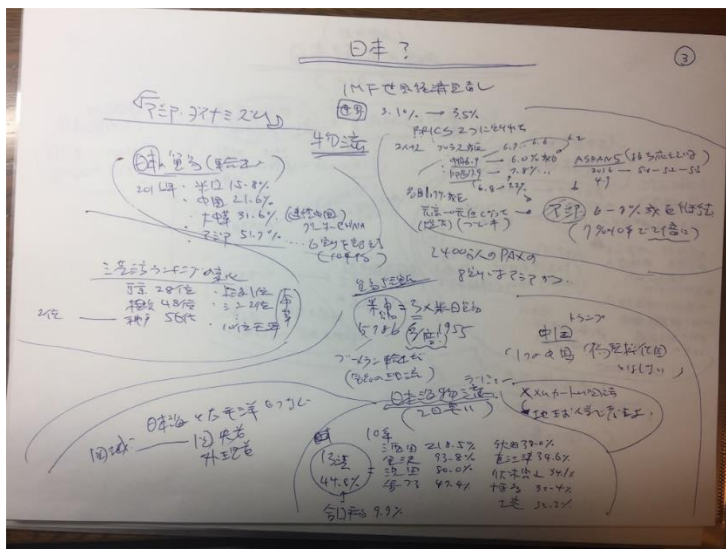
朝、朝日新聞 1 面と週刊文春の特報の前川証言を読む。昼、youtube で参院委員会の野党質疑

を聴く。テレビ番組の報道をチェック。夜、テレビで前川前文部次官のインタビューを見る。

- 学長と打ち合わせ: 多摩大出版会。多摩大モデル、、、。
- 秋のリレー講座の講師人選会議: GIN。金先生・小林先生・高野課長。
- 本日のリレー講座: 講師は学長「日本経済および社会構造の変化」
 - ・ 米国東海岸出張報告: ジャパノロジストの総退場(チャンスである。トランプ政権の基盤は不安定(支持率。政治任用。経済政策の分裂)。北朝鮮問題(日本には構想力がない。北朝鮮は 72 年前の日本の姿)
 - ・ 日本: アジアダイナミズム。世界経済は好調(中国・印度・アセアン5で 6-7%成長)。米中貿易は日米貿易の 3 倍。日本海物流は 2 日速い。日本海港湾の成長率は 10 年で 44.8%。圏央道インパクト)。
 - ・ 日本経済の変化: 経世済民。日本は貧困化。中間層の没落。内向する日本。
 - ・ 異次元の高齢化: 100 才時代をどう生きるか。国道 16 号線沿いの団地の高齢化。急速な単身化。、、)

以下、図メモ





- 17 時半:品川での大学院運営委員会:自己点検報告。教務分科会。入試・広報分科会。院生分科会。プロジェクト分科会。その他。
- 18 時半:滝川課長と来週の研究開発機構評議員会の打ち合わせ。金井さんと雑談。

2017 年 5 月 26 日 今日はフルコース:多摩(学部授業)・九段(会議)・品川(大学院授業)

多摩キャンパス・九段サテライト・品川キャンパスのフルコース。

午前:多摩キャンパス

- 橘川先生と歓談
- 学部授業:今日のテーマは「社長メッセージ」。麒麟。三菱商事。多摩信金。アイリスオーヤマ。野村證券。小田急電鉄。東芝。シャープ。ヤマトホールディングス。三菱重工。サンリオ。東京電力。ソフトバンク。三菱自動車。味の素。ユニクロ。幻冬舎。タマホーム。佐川急便。旭化成。日立製作所。京王電鉄。コマツ。パソナ。すかいらーく。日本テレビ。日本航空。伊藤忠商事。サントリー。三越伊勢丹。オリエンタルランド。ファンケル。ベネッセ。野村不動産、、、
「社長メッセージを図解するとその企業に入りたくなる」。

午後:九段サテライト

- 大学戦略会議:本日のテーマは「地域」。経営情報学部連合。国際・観光学部連携。産学官民連携センター。学部ゼミは〇〇研究室。大学院・学部連携。総研研究員。院は産業界連携。、、、具体的なアイデアが満載の会議となった。
- 第1回研究活性化センター会議:私立大学研究活ブランディング事業申請
- 大学運営会議:非常勤採用。戦略会議報告。各セクション報告(離学対策)。決算速報。、、、

夜:品川キャンパス

大学院授業:テーマは「共謀罪」。朝日・毎日・読売・産経・日経・東京・河北・西日本・中日の各紙の社説と、国連特別報告者のケナタッチ氏の総理宛書簡が材料。以下、受講生の終了後の感想から。

- 本日もあつと言う間の講義でした。文章の図解作業はインプットとアウトプットを同時に行う作業であり、すさまじい集中力を必要とする行為であると改めて感じた時間となりました。そして、共謀罪というテーマでの社説の図解。各新聞社の主張にそれぞれカラーがあり、1紙だけの情報を真実とすることへの危うさを実感しました。また、ほとんどの新聞には載らない事実があるなど、情報が溢れるなかで、真実を見極める情報収集力が必要であることを再認識させて頂きました。
- 本日は共謀罪に関する各紙の社説を図解。担当した読売新聞は議論内容に深入りせず、政府頑張れ早くやれの論調。他紙ではとにかく反対やもっと議論を、など様々。ここまで主張(のみ?)が強いのかと驚きました。あらためて自分が政治に疎いことを反省しました。自分の意見を論理立てて主張できるほど理解出来ないにしても、概要や状況を理解するのに図

解は効果が高いですね。今は各自の図解をそれぞれ順に概観していますが、一枚の図に対し皆で論点を確認しながら議論してみたいとも思います。

- 共謀罪が危うい犯罪を防止するために、そもそもいいけど、犯罪の内容は曖昧なので断罪することをまちがえやすいと思います。例えば、計画段階ではどのように犯罪を明確しますか？具体的な行為がまだしないですから。一緒に犯罪するのは冗談かもしれないので、明確に断罪しにくいし、裁判をまちがえやすいし、政府が市民の自由を監視しすぎて、逆に市民が不安に陥ります。ですから、計画段階で共謀罪を裁判するのは無理だと思います。
- 関係を考えながら図を書くということが、少しずつ少しずつ理解でき始めている気がした講義でした。同じテーマを取り上げた社説を皆で図解してみて思ったのは、考えるための判断材料を取り込むのも難しい、ということ。新聞や書籍以外にもテレビに雑誌、ネットなど情報を手に入れやすいからこそ、何が本質なのかという視点を大事にしなければならないと思います。
- 内容について深くは言及しない地方新聞は、中立的立場をとりながらも、どちらかという国民多数派の見解を支持する傾向にあるらしい。【記事中身】UN 職員ではない J. Cannataci 氏の専任過程が不透明な中、初動で「公開書簡」というやり方には疑問を感じるが、指摘事項はするどく、共感できる。というのも対米追従的な首相の理想国家に近づく改法案にはすべて反対であるからだ。これまで数力国の監視社会で生活してきたが、諸外国がどのような基準で「共謀罪」を制定し、適用しているか考えたことがなく、また、簡単に見えるものでもない。当該コンフリクトが続き、もし「国連脱退」を日本が選択した場合、喜ぶ国々はどこなのであろうか。ちなみに FB アカウントがアメリカ政府にモニターされている事は否めないです、どの言語で書こうとも。
- 共謀罪について日本の各紙の論説は、賛成にしる反対にしる手続きを批判しているものにしる、落としどころをどのようにしたら良いかまでを考えた論説になっていないように思われました。結局は数の力で押し切られることを前提とした論説ではまずいのではないのでしょうか。その点国連人権理事会から選任を受けたジョセフ・ケナタッチ氏の書簡は、懸念される問題点を指摘し、それに対する対応まで提案している点に日本の各紙の稚拙さを感じざるを得ませんでした。国内事情を優先して国際社会からどのようにみられているのかを無視する政府の現状を見ていると、戦前の日本の姿がだぶって見えるのは私だけでしょうか。
- 各社様々な意見であることが発見でした。多様な意見が存在することは、議論を深めるという意味で良いことだと感じました。
- 今回の講義を通じて、(スピード感を持続する前提のもと、)各論点についてさらに議論を深掘りする必要性を感じることができました。また、各社の意見、ファクトのリンクを集約したものがあって良いと仰っておられたのが印象的でした。「まじめな NAVER まとめ」みたいなサービスに対して需要あるかな？と思いました。
- 共謀罪について各社の社説を読だ、そして共謀罪のいくつか問題点が出ました。一般人は対象外としているが、一般人かどうかを決めるのは政府。誰でも捕まる可能性はある。社会

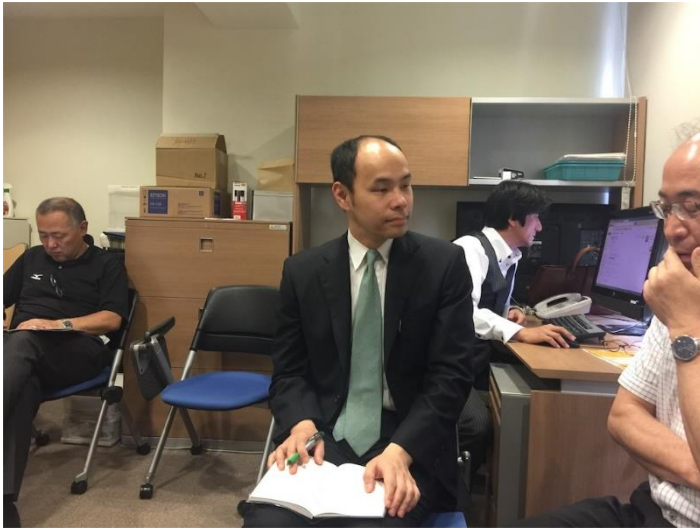
の監視の目が厳しくなる。警察による過剰な捜査が行われる。(電話やメールなどの盗聴、GPS 捜査)個人プライバシーが侵害される。テロ対策のためにも共謀罪は必要ですが、しかしもう少し慎重的に考えればもっと良い結果が現れると思う。

- 今日の講義の始めに、社会や歴史など因果関係があるものは図解が良い、というお話がありました。社会は想像しやすいですが、歴史は図解できいるというのが驚きでした。言われてみれば、歴史はつながっており、因果も一つの関係性と言えます。何かを中心において、その関係性を描いていくと、いろいろなものが図解できるということですね。現在の世の中や科学においては、因果関係がはっきりしない、複雑系や非線形というものがあります。これらを図解で表現できるのか、今後の受講のテーマにしていきたいと思います。以前のレポートで「図解は捨てることが大切」と書きましたが、すべてを表現することでなく、本当に言いたいことは何かを明確にし、そうだとしたら足りないことや表現が弱いところはどこかを見直すツールとして活用でき、また、連続性を大事にする大企業にとっては、なんらかの因果関係を持たせて図解できれば、コミュニケーションはスムーズになると思いました。さて、今日のテーマの共謀罪、私は日本人がテロを計画したり起こしたりするとは全く考えていませんが、悪意を持って来日する外国の人はいるのではないかと思います、東京オリンピックまでに共謀罪の成立は国際組織犯罪防止条約に批准するためには当然のこと、と頭ごなしに考えており、全く内容を知らず、「共謀罪」と「テロ等準備罪」の違いも全く分かりませんでした。ちなみに、共謀罪は組織犯罪を計画した時点での取り締まりが可能ですが、テロ等準備罪は計画後に実行準備を行った場合、使用可能となります。計画段階で捜査する共謀罪は対象の犯罪が 600 以上ありましたが、テロ等準備罪では半分以下の 277 罪にまで狭め、より厳密な内容へと変更した、とのまとめがありました。277 を減らせ、という社説はありましたが、共謀罪の時から半減したとは、いずれの社説にもありませんでした。(テロ等準備罪を今でも共謀罪と呼ぶのは新聞社ごとの判断だそうです)またすべての対象犯罪についてはなかなか情報がありませんでした。東京新聞のツイート画面くらいです。西條さんのご指摘通り、社説が全てではありませんね！あの意見には、本当にハッとしました。西條さん、ありがとうございます。東京新聞の対象犯罪の紹介方法は、分かりやすく伝えやすく、というより「ホラ見て、こーんなにあるんだよっ！」という意図を感じますが……。これらの情報を探していた中で驚いたのは、時事通信が『【図解・行政】「テロ等準備罪」対象犯罪の内訳』という記事を発信しており、おお！これで私たちへの宿題が減った！と喜んでクリックしてみたら、図などどこにもなく、表が一つあったのみだったことです。これで、図解と言うのか。衝撃の『図解』は、こちらです。また、久恒先生がおっしゃっていた、日本政府から国連特別報告者の所感への返信も見つけました。国連人権理事会の「プライバシーの権利」特別報告者による公開書簡に対する日本政府見解(外務省サイト)日本側は、「国際組織犯罪防止条例を締結するには必要な法の整備であり、すでに共謀罪として 10 年以上検討してきた。定義があいまいと言うが、対象犯罪はちゃんと定義している。そもそも、特別報告者が我が国の説明も聞かずに一方的に公開書簡を発出したことに強く抗議します。」と回答しています。テロは、昔と違い、悪の親玉がいて子分たちが起

こすものではなく、見えないテロの共鳴者が勝手に計画して実行してしまうゲリラ戦のようなものが増えていきます。だとすると、それを取り締まる法律も情勢の変化に合わせてはいけないと思いますが、今回の講義でテロ等準備罪の内容を少し理解したので、これを核に膨大な情報の中から久恒先生のように、ちょっと毛色の異なる面白い情報を救い上げられる力が身についたらいいな、と思いました。



2017 年 5 月 27 日 九段サテライトにてインターゼミ。
九段サテライトにてインターゼミ。
始まる前。



バートル先生(国際交流委員長)から。



金先生(アクティブラーニングセンター長)から。



学長講話

- 群馬県高崎高校で講演:AIと財政。小栗上野介。パナマ地峡経由でワシントン。ウィラードホテル。フランスの力を借りて横須賀に造船所。西郷・勝会談の条件。無傷で新政権に譲渡。三野村利左衛門。益田孝の三井物産。富岡製糸場の3人の女性。
- インド史:オスマン帝国の壁。インドのムガル帝国とはモンゴル。
- 大いなる多摩学会:リニア新幹線の相模原モデル。圏央道が9割完成。外環3道は5年いない。インフラ整備のインパクト。
- BS11。文庫の見学。
- 2017年5月:この夏をどう過ごすか?何を見てくるか?5月米国東海岸。6月香港。7月米国西海岸。8月ウイーンで中東エネルギー会議。9月モンゴル、
- 「脳力のレッスン 182-インド史の深層:キーワードをピックアップ。
パンジャブ。インド・パキスタン分離。シーク兵のターバンと髭。即席カレー。天竺。ブッダ。バラモン教を基礎として登場した自由思想活動家・修行者。「我執を断ち、苦を滅却して生きる意味を問い詰めたブッダ成る存在」。人口13.3億のインド。13.7億のインド亜大陸。ヒンディー語と英語。800を超す地方言語。灼熱の文明。ムガルとはモンゴル。古代インダス文明。アーリア人の侵入。マウリア朝のアショカ王。ヒンドゥ教。玄奘。イスラムの浸透。イスラム文化とヒンドゥ文化のモザイク構造。ムガル帝国の登場。インドの植民地化。英国東インド会社。分断統治。文明化の使命。帝国の論理。英(綿製品)・印(アヘン)・中(茶、陶磁器)の三角貿易。アヘン戦争。ボースとパル判事。影響力を残しながら後退する知恵。
- アジア・ダイナミズム班



- AI班。多摩学班



- サービス・エンタテイメント班



2017 年 5 月 29 日 T-Studioに「福澤諭吉」と「大隈重信」をアップ

- 多摩大インターネット放送局T-Studio。
「久恒啓一の名言との対話」シリーズもうすぐ 20 回。
16 回は早稲田の大隈重信。18 回は慶応の福澤諭吉。
福澤諭吉 <https://youtu.be/KMq-PI6cKDo>
大隈重信 <https://youtu.be/S81oBREPVHk>
- 九段サテライトで、研究開発機構評議員会を開催。
 - ・ 多摩大総研:大いなる多摩学会。多摩大出版会(トライアルで 3 冊刊行)。
 - ・ 多摩大情報社会学研究所:LINE「青少年のネット利用実態把握を目的とした調査中間報告」(中高生のスマホ所有率は 97%前後。LINE一日 10 回以上チェック 70%前後。twitter 一日 10 回以上チェックは 5-57%)。
 - ・ 多摩大医療・介護ソリューション研究所:文科省科学研究費。厚生労働省研究費。「口呂意図イノベーション」、「医療立国論」、。
 - ・ 多摩大ルール形成戦略研究所:サイバーセキュリティ国際標準化研究会。介護ロボット普及促進研究会。感染症対策の国際ルール形成研究会。アジアにおける減災制作研究会。CSO(チーフスタンダードオフィサー)CRO(チーフルールメイキングオフィサー)。

2017 年 5 月 31 日 多摩大「シルバー・デモクラシー企画」第一弾「山梨県南アルプス市で田植え体験X講座」、大成功！

- 5 月教授会
 - ・ 学部運営委員会:委員長 4 人が韓国済州島への研修のため少し念入りに打ち合わせ
 - ・ 半数の 4 つの委員会は副委員長が報告。教務は中村その子先生、学生は大森先生、国際は中村有一先生、アクティブラーニングは志賀先生。少し景色が違う。
 - ・ 小林学長室長:南アルプス市でのシルバーデモクラシー企画(多摩大主催)の報告(大成功)。5 月 28 日(日)多摩大学「シルバー・デモクラシー企画」第 1 弾、「山梨県南アルプス市で田植え体験×講座」を実施 - 多摩大学 ニュースリリース
 - ・ 杉田学部長:来年度の出校日調査。
 - ・ 私は 4 月・5 月の大学戦略会議と大学運営会議の報告。
- ラウンジ
 - ・ 小林先生:シルバーデモクラシー企画
 - ・ 下井先生・大森先生:多摩大出版会
 - ・ 飯田先生:読書プロジェクト
 - ・ 志賀先生:韮崎の大村智先生の美術館
 - ・ 大森映子先生・中沢先生:関戸地球大学院

- ・ 山本さん: インターネットラジオ。南アルプスイベント。
- ・ 高野課長: 大いなる多摩学会・入手パンフレット
- 研究室
 - ・ 本係長: 大学戦略会議
 - ・ 松本先生: 多摩大出版会。
 - ・ 来客: 長弘さん

2017 年 6 月 1 日 本日のリレー講座は白井さゆり先生「金融政策と経済物価情勢」

● リレー講座。

講師: 白井さゆり先生(慶応義塾大学教授・前日本銀行政策委員会審議委員)

タイトル: 金融政策と経済物価情勢

- ・ 日銀政策委員会審議委員を 5 年間: 審議委員は取締役にあたる。フルタイム。総裁・副総裁 3 人の執行部の監視。フルタイム。白川総裁 2 年・黒田総裁 3 年。2013 年からは大変は実験。円安・株高。世界の大注目を浴びた。白井はマイナス金利には反対した。
- ・ 海外・ブルバークテレビ出演。外国の情報。15 の中央銀行で講演。テレビ東京のモーニングサテライト(5 時 45 分から)。5 年間休みは一日もない。論文を読む、執筆なども含めモーレツに勉強した。英語で世界で戦える人は少ない。イエレン(米FRB)、ドラギ(欧州中銀)、カーニー(イングランド銀行)など自分の言葉でしゃべる人たち。
- ・ 2016 年の世界経済は 3.1%成長。2017 年はもっとよくなる。米・欧・資源国(50ドル)、日本も 1-1.3%成長。インフレ的な状況になる。長期金利が上昇する。リスクはアメリカのトランプ政権。もう一つは現在の好景気は景気循環かも知れないこと。
- ・ 金融政策の転換期。金融緩和をやったがリーマン前よりは悪院。金融政策に依存。アメリカは利上げ開始・引き締め。19 ヶ国のユーロ圏のECD(欧州中銀)のドラギ総裁は周辺国の危機を乗り切り功績あり。金利低下が長く続き効果がなくなってきた。副作用。もう限界。
- ・ 日本: 白川総裁は 2%物価目標。黒田総裁QQEという次元の異なる金融政策で国債を買いまくった。年 50 兆円、2014 年には年 80 兆円に拡大。国際は安全資産。他の金利も追随する。ETFによる株式購入。日銀には 350 兆円が積み上がりリスクもある。2016 年 1 月のマイナス金利では銀行に影響がでている。仲介が難しくなっている。タンス預金が増えて経済の循環が阻害。日銀はすさまじい規模でやれることは全部やった。副作用はあるが、効果もあった。この政策はやるべきものだった。しかし物価目標 2%は達成できていない。今は0%に近い。
- ・ 日本経済: 家計支出は増えていない。住宅着工は横ばい。鉱工業生産は下がっている。輸出数量は増えない。円安で業績向上で株価は上昇。家計では雇用はいいが賃金は上昇しない。これだけやってきたが結果は横ばい。なぜか? 日銀に依存しすぎている。

110 円・1.9 万円といういい状態は続かない。金利は上昇していく。

- ・（始まる前に、白井先生と雑談。バイタリティあふれる勉強家。）



- 水谷IR室長
- 杉田学部長
- 渡辺先生
- 授業準備(学部・大学院)と自己点検資料の読み込み。

2017 年 6 月 2 日 副学長日誌

授業: 本日のテーマは「図解文章法」。

ラウンジ

- 杉田学部長
- 松本先生
- 高野課長: 学長からの伝言
- 杉本係長: 戦略会議

研究室

- 橘川先生: 永平寺、マニタ書房、ユーチューバー、、、、
- 事務局との定例ミーティング: 宮地局長・川手課長。

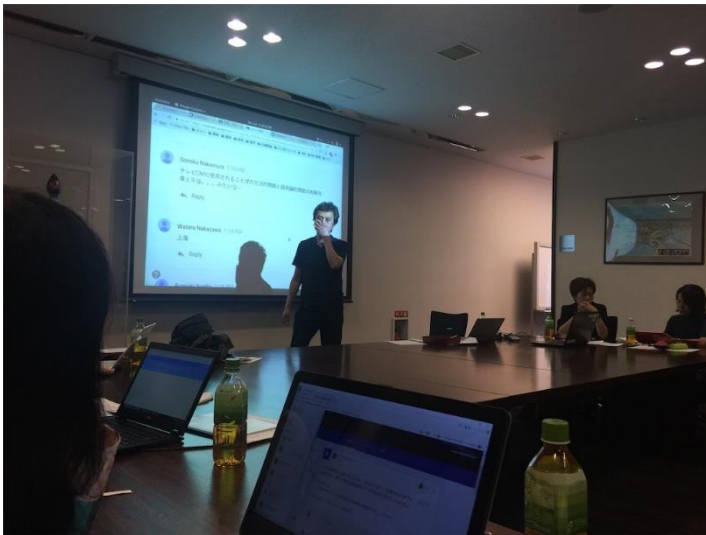
2017 年 6 月 3 日 研究活性化委員会主催のFD勉強会:プログラムが充実しており、教授陣の研究活動が進む

FD勉強会。グローバルスタディーズ学部から高橋先生と杉下先生も参加。

- 図書館(池田課長)のデータベース:電子ジャーナル検索。日本の論文・世界の論文。図書。新聞記事。雑誌記事。研究者・学会。他図書館。(JapanKnowledge.をどうするか?・首都大図書館? 図書館で!学外から?)
- 佐藤先生「GoogleClassroom」(復習と訓練!)
- 文教大学の森一将先生「科研費調査書書き方のコツ」:必読参考書「科研費獲得の方法とコツ 改訂版第 4 版」(児島将康)。「科研費申請書の赤ペン添削ハンドブック」(児島将康)。サイト「科研費新姓書類お書き方のコツ」(<http://www.kakenhi.net/>)(kaken データベース! 日刊ゲンダ web。)
- 研究活性化委員会の出原先生:kaken データベース
- 研究活性化委員会委員長の下井先生:実例紹介

感想:敵を知り己を知らば百選危うからず。今年は史上最高の昨年実績を上回る申請になることは確実。研究分野も「量も質も」。採択が増えるだろう。





インターゼミ。最来週の研究計画発表に向けて





2017 年 6 月 4 日 自己点検ヒヤリングの日

自己点検ヒヤリング。

8 つの委員会を対象としたヒヤリングは、朝 9 時から 18 時まで。両学部、大学院の動きの全貌が見える貴重な時間だ。委員長・課長等も緊張するが、私も含めて学部長・研究科長・事務局長も質問や意見を投げかけるのが役目なので、気を張り詰めていなければならない。中期計画の進捗状況を含め、2 学部・1 研究科の全てを見渡せるので、現状認識だけでなく、改善点や方向感が共有できるので大事な日である。大学院も含めベクトルがさらに合ってきたことを実感できた。

以下、ヒヤリング風景から。





2017 年 6 月 7 日 副学長日誌

- 健康診断
- 樋口先生: 久しぶりに研究室で歓談。ブータン、上海、モンゴルなどの旅行で忙しいとか。食事会を予定。
- 杉本係長: 教育内容説明会資料確認。
- 趙先生: 済州島セミナーの報告あり。

2017 年 6 月 8 日 副学長日誌

- 杉本係長:教育説明会資料
- 山本さん:トレンドウオッチャーのスケジュール
- 趙先生
- 入試課で「偉人の命日 366 名言集」をピックアップ
- 杉田先生
- 松本先生:大いなる多摩学会
- 高橋さん:沖縄での講演会。大館での講演会。

- リレー講座:宮田律「トランプ政権の対テロ戦争と日本」
 - ・ アメリカのイスラエル政策:緊密な同盟国。ホロコーストへの同情・正義の弱者への同情という道徳的・イデオロギー的要因。親米・過激主義への防波堤という政治的・戦略的要因。アメリカのユダヤ系市民とイスラエルとの結びつきという要因。強力な圧力団体AI PACなどユダヤロビーの巨大な影響力という要因。
 - ・ トランプ政権は特にイスラエルを支援する:716 万人(全米の 3%)のユダヤ人はマスコミ、ハリウッドなどで力がある。
 - ・ 世界はどのような時代になっているのか:ロシア・アメリカ・EU・ISなど、トランプのデマゴーグに引きつけられている。
 - ・ トランプ大統領:イスラムに対するヘイトを繰り返し当選。ムスリムをスケープゴートにし恐怖心を利用(ヒトラー)。狂犬と呼ばれるマティス国防長官。
 - ・ パレスティナ和平の進展:親イスラエル政権のトランプは真逆の発言を繰り返している。
 - ・ ペンス副大統領が大統領になれば、。
 - ・ 日本のなすべき役割:今まで好かれてきたイメージを磨き上げることが大事だ。テロの動機を与えないこと。日本は強い国ではなく「賢い国」になれ(なだいなど)。中村哲医師「仕事をしていれば戦争は考えない。仕事がないから戦争に行く」。中小企業育成で世界の平和を後押しせよ。アラブの失業率 20%、生産性が低い。女性の教育率を向上させ社会進出させ出生率を低下させる。子たくさんで食が追いつかない。
 - ・ 日本にできること:イスラム文明への敬意を持つ。中世ヨーロッパの発展に多大なく貢献をした。ラテン語翻訳、ゼロの発見、十字軍による知識共有、三角法、ユークリッド幾何学、振り子の法則、錬金術、アルカリ・アルコール、。イスラムの価値観は、協力・扶助・献身。日本人はイスラム世界に尽くしてくれた十思ってもらおう。うらまれないようにやるべきだ。日本はアメリカと一体にならないようにすべきだ。トランプはいつまで保つか? 国連平和維持活動(PKO)のシリアゴラン高原での兵力引き離し等に活路をみいだせ。

2017年6月9日 ハードな一日:学部授業「ビジネスコミュニケーション」。教育内容説明会「大学改革の多摩大モデル」。大学院授業「インサイトコミュニケーション」

本日は、ハードな一日。午前:多摩で授業と教育内容説明会での基調講演。夜は品川の大学院で授業。帰宅は23時を過ぎた。

- 橘川先生
- 学部授業「ビジネスコミュニケーション」9回目。本日のテーマは「図解広告」。
- 総研にて、松本先生と橘川先生と明日の「大いなる多摩学会」の打ち合わせ
- 事務局との定例ミーティング:杉田学部長、宮地局長。
- 本日の教育内容説明会の打ち合わせ(第一会議室)
- 学長:新刊を手交。いくつか確認。モンゴル、、、。
- 高校の進路指導の先生対象の教育内容説明会。

まず、寺島学長の基調講演「日本の教育のに問われるもの」



続いて私の基調講演「大学改革の『多摩大モデル』」:大学改革の多摩大モデル(開学時)。2000年代に凋落・危機が顕現。2009年の20周年から改革のステージへ、大学改革の多摩大モデル構築への3000日(再建物語)。。。。。。新刊「偉人の命日366名言集」を配布。終了後、私は品川の大学院へ直行。その後は、安田学部長、杉田学部長、入試説明、個別相談・懇親会と続く。

バトル先生:奥様の様子を聞く。

- 大学院:本日のテーマは「修士論文の書き方ー図解文章法」



以下、受講生の感想から

- ・ 今日のインサイトコミュニケーションの講義は、修士論文を書けるようになる講義、とのことで、この春入学し、テーマも決まっていないのですが、先輩方は「早く着手した方が良いよ」と皆さん、口をそろえておっしゃるので、楽しみにしていましたが、そもそも書くことがない人は書けない(そんなもの読ませるな)、でした！当然ですね……。●文章を書く前に、設計図を作れ。まずは、伝えたいことを図解して、目次を作ってしまうこと。次に、目次の各項目を文章化し、全体が出来上がったら、遂行すること。最初に、図解した目次を作っておくと、設計図がしっかりしているので、話が迷走しない。目次ごとに文章量を調節すれば、全体の文章量もバランスよく調節できる。確かに、本を書こうと思ったら、先に目次を作れ、と言います。目次を並べるだけでなく、図解することで鳥瞰図ができるので、足りない項目を見つけたり、全体のバランスを図ることが簡単になります。●文章で一番大切な言葉とは……。実際に、久恒先生が描いた図解をもとに文章を作ってみましたが、今いち、パツとしません。そのカギは「接続語」でした。節と節、文章と文章、段落と段落、これらの要素どうしをつなぐ接続詞は、単につなげる接続詞でなく、要素間の関係を表す関係詞、だからとても大切、という解説が大きな学びでした。私は、文章を長々と書くのが得意です。だから、読むのが大変だと言われます。これからは、項目どうしの関係を分かりやすく接続詞で表現するように気を付けます。●意外な組み合わせがワクワクするコツ。また、意外な組み合わせに人は惹かれる、という本の題名のつけ方のお話も面白く感じました。生産、というと、頭を使わず、身体を使う感じがしますが、それに「知的」を組み合わせ、て、「知的生産」とした。「知的生産」に「技術」という全く合わないものを掛け合わせたことで、意外性が出たわけですね。人が「エッ？」と思う組み合わせは、興味がわきますし、自分でも新たな発見ができるのではとワクワクします。●評価じゃない、評判が大切。人は数値のように目に見えるものに惹かれがちですが、実際は定性

情報を見なければ、本当の背景は見えてこない。評価より評判、というお話がありました。そういえば、私の会社も、以前は「お客様の声」を大切にしていたのですが、最近は「顧客満足度調査」などとスコアにシフトしてきています。顧客満足度調査のスコアでは、結果の背景や真の原因が見えなくなるので、改めて、回答票の自由記入欄に注目してみようと思います。●忘れたくない言葉。東山魁夷氏「時が過ぎ去って行くのでは無く、私達が過ぎ去っていくのである」
<https://note.mu/hisatune/n/nf86f3faba2d7>
[\[https://note.mu/hisatune/n/nf86f3faba2d7&h=atmdgigkq0l2wayqf-ospv0eaaawext3_2_bbjkl8reucym6wpygeu4lzb_3zkk_yicdzsu0fh268tphkd-fzuuuvp_ttvut3szvj-5ijzzf5hmsbcxw14mlnf0siy74oidb3ktig8c2eswbdgudg&enc=aznnuzki-3hlp1e3l_hwobqeesevuhmolmkrpttr18ig6qr9hwnkpl6pzwihgt8druhlx5ffmkk1lwzikkqshu0_j85ugkx2cdrarvks11n3lyh2q6ssqtsozlvcb-gvneypgfazaseaij4xkj3ig3bw4rmaedoylyqjrl1jddbozmp14k3j20_-aij7-xxve&s=1_green\]](https://note.mu/hisatune/n/nf86f3faba2d7&h=atmdgigkq0l2wayqf-ospv0eaaawext3_2_bbjkl8reucym6wpygeu4lzb_3zkk_yicdzsu0fh268tphkd-fzuuuvp_ttvut3szvj-5ijzzf5hmsbcxw14mlnf0siy74oidb3ktig8c2eswbdgudg&enc=aznnuzki-3hlp1e3l_hwobqeesevuhmolmkrpttr18ig6qr9hwnkpl6pzwihgt8druhlx5ffmkk1lwzikkqshu0_j85ugkx2cdrarvks11n3lyh2q6ssqtsozlvcb-gvneypgfazaseaij4xkj3ig3bw4rmaedoylyqjrl1jddbozmp14k3j20_-aij7-xxve&s=1_green) 久恒先生の継続力の秘訣を知りたいです。

- ・ 先生がおっしゃった通りに、接続詞が重要で、文脈をはっきりします。文章を読んでいる時、図解で理解を助けます。しかし、自分が文章を書く前、よく漢字で発想を表して、図解で書くのにまだ慣れないです。このあともっと練習します。人により、幸せも違います。幸せは一体なんですか、私もまだわからないです。なんとなく、幸せは精神的な満足感だと思います。捨てなければ、得られないと思い、経済的自由と時間的自由のバランスはどのように決めますか。自由というのは好きなことができるというより、嫌なことが拒否できる権利だと思います。年齢段により、求める自由も違います。できれば、もっと面白い人、優れた人と会って、あちこち旅行して、必ず人生を豊かにします。
- ・ 自分の修士論文を書くための図解作業については現在目次から図解を始めているところなので、これから内容について図解を進めていきたいと思います。本日の講義で考えさせられたところは「豊かさ」についてです。自由の拡大が豊かさにつながるというのは分かるのですが、個人の豊かさと家族の豊かさでは個人の豊かさが家族の中では制限されるとしても家族としての豊かさが大きければ個人としてもより大きな豊かさを感じるのではないかと思います。かみさんを失った中で感じたことです。
- ・ 図解から文章という本日の作業。図解はすでにポイントが絞り込まれており、また関係性も整理されていることから、①本当に書きたいことを漏らさずに書ける、②要点がブレず一貫性を保てる、③具体例を盛り込むことで字数の調整が可能、ということを学びました。論文の構成を練るうえでは図解は本当に欠かせないことを目の当たりにしました。論文を書かなければ、という焦りはありますが、まずは自身の頭の中にある論文構成を図解するというプロジェクトをしっかりと進めたいと思います。
- ・ 論文など、しっかりした文章を書く方法を学ぶ事ができました。特に、豊かさをテーマとした作文では、自分で豊かさを図解で定義しようと思い、トライしてみました。図解の訓練を引き続き頑張ります。
- ・ 本日は図解から文章を書く練習をする。豊かさについての創文は図が肚落ちしておらず、

文章にできない経験をした。一方、文章読本の流れの創文の場合は、説明する文字はどんどん出てきても、自分のモノでない上滑りした文章だという感覚を味わう。図解という設計図があったほうが、文章を書きやすいと頭で理解できているものの、まだ完全に納得できていないようで、もやもやとした感覚が漂っている。講義中に何度か触れられたが、やはり自分で図解しないとつかめないのだと思う。一方、以前の講義で図解の作業をしていた時に、言葉と言葉を矢印でつないただけでは、お互いの関係性が分かりにくい…と迷うことがあった。「図解 8 割、文章で 10 割」という言葉に、関係性を明らかにするのが接続詞なのだとこの点は納得。接続詞の使い方をもっと意識しようと思う。

- ・ 本日は図解から文章を書くという演習でした。書きながら考えるのではなく、書くべき事が予め整理されているので、脱線せずすらすらと書けることに驚きを感じました。重要なのは接続詞だという先生の言葉も印象的でした。物事を考えるという事は要素やその関係性を明らかにし、新たな組合せを考えるという事だとあらためて感じさせられました。

2017 年 6 月 10 日「大いなる多摩学会」の総会を高幡不動信徒会館で開催

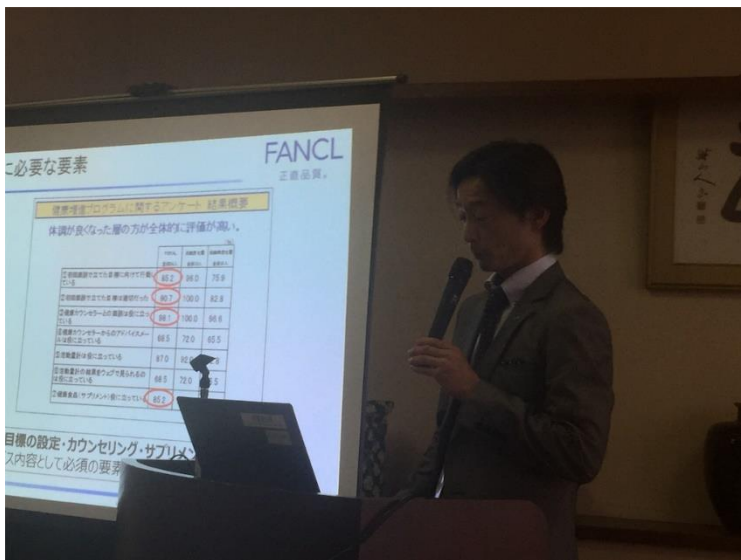
高幡不動にて大いなる多摩学会の総会を開催。挨拶の日。

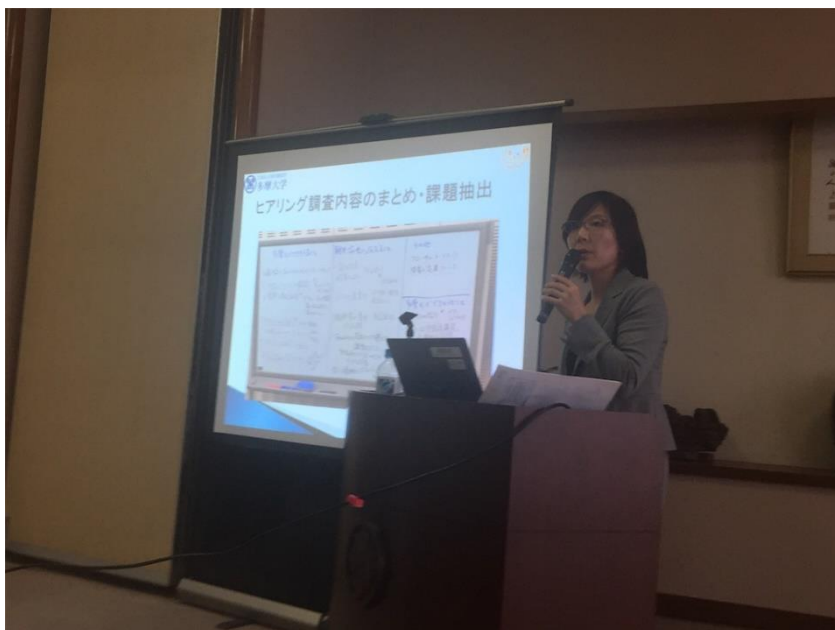
- 理事会・幹事会・アドバイザー会議：冒頭の私の挨拶「一周年。学会報創刊号。大いなる多摩の全体と未来を考えるプラットフォームがこの学会。未来は 2030 年代。未来の構想を提示。ビッグピクチャー。大多摩学会」
- 総会（司会は事務局長の松本先生）
 - ・ 私の副会長挨拶：「高幡不動。人物記念館の旅。新刊。大いなる多摩 32 館を訪問。新撰組。自由民権運動。文学者。画家・彫刻家。漫画家。実業人の美術館。明治天皇と昭和天皇。。。大いなる多摩人巡礼。。。」
 - ・ 寺島会長の基調講演：多摩の DNA。。。。
 - ・ 議事（議長を担当）：第 1 号議案「2016 年度事業報告・収支決算」。第 2 号議案「2017 年度事業計画」が了承される。
 - ・ 研究プロジェクト報告：健康まちづくり産業 PJCT。創業支援プラットフォーム PJCT。湘南藤沢におけるインバウンド PJCT。ビッグデータ活用による大いなる多摩創生 PJCT。
 - ・ ワークショップ「TAMA2030」。











大いなる未来を感じさせる総会となった。

2017 年 6 月 11 日 多摩大フットサル部、まずは東京で優勝、今年は全国制覇を！
 全国大学フットサル選手権東京大会。準決勝で明治学院大学を 4 対 1、決勝で東大を 3 対 1 で破り優勝。顧問の杉田先生の解説を聞きながら決勝戦を観戦したが、凄い迫力だった。関東大会、そして全国大会を勝ち抜いて、「今年は全国制覇を！」と激励。



2017 年 6 月 13 日 グローバルスタディーズ学部の学部運営委員会に出席

湘南キャンパスのグローバルスタディーズ学部の学部運営委員会に出席。

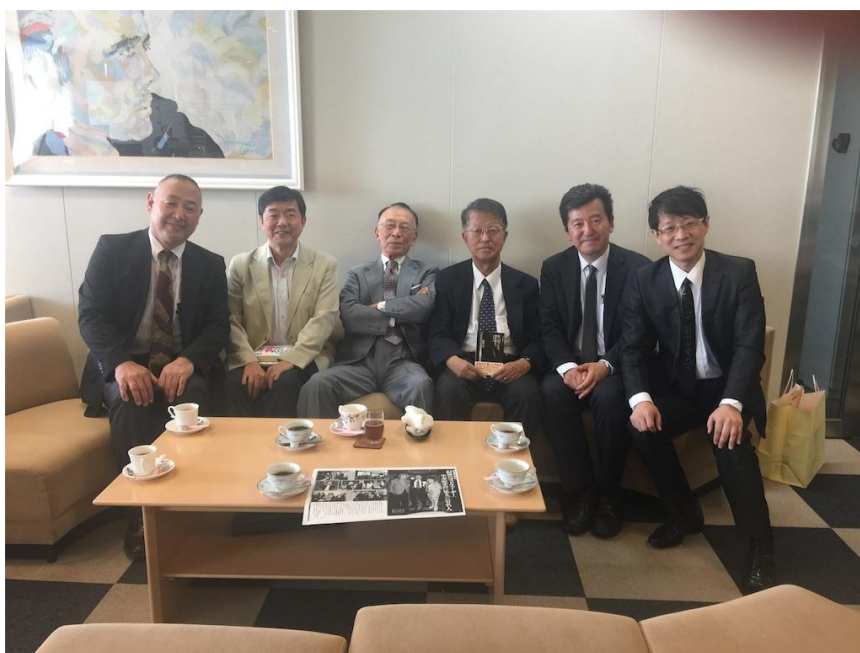
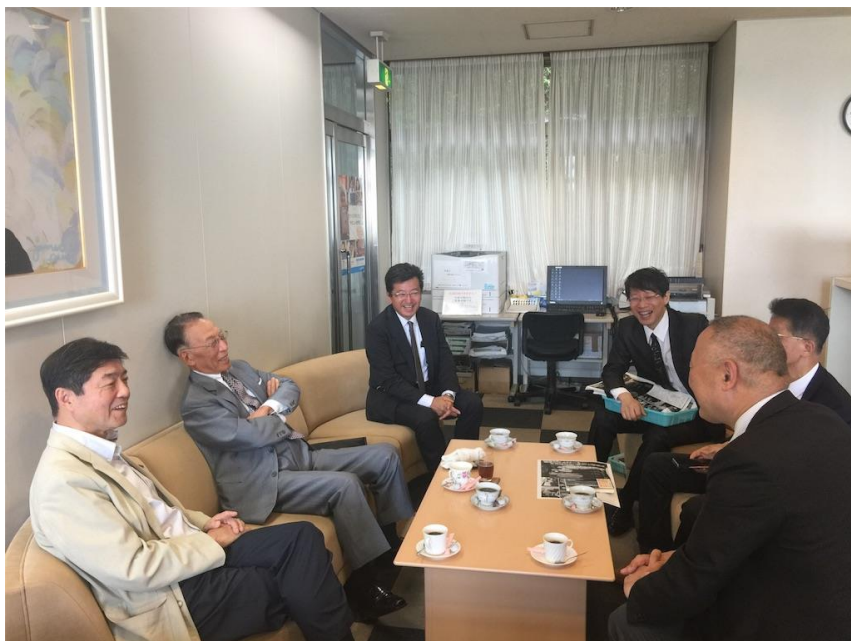
- 大学戦略会議・大学運営会議。自己点検ヒヤリング。再任。共同研究費・共通教育費。後援会総会。ふじさわ産業フェスタ。(名桜大学への長期留学。保健室とカウンセラー。短期留学はロンドン・カリフォルニア・ハワイ中心)
- 入試:9月入学。就職:障害者向けガイダンス。在日米軍施設。教務:ホテルセミナー。学習支援室。学生:離学率のデータ。研究:科研費勉強会。

2017 年 6 月 14 日 副学長日誌

- 高野課長
- 川手課長
- 飯田先生
- 樋口先生
- 金先生
- 松本先生

2017 年 6 月 15 日 副学長日誌

- 梅沢先生
- 小西先生:金沢星稜大学の学長を経験した父上・小西滋人先生を交えて歓談。
- 趙先生・杉田先生
- 渡辺先生:ホテル講座の件を相談。
- 木村先生:ゲスト講師のNHKデジタルコンテンツセンターの原神センター長を紹介される。
- 野田先生を囲んで懇談
- 野田先生の講義:「人生計画を立てよ」(人生計画、これも立命のことだ)

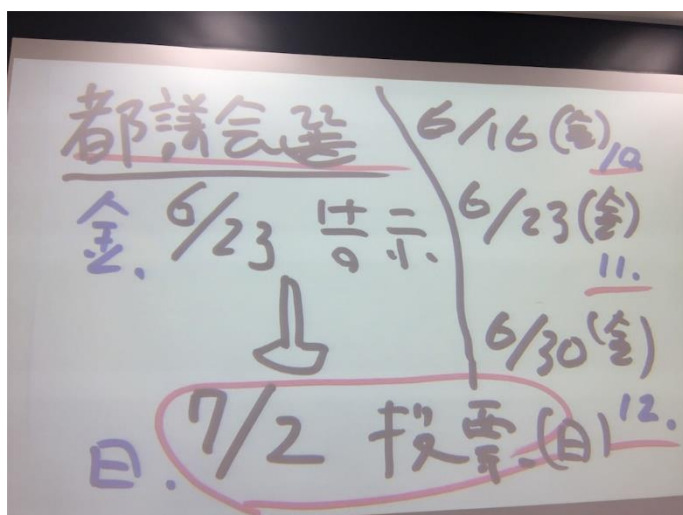




2017 年 6 月 16 日「東京都議会議員選挙」

橘川先生と懇談。

今日の授業のテーマは「東京都議会選」。新聞各紙の都議会選挙に関する社説などを材料に図解に挑戦。来週以降は各政党の公約を図解する。投票率が高まるだろう。



マグネットの岩澤さんと打ち合わせ打ち合わせ。ホームページのリンク切れの修復。名言の朗読、

キャリアの企業の女性と名刺交換。田原さん、飯泉さん。

2017 年 6 月 20 日 副学長日誌

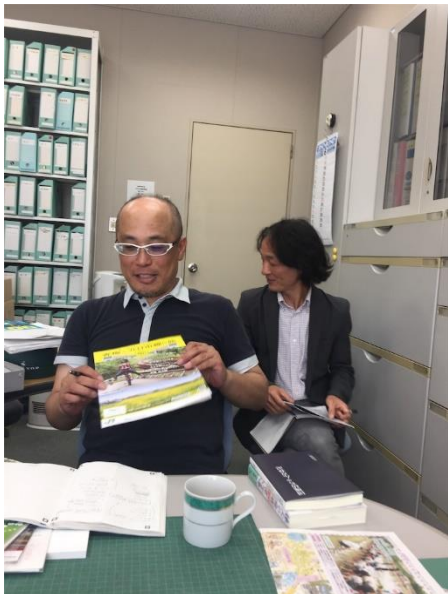
- 研究室で秘書と打ち合わせ
- 高野課長

2017 年 6 月 21 日 副学長日誌

- 人事委員会:教員採用
- 学部運営委員会
- T-Studio で「名言との対話」を収録。今回は新著「偉人の命日 366 名言集」を題材にした。これで 2 本から 4 本くらいの分量か。
- 小西先生
- 趙先生

2017 年 6 月 22 日 リレー講座:寺島学長「17 世紀オランダからの視界ー世界認識の再構築」ーオスマン、サファヴィー朝ペルシャ、鄭和の大航海、インド史の深層、東南アジア

- 矢沢コーポレーションの大島顧問と佐藤部長:高野課長同席
- GOODLIFE TAMの石原さんと造田さん:メディアネットワーク。イマ・タマ。観光ポータルサイト。タマチキ。タマ NAVI。インスタグラム。FM、、、。



- 知研の八木会長、高橋さん:東北。九州。中国。北海道。

- 学長への報告と相談:教員採用、ホテル講座、多摩大出版会、30 周年、、、。
- リレー講座:講師は寺島学長



テーマ「17 世紀オランダからの視界ー世界認識の再構築」

- ・ シルバーでモクラシー:80 歳のなかにし礼は国に裏切られた世代。戦後世代は国家権力に鈍感。
- ・ オスマン帝国の壁だったというマイナス面と文化面のプラス
- ・ サファヴィー朝ペルシャはオスマンの後門の虎。シーア派イランは民族ではなく地理的概念。
- ・ インドのムガル帝国。ムガルとはモンゴル。イスラムとヒンディ。
- ・ 明の永楽帝時代の鄭和の大航海はアフリカまで。
- ・ アジアとはアッソスという地名から。西洋の対置概念。バタヴィア(インドネシア)経由の情報。オランダ風説書によるゆがんだ世界観。
- ・ BREXIT。メイの誤算。若者の 62%が労働党へ投票(学費無料・福祉充実)。シルバーも保守党から離脱(介護の負担増)。氷の女。
- ・ チャーチルは 1940 年 5 月 10 日という最悪の時期に首相に就任。父の言葉「国民を信じよ。それがデモクラシーだ」。アメリカは 1941 年 12 月 7 日の真珠湾攻撃の 3 日後にドイツ戦に参戦。これでヒトラーを破り、イギリスは救われた。日本はヒトラーのナチス・ドイツと組んだ。
- ・ 現在は国家主義・国権主義への回帰。軍隊と警察の教化。戦前への回帰。海外ではプーチンとトランプにすり寄る日本という評価。受け身の民主主義の崩壊か、戦後民主主義は根付いたのか。そこが問われている。

2017年6月23日 朝、多摩キャンパス(学部授業「東京都議選」)。午後、湘南キャンパス(教育内容説明会)。夜、品川キャンパス(大学院授業「東京都議選」)

- 朝、多摩キャンパスで授業: 本日のテーマは「東京都議会選挙」。告示日の新聞朝刊の各党の代表メッセージを図解する演習。政治意識に目覚めていく様子がみえる。
- 午後、湘南キャンパスで高校の進路指導の先生方に向けた教育内容説明会。私は冒頭に30分の基調講演「大学改革の『多摩大モデル』」。以下、経営情報学部については杉田学部長、グローバルスタディーズ学部については安田学部長、入試については太田入試委員長が説明。写真は杉田学部長。



- 夜、品川キャンパスで大学院授業。テーマは「東京都議会選挙」
以下、受講生の感想。「他人事から自分事へ」
 - ・ 都議選の図解の冒頭、図解をした人は皆、投票に行くと言われ、本当か？と半信半疑でしたが今回はその威力も感じる事ができました。図解は外からくる情報を咀嚼し自分なりの解釈で再構成する作業であり、そのプロセスを踏むことで他人事から自分事へ移行する機能も有する。単に物事を整理し理解を深めるだけではなく主体的に関わって実践的な行動を促す効果があることも実感しました。
 - ・ 都議選各政党の図解作業。まずは各政党の主張や政策、議席数から、それぞれの力関係や位置関係を明確にすることを心掛けました。ただ、それだけでは考えがまだ浅く、築地豊洲問題や子育て対策、環境対策等の切り口による自分なりの分析が必要であることに気が付きました。もう1歩踏み込んだ自分なりの切り口で考えることで、さらに理解が深まるということを実感しました。ただ、各政党、政策はどれも同じような内容になってしまう事実、、そんな中、多摩地域に力を入れる政党、カラーを感じます。都議選に向けてもう一度熟考し、投票に行きたいと思います。
 - ・ 都議会議員選挙の各政党の争点がよく分かったと思います。特に自民党が個別の政策を論じずに政党批判と政治姿勢を争点としているなら、国政の影響が大きく都民にとつ

ては迷惑な話だと思う。棟方さんがおっしゃた様に自民党が低投票率による組織票での議席獲得を狙っているとしたら、本当に都民はたまったものではないと思います。

- ・ 本日は都議選を図解。各党の現状の力関係や選挙戦に向けた主張を整理しました。自分が都民だったらどこに入れるか？の視点で見えていきましたが、国政が混ざってきている印象が強く、そもそも都民に向けたメッセージが無かったり、とりあえず子育て支援を挙げておくような感じがあり、争点と都民の生活に距離があり、党の単位ではなかなか選びにくいと感じました。秋に川崎市長選があるようなので、そこでも図解の視点で候補者の主張や背景を整理して見たいと思います。市長選であればより生活に密着した主張が前面に出てくるとはと思いますが、投票の意思決定ポイントになるのは実現性ですかね。どれだけ素晴らしい施策でも実現しなきゃ生活は変わらないので。その点も気にして見て行こうと思います。
- ・ 都議選告示の本日、都民でない私は初めて、図解を通し 8 政党の戦略や論点を知りました。 $+ \alpha$ で拾い上げた情報にかえてって惑わされ、各政党の紙面上配置や関連性表記が他学生とずれましたが、公約の一部を能動的に知る良い機会となりました。前川さんの非公開会見の図解を試みたかった...(呟き)講義終わりに先生の著書『偉人の命日〜366 名言集〜』が紹介され、私の誕生日は吉本隆明さん。おまけ: クラスメイトは 3 月生まれが多いようです。
- ・ 講義ありがとうございました。都議選の理解が深まり、断然投票しようと思いました。
- ・ 本日は欠席し、申し訳ありませんでした。自宅そばにある昨日まで空白だった掲示板には、今朝になると一斉にポスターが貼られているのが見え、候補者の名前を連呼する声がかましく聞こえ、選挙戦が始まるのを感じました。今までの選挙は恥ずかしながら何となくここかな〜と漠然と考えたり、あるいは消去法で投票しておりました。今回は明確な理由を考えて投票に出向こうと思います。

2017 年 6 月 24 日 副学長日誌

品川: 大学院教授会

- 徳岡研究科長と懇談
- 教授会: 博士課程の指導。カリキュラム。デーサイエンスコース。
- 事務局の福井さん: 授業の様子の広報について

九段: インターゼミ

- パートル先生: モンゴル出張関係。「草原の記」(司馬遼太郎)、。
- 水盛先生・松井先生・学生・OB
- 学長講話: 17 世紀オランダ論、1 回 100 冊、45 回で 4500 冊。共同幻想を描きにくい時代。坂の上の雲の時代は国家と個人の目標が一致。東芝、銀行、東電、。食うことはできる、手応えのある仕事か。「かせぎとつとめ」。自立と貢献。ダブルジョブ。自分はどうするのか。中年

の危機。使命感と出会い。

- 寺島文庫の見学：学長の説明。寺島文庫駒沢ハウス。ペリーのサイン入り本。マッカーサー回想録のサイン本、降伏文書サインのパーカー万年筆、厚木に降り立った時のパイプ、、、。歴代大統領のサイン。シュメール文字。マリアテレサの銀貨。ケンペルの「日本史」初版本。エノラゲイの 3 人のサイン本。オランダ東インド会社の通貨。カント「恒久平和論」も初版本、、、。
- 文庫の書棚の一本。マッカーサー、日米関係、エノラゲイ、、、。



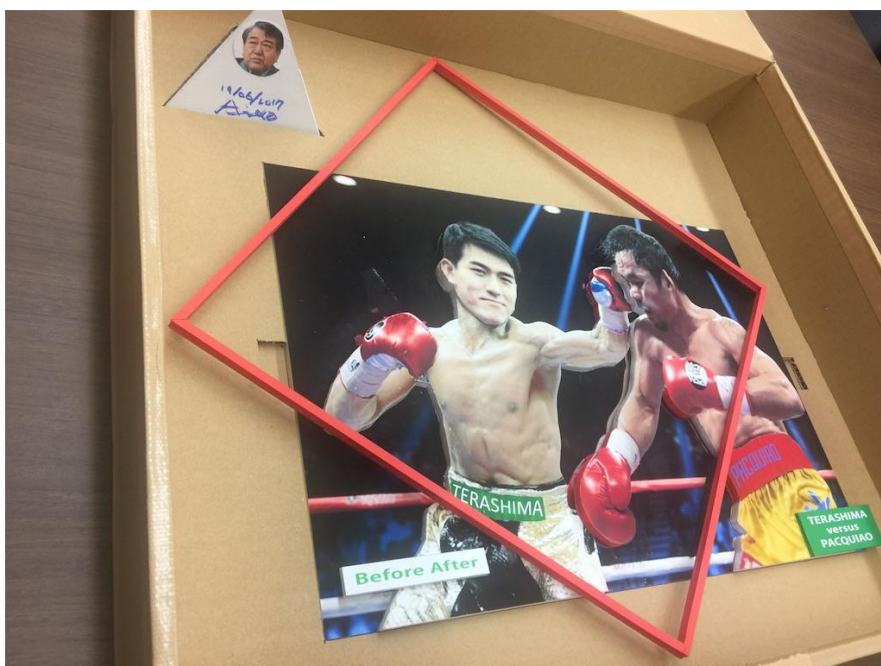
林子平「開国兵談」の日本地図



インターゼミ受講者



安藤忠雄から贈られたもの。寺島対バッキオ。



福澤諭吉の「学問のすすめ」の初版。小さい！



2017 年 6 月 25 日 多摩大学経営情報学部後援会教育セミナーを開催

多摩大学経営情報学部後援会教育セミナーを開催。

私は冒頭の挨拶(多摩大の現状報告):経営と教育。



杉田学部長:教育方針



2 年生の広野。「編集部」「ミス・ミスターコンテスト」「オリエンテーション」「多摩大サポーターズ」「韓国チェジュ島」。。教職員の協力。名前を覚えてしてくれる。



3 年生の荒井。「アットホームな大学」「ニュージーランド・中国広東・カンボジア」「バイブリッドメディア研究会」「インターゼミを 3 年間」。就活中、。。



4 年生：青木。「城南静岡」「不登校」「学生寮」「オーストラリア・韓国チェジュ」「インターゼミ」。ローソンに内定。



第二部：ゼミ別懇談会

終了後、ラウンジで同僚の先生たちと懇談。中庭先生、松本先生、杉田先生、飯田先生、金先生、趙先生、。。。。。

2017 年 6 月 27 日「東京都議会議員選挙」の公約の図解、学生たちの変化は？

- 先週の学部の授業のテーマは「東京都議会議員選挙」の公約を図解するだった。
以下のように、学生の興味・関心が高まっている。今週はもう一度試みることにしたい。
 - ・ 選挙が楽しみになった。
 - ・ 今日をきっかけに、テレビや新聞で政治に積極的に取り組みたいと思う。
 - ・ 何処の党に入れるかきちんと考え投票しようと、前回と今回の講義を受けて考えるようになった。
 - ・ 取りあえず自民党、という考えは捨て、自分が推していきたい政党を探したい。
 - ・ 今回の授業で知らないことが減り、これからの選挙に参加しようと思った。

- ・ 図解したおかげで、どこに投票しようか迷ってたが決まった。
- ・ 今まで選挙なんてまったく興味がなかったが、なかなか面白く、興味が出てきた。
- ・ 政治に関する印象が少し変わった。つまらないものではないと思った。今後も政治に参与する気がする。
- ・ それぞれの党の戦略や争点を理解した上で、どの党に投票するか決めることが出来そうだった。
- ・ 党や政治について少しずつ分かった気がした。2 週間、この講義を含め様々な人の意見を聞いてみて、自分の意見を持ちたいと思った。
- ・ 興味がなかったが、こうして読んでみると、面白い
- ・ どこに投票すればマイナスが少ないのかを考えられるようになった
- ・ 調べるキッカケができた。
- ・ 公明党の目標が少し高いと思う。
- ・ 市場問題が完全に小池都政を遅くさせ、しかし反小池には小池を沈めるほどの力はない。小池都政の良い所を伸ばし、悪い所を正す人間が都政に集まると良いと思う。
- ・ 国に対する見方が変わった。もう選挙権を自分達も持っているので、考えて行くべきだと思う
- ・ 民進と共産とネットと維新は都民を優先したマニフェストだった。
- ・ それぞれの党の戦略や争点を理解した上で、どの党に投票するか決めることが出来そうだった。
- ・ 大人の世界でもケンカじみたことをしてると思った。
- ・ 神奈川県民だが都議選のことが少し分かった。来週の講義に備え、テレビなど都議選についてチェックしたいと思う。
- ・ 私は相模原市民。もし投票するのであれば、都民ファーストに入れる。
- ・ 理解を深めることができた。アンテナをはって情報を仕入れていこうと思う。
- ・ 都議選が近づき、こういった機会を得られてよかった。投票までにしっかり調べたい。
- ・ 都議選前に、各党が何をアピールしているのかが、ハッキリ分かる新聞記事だった。
- ・ 中国は一党独裁。日本の立憲君主制を体験し、日本の政党を知った。
- ・ 日本の政党は分からない。難しい。
- 河合客員教授:近況を聞く。多忙の様子。
- 斉藤S先生:9月のビジネス実務学会での基調講演の依頼文書と内容の打ち合わせ。
- 夜は樋口先生と町田の「テラマジカ」で懇親。大学のこと、家族のこと、執筆のこと、。。

2017 年 6 月 28 日 副学長日誌

- 学部運営委員会:教授会前の打ち合わせ
- 金先生:SGS

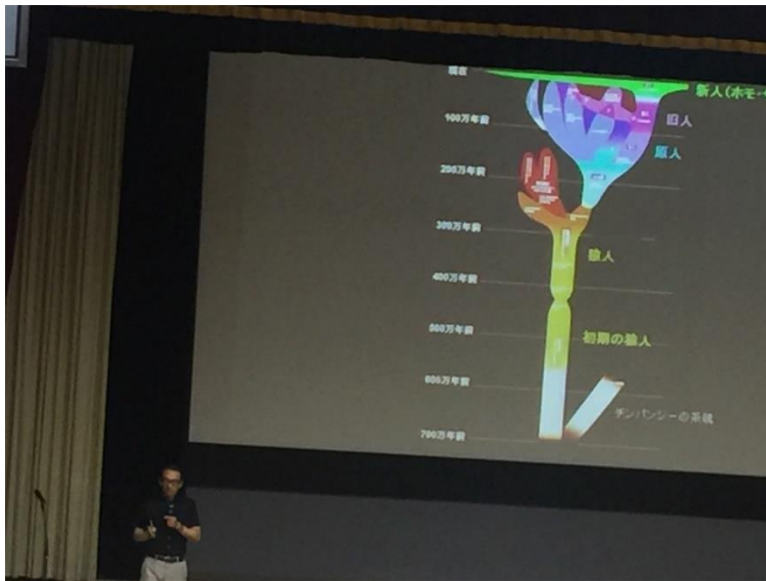
- バートル先生:モンゴル関係の読むべき本を貸してもらう。
- 教授会:10時40分から始まり12時5分に終了。
- 杉本係長:戦略会議
- 北山さん:ゼミOB
- 杉田先生
- 理事長報告:多摩大出版。多摩大モデル。SGS。フットサル部サブコーチ、、、。
- 就職関係打ち合わせ:中庭就職委員長・高野就職課長・杉田学部長。テーマは「質の向上」。
意義のあるミーティングとなった。
- 高野就職課長:就職関係の拙著を手交。

2017年6月29日 リレー講座:海部陽介(国立科学博物館)ー「ヒトはどのような生き物か・700万年の進化史から考える」

- 飯田先生:講座
- 志賀先生
- 金先生・杉田先生:学生案件
- OBの鈴木君



- リレー講座の講師の海部陽介先生と歓談:国立科学博物館。研究者60、事務60。動物医、植物医、人類、、、。人類史研究グループは5人。クラウドファンディング2600万円、、、、
- 14時20分:リレー講座:講師は国立科学博物館人類研究部人類史研究グループ長の海部陽介先生。



- ・ 人類史研究は総合科学。
- ・ 現在の人類はアフリカで誕生、その後なぜ今ようになったのか？ いつ人類が「人間」になったのか？ 人間の集団と文化の多様性は、いつ、どのように。なぜ起こったのか？
- ・ 人類史の 5 段階。初期猿人。猿人。原人。旧人。新人。
- ・ 初期猿人：手のような足。440 万年前にラムダス猿人。アフリカ。
- ・ 猿人：アフリカ。二本足歩行。400－300 万年前。立ち上がると手が自由になる、ストレスが減る。
- ・ 原人：ホモ属。並存。300－200 万年前。祖先。石器。肉食。脳のサイズが増加。
- ・ 新人：ホモ・サピエンス。アフリカ起源。全世界に広がった。マラソンが得意。汗をかくから体温を下げられる。北京原人、ジャワ原人、フローレス原(1m)。5 万年前に出アフリカし世界中に広がった。ヨーロッパではクロマニヨン人。絵を描く、おしゃれ、、、現代人のもと。
- 17 時半：品川の大学院で運営会議。

2017 年 6 月 30 日 学部授業「都議会議員選挙」。投票率は 66%。自民 31%、公明 22%、都民 19%、共産 6%、民進 6%、、という結果に、、。

多摩キャンパス

- 橘川先生
- 授業：3 回続けて都議会議員選挙がテーマ。前回は読売新聞記事、今回は東京新聞の記事の公約比較を配布し図解に挑戦。政治意識の高まり。以下、アンケート結果速報。



- ・ 都議選に行く 81 名 66%。都議選に行かない 41 名 34% 。 合計 122 名
- ・ 投票先: 自民 26 名 31%。都民 16 名 19%。公明 18 名 22%。共産 5 名 6%。民進 5 名 6%。ネット 1 名 1%。その他 6 名 7%。無回答 6 名 7%。



九段サテライト

- 13 時半: 第 1 回教学マネジメント会議: 教学ポリシーについての意見交換。
- 14 時半: 大学戦略会議: 今回は「教務」がテーマ。カリキュラムの課題。輪郭を際立たせる施策。前回の報告「地域」: 研究内容の可視化。産学官民連携。全学連携。
- 16 時: 大学運営会議: 学長「教授陣の質(研究者)。離学。雲南民族大学(雲南の戦略的重要性)。知の再武装」
- 帰りは、杉田学部長の車で話をしながら帰る。

2017 年 7 月 2 日 沖縄の結婚式

多摩大での最初のゼミ生の宮城君の結婚式。宮城君は沖縄県庁の教育部門に入って今は宮古

島の学校勤務。

冒頭の祝辞と乾杯をお願いされた。

「ゼミでは聖蹟記念館、インターゼミでは東鳴子温泉。公務員となり沖縄の問題の解決という志。琉球新報。新郎新婦の性格分析。アドバイス。夫婦論から。羅針盤が性格。、、」



私のテーブルは多摩大卒業生 6 人も。トランスコスモス。個人での物販(アマゾン)。アミューズメントメーカー。人材ビジネス。郵貯、、。全員 20 代後半。仕事の話聞き活躍に感激した。サムライの木内翔大、創新ラボの下山雄大、、。



200 人以上の出席者。学芸会風のイベント。踊り、、、。出席者の服装も礼服あり、かりゆしあり。沖縄の結婚式は独特の雰囲気。



2017 年 7 月 5 日 『偉人の命日 366 名言集』――Youtub

- 多摩大 T-Studio「名言との対話」第 18 回は「久恒啓一著「偉人の命日 366 名言集」
https://youtu.be/H7CCR_2Uf10
- 研究室:スケジュール調整
- 金先生:学生案件
- 高野課長:OB名簿への追加

2017 年 7 月 6 日 T-Studio 久恒啓一の「名言との対話」第 19 回をリリース

- T-Studio 久恒啓一の「名言との対話」第 19 回。
<https://youtu.be/EKIlJISv31Y>

- 上海東海学院の訪日団と面談。先方の学長は3回目の訪問。
協定に基づき交換留学、編入学などの具体策を協議。



来訪メンバー。バートル先生と黒瀬学生長



先方からのお土産を受け取る。杉田学部長と。



- 中庭先生：採用部会長の中庭先生から中間報告を受ける。杉田学部長。
- 梅澤先生：おくやみ
- ゼミOBの橋本君（多摩郵便局）来訪。



- 本日のリレー講座の講師の溝畑宏先生と歓談：日本電産の永守社長。佐川理財局長。前川前次官。地方。オリンピック事務局。原発。、、、。
- リレー講座：溝畑宏・大阪観光局長「観光立国とIRで日本を元気に」。
官僚。2002 年ワールドカップ。大分トリニータ社長。立命館アジア太平洋大学創立。観光庁長官。大阪観光局長。



- 高橋さん: 知研
- 電話: 八木。富田。畠山。

2017年7月7日 中国・上海東海学院の学生達のコメント。社会人大学院生のコメント

- 「ビジネスコミュニケーション」の授業 13 回目。
 - ・ 東京都議会議員選挙の総括
 - ・ 最終課題への取り組みを開始「2017 年の論点」(文芸春秋)
 - ・ 来日中の中国上海東海学院の学生達へのミニ講義(通訳はバートル先生)



以下、感想。

1 胡凌遠。東京都議選に関し図解という形で現在の日本の政治を表しており、とても勉強になりました。

2 左純。図解を用いて世界経済について解説するという手法に触れて、データの重要性を改めて認識しました。責任を持って丁寧に進める副学長の講義スタイルがとても好きです。

3 劉思傑。今日の講義は日本に来てから受けた講義の中で一番収穫の多い講義でした。長い文章を一枚の図でまとめることができるという図解の手法はとても不思議でした。また、東京都の都議選や日本と中国、台湾との関係についての先生のお考えも良く理解することができました。

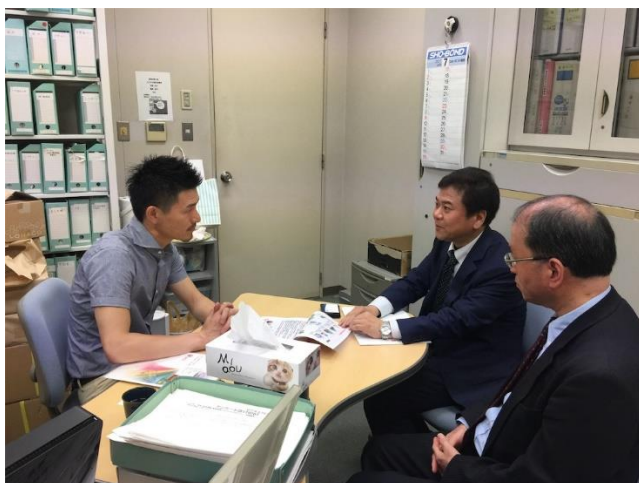
4 董敏。都議選を図解で示すという手法はとても興味深かったです。データも使っているので、簡単で便利、かつ分かりやすい。

5 張宇。先生は私たちに図解という非常に良い方法を教えて下さいました。これは私たちの人生にとっても有益なものだと思いますので、もし日本へ留学することができたら更に詳しく教わりたいと思います。

6 張文楊。とても印象に残る素晴らしい講義でした。文章の一語一句を漏らさずに読むのではなく、その本質を理解し全体を図解で要約することの大切さを教えて下さいました。中国に戻ってから本を読む時は図解という手法を試したいと思いました。

7 詹美佳。今日の先生の講義を受けて、中国と日本の教員の違いに気付きました。日本の先生は講義に対し厳格かつ真面目で声も大きい。中国では丁寧に解説する先生は少ない。今日は、日本をめぐる世界経済の現状について図解を使ってわかりやすく説明して下さいました。とても有益な講義でした。

- 長弘さんとバージョンアップの竹内社長と懇談。
- 公平係長に紹介



- 夜は品川キャンパスで大学院の授業「インサイト・コミュニケーション」7回目。



以下、フェイスブックへの書き込み。

- ・ 本日は「2017 年の 100 の論点」をそれぞれ図解。私は「コーポレートガバナンスコード」について。図解をすることによって、論稿が触れている範囲は一部分に過ぎないという事が分かりました。もちろん重要度や話題度を考えてのチョイスかと思いますが、元の本に戻った時に、それぞれの論稿のページ数から見て、背景や本質をしっかり触れているのか疑問が生じました。議論の入り口集としては良いかと思いますが。次回までに周辺も調べてブラッシュアップ致します。
- ・ 今回は「ベーシックインカム」の図解にトライしました。図解はキーワードの関係性を見だし検証することであり、その過程で論理の飛躍や欠如(説明が足りない部分)が多くあることに気づくことができました。次回までに周辺情報を探り論考では触れていない部分を補完した形にしていきます。ありがとうございました。
- ・ 「ソフトバンクのARM社 3 兆円買収」についての図解をさせていただきました。今回の買収と今までの買収との違いがよく分かったと思います。今までの買収は孫さんにとってみれば、どうすれば良くなるかがある程度見えていた買収だったと思いますが、ARM社は成功企業の買収であることと、未来の不確定要素の中で大きな賭けであることは間違いないと思います。だから財務的負担を低くしたのだと思います。
- ・ 今回は自身の業界(銀行。「フィンテック」)について図解をさせて頂きました。いつものほとんど知識がない文章からの図解と異なり、細かい部分にも思考が広がり、どのように描き始めるか、という初期の図解の構想時点で悩んでいた自分がいました。描き終わって見た感想としては、自身の会社の課題はもちろんですが、強みについても改めて理解が深まった気がします。図解による業界分析や事業環境分析が自社の課題のブレークスルーにつながるかもしれません。そうした視点も取り入れ、次回講義に望みたいと思います。
- ・ ありがとうございました。今回の論点の学習では、次回、議論の内容を踏まえて筆者の

さらに上を行けるように頑張りたいと思います。

2017 年 7 月 8 日 品川キャンパスと九段サテライト

- T-Studio の「名言との対話」が 20 回の大台に乗った。
さて、次回は誰を取り上げようか。
<https://youtu.be/IZ0Lg3OI7-w>
- 品川キャンパス
 - ・ 金先生
 - ・ 浜田先生:教員採用「キャリア」
 - ・ 大学院教授会
 - ・ カリキュラム、秋の最終試験、学年暦、、、、。
 - ・ 徳岡研究科長・今泉データサイエンスコース長
- 九段サテライト: インターゼミ。
 - ・ グループ作業
 - ・ サービスエンタメ班はフィールドワーク中



- ・ 金先生:最近の報告
- ・ 松井先生:高大接続。ミュージックセキュリティと芝増上寺のイベント。
- ・ 高野課長:研究

2017 年 7 月 11 日 副学長日誌

多摩キャンパス

- 川手課長:文科相大学運営実地調査
- 高野課長:研究開発機構
- 荻野先生:オリンピックボランティア
- 杉本係長:戦略会議「教務」「就職」

湘南キャンパス

- 安田学部長と懇談・情報交換
- 学部運営委員会 14 時半ー19 時半:英語教育。就職率。JALのCA、ビームス、なだ万、リンツ、信金。離学率。PROG。、、、。

2017 年 7 月 13 日 文部科学省の学校法人運営調査。夜は「元祖・THE CLUB」の集まり。

本日は、文部科学省の学校法人運営調査。19 年ぶり。事務局の課長たちが熱心に準備した資料。丸一日。

午前:委員から管理運営についての質問を受ける。多摩大側は理事長、学長、副学長、事務局長、法人の部長。

午後:教学関係の質問。こちらは私がトップ。両学部の学部長、事務局長、法人の部長。理事長。質問にそれぞれ分担して答えていく。

関係者の皆さん、ありがとうございました。

2017 年 7 月 14 日 副学長日誌

- ビジネス・コミュニケーションの授業 14 回目:「2017 年の論点」の論考の図解という難しい課題に挑戦。終了後のアンケートを読むと「難しいが、何とかやり遂げたい」という受講生が多いのは嬉しい。
- T-Studio での「トレンドウォッチャー」の収録。月 1 回ほどのペースで客員の橘川先生との対

談。今回のテーマは「京都未来フェス」。京都で頑張っている人たちと全国の地域活性化のキーマンたちを糾合した壮大な実験。

- 事務局との定例ミーティング：文科省調査、採用、学部運営委員会議題、、、
- 高野課長：学長関係
- バートル先生：日中関係学会

2017 年 7 月 15 日 FD・SD・高大接続ALの初の合同研修会(大学は 2 学部1 研究科・目黒高校の教員・職員)

午前

教員のFD勉強会・職員のSD研修・高大接続アクティブラーニング勉強会の初の合同研修会を開催。講師は追手門学院大学の梅村修先生。「先輩・後輩コミュニティ」

始まる前に、浜田先生と一緒に梅村先生と懇談。「スカウト人事」「理事長と一部教員」、、、、。



大変参考になる講義だった。本気の教学改革で迫力あり。以下、多摩大に関して私に浮かんできたヒントのキーワード。

「次は中身の改革」「学生を前面に出す」「愛学教育」「多摩検定」「多摩大学学」「創立者たち」「教授会のアクティブラーニング化」「育てる入試」「起業家人物館」「徒弟制度」「インターゼミでリーダー養成」「授業コンサルとピアレビュー」「AL技法を学ぶ科目」「学生FD」「ラーニング・ログ」、、、、。

午後。学生研究発表会(SRC)を覗く。司会は久保田先生。



九段でインターゼミ

- 始まる前に、学長と意見交換。
- 久保田先生から本日のSRC報告。ハン先生からアジア班報告。金先生から本日の合同勉強会報告。荻野先生から東京オリンピックのボランティアについての説明。
- 学生・院生から夏のテーマ:カンボジア訪問。沖縄研修。新潟県とのコラボ。
- 学長講話:BS11。深海。平和学。『人はなぜ戦争をするのか』(アインシュタインとフロイト)。『90 才何がめでたい』(佐藤愛子)。官邸主導の問題。知性の劣化。勉強・女・金。『ユニオンジャックの矢』『シルバーデモクラシー再考』。、、、。
- 岡三証券に入り福岡にいる村木君来訪



終了後、金先生と水盛先生と店で歓談。

2017 年 7 月 18 日 副学長日誌

研究室

- 秘書と打ち合わせ

ラウンジ

- 山本さん: 次回の録画は「ダ・ビンチ」と「ミケランジェロ」。
- 高野課長: 資料とスケジュール
- 杉田学部長・金教務委員長: カリキュラム

2017 年 7 月 19 日 副学長日誌

ラウンジ

- 人事委員会: 教員採用。非常勤の考え方。
- 学部運営委員会(10 時 40 分ー12 時 30 分): 私からは大学全体の動き「大学戦略会議」「大学運営会議」「グローバルスタディーズ学部」「大学院」の情報を提供。パラリンピック。カリキュラム。進研ゼミ偏差値。、、、、。
- 杉田学部長: フットサル。カリキュラム。
- 飯田先生: 政治
- 趙先生: 大学運営

研究室

- テレビ朝日から電話取材
- 卒業生来訪: 数年前に卒業し OB が訪ねてくれた。彼らと友人たちの卒業後の動向を聞いたが、転職している人が予想以上に多かった。就職先の選定について情報収集・提供がさらに必要だ。

2017 年 7 月 21 日 春学期の最終講義: 学部「ビジネスコミュニケーション」、大学院「インサイトコミュニケーション」

- 学部授業「ビジネスコミュニケーション」の最終回。最終レポートの課題は「日本の論点 2017」(文藝春秋)の論文を図解すること。パワーポイントが望ましい。一つのテーマを一流の論客が書いた難しい論文であるが、挑戦してもらっている。これができればどのようなものでもできるようになる。ガンバレ！



- 大学フットサル部の練習風景。福住監督の指導に耳を傾ける部員たち。2年連続全国大会3位。今年は日本一を期待したい。ガンバレ！



- 夜は、品川の大学院の「インサイトコミュニケーション」の最終授業。
 - ・ 今日が最終講義でしたが、これまでで感じたことは、図解でつかう頭はこれまで全く使ったことのない部分で、かなり苦しんだことと、まだ上手くは書けませんが、良い図解はすぐに理解でき、図解が足りないものには違和感を覚えるようになり、図解の見方は分かったのかなと思います。図解の上手な方は、経営層との話が早い。また整理が早く軸がぶれない。だから信頼される。なるほどと思いました。図解は、子どものときに学んでいたら、もっと勉強が楽しかったのに、と思いました。今日の講義が超お得だったのは、久恒先生の図解のDVDを見せていただけたこと。値段を見たら、なんと76,000円(税別)。Amazonで見たら、8万円超えてました。そんな高価なDVDを惜しげもなく全編放映くださいました。ご覧になれなかった方にちょっと紹介すると…。1. 図解の心得3ヶ条 ①図

解はキーワードのかたまり ②大胆に、そして細心に ③〇と→を使うだけで十分！

2. テクニック ①流れのある図解にすること ②横長に書くなら…ここから先は、ぜひ図書館のDVDでご確認ください。『企画・プレゼンに活かす図解表現の技術』日経BP社 <http://www.nikkeibpm.co.jp/item/649/649/index.html> 10年前の久恒先生が解説してください。また、久恒先生の図解のラフスケッチの様子が見られます。私はこれが一番、印象的でした。どのように図解を始めていращやるのか、こうした姿はなかなか見られないと思います。しかし、さすが久恒先生。最後のコンビニエンスストアの図解は、図自体はもちろん、言葉一つ一つが磨かれていて、図解の道のりは遠いな、とガッカリしつつ、また、その図解をベースにすると、なぜかどんどんアイデアがわいてきそうな不思議な感覚がありました。この図解は、一人で作られたのではなくチームで検討している中で磨かれていった、という制作中のエピソードも印象的でした。最後に、ざっくばらんにいろいろとお話ししてくださった中では、「評価」を「評判」に言い換えたエピソードが心に残っています。「顧客評価」「業務評価」…なんだか、絶対にバツを付けられて減点されるイメージが浮かびます。「お客様からの評判」「業務の評判」…なんだか、失敗してもプラスになることにチャレンジしたくなるイメージです。どちらの職場が楽しいか、比べるまでもありません。図解をしていると、言葉力も磨かれていくようです。先日、ある選挙候補者の方の演説を聞きました。急な立候補で、また性格のおっとりした方のように、すごく良い人柄は伝わるのですが、公約に説得力がないのです。恐らく、公約を文章で覚えようとしたんだろうな、と思いました。図解して本質を見出して、言葉を磨けば、きっと一言でズバツと説得力のある言葉で伝えられるのではないかと。図解は演説にも使えると思いました。前回の講義を業務で休んでしまったため、宿題をやれなかった私は、久恒先生の著書『団塊坊ちゃん青春記』のレビューが宿題ですね。私も山口大学時代、探検部に体験入部して洞窟にいくつか連れて行ってもらいましたので、読ませていただくのが楽しみです。今後も、図解の活動になんらか関われたらと思います。来月の未来フェスも成功をお祈りしております。久恒先生が意外にも学生時代は三日坊主だったと聞き、なんだか親近感がわきました。私にはどうしても継続できるものが見つからないのですが、と申し上げたら、「続けられるものを探すんじゃなく、まずは続けることですよ」とアドバイスしてくださいました。確かに。この講義は、久恒先生の鋭い解説も楽しみでしたが、他の方の図解の解説や意見も聞いていて楽しかったです。おお、そこに着目されたのか、とか、へえー、その図解、面白いし、分かりやすいなー、とか。自分の図解にいただくコメントもすごく勉強になりました。やはり、図解を勉強されるなら、独りで本を読むだけではダメで、誰かとワイワイ図解をやってみて、あれこれコメントしあうのが良いと思いました。久恒先生、多摩大学シンガポール校、楽しみにしております。お金持ちになったら、ぜひ遊びに行かせてください。また、世界のあちこちに図解でどてっ腹に風穴を開けちゃってください！春学期、本当にありがとうございました。ご一緒させていただいた皆さまにもお礼申し上げます。ありがとうございました。

- ・ 約四ヶ月間、先生、皆さま、お世話になりました。本日最終講、これまでの学びがさらに深まり、図解マスターとしての最初の一步を踏み出せた気がします。ただ、やはり、キーワードの抽出、配置、そしてコピーライター並みの言葉の選び方等は難しく、とても奥の深い世界であることを目の当たりにしました。実際のビジネスの現場で活用できることが本当の勝負ですので、日々この新たに身に付けた OS をアップデートし続け、会社に風穴を開けられる人間、そして社会の問題を解決していける人間になりたいと思います。本当に有り難うございました。
- ・ 4 か月間ありがとうございました。昨年受講した同期に「論文書くのに役立つから」と言われて受講を決めたのですが、受講してみて考えを分かりやすく図解でまとめてみようとする習慣はついてきたかと思います。論文作成はこれからですが、4 か月間学んできたことをもとに分かりやすく論文をまとめていきたいと思います。
- ・ 講義ありがとうございました。授業では自身で描いた図解についてフィードバック頂けることが、自身の考え方の改善に繋がりますので大変勉強になります。
- ・ また、様々なスキルは高度であればあるほど狭く限定された領域にのみ特化して適用可能なように感じておりますが、図解のスキルは幅広く活用できますので、これからも自己研鑽しつつ活用させて頂きます。また、秋学期の授業に参加できず恐縮ですが、図解アルチザンの取り組みに非常に興味を持っております。こちらのアップデートございましたらご一報頂けますと大変有り難いです。どうぞ宜しくお願いします。

2017 年 7 月 22 日 副学長日誌

九段

- グランドパレスホテルで立岡さんと面談：自閉症。ソーシャルビジネス。学生起業。

九段サテライトでインターゼミ

- 杉田学部長：打ち合わせ
- 水盛先生・バートル先生：中国関係の学会「日本日中関係学会」「霞山会」、。モンゴル出張。
- 松井先生（目黒高校）：幼稚園、中学との連携。
- 荻野先生：オリンピックボランティア
- 追分さん：大学院OB会のリレー講座
- ・ 以下、箱根合宿へ向けてグループ作業。AI班はモロッコから学会主張中の久保田先生がスカイプで登場！





2017 年 7 月 23 日 副学長日誌

トレンドウォッチャー第 8 回

https://youtu.be/Dpa_nFbM-Q

2017 年 7 月 24 日 「あなたはこの授業を受けてどう変わりましたか？」

- 午後：多摩キャンパス：秘書とスケジュール打ち合わせ。
- 夕刻：九段サテライト：学長と人事案件。杉田学部長と。
- 春学期の「ビジネスコミュニケーション」の最終回のアンケート「あなたはこの授業を受けてどう変わりましたか？」
 - ・ 以前は全く新聞を読まなかったのに、最近よく読むようになった。図を書くのが楽しくなった
 - ・ 重要だと思うところに線を引いたり図にすることによって文章を理解できるようになった。嫌いな感情も消えた。
 - ・ 文章読み解く力がついた。図解にするために文をよく読むようになった。長文でも読むのに抵抗がなくなった
 - ・ 新聞を読むのが早くなり、必要な所を読み取れるようになった。長文の読解がしやすくなった。選挙に行かないといけないと思った。
 - ・ 以前まではニュースやネットの記事を鵜呑みしていたが、今は自分の考え方をしっかりと持てるようになった。
 - ・ 自分の頭の中で大まかに図解を描き、ロジカルに考えられるようになった
 - ・ 以前まではニュースやネットの記事を鵜呑みしていたが、今は自分の考え方をしっかりと

と持てるようになった。

- ・ 難しい内容でも頭の中で図解を作れるようになり、理解力が格段に上がった。どの分野でも図解が作れる自信がついた。
- ・ 文章の意味をより理解しながら読めるようになった。図解を意識することで、頭に留まるようになった。この授業に出会えて良かった
- ・ 知らないうちに力がついてきた。この講義が終わっても続けていきたい。
- ・ 図解の万能性に気づいた。
- ・ 文章などを手で読め！と先生から教わり、実際に手で読んでみると、内容が頭に入ってくることを学んだ。
- ・ 特別講座を図で書いてよと思った。分かりやすく楽しい講義だったので図を書くことが好きになった。
- ・ 難しいことをやっているが、これが成長していくという事に繋がると感じる事ができた。

以下、留学生。

- ・ 以前より系統を立てて考えられるようになってきた。人によって図解は違い、興味がそそられてきた。「文章から図」はマクロの視点で、「図から文章」はミクロの視点ですね。この両方の視点もプレゼン表現や論文の書き方に影響を与えるので、これからも続けて、図解を中心に練習しようと思っている。
- ・ 図解がクセになった。この授業を受けてとても良かった。
- ・ 図解を書けるようになった。図解を読めるようになった

2017 年 7 月 25 日 多摩大学ゲスト講師の会――出版、テレビ、ホテル、新聞、百貨店、観光、IT、政府、、、

午後は、大学。

- スケジュール調整と今後の講演資料準備。
- 高野課長
- 趙先生:採用人事

夜は、渡辺客員教授主催の「多摩大学ゲスト講師の会」を九段の文庫カフェで開催。

26 名が参加。多摩大からは中村その子先生と金先生と私が参加。



小学館の青山さん。ワンダーテーブルの秋元さん。小学館の井亀さん。日本テレビの伊佐治さん。外務省の石田さん。京王プラザホテルの市川さん。ヤフーの祝前さん。三越伊勢丹の榎本さん。アナウンサーの菅家さん。日経新聞の佐藤さん。デジタル・アドバタイジングコンソーシアムの砂田さん。外務省の森本さん。グライダーアソシエイツの山口さん。香港政府観光局の山本さん。南京中医大学の楊さん。三越伊勢丹の渡辺さん。フジテレビの渡辺さん。ギリーの渡辺さん夫婦。

三越伊勢丹の前社長の大西洋さんは香港から遅れて到着。



始まりの挨拶など

- 多摩大のPR。「文科省・大学改革ランキング 2016」。
- 「偉人の命日 366 名言集」のPR。



桜井社長差し入れの「獺祭 2 割 3 分」を飲みながら、素晴らしい豊かな時間を過ごした。多摩大での縁をネットワークにしてくれている渡辺さん、ありがとうございます。

2017 年 7 月 27 日 副学長日誌

午前

- 人事委員会
- 学部運営委員会
- 杉本係長: 次回の戦略会議の打ち合わせ

2017 年 7 月 28 日 副学長日誌

- 大学院運営委員会に出席: カリキュラム。
- 徳岡研究科長: 人事案件

2017 年 7 月 28 日 T-Studio での収録。大学戦略会議。自己点検委員会。大学経営・運営合同会議。

多摩キャンパス

- T-Studio で「名言との対話」を収録。
 - ・ 21 回は「レオナルド・ダヴィンチ」。三菱一号館美術館。
 - ・ 22 回は「ミケランジェロ」。ルネッサンス時代を代表する二人の天才の比較。



九段サテライト

- 大学戦略会議: 本日のテーマは「就職」。質の向上。トップクラスの学生の就職戦略。就職満足度の測り方。留学生の内外ネットワーク。
- 第1回自己点検評価委員会: 「自己点検報告書 2016」。
- 大学経営・運営合同会議: 「大学院DSBコース」「教員人事: 大学院客員教授・経営情報学部専任教員・グローバルスタディーズ学部教員再任審査」。学長「人生 100 年、80 年現役社会。社会人教育の場に。クオリティ。外との接点を。」
- 18 時。渡辺客員教授: 杉田学部長と一緒に科目の内容の相談。最新ビジネス事情、、、。

2017 年 8 月 1 日 副学長日誌

- 研究室で近藤秘書と打ち合わせ
- ラウンジで高野課長と雑談
- 入試の酒井さん: 大分から志願者あり

2017 年 8 月 3 日 インターゼミ合宿(箱根)初日

午後から箱根でインターゼミ合宿。9 年目。



私から冒頭の挨拶：

- 『ユニオンジャックの矢』。寺島の三井物産でぼ 1975 年のロンドン出張。1980 年の中央公論「我ら戦後世代の坂の上の雲」まで。その後 7 年間の沈黙。私の 1978 年の JAL ロンドン空港の 1 年 2 ヶ月。1982 年の遭遇。出会いの物語。
- 「寺島実郎の気概と方法」というテーマで解説。

教員発表：

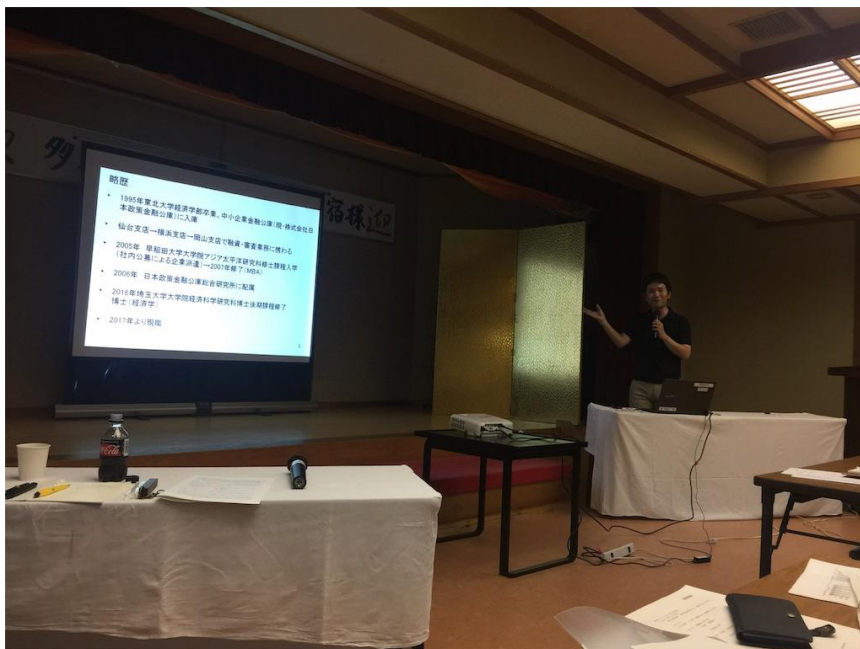
- 野坂先生：経営学と地方創生。漁業・養殖業。宮城県の水産特区。イノベーションが必要。民間参入と協業化。漁業構造の問題。高付加価値化。



- 韓先生：観光まちづくり。内部コンフリクト。由布院合併問題。滋賀県金江。



- 丹下先生。
中小企業の海外撤退。開拓と撤退。35%が失敗。失敗事例の研究。販売・パートナー・人材。
事前の取り組みがカギ。現地パートナーとの組み方。



- 水盛先生
大中華圏。中国史は外国人である日本人には取り組むことができる。漢文、白話文。日本と中国の違い。



- アジアダイナミズム班の発表「モンゴル帝国のユーラシア興隆史」
情報伝達力。駅伝システム。ロシア、オスマン、明、ムガル。モンゴルからみた世界観。中国の歴史とモンゴルの歴史の緊張感。継承と緊張。バランスよく、朝鮮とモンゴル。岡田史観。杉山正明。



- 多摩学班の発表「若者にとって魅力ある多摩地域の創生」
市からの委託研究と保護者アンケート。健康寿命が1位。都市型城外高齢者ゾーン。老人の手が厚い街。スーパーメガリージョン。シェアリングビジネスの流れ。託児所。資格制度。研修。ダイナミズム、、、。



- サービスエンタメ班の発表「ショッピングモールという商業空間からみる消費文化と提言」
都市型モール。都市近郊型モール。田舎のモール。購買力の問題。SNSとの相関。京都。
世代別。貧困か。マクロ統計とミクロ感性。



- AI班の発表「高齢化社会とAI」
社会科学もAI的知見が必要。西垣。松尾。正しい知見。認識する力と意識する力。認識する
センサー能力はAI。感動・涙。宗教などは人間。音を観ると書く観音。光を聞くと書く聞光。子
育ての仕組み。謙虚に勉強する。



- 木村先生の総括:密度濃い時間。これからは凝縮。予定調和を超えよ。



- 18時から食事会:自分の将来。現在の関心。
- 19時半から懇親会:獺祭を飲みながら。木村先生、バトル先生、荒井ゆか君、久保田先生、、、。
- 21時から二次会:事務局の大部屋で懇親会。23時で私は退散。

2017 年 8 月 4 日 インターゼミ二日目:学長講演



- 課題解決力(ソーシャルエンジニアリング)=文献研究とフィールドワークで築いた自分の力とネットワークで得る他人の智慧の吸収。
- インターゼミ=グループ学習。年代の異なる仲間とのコミュニケーション。
- 大学正常化―「真っ当に勉強しなかつた」と 2 年間のだい学院で集中して社会科学的メソドロジーを学んだ。
- 三井物産。3ヶ月で辞表。先輩(大原)から「生意気、手伝え」。
- I,my.me の私生活主義。「あの時、どうしていたか?」。何を引き継ぐにか。世代。
- 2017 年夏:8 月サンフランシスコ(スタンフォードの研究所)。8 月後半から 9 月初旬(ウイーンの中東協力会議でエネルギー。ロンドンでBREXIT)。9 月半ばからモンゴル(17 世紀オランダ論)、。。
- 宗教改革 500 年:ルター1517 年。活版印刷という情報革命で浸透。大航海時代、アメリカ独立、旧教からの革新(イエズス会、ザビエル、)。1648 年のウエストファリア条約で宗教からの政治の独立、オランダはスペイン(ハプスブルグ家)との 80 年戦争に勝利し独立。ここから現代史が始まった。
- ロシア革命から 100 年:20 世紀は社会主義に悩み抜いた 100 年。1970 年代の日本の 55 年体制。自民対社会という代理戦争。ソ連崩壊。金融資本主義、反グローバリズム、ロシアの復活、、、体制選択の融解。
- 運命の 5 年間:1914 年(第一次大戦)―1919 年(ベルサイユ講和会議)。日本はドイツの山東利権(英国との集団的自衛権)、1915 年の対華 21 箇条の要求、1917 年のロシア革命、シベリア出兵、、、親亜から侵亜へ。1923 年に治安維持法、1930 年代の日中戦争、太平洋戦争へ。
- アメリカトランプの 6 ヶ月:国際論壇に注目。自前の羅針盤が必要な時代。古い産業の保護

主義の産業政策とウォールストリートのマネーゲーマーの金融政策の対立。ひからびた産業を支援するホワイトハウスと先端ICTのシリコンバレーの対立。スティーブ・ジョブスはシリア人、、、。政権の人事が固まっていない。しかし株価だけは史上最高を更新中。

- 金融漢和で肥大化するウォール・ストリート。FINTECH。財政出動で負債増加。実力以上の生活をカードやローンで強要。トランプ現象にはプア・ホワイトの存在。アメリカは金融引き締め、日本はマイナス金利。余ったマネーはエネルギー価格へ。果たしてデモクラシーは金融資本主義を制御できるか？
- 社会人大学院：知の再武装。異次元の高齢化。80 歳以上 1000 万、100 歳以上 7 万。2050 年に 80 歳以上は 1600 万、100 歳以上は 53 万。100 年人生。島津製作所 6.5 億円。トヨタ 2.5 億円。今、一生働いて報われるか？ 知の再武装を！ 大卒者の 2 つの知的欠陥。歴史観（近代史）の希薄さ。メルカトル図法の地図（地球儀ではない）。
- 中年の危機の 2 つの克服：使命感と出会い。毒食わば皿まで。
- 知的再武装。何を学ぶか。コンピューターサイエンス（AI・ビッグデータ）と来hサイエンス（生命科学）。高齢社会：テーマとライフワークが必要。NPO／NGOなどのスペシャリストになるには専門性が必要。智恵がいる。
- ジェロントロジー（老人学）。医療、精神、活動、、、。戦うジェロントロジー

2017 年 8 月 5 日 品川：大学院修士論文審査会。大学院修士論文審査会。九段：非常勤講師への教育方針説明会。蕎麦屋で懇親会。

- 品川キャンパス
 - ・ 10 時：大学院修士論文審査会
 - ・ 13 時：大学院教授会
- 九段サテライト
 - ・ 15 時：非常勤講師への教育方針説明会
 - ・ 私：「大学改革の多摩大モデル」
 - ・ 杉田学部長「本学の教育方針」
 - ・ 金教務委員長「教育方針」



- ・ 16 時：懇談・意見交換。
 荻坂先生。関先生。荻野先生。市原先生。深沢先生。荒木先生。諸橋先生。手塚先生。
 大沢先生。河合先生。奥山先生。



- ・ 17 時:文庫カフェで懇親会



2017 年 8 月 8 日 副学長日誌

グローバルスタディーズ学部の学部運営委員会。

現状と課題がわかるので毎回出席している。

- 教務:カリキュラム改革。AEP。初年次教育。TOEIC。
- 入試:オープンキャンパスに女子が大幅増加。
- 就職:少しブレイキ。
- 学生:離学率？
- 卒業式:学長室・経営情報とグローバルの三者で時間調整(高野課長に電話で説明)

2017 年 8 月 17 日 副学長日誌

10 時ー11 時半:ビジネススクエア多摩企画運営委員会。多摩市・多摩信金・多摩大。

健幸都市。健康まちづくり産業。地方創生。ものづくり支援事業。ガンと就労。サードプレイス。デザイナー支援。事業総括とニーズ調査。、、、。

ラウンジ

- 高野課長:学長の動向
- 川手課長:予算
- バートル先生:モンゴル訪問の件

2017 年 8 月 28 日 3 年間の『学部長日誌』が完成

- 2012 年から 2014 年までの 3 年間の『学部長日誌』が完成。全 2 巻。ブログに書いた日々の

「学部長日誌・志塾の風」をまとめたものだ。

- 杉田学部長：フットサル全国大会。PC会議、、、。
- 梅澤先生：松田義幸先生との食事会
- 杉本係長：戦略会議：就職・学生（離学率）
- 高野課長：最近の学内情勢
- 宮地局長

2017 年 8 月 29 日 副学長日誌

- 川手総務課長：理事長面談日程等
- 水嶋教務課長：学生配布の手帳
- 小林先生：『何がベンチャーを急成長させるのか 経営チームのダイナミズム』（中央経済社）をいただく。渾身の著書。



- 杉本係長：戦略会議打ち合わせ
- 金先生：インターゼミのモンゴル調査（京都）。八王子コンソーシアムの講座。
- 高野（滋）就職課長：新ルーム。キャリア、、、。
- 酒井主任：入試の状況

2017 年 8 月 30 日 T-Studio 久恒啓一の「名言との対話」第 21 回——「レオナルド・ダ・ヴィンチ」（「幸福が来たら、ためらわず前髪をつかめ、うしろは秃げているからね」）

T-Studio 久恒啓一の「名言との対話」第 21 回をリリース。

「多摩大学創立 25 周年記念ファシリティ『T-Studio』では、地域への情報発信拠点として「課題解決型情報番組」を制作し、インターネットを通じて発信しています。

『久恒啓一の名言との対話』は、10 年に亘る偉人の記念館を訪ねる旅から生まれた番組です。全国で（一部海外）約 800 の人物記念館を訪問し、見えてきた日本の真の近代史、時代を超えて心に響く偉人の名言を、独自の視点で紹介します。

今回のテーマは、『レオナルド・ダ・ヴィンチ』。

三菱一号館美術館「レオナルド×ミケランジェロ展」イタリアルネッサンス時代の二人の天才の企画展に足を運び、万能の人 レオナルド・ダ・ヴィンチの才能に、名言をとおして迫ります。」

久恒啓一の名言との対話第 21 回 - YouTube

午前は、人間ドックで検診。

午後、大学で仕事。

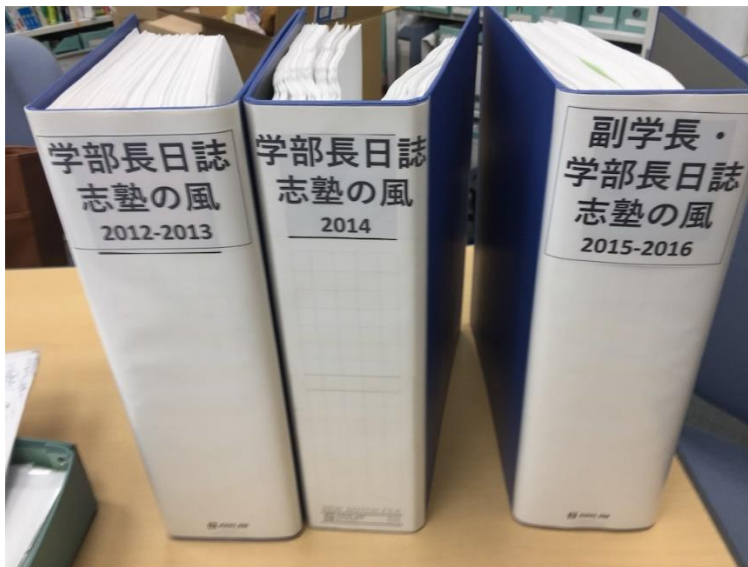
2017 年 9 月 1 日 インターネット放送局 T-Studio の「名言との対話」第 22 回は、ミケランジェロ。「最大の危険は、目標が高すぎて達成出来ないことではない。目標が低すぎて、その低い目標を達成してしまうことだ」

- インターネット放送局 T-Studio の「名言との対話」第 22 回は、ミケランジェロ。
「最大の危険は、目標が高すぎて達成出来ないことではない。目標が低すぎて、その低い目標を達成してしまうことだ」
- 高野課長
- 杉田学部長：松田義幸先生との会食日程。人事委員会案件。
- バートル先生：モンゴル出張の詳細。
- 武井：入試の状況
- 山本さん：T-Studio。次は人生 100 年がテーマで、日野原重明と土屋文明を。
- 松本先生：未来フェス 2017 京都の様子を説明

2017 年 9 月 6 日 3 年間の「学部長日誌」、2 年間の「副学長・学部長日誌」が完成。
毎日書いているこのブログの中に、2012 年から 2014 年までの 3 年間「学部長日誌・志塾の風」、2015 年から 2016 年の 2 年間「副学長日誌・志塾の風」というコーナーを設け、業務に関する動きを記してきた。

その内容を抜き出して、冊子にしたものが出来上がった。

私個人の仕事の記録であるが、学部長や副学長という役職のマニュアルとしても読むことができるかも知れない。



学部長日誌:1035 ページ。

- 2012 年版:361 ページ
- 2013 年版:294 ページ
- 2014 年版:380 ページ

副学長・学部長日誌:521 ページ。

- 2015 年版:276 ページ
- 2016 年版:245 ページ

杉田先生:松田義幸先生との面談スケジュール、科目担当者の件

小林先生:著書の件

飯田先生:読書への回帰イベント

高野課長:情勢

2017 年 9 月 7 日 大学院で「図解・修士論文の書き方」を講義

夜は品川の大学院で「図解・修士論文の書き方」講座。



以下、受講生のアンケートから。「体感」「実感」「役に立った」が多い。

- 技術に頼らず、図解で確かな設計図が必要ということを改めて学び、大きく重要な学びになりました。心に刻みました。鳥観図を眺め足りない所を加えながら完成させて、論文作成の海原に出航します。
- 図解によってももの事が理解しやすくなることをじっかん。日頃の講義以上にためになった。
- まずは論文の設計図づくり
- 新しい関係性を見つけない
- こんなにわかりやすいとは！来春にはぜひ受講したい。
- 実習で思いがけず文章がスラスラと書けて驚きました。大変興味。訓練を続けたい。よかった。
- 腑に落ちた。
- 図解を使うと集団の理解がすすむ。
- 改めて原点に戻った印象。
- 相手を説得するための最適なプロセスを学びました。先生の著書を拝読し論文作成に生かします。
- 全体を見る眼、関係性、つながり、、、こういうことが短時間の中で体感できました。図解が文章の設計図であることが大変腑に落ちました。
- 頭スッキリ。体感できました。
- シンプル、明快で、頭の中がスッキリしました
- 図解の重要性和有効性がよくわかりました。文章がスムーズに書けた。実体験でより理解が深まった。
- 文章と箇条書きがいけない、といのは新たな発見でした。図を作成し関係を明らかにし文章にする。この順序で論文を仕上げたい。理解が深まることを実感。
- 全体観を捉え、自分の考えを明確に打ち出すことの大切さを認識した、物事の関係性。仕事

プライベートにも有効。豊かに生きるために取り組みたい。

- 実践したい。
- 大変にわかりやすい講義でした。
- 春学期に受講しなかったことを後悔しました。図で考えるクセを意識し始めたがまだまだだと実感。図解の効力を実感。
- 頭の中がシンプルになり楽になった。論文執筆への漠然とした不安が軽減された。

以下、留学生。

- 勉強になった。教わったことを自分で真剣に。
- 知識もそうだが、広い視野から見れるようにしたい。
- この「講座は役に立った。
- 図にする技術があれば、生活・仕事にとっても役に立つ。
- 素晴らしいです。考えるということがこの授業でわかりました
- 頑張って修士論文を書きます。
- 論文執筆に凄く役に立つ。
- 本当に役に立つ。簡単に論文が書ける。

午後は大学:学長室・山本さんとインターネット放送局の企画と今後をテーマに雑談。

2017年9月8日 全国経営学部長会議(日本橋)。グローバルスタディーズ学部運営委員会(湘南台)

第42回全国経営学部長会議を開催。

昨年は幹事校で、三菱の丸ビルで開催した。今年は三井の日本橋のコレド日本橋で開催。杉田学部長と一緒に出席。

今年の第一部のテーマは「経営学教育を通して学生にどのような知識や能力を身につけさせるか——チューニングの取り組みを参考に考える」。



質保証。学位プログラムと科目単位での学習成果。それぞれのDCA. 具体性。
学科単位の履修系統図。

「あなたはこの授業で何を身につけましたか？」



第二部は「日本橋の街づくり」というテーマで三井不動産の新原上席主幹の講義



第三部は「渋沢栄一に学ぶ資本主義のあり方」で渋沢健さんの講演

昼食は。渡辺客員教授と三越の中華料理「紫苑」で食事を摂りながらじっくりと話をする。

16 時半からは、湘南台のグローバルスタディーズ学部での学部運営委員会に出席。

19 時半までの長丁場。「離学率」について発言。

2017 年 9 月 9 日 大学院秋季修了式。大学院入学式。

大学院秋季修了式。

式典の前後に寺島学長と懇談。夏の動き、、、。

終了後に田村理事長と懇談。

最後に、徳岡研究科長と相談、、、。



- 寺島学長「シリコンバレー・ウীন・ロンドン」「大転換期ーアメリカ保護主義、中国グローバリズム」「羅針盤」「知の再武装」「シルバーデモクラシー」「100 歳人生」「社会人大学院の価値」「どこで生きる力を注入するか」「エンジンの再点火」「AI・人間とは何か」「経営とは時代のニーズの産業的解決」「チャレンジ・再武装をコンスタントにまわす」「気づきと行動」
- 田村理事長「11名の修了者」「志ある社会人」「経営実学大学院」「同窓会」「知的ネットワークの拠点」「学園歌」
- 徳岡研究科長「成績優秀者 3 名」「持続的成長」「実践知」「仕事だけでは仕事さえできなくなる」「人生 100 年、仕事 80 年」「ライフシフト(リンダグラットン)」「エクスプローラー・インディペンデントプロデューサー・ポートフォリオワーカー」。
- 坂西同窓会長「構想博物館主任研究員」「700 以上の同窓生」「知の再美装」
- 平川英恵(贈る言葉)「3 人のレンガ職人」
- 星野秀人(修了生のことば)「カフェを用いたまちづくり」「実践こそ知性の源」





大学院入学式。19 名。



- 寺島学長「考えるヒント」「ロンドン・ウーン、新しい時代を吸収」「ジエントロジー」「知の再武装」「ギアチェンジ」「時代の構造的変化」「生命科学とコンピューターサイエンス」「歴史認識」「異次元の高齢化」「脅威かチャンスか」「安定カードはない」「リ・アーマメント」「タテとヨコのネットワーク」「100 年人生」社会人大学院の意味の変化」「インターゼミ」
- 田村理事長「19 名・41 歳」「中国、ロシアから」「一流の教授陣との親密な関係」「志の高い院生」「同窓会ネットワーク」
- 徳岡研究科長「レベルの高い 19 人」「100 講座」「限界ヒヨウノゼロ社会(レフキン)」「未来語り」
- 坂西同窓会長「母川回帰」
- 小坂橋宏康(院生代表)「変わったこと:時間の密度が高まった。イノベーターシップの刷り込み」「良かったこと:共に学ぶ仲間」
- 倉田博樹(新入生代表)「デルタ航空法人部長」「イノベーション」「真の知の武装を」



2017 年 9 月 12 日 大学。学会。

研究室で近藤秘書と打ち合わせ

ラウンジ。

- 高野課長
- 杉田学部長
- 川手課長

夜は日本未来学会理事会に出席。目黒の多摩大情報社会学研究所にて。

- 地球未来シンポジウム 2017「希望の探究」:12 月 10 日。京都。
- ハラリ『Homo Deus』読書会。『科学仏教』『宇宙倫理学入門』『科学VS宗教』

2017 年 9 月 13 日 副学長日誌

- 飯田先生:「学部長日誌」
- 杉田学部長:非常勤の先生
- 中村その子先生:非常勤の先生
- 高野課長:インターゼミのスケジュール
- 樋口先生
- 昼食は樋口先生とイタリアンを食べながら近況交換。
- 岩澤さん:ホームページ
- 理事長報告:杉田学部長と。1 時間半。中高と大学の関係。

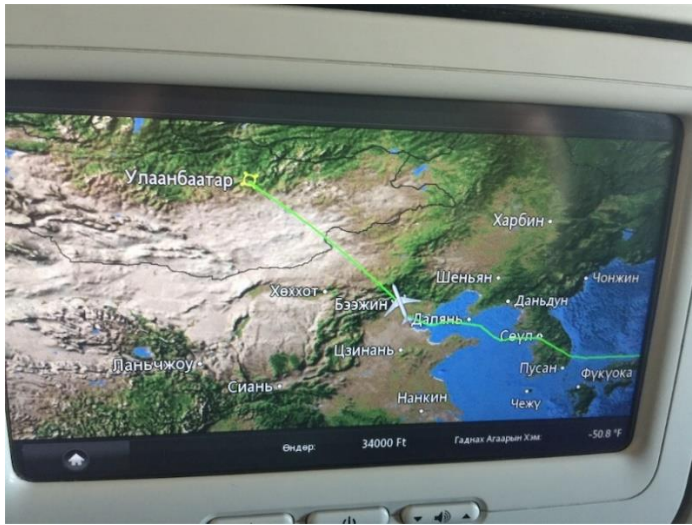
2017 年 9 月 14 日 副学長日誌

- 杉本係長: 偏差値
- 金先生: 多摩学。アクティブラーニング。
- 中庭先生・梅澤先生: 学生寮
- 高野課長: 学長講演

2017 年 9 月 15 日 モンゴル訪問団——ウランバートルのチンギスハン空港に到着
久しぶりの成田空港からモンゴルのウランバートルに出発。寺島実郎学長を代表とする訪問団。大きくは多摩大グループ、神奈川大学グループ、戦略経営塾の経営者グループ、勁草塾のグループからなっている。合計で 23 名。まず、結団式。寺島学長からこの訪問団ができた背景と実りある成果をと言う話があった。その後自己紹介と名刺交換



この訪問団は 15 日から 18 日までの四日間になる。15 日の早朝の北朝鮮のミサイル発射から 18 日の大型台風の関東通過までになると思うが、さてどうなるだろうか。



機内の地図サービスが面白い。成田からウランバートルまでのフライト時間は 5 時間 30 分。東京から韓国のソウル、黄海、中国の大連、天津、北京の上空を通り、ゴビ砂漠を超えて標高 1,500 メートルのモンゴル高原のウランバートルまで進む。当然のことだが、北朝鮮の上空は通らない。

昔の隣が同僚のバートル先生。バートル先生は中国の内モンゴル出身のモンゴル族だ。15 年前のモンゴル訪問の経験も交えていろいろ情報を伺う。

モンゴルは旧ソ連との蜜月時代はモンゴル人民共和国と称していた。この時代は中国の内モンゴルは経済的に苦境になり、外モンゴルつまり現在のモンゴルはソ連の援助もあり豊かだった。ソ連崩壊でモンゴルが苦境に陥ったとき、つまり民主化直後は日本がかなりの現場している。この事は国民皆が知っている。

モンゴルの政体は共和制で、大統領制と議院内閣制の併用だ。1917 年のソ連誕生を契機に、1924 年にはモンゴル人民共和国を建国している。1989 年のソ連崩壊後の 1990 年に社会主義を放棄し、1992 年に民主化。この国の統計を見ると、2011 年にすべての項目が最高を記録している。それ以降は停滞気味だ。現在では輸出入とも中国が最大の貿易国であり、日本は自動車関連の輸入等でロシアに次いで第 3 位。日本は ODA でモンゴルのインフラの充実に大きく貢献している。1990 年には航空協定が締結された。2016 年 6 月 6 日より日本とモンゴルの EPA が発行されている。親日国。戦争直後にソ連から配給された日本人捕虜たちがいた。彼らは政府庁舎、国立オペラ劇場、中央図書館、外務省、首相官邸、国立大学などを建設をしている。国内総生産は 120 億ドルと世界で 133 番目だが、石炭などを中心とする資源が豊富だ。



ウランバートルのチンギスハン国際空港に到着。

気温は 10 度ということだが外に出るとかなり冷える。

バスの内部は相当派手な作りになっている。日本に 12 名ほどいたというガイドのチンゲンさんからモンゴルに関する情報をもらう。

水は硬水なのでミネラルウォーターを飲むこと。トヨタのプリウスが中心の日本車が多いが乱暴な運転なので気をつけること。乾燥しているので喉痛める人が多いので水を飲むこと。

モンゴルの国土は日本の 4 倍。北はロシア、南は中国と接している。人口は 3,000,000 人ほど。人のウランバートルには 1,400,000 人と人口の半分近くが住んでいる。そのうちの 3 割は都心のマンションに住み 7 割はゲル集落に住んでいる。社会主義時代には 40 万人として計画された年であるが、民主化されて一気に住民が増えて問題も多い。

モンゴルのエネルギーは火力発電がほとんど 100%である。冬はマイナス 30 度から 40 度。

白鵬経営のトヨタショップ店、火力発電所の煙、ケンタッキーフライドチキン、カラオケ屋などを車窓に見ながら走る。



ホテル到着。早速チェックインした後は食事会。

高岡正人在モンゴル日本特命全権大使から挨拶があった。

「日本とモンゴルの国交が自立してから今年は45周年。いろいろな行事があり盛り上がっている。大島衆議院議長もモンゴルに来ている。7月の大統領選挙では予想に反して矢野党の大統領が誕生した。現在は新しい首相の使命を待っているところだ。」

夕食の席の向かい側は寺島学長、一般社団法人勁草塾を率いる元内閣官房副長官の斉藤勁先生、右が株式会社コバヤシの小林社長。経営者同士の情報交換が興味深い。このツアーから新しい企画が生まれそうだ。

左は多摩大の金先生を中心に北朝鮮の実情について盛り上がった話をしている。金先生は平壤の大学で数年間教えていたので、話はとてもリアルだ。

2017年9月16日 モンゴル外務省。国立博物館。モンゴル国立大学。北東アジア協会。モンゴル主催の交流パーティ。



国会議事堂前のスフバートル広場で多摩大グループの記念撮影。

スフバートルはジンギスカンと並ぶ建国の英雄。1921年のモンゴル革命の指導者で1923年に30歳で夭折。「われが人民がひとつの方向に、ひとつの意志に団結するならば、われわれが獲得できないものはこの世に一つとしてない。われわれが知り得ないものもない。できないことも何ひとつとしてない」というスフバートルの言葉が刻まれている。

モンゴル外務省を訪問。日本人捕虜が建てた建物。

日本モンゴル協会主催の会議に参加。

この協会は25年ほど前にできたもので、政治経済文化の日本とモンゴルとの関係の強化を応援する組織である。元首相のサドノン先生が名誉会長。この人は1991年に日本を公式訪問した初の首相。副会長は日本への初の留学生で外務省では大使、工業大臣を歴任した人で現在は太陽光による工場の社長をしている。司会のフレルバートル氏は前の日本大使で現在のこの協会の会長。



サドノン名誉会長の挨拶。

「1990年の3月に日本を訪問した当時は宇野外相。海部総理大臣からの招待がありモンゴルとしては困難な時代であったけれども、訪問を決断をした。ウランバートルと東京には直行便がなくハバロフスク経由であった。訪問は成功した。モンゴルとしては初の西側への訪問となった。このと

き初めて日本と日本人について初めて接したことになる。1949年23歳の私は地方からウランバートルに出てきた。当時は日本人抑留者がインフラの建設に当たっていた。この外務省のビルやオペラ劇場の建設にあたった姿を見たことがある。1990年の記者会見では若者の政府への反対運動の広がりをどう思うかと聞かれた。私は将来世代の代表であり政権を引き渡すことに抵抗は無いと答えた。1990年3月4日に帰国。3月7日ハンガーストライキ。3月8日国営テレビで若者たちと意見交換。3月9日全国民回政権を受け渡すと表明した。社会主義から市場主義への平和的な方法で移行した初のケースだった。この時ソ連からの支援が中止となってモンゴルは苦境に陥った。援助を求めているこの時期に日本がリーダーシップをとって支援してくれた。このことをモンゴル国民をよく理解している。1994年日本モンゴルの関係を促進するこの協会を設立した。1つだけ現在の課題を述べる。モンゴルは地下資源が豊富であり銅や金をたくさん産出できる。そして家畜は大変多い。しかし課題としては食肉加工の工場の運営がまだできていない。」

寺島先生の挨拶。

「この8月まで日本大使であったフルバートル先生に感謝を申し上げる。大使には敬意を表したいと思う。1つは、日本のモンゴル学が大いに発展しているのはバートル大師のおかげでもある。岡田英弘「世界史の誕生」など歴史学者が育っているがこれはバートル大師の支援と参画のおかげである。2つ目は北朝鮮大使の経験をもとに北朝鮮と日本モンゴルをつなぐ役割を果たされたことである。私の親しい経済人であるソフトバンクの孫さん、HISの澤田さんなどがモンゴルに於いて大きなプロジェクトを展開しているのを心強く思う。ソーラー風力、アジアスーパーグリッド構想……大学連携では、多摩大、神奈川大学とモンゴルの大学との連携を模索したい。そして深みのある関係にしていきたいと思う。

斉藤勁先生の挨拶。「2011年の民主党政権の官房副長官として1月にウランバートルに来たことがある。その時北東アジアの中のモンゴルに対して何ができるかをの思いを巡らしてきた。母校である神奈川大学を通じて若者の交流を進めていきたいと思っている。

外務省のサンドラアジア局長。この方は女性である。「モンゴルの外交政策の1番目は多元的でオープンな外交政策だ。2番目はバランスという哲学である。3番目は中国とロシア以外の第3の隣国との交流である。価値を共有している第3の隣国としては、アメリカ、日本、韓国、トルコ、インドなどがある。国連を大切にしているし、社会主義時代の友好国であったラオス、ベトナム、北朝鮮などとも友好関係を深めていく。そして発展途上国との連携も図りたいと思う。来年は北朝鮮との外交関係樹立70周年だ。モンゴルが北朝鮮の子供を育てて帰国させたりしたこともあり金日成出席も2度モンゴルを訪問している。国連の安保理事会の決議を実行する。一方で韓国、北朝鮮にもモンゴル人が住んでいる戦争はだめだ。対話のパイプを残したい。モンゴルには野心は無い。対話のイニシアチブをとっていきたい。北朝鮮の核ミサイル許さないし、安保理の決議を支持して

いる。そして国際社会との協力を進めていきたいと思っているが、北朝鮮とアメリカとの対話のチャンスを残したいと思う。」

寺島先生。「この夏アメリカ欧州を回ってきた。その中で北朝鮮問題を議論してきた。まず指摘しておかなければいけない事はトランプ政権の性格が変わってきたことだ。ケリー、マティスなど軍事専門家が中心になってきて戦争計画が具体的になってきている。第二次大戦では日本に対するオレンジ計画があったが、現在北朝鮮に対してはブラックスワン(黒鳥)計画がある。アメリカは先制攻撃は避ける。韓国は融和的であり、ロシア中国が反対するからだ。もし軍事衝突があれば徹底的に叩くシナリオがある。カーボーイメンタリティー。海上封鎖があれば衝突が誘発される。この時アメリカは北朝鮮の電力、ネットワークを完全に遮断することになるだろう。イラクのフセインとの戦争と同じだ。ここで 1 つのためらいがある。中国、ロシアそしてモンゴルも統一朝鮮は望んではいないのではないか。北は反撃能力があり、もし戦争やれば体制の転覆まで行かざるを得ない。日本政府の公式スタンスは、アメリカのすべてのオプションを全面支持するとしている。しかし私はこれは問題があると思う、核攻撃も含まれていると思われるからだ。この 7 月 7 日ウィーンで 122 カ国による核兵器禁止条約に日本は反対した。オーストリアは日本こそ先頭に立つべきだと言っていた。北東アジアの非核化については日本の見識を示すべき時である。今日共通の方向感が必要であり、北東アジア全体の非核化をなんとしても行わなければならない。」

齊藤先生。「緊張緩和に知恵を出さなければいけない。対話の場。2018 年はモンゴルと北朝鮮の国交樹立 70 周年とも聞いた。朝鮮半島の混乱については日本にも責任がある。ぜひウランバートルで対話の機会を持つことを北朝鮮に電話してもらいたい。」



モンゴル国立民族殉死博物館を訪問。

この日はモンゴルにおいては文化の日で休館であったが触れるバートル大師のおかげで見学ができた。

モンゴル国立大学を訪問。副学長が対応してくれた。単位の認定等の問題もあり複数の教員による作業部会でやり取りをすることとなった。



滞在ホテルのベスとウェスタン・プレミアム・トゥーシンで、モンゴル北東アジア協会とのミーティング。財務大臣経験者など高いレベルの方々。

「日本と北朝鮮の問題については二国間ではなく、モンゴルで協議するのが良い。独裁政権は独裁者がいなくなると体制が一気に変わる。北朝鮮は 15,000,000 人のソウル市民を人質に取っている形だ。日本とアメリカは戦争はできない。日本はこのことを知っていればはずだ。北朝鮮の 1948 年の建国以来モンゴルと北朝鮮は常に往来をしている関係にある。北朝鮮を 2 番目に認めた国がモンゴルだ。モンゴルは解決まではできないができることもある。協議をウランバートルで二回したことがあるし、拉致被害者に関わる孫との面談面談もウランバートルで実行した。モンゴルの立ち位置はノルウェーと似ている。控えめに。脱北者を 7,000 人から 8,000 人ほどモンゴル経由で韓国に逃しているが北からの批判は無い。国民やメディアもこのところ北朝鮮にはやや批判的になっている。国民同士の交流が大事だこのことが対立をなくなくすことになる。労働者の受け入れと交流は国民の視野を広げることになっている。北朝鮮はモンゴルの経験に関心を持っている。制度と実行には距離がある。じっくりとやらないばならない時間がかかる」

斉藤先生。「今後モンゴルの役割はますます重要となっている理解し合うと言うことが大事だ。国民同士の交流についてあらゆるチャンネルを覗く必要がある。その鍵はモンゴルではないか。」

「アメリカのプレッシャーに寄ってきたとの交流は減ってきていることを少し心配している。日本最

初の無償援助であるゴビ砂漠のカシミヤ工場についても 60 名の女性を北に送還。この点については日本ももっと気を使う必要があると思う。北からのプレッシャーもある。国民の交流によって不都合なことが知られてくる。だから慎重になっている面もある。日本はアメリカにやり過ぎだと言うべきである。」

斉藤先生。「政権が変わっても対話の方針を維持しているのは素晴らしいことだ。民主化前後のご苦労は察して余りある。北東アジア協会並びにモンゴル政府の主導によって対話の場を設定しただけだとありがたい。学界の会議も行っていくべきである。」



フレルバートル前駐日大使主催のパーティー。

斉藤先生。「若者に未来を託したい。この訪問団はまだ 8 時間しか経っていないが何日間も経過した感じがあるのではないかな。一つ一つの積み重ねが大事だ。発信しそして行動に繋げたい。学ぶことが大事だ。自分たちが何をするか何ができるかを一緒に語り会おう。」

外務省アジア局長。「日本とモンゴルの国交樹立 45 周年の年である。7 月には大島議長が訪問された。この夏は 6 - 7 割が日本との仕事であった。」

寺島先生。「この夏のウイーンにおける中東協力会議では OPEC や石油の問題を議論した。まさにユーラシアのパラダイムチェンジが起こっている。ロシアのプーチン。習近平の毛沢東化を進める中国。北朝鮮。モンゴル。戦略的意思で向き合おう。小さいが重要な一歩だ。それぞれがどう動くのか。」



モンゴル財政金融大学の学長と提携について相談する機会があった。
終了後、ホテルのバーで東海理研の社長夫妻と金先生と一緒に歓談。

2017 年 9 月 17 日 チベット仏教寺院。デパート。ザヘサンの丘。ボブトハーン宮殿。 GOBIコーポレーション。ゲルキャンプに宿泊

朝、ホテルで民主党の文教族の斉藤九州男先生と名刺交換。福岡県直方の人。

貧しい人たちのゲル地区は山の方にも広がっている。国民の 90%はチベット仏教を信仰している。

最初はカンダン寺を訪問する。この寺は 1838 年に活仏ボグド・ハーン 5 世によって建立されたチベット仏教寺院。1937 年には破壊されたが、1940 年に再建された。民主化以降は民族文化再興運動の中で、文化運動の中心的存在となっている。仏教大学が併設されている。





歩道の中では 20 人程の僧侶たちが今日を出ている。子供もいる。子供たちは僧侶の真似事をしているが、よく見るとスマホをいじっている。



観音堂では 27 メートルの高さの大観音像が立っている。盲目となったボクド・ハーン8世の治癒を祈願した開眼観音。初代観音はスターリンによって破壊され持ち去られた。最初は坐像だったが作り直して、1,996 年に再建された。この観音像はモンゴル人を見守っているとのこと。若いダライ・ラマの写真もあった。2,000 の阿弥陀如来像もある。それぞれ顔が違う。観音像を右回りに回っていく。この中でも料金払うと写真撮影ができるとのこと。現在は昔の時代で、将来は阿弥陀如来の時代が来ると言う世界観だ。

この国では子供たちは仏教の学校に行く。小学校からの義務教育は日本と同じ 12

年。卒業後は、そのまま進むか、普通の学校へ行くか本人に任されている。この学校で宗教教育が行われる。どの国も宗教によって、生き方や道徳を学ぶ。宗教教育がない日本はどこで教えるのか、という問いがある。・



大型のデパート行く。ここではボールペンを日本買う。2本で1000円は高い。品質はよくない。



本屋を覗く。ダライ・ラマの伝記を見かけた。モンゴルの人についての伝記も多いようだ。リンカーン、レーニン、毛沢東などの伝記が目についた。





ベストセラー。世界の政治家の本が6位、7位はリー・クワンユー



商品はやはり垢抜けない





ザヘサンの丘。市内が一望できる

ボグド・ハーン宮殿博物館。

最後の仏ボグド・ハーンが最後の 20 年を過ごした宮殿。

屋根が緑色に吹かれているとても綺麗だ。濃い緑と薄い緑色と。ここは政治と仏教の指導者の舞台となった。寺院の内部には曼荼羅や仏教美術を集めた博物館となっている。中央アジアのミケランジェロ。趣味はトラやライオンなど動物の剥製の収集であった。

門外には 2 階建てのロシア式の冬の宮殿があり、ゆかりの品々が多数展示されている。

モンゴル人の平均給与は 4 万円。物価は上昇中。男女同賃金。遊牧民の子供は都心の寮にはいる。モンゴルでは 25 歳から 40 歳が 60/-70%。若い人が多い。平均寿命は 65-70 歳。冬は火力発電なのでスモッグがひどい。ガソリン 1 リットル 70 円。ロシアから輸入している。

山の手のマンションは高い。一戸建ちの庭にもゲル、屋上にもゲル。マンション地区は槌音が高い。車は右側通行。5 つの火力発電所で、秋から春まではお湯のセントラルヒーティング。地下鉄はない。

遊牧民は人口の 30%程度であり、だんだん減ってきている。財産である家畜は自然の賜物でありなかなか管理が難しいこと、そして勉強のために海外に出る人が多いことなどが原因だ。親は都会のサラリーマンや、医者になりたい。

GOBIコーポレーションに到着。

ヤギの毛を手で選別するところから始まってすべての工程を見学できた。山羊一頭から最終的には 250 グラムのカシミアしか取れないから高いのだ。この工場は日本の ODA 援助によってできた企業。1700 人の従業員がいて、売上高は日本円で 40 億円。







工場長月のショップを見学する。輸出は4割、観光客4割、モンゴル人向け2割。エアロビックアジア大会があったようでベトナム、韓国、インド、イラン、日本などの子供たちが多く来ていた。

ショップ内で行われたファッションショーに見入る人たち。金先生の姿も





庶民用のスーパー。



宿泊するゲルキャンプに到着。



ゲル内部。



夕食は大型のレストランで歓談





2017 年 9 月 18 日 モンゴル訪問の旅の総括

早朝 5 時半にゲルキャンプを出発。

チンギスハン国際空港に到着。日本の台風は北海道に去っているが、風が強く出発が遅れている。最終的には 4 時間遅れでようやく出発。

隣の席になったバートル先生から知識を得ながらの 5 時間半のフライトとなった。

総括：

モンゴル訪問団は 3 泊 4 日で、実質は丸二日間の行程だったが、中身が濃かった。多摩大からは、寺島学長、私、金先生、バートル先生、黒瀬課長（国際交流担当）が参加。

事前のモンゴルに関する書籍の読破もあり、この訪問でモンゴルの 1206 年からの建国と世界制覇と、末裔まちの複数の大帝国の繁栄、そして第一次世界大戦前後の帝国の崩壊。そしてソ連の誕生とそれにとまなう 1922 年のモンゴル人民共和国の誕生による社会主義化。そしてソ連崩壊に伴う 1992 年の民主化によるモンゴル国の誕生、それから 25 年という歴史を学んだ。

ロシア・中国に挟まれたモンゴル国、そして社会主義時代の北朝鮮など友好国との深いコミュニケーションなど、独特の得難い地政学上の位置も理解した。特に「北東アジア」の視点は重要だった。多摩大は国際交流では、大中華圏、アセアン（東南アジア）に焦点を絞るという方針だったが、これに加えてモンゴルを中心に「北東アジア」という概念も加えたい。

モンゴルとの大学連携では、訪問したモンゴル国立大学以外にも、モンゴル金融財政大学(学長と知り合った)との縁ができた。一緒に行った神奈川大学と連携して研究面と教育面でこの大学との連携にも取り組んでいきたい。旅の途中で、多摩大関係者、そして神奈川大関係者との意思疎通ができたのは収穫だった。

また、コバヤシ、オタフクソース、東海理研などの社長たちとの交流も、今後の動きにつながりそうだ。この点も収穫だった。

寺島学長、斉藤先生もともに強調していたが、「知って、何をするか」である。何をするかも見えているので、進めていきたい。

2017 年 9 月 19 日 寺島文庫リレー塾秋の第 1 回は、寺島実郎「2017 年秋 世界の構造転換」

第 8 期 寺島文庫リレー塾 2017「後記」が始まる。全 5 回。

今期のテーマは「激動の世界ー直面する変化の本質を考える」。

本日のテーマ。「2017 年秋 世界の構造転換」



アメリカ西海岸。8 月。

- 東海岸と西海岸の亀裂。ホワイトハウスとシリコンバレーの段差。保護主義と自由主義。政

府援助と自立自尊。

- 光:「スティーブ・ジョブスはシリア人だった」。2%台成長のエンジン。トップはインド人、韓国人、中国人、日本人、、、。ウーバーに 1000 億円投資、、、。
- 影:シリコンバレーの不動産暴騰。2 億円以上となり手が出ない。中間層、若者、学生は生活が苦しい。AIが迫る環境。2045 年シンギュラリティ・6 割の仕事がなくなる・天才にしか仕事がない世界、中間職種(事務・営業・レジ、、、)はなくなる。中間層の没落。この波は日本にも。11 月の映画「サークル」は高度 SNS 社会の問題がくっきり見えてくる。

ウイーン。8 月。第 42 回中東協力会議で基調講演。国連関係組織の集積。IAEA など。北朝鮮は巨大な大使館を設置。ジョンウンはウイーン留学。

- 7 月 7 日の核兵器禁止条約は 122 ヶ国が加盟。まとめ役はオーストラリア。2014 年に核兵器を使用しない、廃絶の先頭に立つと誓う。この条約に日本は不参加。アメリカの核の傘で守られているからという理由。オーストラリアは「核の傘は防衛だ。日本は先頭に立て」と説得したが拒否された。東南アジア(アセアン)は棄権したシンガポール以外の 9 ヶ国は参加。日本は理念と基軸を語るべき立場だ。アメリカの北へのあらゆる選択しに賛成としているが、この中には核攻撃も入っている。アメリカに対してもここには反対と言うべきだ。原子力の平和利用と核の軍事力は裏表。筋道の立った政策を。

モンゴル。9 月

- 北東アジアというキーワード。モンゴル国 300 万、内モンゴル 400 万。1948 年北朝鮮と国交(今年は 70 周年)、朝鮮戦争孤児を育てた、北朝鮮で 2000 人のモンゴル人・モンゴルで数万人の北朝鮮人が働く。1990 年韓国と国交。1922 年ソ連の衛星国、1989 年ソ連崩壊で 1992 年民主化。プーチンロシアと周金平中国。モンゴルと北朝鮮の関係(フビライの娘が王妃、元寇は高麗軍、、、)。拉致問題。

中東協力現地会議のメモ。石油。

- 供給:世界一の生産のアメリカと 4 位のイランが豊富に産出、抑制の気配はない。供給は増える。
- 需要:省エネ技術向上でエネルギー弾性値は低下(マイナス 0.3。日本はマイナス 1.8%)。欧州・中国ではガソリン車無しの流れ。需要は減少。現在 47-49 ドル。1 バレル 70 ドル以上にはならない。
- 波乱要素は余剰資金によるマネーゲームで価格を押し上げた場合。IAEA は 78-100 ドルと予想。エネ債権中心のハイイールド債スプレッド(10 年国債との金利差)。30 ドル。
- 日本は 30 ドルから 70 ドルまでの価格変動なら大丈夫。円安と原油価格上昇が重なると大打撃。
- エネルギー地政学。カタールがサウジアラビアと断交。湾岸諸国が初めて割れた。イラン包

困窮で温度差。カタールは、アルジャジーラ・サウジ批判・イランとの結託の疑念、サウジの嫉妬。シーア派イランの台頭とエルドワン・トルコの野心の対立で地域パワーが先祖帰り。アメリカの後退で 100 年前のサイコス・ピコ協定の前に戻っている。

- 地殻変動によって主張やニーズが多様化。日本の役割は野心がなく技術があるというスタンスで貢献。
- ロンドン。「ユニオンジャックの矢」は立体的に描いた世界観の終結点的作品。ロンドン（企画）。ドバイ（金融）。ベンガロール（IT）。シンガポール（成長）。シドニー（資源）。このネットワークがポイント。英語、英国法、文化の共有。中国はアイデンティティクライシス、中華民族の栄光という新たな統合概念。大英帝国は引き際の魔術師。英国と中国の関係、AIIB80。メイはどこまで持ちこたえられるか。氷の女（サッチャーは鉄の女）。映画「ダンケルク」。チャーチルとルーズベルト。真珠湾攻撃から 3 日後にアメリカ参戦。日本はヒトラーと手を組んだという見方。1600 年アダムス、長州ファイブ、日英同盟、アングロサクソン同盟が 20 世紀の 75%。
- 世界観を踏み固めている。「中東・エネルギー・地政学」。「ユニオンジャックの矢」、。君主制と共和制の経験から立憲君主制を採用した英国。
- 政治と経済の乖離。
- トランプ政治の停滞。経済好調。「デモクラシーは金融資本主義を制御できるのか?」。フィンテック。MAT投資顧問は 24h。日本は運用ができない。
- この夏、トランプ政権は変質。金融・軍事複合体へ。ウォールストリートと軍人。ケリー・マティス・マクスターは軍人。ブラックスワン計画。北への先制攻撃はしない。先に相手に手を出させる。近代戦は、電源と情報回路の遮断。独裁国家は動かなくなる。イラクの教訓。島根・鳥取クラスの国力の北朝鮮。冷戦期とは脅威の質が違う。ライオンとハムスター。北は今年間違いなく食糧危機になる（軍人による田植えができなかった）。



2017 年 9 月 20 日 人事委員会・学部運営委員会・共同研究成果発表会、

- 人事委員会:9 時 30 分ー10 時 15 分
教員採用関係。非常勤講師公募。
- 学部運営委員会:10 時 40 分ー12 時 40 分
私からは「グローバルスタディーズ学部:離学率」「大学院:デジタル経営・ルール形成コース」の動き。モンゴル訪問の教訓。
- 2016 年度の共同研究 12 件の成果発表会。13 時ー14 時半。司会は下井研究活性化委員長。



- 2018 年度「より活発な共同研究を目指して」の説明と意見交換。彩藤先生の司会。14 時半ー15 時半。

2017 年 9 月 21 日 副学長日誌

- 授業準備
- 高野課長:インターゼミ

2017 年 9 月 22 日 秋学期の授業が始まる。大学院「立志人物論」(「中年の危機」克服のために「知の再武装」を！)。学部「立志人物伝」

本日より、秋学期の授業開始。

「立志人物伝」。多いなあ、、、。



昼休み、同じく本日より「SNS論」の授業を開始した久米信行客員教授と研究室で懇談。



午後、事務局との定例ミーティング：宮地局長・水嶋課長。杉田学部長。

夜は、品川の大学院で「立志人物論」の初授業。12名。

「中年の危機」を克服するための「知の再武装」を



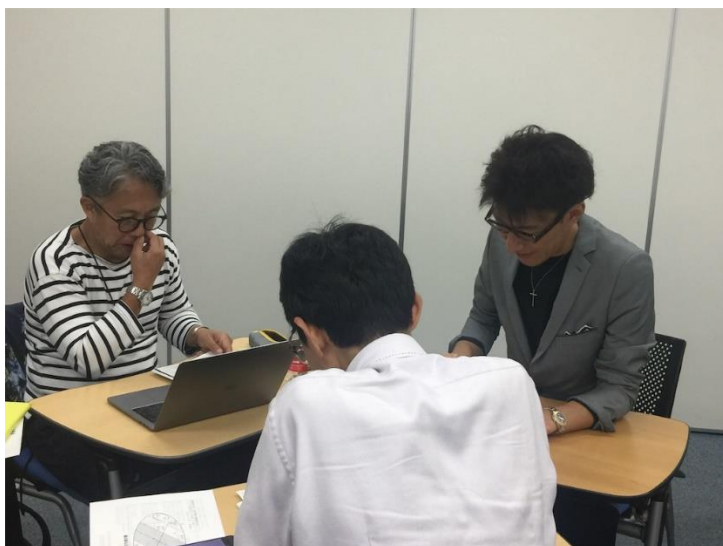
以下、受講生の感想

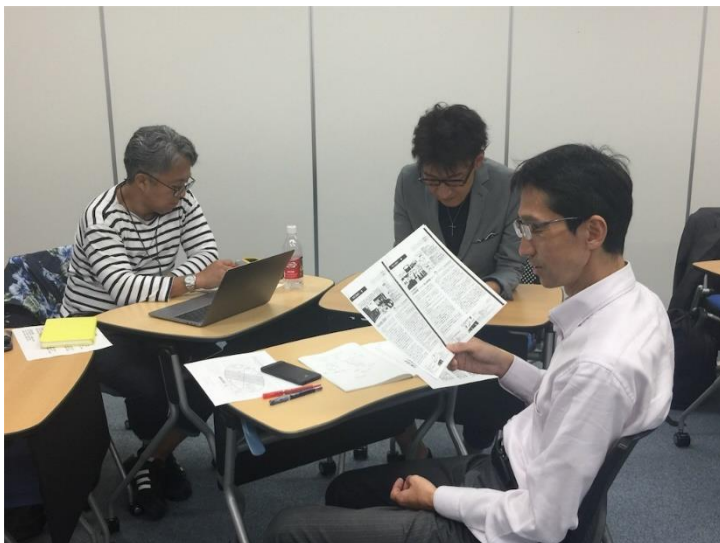
- For those who do not know 久恒先生's style,
reflective learning awareness, comments, suggestions or questions after his lecture is minimum required to post on this group page by Saturday 5:00 a.m. By writing every time, it is considered "class attendance" and the content leads to your evaluation each.
- 第 1-2 講ありがとうございました。歴史上の偉人とは、よい影響(思想や活動)が広範囲に、深く理解され、世代を超えて語り継がれる人物だと思います。学校の試験問題のように意識せず学び知る偉人はあまり記憶に残りませんが、クラスで映像資料等を見ながら 互いの感想や考えを共有することで、自身がインスパイアされる人物は、脳の「小さな偉人辞典」に新規エントリーさせます。戦後の日本社会や世論を形成、牽引してきた方々の生き方や立志を垣間見ることで、人生の勉強になり 楽しいですね。1960 年代に英語で対応していた三島由紀夫氏、彼への見方が幾分変わりました。「勃興に多く偉人が誕生した」と仰せの先生、さすれば成熟した現代の日本社会で今後新たに誕生する可能性は低いのでしょうか。私は江戸時代が好きです、タイムマシンが欲しい...
- 本物の条件における7つの分類の仕方は非常に参考になりました。このようにぎゅっと情報を圧縮して説明する技術も身につけたいです。そして、私も自分のテーマを見つけ、研究という冒険の旅に出たいと思います。
- 偉人の動画には驚きました。鈴木大拙の生の声が聴けるとは思ってもいませんでした。どの誰が上げた物かは分かりませんが、削除されない事を祈ります。動画が残っている偉人となると、昭和がメインになるのでしょうか？となると、取り上げる偉人達の生まれは、江戸末期頃から明治大正。明治維新から日清日露、そして二度の大戦と激動の時代を潜り抜けてきた偉人達の思考は私の思考にも突き刺さる事と思います。これからの講義が楽しみです。
- 私は以前から歴史上の人物などに弱く、古典も含めてあまり関心がないタイプでした。しかし、三年前に師と仰ぐメンターが亡くなり、気付いたらぬるま湯の環境に浸かっていた私は、このままでは行けないと思い、新たな道を拓くためにも、過去の偉人であったり、影響力を与える人たちの背景を知りたいと思う気持ちが最近強くなってきています。後は、地元の高知県でまちづくりや地域振興のようなものに興味を持っています。本日、先生がおっしゃられた、「地方創生をするには、地元の偉人のことを調べるがいい。」という言葉聞いて、まずは高知県出身の偉人について調べてみたいと思います。坂本龍馬は有名ですが、本日の講義に出た名前だけでも、牧野富太郎、板垣退助など沢山います。本日のグループワークで取り上げた白州次郎に関しては、単純に粋だなと思います。現代に生きる私も真似をしたいと憧れる思いです。興味を持って取り組んでいきたいと思います。
- 今回の講義を受けて「人生の師をもつ」「人生のテーマをもつ」という言葉が印象に残りました。特に師、お手本となる人を見つけることはできても人生のテーマは何かと問われた時に今の私にはこれだ！というものがありません。しかし偉人といわれる人達は必ずそのテーマが心の何処かにあったのだらうと思いました。本日の例で言えば司馬遼太郎。上官から自国の民を轢き殺してでも…と命令されたことなどによって芽生えた日本国への不信感。なぜ日本は

戦に敗れたかというテーマを持ち続けながら幕末から明治という時代を描いたということは初めて知りました。そういう根底にある思いやテーマがあったからこそ人々の心をつかむ作品が書けたのではと思いました。私もこの半年で人生の師とテーマを見つけたいと思います。

- 今日の講義では初めて聞いた日本の偉人たちが多くて大変勉強になりました。先生の著書のテーマも発想が良くて、若者にも惹きつけられそうです。討論の時Nさんの話を聞いて、まさに久恒先生のおっしゃったようにある偉人のことを知ることでその時代のこともわかるようになります。
- 本日の授業は、非常に気づきがありました。最後の美術館で村内美術館を選びました。私の学生時代に館長の御子息の家庭教師をしていて、教えていた息子が社長になっており懐かしく思い出しました。ありがとうございました。追伸。三島(由紀夫)さんの動画。昔忘れていた事件を思い出しショックでした。三島の首をはねた森田は今も私が年数回講義に行っている母校高校の後輩で、彼もその場で首をはねられ若くして死にました。非常に残念でした。歴史は消せないですね。
- 初めて、日本の人物についての授業を受けて、いい勉強になりました。敵との切磋、友との拓磨という本物の条件が非常に気づきます。中国で、敵が自分に強くなさせて、友がもっと強くなさせるという言葉もあります。敵に勝つために、自分が精一杯に頑張らなければいけないです。しかし、相手が友達だったら、互いに協力して、双方は共同進捗をとげられると考えます。そこで、グループパワーに対して、さらに深く理解できます。現代社会とは、チャンスを経営者、企業家、リーダーが共有して、協力共栄する社会で、自分自身が周囲の全てのものと緊密に繋がれば、よく発展できると思います。

ところで、私にとって、本授業を通じて、自分のモデルを見つけることが大切です。





2017 年 9 月 23 日 秋のインターゼミ開始

インターゼミの秋学期の初回。

- 新人紹介
- 秋学期のスケジュール確認
- 「2017 年、夏」。

私から「男子三日会わざれば刮目して待つべし」「外的世界の拡大は内的世界を深化させる」

海外：上海、カンボジア、モンゴル、台湾、、

国内：沖縄、京都、二子多摩川、、、。



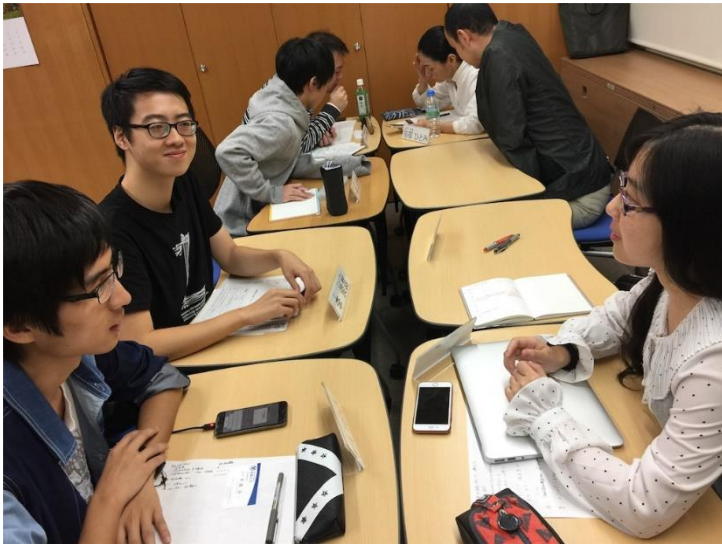
学長講話

- フィールドワークで「何を見てくるか」。
- モンゴル訪問：北朝鮮と 70 周年。元寇の 1 回目は南宋攻略の一環で高麗軍が主力。2 回目は 10 万人。高麗王朝はフビライの娘を押しつけられた。次の王も同じ。蒙古の血が混じっている。日本の鎌倉幕府はこの国難に結束した。北畠親房「神皇正統記」。アイデンティティを探し本居宣長の国学が誕生する。歴史は繋がっている。元は漢王朝の文化を大事にし王族を台湾に追いやった。モンゴル外務省女性局長。北東アジア。7 月 7 日核実験禁止条約 122 ヶ国賛成。オーストリア主導。50 ヶ国が批准すれば発効。核の傘に守られているという理由で日本は不参加。モンゴルは賛成側。東南アジア(アセアン)はシンガポールを除く 9 ヶ国が賛成。被爆国日本への視線。核廃絶の先頭に立とうとしている。トランプの「あらゆる選択」には核攻撃も入っている。レジティマシー legitimacy (正統性) が問われる。
- サンフランシスコ報告：西海岸のシリコンバレー。新しい産業。助成金をあてにしない。インド人、中国人、韓国人。トランプ政権を軽蔑。カリフォルニア州がパリ協定に参加？しかし、不

動産が暴騰、一戸建て 2 億円以上。サラリーマンが買えなくなった。AIの影響で中間層の仕事が無くなっていく、給与はダウン。SF「1984」。映画「ウォールストリート」。11 月 10 日封切りの映画「サークル」を見よ。エマワトソンとトムハンクス。これは新しい 1984。

市川学園・市川中高の守脇副校長がオブザーバー参加。守脇さんと懇談。日本アスピンの久野、。。





帰りは、杉田学部長の車で、情報交換と相談をしながら帰る。

2017 年 9 月 27 日 副学長日誌

- 10 時から学部運営委員会:教授会前の執行部打ち合わせ。
- 教授会の前に、秋学期からの交換留学生 18 名の紹介。



教授会 10 時 40 分ー 12 時 15 分:400 枚以上の教授会資料はすべてパソコンで参照する態勢がよくなるいい写真が撮れた！

- 教員ラウンジ
 - ・ 樋口先生:モンゴル
 - ・ 飯田先生:「学部長日誌」をどう活用するか。
 - ・ 杉田学部長:近況交換
 - ・ 杉本係長:戦略会議資料の点検
- 13 時半:関西から立岡さん来訪
- 大学院同窓会の会長に就任した坂西会長来訪
 - ・ 大学の現況を説明
 - ・ 学部同窓会の黒瀬会長・学長室高野課長も加わり議論。学部(経営情報学部・グローバルスタディズ学部)と大学院(700 名)の合同企画として「知の再武装」シリーズを開始する方向でまとまった。



2017 年 9 月 28 日 リレー講座始まる。寺島学長「2017 年秋 世界はどう動いているのか」

- リレー講座。第 1 回。

寺島学長「2017 年秋 世界はそう動いているのか」。



- ・ 中央リニア審議会。10 年後。7000 万人のスーパーメガリージョン。中間駅インパクト。相模原から品川 8 分。高速道路審議会。圏央道。国道 16 号線沿いの団地の急速な高齢化。
- ・ ジェントロジー（老年学）。高齢社会への体系的な挑戦。50 歳の半分以上が 100 歳を越える。定年まで 40 年、定年後 40 年。知の再武装。近代史がブラックアウト。メルカトル図法。AI の時代。
- ・ 8 月アメリカサンフランシスコ。アメリカは 2% 台成長。失業率 4.8%。西海岸と東海岸の亀裂。自立自尊と古い産業の保護。カリフォルニアの GDP はフランスの水準（世界 6 位）。影の部分。不動産の暴騰現象。2 億円超。中間層にとって息苦しい時代。技術的失業は下方圧力で二極化。11 月 10 日の映画「サークル」。
- ・ オーストリアのウィーン中東協力会議。北朝鮮問題の立体化。ロシア・北朝鮮大使館。IAEA と OPEC の本部。7 月 7 日の国連核兵器禁止条約はオーストラリア主導。日本は不参加。50 ヶ国が批准すれば発効。東南アジアは賛成（シンガポールを除く）。北東アジアの非核化をどうするか。
- ・ モンゴル。モンゴル 300 万人。内モンゴル 400 万。北朝鮮（1948 年）と韓国（1990 年）に国交。中露に挟まれた小国。トランプのあらゆる選択肢には核も入る。日本は「核は止めよ」と言うべきだ。満州国と徳王（モンゴル独立戦争の王）。

- ・ エネルギー: 現在原油価格は1バレル 50ドル前後。供給ではアメリカ(世界一)とイランの登場(4 位)。石油はだぶついている。需要ではエネルギー効率の向上で減ってきている。30ドルを割ると金融債のデフォルトリスク。以上から当面は 30 から 70ドルの間で推移するはず。不安要素は金融ファクター。マネーゲーム。
- ・ 脱石油時代の到来。欧州・中国のEV転換。湾岸産油国(GCC)の結束が乱れ始めた。サウジ(嫉妬と猜疑)とカタールの国交断絶。カタールは金満アラブ(1 人GDP12.8 万ドル)。アルジャジーラTV, ハロッズ買収、イランと気脈か。100 年前のサイコス・ピコ協定は欧米の退場で先祖帰り。イラン(ペルシャ)の強大化とトルコ(オスマン)の野心。
- ・ ロンドン: 大英帝国はネットワーク型。英国と中国。AIIB、東芝。東芝のウェスチングス買収(当初 2250 億円。最終は 6400 億円で買収)。立憲君主制。大中華圏はネットワーク型発展。次のテーマはユダヤ、これもネットワーク型。

- 高橋さんと知研の地方の立ち上げを含めた活性化の相談と日程調整



- 杉田学部長: 離学率
- 渡辺客員教授: 雑談
- 学長報告: 学部・大学院同窓会企画。

2017 年 9 月 29 日 午前は多摩で授業。午後は九段で会議

- 10 時: 授業の前に、客員の久米信行先生と情報交換。
T=Studio の「トレンドウォッチャー」を月 1 回やっていただくことになった。



- 10時40分:「立志人物伝」の2回目の授業。
人数が多い。今回は性格タイプ分析のエニアグラムを楽しんだ。次回から本格開始。

九段サテライト

- 14時:大学戦略会議。テーマは「学生」。
「離学率」をキーワードに活発な議論。重要な意味を持つ会議となった。
 - ・ 「数字」:同じ数字。何時の数字か。トレンド重視。学部間比較。
 - ・ 「総合力」:委員会連携。教職連携。
 私から、学部同窓会・大学院同窓会の合同企画の件を知らせる。この件は学長にも昨日話をし賛成してもらっている。
- 15時半:大学運営会議
 - ・ 補正予算。大学院組織改正。人事。理事会報告。戦略会議。私立大学改革総合支援事業速報。自己点検報告書。
 - ・ 学長から「人生100年時代。社会人大学院は追い風。知の再武装。AI・歴史観・宗教・NPO、、、」「ジェントロジー(老年学)」「ワクワクドキドキする観光。ペットツーリズム。IRなどで8万人の雇用。魅力あるコンテンツを。」
- 17時過ぎ:渡辺さんを徳岡先生に紹介。「日本文化」、、、、。



- 18時から、渡辺さんと例の蕎麦屋で歓談

2017年9月30日 大学院教授会(品川)。インターゼミ(九段)。

- 12時10分から13時20分:品川キャンパスで大学院教授会。
審議承認事項8件。報告事項6件。(ゆるやかに進歩中)。
- 16時10分から18時:九段サテライトでインターゼミ
 - ・ 久保田先生:モロッコ。統計の国際学会。先進国での学会は高くなる(日本1億円)。途上国は安い(5000万)。(デジタル経営)
 - ・ ハン先生:沖縄の名桜大。観光講座。
 - ・ 田辺君(SGS3年):特別養護老人ホーム。知的障害者の養護学校。養護老人ホーム。教職。AIと介護。



- ・ 院OBの越田さん:内閣府国際交流担当。アセアン+3(日中韓国)の青少年大臣会合(ジャカルタ)。中国の存在感。会議形式。日本。、、
- ・ 新部さん:日立オートモティブ。自動運転と電気自動車。日産・フォード・アイサイト・GM、、。パナソニック(プリウスのバッテリー)。三菱電機(1.8兆円)。(車は組み立て産業)

に。ファブレスで最適化。企画と設計と資金。テスラ。スオッチ)

- ・ 松井さん: 知的探究とキャリア教育。脱偏差値のモノサシは何か。考える力、珍しい経験。スマホ依存人間。調べて考える。国語力は読書量。(アナログ頭とネット情報。シナジー。)
- ・ 川合さん: レジリエンス(回復力)。対策と対応。安全と安心。事業継続力(BCP)。(ジェントロジーのセンター。レジリエンスというキーワード。前野たかし慶応教授。推進協。しなやかさ)



- ・ 学長講話: 経団連研修は20年間。経営企画部長・人事部長。1980年代入社でバブル崩壊を見ている。アジア駐在者が多い。端正だけど解答のようなものがない。スモール化。一般情報の先にあるもの。なぜか?
- ・ 終了後、松井さんと面談: ライフ・キャリア、、、日本精神、、、アタマとココロ。
- ・ 帰りは、杉田学部長の車で課題についての意見交換をしながら帰る。

2017年10月1日 オリンパスホールでの「八王子市 市制施行 100周年記念式典」に出席。小池百合子都知事、萩生田自民党幹事長代行の挨拶あり

午後、オリンパスホールで行われた「八王子市 市制施行 100周年記念式典」に大学として出席。多摩大は大学コンソーシアム八王子の会員。

話題の焦点になっている小池百合子東京都知事が挨拶。



八王子選挙区の自民党の萩生田幹事長代行が挨拶



八王子のゆるキャラ「たき坊」を初めて見た。



特別顕彰

- 肥沼信次:ドイツ・ヴリーツェン市名誉市民。放射線医学者。チフス・コレラ対策。37 歳でチフ

スで没。1908 年 10 月 9 日－1946 年 3 月 8 日。

- 横川うめ子:教育者。八王子女学校・八王子幼稚園を設立。府立第四高等女学校(都立南多摩中学)の設置に貢献。1853 年 1 月生－1926 年 1 月 3 日没。

2017 年 10 月 4 日 副学長日誌

- 本日のゲスト講師で 2000 年卒の卒業生・杉崎さん(USJ)を囲んで杉田学部長・今泉先生と歓談。USJを立て直した森岡さんの著書を紹介してもらった。早速注文。
- 樋口先生:スリランカ、インドネシア、、、など多忙。「上宮永四丁目物語」に着手。
- 飯田先生・椎木先生:読書コンクール。映画「チャーチル」「ダンケルク」を推薦される。
- 中村その子先生:渡辺先生の件
- 下井研究活性化委員長:多摩学
- 高野課長
- 中庭先生:寮
- 学部長と一緒に理事長報告:合同同窓会企画。人事。大学院。離学率対策。
- 宮地事務局長

2017 年 10 月 5 日 リレー講座は富士通総研の柯隆 先生の中国の話。尚美学園の前理事長の松田義幸先生の「世界遺産」のミニ講義

リレー講座

始まる前に講師の柯 隆 (カリユウ)先生と懇談。

リレー講座:講師は富士通総研経済研究所主席研究員の柯 隆 (カリユウ)先生。

テーマ「中国と中国人を知る」。

- 2018 年は、明治維新 150 年。日本人は制度(思想・文化)を輸入した。日本固有のものと掛け合わせて近代化を実現した。
- 2018 年は、中国の改革開放 40 年。中国人(法・民主主義などの制度は輸入せず)は技術を輸入した。
- 周金平など現在の中国指導者は文革世代(1966 年)。農村への下放。毛沢東への回帰。言論と情報の統制。社会主義市場経済。成長減速へ。10 月 18 日に 5 年に 1 度の共産党大会。
- 中国経済は上向かない:投資・消費・輸出。過剰設備投資(インフラも)からソフト(システム)への投資へ。しかし弱い。輸出は人件費上昇でマイナス成長。消費は伸びて痔無い。個人消費は 39%。社会保障の不備(年金なし)。大きな格差(富裕層は買わない)。
- 少子高齢化のスピードは日本以上。40 年間の一人っ子政策による人口減少と男女バランスの崩壊(男 118 人・女 100 人。20 歳以下では男が 3000 万人多い。結婚できない。社会が不安定化)。
- 人件費上昇で高付加価値に挑む。イノベーションと技術。しかし応用研究のみで基礎研究を

してこなかった。コピー商品など知的財産権が保護されない。中進国から先進国への転換に成功したのは日本と韓国のみ。中進国の罫から脱出できるか？（現在 1 人 8000 ドル。2 万ドルまでいくか？）。

- 消費：フィンテック（電子金融）はネットショッピングや e コマースなど中国は発達し、小売の実店舗が潰れている。カード・小切手のアメリカやカード・現金の日本は発達していない。イノベーションや産業構造の変化が必要だ。
- 政治：10 月 18 日の共産党大会。次の世代の人事が焦点（8 人中 6 人）。周金平のプーチン化の可能性（3 期・4 期）。選ばれる方は枢機卿が集まって決めるローマ法王の選ばれる方と似ている。相談役等が決める日本企業と同じ。
- 文化：文化力を高めるには自由な環境が必要。映画・歌・絵画。
- 日中関係：中国人は日本にどんどんやってくる。政治がからむと日中関係は悪くなる。政治と距離を置いて民間レベルで交流を活発にすべきだ。



- 11時から13時半は、最近まで尚美学園理事長・学長だった松田義幸先生が来訪され、弟子の杉田学部長、梅澤先生と一緒に話を聞く。松田先生とはJAL広報部時代に面識がある。現在は東京小石川ロータリークラブの会長。嵐のような講義で大いにインスパイヤーされた。



- 石黒慶一理事。前原勝樹『ロータリー入門書』。平和の砦。ロータリーは世界有数のボランティア組織。「グレート・ブックス(古典)に学ぶ世界遺産」シンポ(11月9日)横浜)。グローバル人材。世界遺産・無形文化遺産・創造都市ネットワークで、グローバル人材の学手教材はそろった。世界遺産プロジェクトは草の根「世界平和」運動。岡橋純子(聖心女子大准教授)。斉藤由佳子(食産業教育事業GEN代表)。生涯学習のテーマにする。森永エンゼル財団にテキストあり。犬塚潤一郎(『実践女子大教授)。今道友信(世界5指の哲学者)。近代国家は産業経済全体主義。格差から悲劇。湘南国際村に国連大学案。教養は力だ。キリスト教は一瞬をどう生きるか。美と愛。フィレンツェ自体が教材。イギリスルネッサンスのシェークスピアの理解のためにはカトリックが必要。プロテスタントの十字架にはキリストはいない、マリアもない。教会から美術館が生まれた。日本はプロテスタントの影響が強い。今道友信(哲学者)。松浦晃一郎(ユネスコ事務局長)。創造都市ネットワーク(文学・映画・音楽・クラフト&フォークアート・デザイン・メディアアート・食文化(ガストロノミー)。伝統文化産業のルネッサンス化を。目利き。批評。普遍化。キリスト教の教えは肉の暴走を愛の技で防ぐ。ピーターパン。長崎のドロ神父。
- 古典に動機づける。対訳で原典にあたる。イエズス会の神父の墓は日本にある。イフナチウス・ロヨラ。上智大。学術博士は教養博士。これはビッグマーケット。GRは大地・土色。ジェロントロジーとは大地に戻るという意味。死を恐れるな、今を楽しめ、その結末がエロスの祝祭の町・ポンペイの崩壊。霊的生命がキリスト。天に還る。山折哲雄(死んだら何も無い)。大地から生まれ大師に還る。キリスト教は天から天へ。帰天。昇天。肉の技にブレーキをかける。ミレーは祈り。ルオーは苦しむキリスト。「ソクラテスの弁明」。外山滋比古『近代読者論』国際俳句協会。佐藤和夫。JALこども俳句。シュリーマンのような人人生を送ろう。ラスカー賞。サンキスト。発見と解決。佐橋滋。浦達也。都市は世俗社会で悪魔の巣。聖書と自然。田園生活。キリストは奴隷の死の方法を選んだ。都市工学研究所。計量広告学。余暇研究。NIRA。

GNH国民総生活時間。80 年なら 70 万時間。余暇開発センター。佐高信。キリスト教社会民主主義は共同体論者。メルケル。、、、

2017 年 10 月 6 日 午前：多摩キャンパスで学部の授業「立志人物伝」。夜：品川キャンパスで大学院の授業「立志人物論」。

多摩キャンパス

- 10 時：研究室で客員の久米明先生と懇談。地域アプリ、JMOOK(岸田)、、、。
- 10 時 40 分から：「立志人物伝」の 3 回目の授業。人数は多いが、偉人の名言や人生に感銘を受けている様子がよくわかる。
- 12 時 20 分：杉本係長と次回戦略会議のテーマ「アクティブラーニング」を議論。
- 13 時：事務局との定例会議：川手総務課長・水嶋教務課長。杉田学部長。2 時間、じっくりと学部運営について意見交換。年度末の泊まりがけのFD・SD合同研修のテーマは、「高大接続アクティブラーニング」という案も。

17 時：品川キャンパス

- すっかり内装が変わっている！ 何人かの院生に聞いたが、よくなったという感想が多い。





18 時半:「立志人物論」の 2 回目の授業。テーマは「仰ぎ見る師匠の存在」。

- 紹介した人物: 夏目漱石(漱石山房)。吉田松陰。福沢諭吉。岡倉天心。渡辺華山。森鷗外。渋沢栄一。童門冬二。「知の再武装」という本大学院のテーマに沿う授業となるように工夫しチャレンジしていきたい。以下、受講生がフェイスブックにあげてくれた感想。「少壮老死」「ロールモデル」「要約勉強法」「座右の銘」、。
- 本日の授業振り返り。歴史で一人の影響力が大である。これはその時代のターニングポイント、人口や社会的環境に影響され、またその人の影響を後世に伝える手段があることが前提だと思いました。一番印象に残ったのは<少壮老死>でまさに私がこの大学院で勉強させていただいている目的かと思いました。ありがとうございました。
- 第 2 講, ありがとうございました。同時代に日本興しをした方々が時に同じ師範を崇めていたことが判明。当時の偉人たちの人生の歩みや考え方・志等はそれより以前の先達から影響を受け、現代の私たちにも一部語り継がれ、勝手に心中でロールモデルにしています。現代

で考えると、どなたが次世代の教科書に載るのでしょうか。久恒先生のご提案で、皆の日程が合えば、都内の人物記念館を数時間一緒に回り、それを肴に一杯飲もうというプラン、12月または1月なら参加したいです。

- 久恒先生、第2回の講義ありがとうございました。私は今まで古典や歴史が苦手で逃げていたところがありましたが、志やマインドの部分はいつの時代も変わらないところであり、この講義が早速楽しくてたまらないです。本日最も心に響いたキーワードは少壮老子です。私は年齢は35歳ですが、大学院の中では若い方だと思いますが、学生時代に全く勉強をしてこなかったために、知の再武装どころか今になってテーマを探している段階です。「若」にしてはだいたい遅れ気味ではありますが、偉人たちの記録と軌跡を基に自分のロールモデルを探したいと思います。また吉田松陰の「読書しつつ、要点を一一抄録する」という勉強法、大変参考になりました。大学院に入ってから圧倒的に読書量は増えたものの、それが身になっているかという点はまだ疑問です。そのためにも、論者の主張を自分の頭で考え抜くという必要があるとわかりました。また私は特にスペシャルな能力はありませんが、渡辺華山のようなマルチな活躍にも憧れます。童門冬二さんの、「歴史とは人間の生き方、死に方の集積」という本も、先生が抜粋してくださった要点に大変共感を覚えますので、本も読んでみたいと思います。次回も久恒先生、皆様、よろしくお願いいたします。
- 久恒先生本日もありがとうございました。本日の講義を受けて、自身の座右の銘を最終講義までに見つけたいと思いました。これは前回の感想でも書きましたが私には人生のテーマは何かと問われた時にまだ明確に答えられるものがありません。人生のテーマを見つけそれと重なる座右の銘をもつことで自身の信念や哲学を語れるようになりたいと思いました。本日も偉人たちの言葉にふれましたが、どの言葉も深く心に響くものでした。ただそのメッセージの中身自体はそれほど難しいものではなく、人が人として生きていくために必要なことをシンプルに述べているものが多かったように思います。逆に言えば当たり前のことをなかなか当たり前にできなかつたり、目の前のことに振り回されて物事の一番大事なことを見失うことが多い世の中になっているからこそ、偉人たちの言葉が今も色あせないで現代人に影響を与えているのではと思いました。



2017 年 10 月 7 日 午前はFD／SD研修会。午後はインターゼミ

午前:FD/SD 研修会

- 佐藤先生「グーグルクラスルームの使い方」:ヒント(レポート提出の受領、)。
- 水谷IR室長「在校生の成績分析」:ヒント(電卓、正規科目化、)。



九段サテライトでインターゼミ

- AI班と多摩学班



- アジア班とサービス班



2017 年 10 月 10 日 多摩キャンパスから、湘南キャンパスへ

午後：多摩キャンパス。ラウンジ

- 北山さん：就職の状況
- 酒井さん：入試の状況。女子、一般入試、。
- 酒井先生：本務校の法政大での勤務状況
- 小西先生：時間割の工夫
- 金先生：教学マネジメント会議
- 杉本係長：戦略会議(学生・アクティブラーニング)

湘南キャンパス

学部運営会議 17 時－19 時半

- 離学(目標値 60。47)。予算執行状況。
- AEPを日本語で。時間割の日本語化。
- ゼミ説明会に参加者多し(110)。
- 高校教職 1 期生が合格。
- メジャー選択：ホスピ 90。インター35(教職は何人か)
- 学内行事を秋学期から復活
- キャリア講座の出席率と内定率に極めて高い相関。
- 人事委員会報告

2017 年 10 月 11 日 副学長日誌

- 教務委員会の始まる前に、金委員長と成績訂正の相談。書類提出も修了。
- 秘書とスケジュール調整

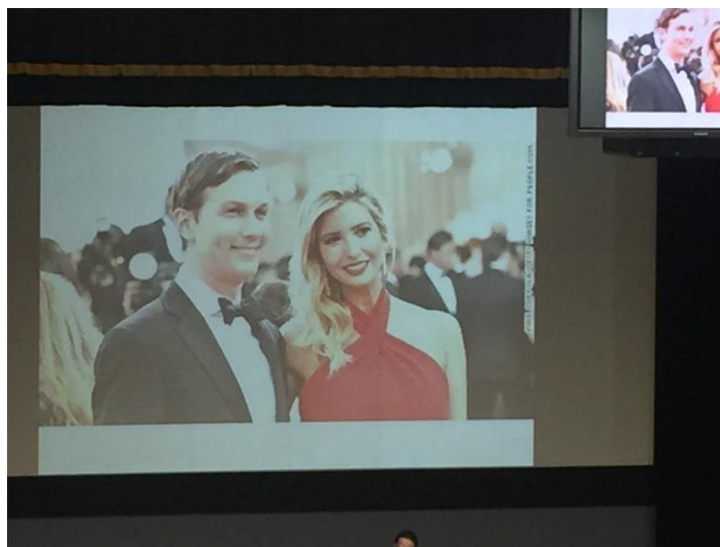
2017 年 10 月 12 日 リレー講座:渡部恒雄先生「トランプ政権の行方」

出勤途中、聖蹟桜ヶ丘で松本先生と遭遇
大学にて。

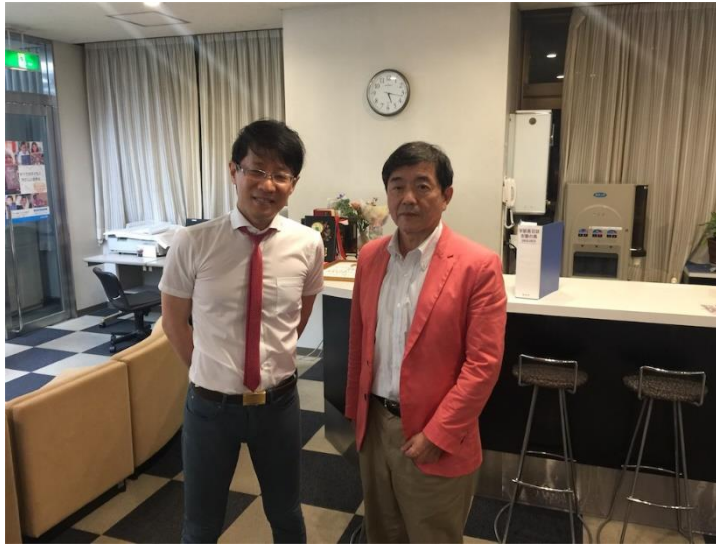
- 渡辺先生
- 飯田先生:T-Studio の講座「定年後の小商い」
- 大学院同窓会の坂西会長:学部・大学院の合同同窓会企画の件
- 北海道新聞の平原記者からの電話インタビュー。11 月に大きな記事になるらしい。
- リレー講座:渡部恒雄「トランプ政権の行方」

政権の局長クラスが未だに任命されていないので日本政府も実務の相手がいない状況。トランプ自身の人格分析までしていただいたが、その内容がメディアにのるとアメリカへの入国が自由にできなくなる可能性もあるとのことなので、このブログでは内容は省略する。

- ・ 日本:安定した政権交代ができるようにならないといけない。今度の選挙は再編の途上にある選挙だ。これで終わりではない。



- リレー講座修了後、ラウンジで先生たちと雑談
 - ・ 飯田先生:本日の講座は 50 人!。「定年後の小商い」というテーマには高いニーズがある。
 - ・ 趙先生・金先生:総選挙が話題
多摩大のファッションリーダー・趙先生の赤いブレザーを借りて着てみると、、、。



2017 年 10 月 13 日 多摩:授業「立志人物伝」(岡本太郎・三島由紀夫)。トレンドウオッチャー収録(久米信行先生)。事務局とのミーティング。九段:セミナー「ソ連崩壊と対中央アジア外交――日本が知らない親日国」

- 10 時:久米先生と懇談。
- 10 時 40 分:授業「立志人物伝」4回目:岡本太郎とピカソ。三島由紀夫と川端康成。200 人を超える人数だが静かに受講。手応えあり。
- 12 時半:T-Studio で「トレンドウオッチャー」の収録:春学期は橘川先生が相手だったが、秋学期は久米先生で今回は初回。久米先生の受講生の 1 年生の女子二人がギャラリー。
- 13 時:事務局との定例ミーティング:杉田学部長、宮地事務局長、水嶋教務課長、川手総務課長。各種案件の情報交換。
- 14 時:宮地事務局長・杉田学部長と、人事案件。
- 18 時半:九段サテライト:「文庫カフェの会」のセミナーに出席。モンゴルで一緒にいた齊藤先生(元内閣官房副長官)主催の勉強会。
 - ・ 講師:マフムドフ・ウミド先生(政治学博士)。ウズベキスタン人。29 歳。
 - ・ タイトル「ソ連崩壊と対中央アジア外交――日本人が知らない親日国」
 - ・ 冒頭の挨拶は、齊藤先生と寺島学長。アゼルバイジャン通信社の駐日代表も取材で来ていた。



最大の人口(3200万人)のウズベキスタンを中心とする中央アジア5ヶ国(カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタン)に対する日本外交の軌跡と課題を手際よく説明してもらい、先月の北東アジアのモンゴルに続き、旧ソ連圏の国々の様子が見えてきた。

中央アジアは 19 世紀は大英帝国とロシア帝国のグレートゲームに翻弄。1867 年から 1881 年までロシア帝国に支配下。1917 年のロシア革命でソ連の傘下で 70 年。1991 年のソ連崩壊で信独立国誕生。

冷戦後日本の中央アジア外交: 1992 - 1997 年「走りながら考える」時期(渡辺美智雄外相歴訪。1993 年外交関係樹立)。1997-2002 年「ユーラシア外交」と「シルクロード地域外交」(橋本・エリツイン「ユーラシア外交」。小淵エイツイン。森・プーチン)。2003 年から鈴木宗男事件で関係者の退場で川口順子外相の新方針「中央アジア+日本」という対話機構。麻生太郎・谷地次官「自由と繁栄の弧」。2006 年小泉総理のウズベキスタン訪問。2015 年安倍総理の中央アジア歴訪、3 兆円。

以下、日本へのアドバイス。

- ・ 日本のイメージはよい政治的やh心がない国。このイメージを使うべきだ。
- ・ 中国に対しては、日本は上海協力機構にオブザーバーとして傘下すべきだ。
- ・ 中央アジアと日本の会議に必ずアメリカがきて長く演説するのはいかがか。
- ・ 中国はスピードが速いなどニーズに応えた援助をしている。内政には不干渉を守っている。資源外交に注力している。一帯一路、AIIBなど、日本は中国とつきあうチャンスだ。

2017 年 10 月 14 日 インターゼミ

インターゼミ



2017 年 10 月 16 日 副学長日誌

研究室

- パソコン(マックブックプロ)のプロジェクター撮影について勉強。
- インスタグラムの勉強

ラウンジ

- 飯田先生:読書回帰イベント。
- 山本さん:T-Studio「名言との対話」は 11 月 1 日。センテナリアン。

- 金先生:学部運営委員会
- 高野課長:打ち合わせ

2017 年 10 月 18 日 会議の日

多摩キャンパス

- 人事委員会:昇格案件(今後の抱負が大事。期待も。)採用経過報告(大学PRも添付しよう)。
- 学部運営委員会:地域学生センターの件を議論し、学部としての方向を確認。
- 松本先生:「声ラボ」(BS多摩)と。
- 学長から電話:宮城大卒業者の情報共有。

目黒(学園本部)

- 2018 年度教員採用内定者の理事長面談:キャリア担当とビジネスコミュニケーション担当。杉田学部長と。
- 理事長:地域学生センターについての報告と今後の方向の確認。前へ。
- 内定者と懇談:杉田学部長と二人で大学の現状と期待を語る。今後のスケジュールも。不安を解消してもらう。

2017 年 10 月 19 日 リレー講座:金美德先生「朝鮮半島をめぐる国際政治と日本」

研究室 書類の大整理。やっとスッキリ！

ラウンジ

- 山本さん:T-Studio「名言との対話」。次回はセンテナリアン、日野原重明と片岡球子に。
- 高野課長と趙先生

リレー講座:本日の講師は金美德先生「朝鮮半島をめぐる国際政治と日本」

- 核保有国:国連安保 5 ヶ国+インド・パキスタン・イスラエル+北朝鮮(?)
- 金正恩の 5 年間:金日成 46 年間にミサイル 15 発。金正日 18 年間に 33 発。金正恩 5 年間に 81 発。
- 拉致問題:2002 年の小泉訪朝。2004 年に 5 人帰国。日朝平壤宣言でグランドデザインを明確にした。その後 13 年間、動かない。
- 北朝鮮の主張:1. 核兵器保有国と認めよ。2. 朝鮮戦争の終結を(米中北の休戦協定から米朝の平和条約を結べ。韓国の李承晩は拒否)
- 北朝鮮:164 ヶ国と国交。米・日・韓・台のみ国交がない。
- 金正恩:33 歳。母は大阪生まれ。7 年間のスイス留学。6 人兄弟の 5 番目。金日成軍事総合

大学で情報工学、金日成軍事総合大学で砲兵指揮を専攻。三男。子供 3 人。妹は今回ナンバー4に。処刑 140 人。

- 脱北者:3 万人。日本にも 0200 人。
- 経済:GDP3.6 兆円(和歌山県)。韓国の 45 分の一(2.2%)。一人 14.6 万円(年)。月 1.2 万円。韓国の 22 分の一(4.6%)。3.9%成長、6 年連続プラス。貿易マイナス 23%。50 ヶ国 5 万人の海外労働者で 2000 億円。4 大経済戦略(IT・観光・労働者輸出・資源開発)。
- 理論的分析:悲観論(日本)。楽観論(北朝鮮)。南北経済共同体論(韓国)。館理論(米国・中国)。利害関係論(欧州・ロシア)。
- 地政学的分析:3 層構造。民族問題(韓国と北朝鮮)。地域冷戦(米国・日本とロシア・中国)。国際冷戦(米国とロシア・中国)。
- モンゴル報告
- 歴史的分析(朝鮮戦争史):国連軍は 22 ヶ国・100 万人。北朝鮮は中ソを含め 100 万人。トルーマン・スターリン、毛沢東、李承晩、金日成。300 万人が死亡(10%)。第二次世界大戦で日本は 300 万人が死亡(4%)。戦争孤児 10 万人。離散家族は 1000 万人。マッカーサー「中国への原爆使用を提案」、トルーマンは拒否し解任。
- 北朝鮮「核は国体そのもの」。リビアのカダフィ(崩壊)。ウクライナ(ロシア侵攻)。イラン(ランプの破棄)。米の先制攻撃には中国は介入。
- 韓国の核武装 60%。日本にも核武装論。
- 圧力強化による対話交渉:軍事圧力。米国の先制攻撃(韓国人 100 万人死亡)。北朝鮮の先制攻撃(ソウルと東京で 210 万人死亡。770 万人の負傷者)。武力衝突による経済損失は 100 兆円。北は 10 兆円の支援を求め、日米間は 1 兆円。ペリープロセス(核放棄の見返りに北の体制を保証)で雪解け、ブッシュ政権で方針転換。6ヶ国協議にペリープロセス反映、2003 年以降未開催。2017 年 4 月プーチン再開を提。
- 金正恩との直接対話:核・ミサイル抛棄なら金正恩訪米を提案)
- 仲介:スイス。9 月にジュネーブで米朝の接触。スウェーデン。ノルウェー。
- 中露主導の安保グランドデザイン(2017 年 7 月):中断、交渉、武力不行使原則、一括妥結、安保体制、米朝国交正常化。
- 日本の課題:圧力だけで良いのか。日朝平壤宣言をもう一度働かせ(一度受け入れている)。半島の統一となれば 8000 万人の大国が現出、脅威。被爆国として北東アジアの非核化に向けてのグランドデザインを書け。

夜は、品川の大学院で院運営委員会に出席

2017 年 10 月 20 日 学部「立志人物伝」と、大学院「立志人物論」

多摩

- 客員の久米先生と情報交換「LINE@。超会社力。熱中小学校、。。
- 「立志人物伝」の授業 5 回目。本日のテーマは「友」。
- 事務局との定例会議：川手課長、水嶋課長、杉田学部長と 1 時間半の意見交換。
- 杉田学部長と情報交換

品川

- 滝川課長：研究開発機構評議員会の事前打ち合わせ
- 「立志人物論」の授業：18 時半から 21 時 40 分。以下、感想。
 - ・ 久恒先生、本日もありがとうございました。文学作品も含めて古典や過去のものに興味なかった私も、久恒先生の講義を受けるうちにどんどん興味が湧いていることを実感します。また、結婚と妻の出産後、諸々苦戦している私にとっては（お恥ずかしい話ですが）、川端康成の結婚の眼を読んでみたいです（課題図書が多くなかなか追いつけません）。三島由紀夫の嫉妬こそ生きる力という言葉も新たな発見でした。何故ならば嫉妬は人間の醜い感情だと私は思っていたからです。しかし、ライバルに対して嫉妬という感情は切っても切れない関係であるならば、そこから湧き上がる力は大きなものであるでしょう。
 - ・ みなさん、お疲れ様でした。本日の感想です。三島由紀夫のエッセイ「気狂いピエロ」。ジャンポール・ベルモントを思い出したのは私くらいか？物語はみなさんご存知の通り。奇しくも、本編では本日出てきた作家らと同様に、自らの人生を自らの手で終結させる。その理由は数多あれど、根底にはそれぞれの内心に潜む「美学」があるのではないか？そんな風に思えてならない。その行動が美学に基づいたものだったとしたら、彼等は「入定」したのではないか？特に三島由紀夫の切腹は、実は切腹と言う行為を通して入定を強くイメージしたのかもしれない。そして、永遠の「生」を獲得したのである。こんな見解を、西田幾多郎や鈴木大拙にぶつけてみたら、彼らは何と答えるのだろうか？偉人を見解を聴いてみたいものである。本日も、大変面白い時間をありがとうございました。
 - ・ 昔の偉人からも学べるように、切磋琢磨する友人、一目置くライバル、従事する分野の師を持つほうが、己が人生 実りあるものになると改めて感じる。今夜の私のヒーローは、三島由紀夫氏。若輩である私は、文学作品以外あまり彼を知らないが、物事の考え方や洞察力、先見の明、残した名言「嫉妬こそ生きる力である」に共感を覚えたからだ。数年前まで両親（民×官）が共働きだったこともあり、幼少～青年期の私を育ててくれた祖父母がよく口にした「若い時の苦労は買ってでもせよ」、その人生をとりわけ民間外資時代は歩んできた。グループ企業内外の政治問題に疲弊しただけでなく、アラブ革命の混乱期にあっては命を二度失いかけたこともあるが、公私において優れた同志や学友への羨望の念は、私のバイタリティを強くしたであろう、と振り返っていた。研究補助をする現職場は、また別の意味で嫉妬をおぼえる。
 - ・ 三島由紀夫のエッセイを昔読んで印象に残ったこと。＜気狂いピエロ＞というのがあり、

ピエロは職業としてお客を喜ばし笑わすのを仕事としています。たとえ自分が悲しいことがあって心では泣いていても、顔では笑ってお客を笑わせる。それがプロの仕事だと書いてありました。岡本太郎は、よっぽどの自信家であったと思います。自信がなければあのような大胆なことはできなかったと思いました。私は仕事に完璧、完成はなく常に勉強し経験しよりよいものにする過程であると思い普段から謙虚になって実行しています。今日も有益なフルーツフルな授業ありがとうございました。

- ・ 本日もありがとうございました。本日の講義で最も印象に残った人物は岡本太郎でした。私自身、芸術には全く興味がなく、また芸術家と呼ばれる方たちは一般人とは違う独特の感性や人間性があるため、なかなか真似をしようとしたり、生き方を参考にするという発想がありませんでした。しかし、本日の講義で岡本太郎という人物について学ぶなかで本当に立派な言葉を残していることをはじめて知りました。特に「調和はぶつかり合った後に生まれるもの」という言葉が印象に残りました。私たちの業界では会議や研修のたびに医療と介護の連携をよくしよう、お互いを理解しようという言葉が出てきます。一見耳障りのいい言葉ですが、実際はお互い本音の議論は行われず、ただ表面的な付き合いをしているだけだと常日頃から感じていました。だからこそその岡本太郎の言葉が印象に残りましたし、いつも本音でぶつかり合えるような関係を地域の関係機関とも築いていきたいと思いました。また次回もよろしくお願いいたします。
- ・ 岡本太郎に対して印象が深いです。「他人が笑おうが笑うまいが、自分の歌を歌えばいいんだよ」という言葉が今私読んでいる本に似ている。本はアシモフの『神々自身』です。第2部の主人公は未知のことに好奇心を持つ、行動も他の人と違うので、いつも弄られます。最初はよく泣くが、最後は気にせず、岡本太郎が言うような感じになります。自分は正しいかどうか、自分はどんな道を選ぶか、自分にしか決められません。先生が「文学者の自殺が多い」と言いました。最初、私は「このような天才が世界の真実を見極めて、能力に限りがあり、作品だけ他のことはできません。失望、絶望など世界に対して、自分に対して嫌な気持ちが生み出す、そして自殺しました。」と思いますが、授業の最後のディスカッションで、他人から「天才の美学かもしれない、人生の頂点に永遠に止まりたい」と言う見解もあります。本当に偉人に直接聞きたい。
- ・ 今回は、印象に残った人は岡本太郎と志賀直哉です。岡本太郎は「他人が笑おうが笑うまいが、自分の歌を歌えばいいんだよ。」という言葉があります。実は、私は高校生の頃、周りの目線を極めて気にする人でした。従って、あの時、自分の考え方や本音などをはっきりと吐けなくて、様々なこともできなかった。大学に進学した後、親友に影響されて、ますます他人の目線を無視して、自分の考え方通り、自分の生活をするのが好きになりました。どんどん新たに様々な可能性が出てきました。ですから、この言葉を読んだ時、共感を捉えるみたいです。(留学生)
- ・ 志賀直哉の映像を見せてくれて、感想が大変出てきました。「自分に才能を与えてくれるなら、寿命を縮めていい。才能を与えられるなら、悪魔に身を売ってる」という話を聞いた

時、本当に泣きたいぐらい感動します。自分自身が感情的な人です。また、最近の生活、うまくいなくて、もう我慢できないことが起こったから、その言葉を聞いて、新たな道を発現するみたいで、治される感じです。誰でも、何のために、(相手が家族でも、親友でも、好きなことでも、好きな人でも)自分の全てを出してもいい時があると思います。志賀直哉が書きへの情感は私を感心させます。私達も同じじゃないですか。自分の熱情を出して、その上、日本の諺の「石の上にも三年」が言った通りやれば、いいんじゃないですか。(留学生)





2017 年 10 月 21 日 インターゼミ

16 時:インターゼミ





学長講話

- 安藤忠雄展(国立新美術館)。76 歳にして「挑戦」、ファイティングポーズ。笑顔のストイシズム。AI次代に建築家は生き延びることができるか？ 縁。自分の旗を立てよ。セルフマネジメント。食いつく力。BS11「インド」。「中国」。「安藤」。
- 藤沢シンポジウム: 観光・ホスピタリティ。異次元の高齢化XICT(IOT)の新プロジェクト。
- ハワイ: 欧州戦線で活躍した日系人 442 部隊。ダニエル・イノウエ上院議員。ダニエル・イノウエ空港。二つの祖国。
- 本居宣長サミット: 小林秀雄と向き合うことになる。10 年かけた「本居宣長」。からごころからやまとごころへ。和漢洋の教養。洋も疑問。江戸期は中国からの自立の過程だった。通貨・暦・学問。源氏物語のもののあはれ、古事記。元寇が伏線となって日本のアイデンティティの模索から国学が誕生。北畠親房、日蓮、。。
- 明日の選挙:
 - ・ 投票率は上がらないだろう(前回 52%。今回は上昇かという局面だが、19 歳以下の 240 万人の投票率が低い)。
 - ・ 比例区の自民党の投票率は下がるだろう。30%を超えるか否か。(前回 33%。投票率 52%・得票率 33%で全有権者の 17%で議席の 61%を獲得。小選挙区は自民党。比例区では「国家主義」へのためらいでブレーキ)。自公で 307 議席。300 以下だったら与党は信任、安部には疑問がつく展開。

2017 年 10 月 23 日 副学長日誌

研究室

- スケジュール
- 打ち合わせ

- 杉田学部長

ラウンジ

- 山本さん
- 酒井さん

2017 年 10 月 25 日 多摩「教授会」

- 学運営委員会
- 教授会
- ラウンジ
 - ・ 高野課長
 - ・ 飯田先生:衆院選と出处進退。
 - ・ 樋口先生:「上宮永四丁目物語」
 - ・ 杉田学部長:相談

2017 年 10 月 26 日 リレー講座:寺島学長「『日本経済の現状――貧困化する中間層』

- 授業評価で表彰の常連の趙先生の授業参観。新企画。30 人ほどの「韓国語」の授業。参考になった。参観者は、小西先生、野坂先生、椎木先生、金先生、梅澤先生、志賀先生と私の 7 名。



- ・ ユーモア、元気、アドリブ、楽しさ、大声、なごやか。
- ・ 韓国事情と日韓文化比較:嫁と姑。過酷な就職戦線。格差社会。テレビ番組の録画活用。

- ・ 人生論を随所に盛り込む。
- ・ 小テスト:人と解答の紹介。明るいつるし上げ。
- ・ VOICE:先輩の(授業評価コメント)を総て紹介しながら説明。
- 学長と打ち合わせ:人事。
- リレー講座:寺島学長「日本経済の現状――貧困化する中間層」



- ・ トピックス1:衆院選:与党圧勝:自民:前回 291、今回 284。公明:前回 34、今回 29。マイナス 12。
 - ・ 注目点1「投票率」:53.68%。(＋1%)。20 歳未満 240 万人増加と悪天候。
 - ・ 注目点2:「自民党の比例得票率」:33.3%(前回 33.1%)1と2から、自民党の得票は有権者全員の17.9%に過ぎないが、議席は61%。立憲民主19.9%、希望17.4%、維新は11議席で大阪の地域政党へ。外交、安保。憲法はある方向へ。
 - ・ 注目点3:「20才未満」:49%が自民党支持。将来不安。
 - ・ 民主党・民進党・希望、立憲、無所属と液体のように変化死、今回は122議席。
- ・ トピックス2:中国共産党大会が修了
 - ・ 周金平の毛沢東かの急速な進行(強権体質の強化)王きざん辞任(暗黙定年68歳抵触)。後継世代を起用せず(長期政権か?)。
 - ・ 北朝鮮は静か:中国の金融政策が効いてきた。「中国の軍事介入」情報。アメリカの軍事介入による半島統一ではなく、中国主導でバッファーに。どういう展開になるか?
 - ・ 周金平:「北朝鮮」「台湾統一へ」「AIIBへのアメリカの参加要請」(トランプ大統領はディール)。ボス交。日本はトランプに依存する危険性あり。
- ・ 世界経済:2016年＋3.2%。2017年＋3.6%。世界同時好況!アメリカ好調(＋2.7%)。ユーロ堅調(＋2.1%。英1.7%)。BRICS持ち直し(ブラジル・ロシアはプラス成長。インド絶好調2015＋8%。2018年＋7.8%。中国持ちこたえ2015年6.9%、2018年6.3%)。日

本は低空飛行中(2016 年+1.0%、2017 年 1.5%、2018 年 0.7%、2019 年 0.8%)。なぜか？

- ・ 「企業」:1995 年経常利益 26.3 兆円。2016 年 195 兆円。人件費増えず(202.3 兆円—201.9 兆円。労組崩壊:組織率 13%。連合は官公労と大企業。交渉力なし)。設備投資低調(44 兆—42.9 兆)。内部留保増加(2.7 兆—29.7 兆)。配当増加(4.1 兆—20.1 兆)。
- ・ 冷戦後 25 年から見えてくるもの。日本の貧困化(世界は1%と99%の対立)。「家計」
 - ・ 勤労者世帯可処分所得:19910 年 44.1 万(月)、1997 年 49.7 万(ピーク)、2000 年 47.3 万。2016 年 42.9 万。所得はピーク時に比べ月額 6.8 万のダウン、年間 80 万円のダウン。
 - ・ 家計消費構造の変化(全国全世帯):2000 年から 2016 年、消費は月 3.5 万ダウン×12ヶ月=40 万円の減少。貧困化の進行。衣料(5 万減、−32.1%)、住宅(4.5 万減、−17.9%)。食料(2 千円減、−3.9%)。増加:諸雑費・通信・自動車・保健医薬品。減少:こずかいと交際費で月 2 万円の減。仕送り 0.37 万・地域大学化。交通・酒・教養娯楽・授業料・書籍が減少)。日本人は学ばなくなった、学べなくなった。内向き志向。
 - ・ 一人当たりGDP(アジア):シンガポール 5.4 万ドル。香港 4.5 万ドル。日本 3.9 万ドル。韓国 3.0 万ドル。台湾 2.4 万ドル。中国 0.9 万ドル。タイ 0.6 万ドル。香港にも抜かれ、韓国・台湾が追いついてきた。
- ・ 異次元高齢化:「ジェロントロジー」(体系的高齢者学)。2017 年 10 月:80 歳以上 1000 万人、100 歳以上 7 万人超。20150 年:65 歳以上 4000 万人、80 歳以上 1600 万人、100 歳以上 53 万人。有権者の 5 割が 65 歳以上・有効投票の 6 割が高齢者、老人政治へ。ビジネスや大学はどう変わるか、どうすべきか？
- 杉田先生・趙先生とラウンジで懇談。

2017 年 10 月 27 日 教学マネジメント会議。大学戦略会議。大学運営会議。授業。客員の久米先生。客員の橘川先生。

多摩キャンパス:午前

- 久米先生:懇談
- 授業「立志人物伝」:「持続する志」—牧野富太郎。大山康晴。原敬。池波正太郎。
以下、授業後のアンケートのまとめ

立憲人物伝 アンケート⑥171027 <質問・意見・奔走など(タイプ別)> 1

<タイプ1>

- ・牧野富太郎の動画を見て、自分はまだやりたいことがない。後悔しないように、何か起こせる人になりたい。
- ・スポーツをしている人間の一員として名人たちの言葉に興味がある。
- ・池波正太郎の時間の使い方、段取りとの関係の言葉は参考になった。
- ・映像だらけだと正直たいくつと感じるので、少し減らして欲しい。
- ・「志が持続する」というよりは、「意志を曲げない」「何事にも屈しない」ということではないかと考えた。「継続は力なり」という言葉がしっくり合う。
- ・専門分野によって言葉の使い方が違うのがおもしろかった。池波のわきぎの話やテンパルの話が身近なことでも面白かった。
- ・自分自身、常に向上心をもっている。

<タイプ3>

- ・濱口、原稿などの偉人が掲載された場所が実は近いところでもあった。

<タイプ4>

- ・棋将棋は謙虚、堅実な方が多いと感じた。
- ・特別講座に橘川先生に来てほしい。
- ・牧野富太郎のライフスタイルが植物だったように、私は別に付けてもずっとクラブを続けられたい本望。
- ・少しの努力では大きな成果は得られないのだと学んだ。
- ・継続は力なりだと思った。
- ・「前進しない勇気はない」「物事は段取りである」これは今の自分が胸に刺まなくてはならないと思った。
- ・継続力が偉人の条件。
- ・多くの経験や学びをしてきた人がどれだけの人のなかを解説した。

<タイプ2>

- ・65歳で掲載されるまで原稿は日記を書き続けていたと聞いて驚いた。
- ・大山康晴「實はご褒美ではなく激励のしるしである」まさにその通りだと感じた。
- ・「阿茶な身近な場所にも、あまり知られていない歴史の足跡があるかもしれない」自分の住んでいる所にも歴史があるのかなと気になった。
- ・人生をかけて形にした言葉は重みが違うと感じた。勝めずにずっと続けていけば、それは、とてつもないものになるのだと、学んだ。
- ・みんながやらないことをやると一番になる。印象的だった。
- ・大山康晴「實はごほうびではなく激励のしるしである」ととても衝撃を受けた。
- ・音の人の進路がとてと伝わった。人生にないが真似できない言を持つことが一流の条件であるという言葉にとて共感を持った。
- ・原稿について知りたいと思った。
- ・毎日のリレー講座のまとめが理解しやすく振り返ることができて学べた。エニアグラムのタイプで受け方も変わったと思った。
- ・池波正太郎は段取りを取っているため締切を過ぎることが無いことが、分かった。
- ・成功のためにひとつの事に没頭しやり続けることで一流となり活躍する人物になる。
- ・大山康晴の言葉が格好いい。
- ・選挙に行ったら人は高齢者が多く同年代が少なかった。驚いた。
- ・先生が思うゴルフ界の偉人はいますか?もしあれば教えてください。
- ・今日は名書の授業だった。
- ・90年もの事に関して研究し続けるには、相当な志が必要だと感じました。こういう人が「偉人」といわれるのだと納得した。

<タイプ5>

- ・自分に素直に入っている所、5冊の項目を見て、違うと感じる所もあるが、大体は合っている。
- ・大山康晴さんの生き方に感銘を受けた。
- ・最大の敵は自分の弱さ、と言う言葉が面白かった。
- ・私は丹田幸三の選んだ言葉が好きです。
- ・危機に直面しても取り乱さないことが大切。
- ・別身の上におききを受けて醤油をつけて食べてみようと思った。
- ・偉人の名言はとて心に響く。
- ・お寿司の食べ方が今まで間違っていた。先生のいった「変化は進化」とても良い言葉だと思った。
- ・ブログの紙はとて参考になって面白い。
- ・「持続力」という力の大切さを改めて知ることができた。
- ・最近の自分の生活が「パン」を取る方に傾いていると改めて思った。

<タイプ6>

- ・90年もの事に関して研究し続けるには、相当な志が必要だと感じました。こういう人が「偉人」といわれるのだと納得した。

立憲人物伝 アンケート⑥171027 <質問・意見・奔走など(タイプ別)> 2

<タイプ7>

- ・池波正太郎の言葉に心打たれた。
- ・持続することの大切さを知ることが出来た。
- ・牧野富太郎に憧れた。
- ・日本の歴史、人物伝を勉強した。
- ・持続とは変化すること。
- ・池波正太郎、1年で1000巻、毎日3巻書いていた。
- ・池波正太郎「顔というものは変わる。若いうちからいい顔というものはない。昔の顔をいい顔に変えていくことが、男を磨くことなんだよ」
- ・持続力が大切だと分かった。池波正太郎さんの名實がとて印象的だった。
- ・大山康晴「實はごほうびではなく激励のしるし」この心構え、恐るべし。私に大いなる勇気を与えてくれる。
- ・昨日の図は数字が多いのに見やすかった。何十年という単位での努力は世界レベルの才能になると感じた。
- ・「変化は進化」という言葉に感銘を受けた。
- ・好きな言葉は「約束も段取り、仕事も生活も段取りである。」
- ・自発的にのびのびを振る舞い、自由な精神の持ち主というのが当てはまる。
- ・言葉の中に「一時の栄光を求めるより、長く続けることが大切」「立ち直るためには以前の立場を忘れること」など自分が向上していくための心構えとしてとても必要なことだと共感した。スポーツでも同じことが言える。

<タイプ8>

- ・池波正太郎の語に感銘を受けた。
- ・日本の歴史の人物を学んだ。
- ・棋士たちの言葉の中に「持続とは変わる」とあった。共感した。
- ・自分は自分、あなたはあなた。
- ・何かを長く続けること、という共通の話をしていた。1〜2人を重点に置いて深く学びたいと思った。

<タイプ9>

- ・池波正太郎のようにその日の計画を立て、その通りに一日を過ごせるようにしたい。
- ・原稿さんのような人がいたら問題解決してくれると思う。
- ・継続は力になるという生き方をした牧野富太郎のことをもっと調べてみようと思った。
- ・大山康晴の「實はご褒美ではなく、激励のしるしである」と言う言葉が格好になった。
- ・違うタイプの人と意見を交換していくのも興味深かった。

<タイプ10>

- ・原稿の「日本人は何か起こるとそればかり」と言う言葉に衝撃と納得を受けた。
- ・偉人は持続力がある。
- ・世界の経済情勢をこれからもっと集めて、知識として蓄えていこうと思う。
- ・継続が大事
- ・池波正太郎は短編小説に名作の多い作家。
- ・段取りを組めば問題ない。確かにその通りだと思う。
- ・練習を受けていくことで、自分のことを客観的に見ることで、今後の役に立ちそうだった。
- ・原稿の死の覚悟を持って自分の政治を曲げなかった姿は総理の風格を感じた。毎日簡単なメモを取って、一週間一回詳細をまとめていた。すごい人でも小さな努力があることを感じた。
- ・「實はごほうびではなく、激励のしるしである」名譽や栄光ではなく「強さ」「実力」を身につけて続ける人がいる。人にも優しい。
- ・全面面表示にして欲しい。
- ・神の領域と言われていた人に現代の人が追いつこうとしている。時代が変わっていると感じた。
- ・原稿が19歳から65歳まで日記を書き続けたところに感銘を受けた。
- ・大山康晴さんについて調べていきたい。
- ・自分は発言が多いので、名言を残せるような人になりたい。
- ・今日はいつもより多くの言葉を聞けた。
- ・何かで有名になるには、一つのことを「継続」することが大事。
- ・自分と違う番号の人と自分達の番号の話を話すと面白いが面白かった。
- ・将棋が好きなので、名人をもっと紹介してほしい。東京駅が原稿が亡くなった場所だということを知りた。
- ・自分の時間とは、理想と現実の差があり、理想とは他人ではないのだからと考えさせられる。
- ・池波正太郎「自分は、生まれてから死に向かって生きはじめ。そして、生きるために食べなくてはならない。なんと矛盾だろう」共感できた。

九段サテライト:午後

- 教学マネジメント会議:形式と内容。
- 大学戦略会議:「学生」を確認。本日のテーマは「アクティブ・ラーニング」。
- 大学運営会議:学長「ライブ・ビューイング」「合同同窓会」「ジェロントロジー」「シルバードモクラシー」「スーパーメガリージョン」「第4次産業革命」。

夕:客員の橘川先生を囲んで、杉田学部長、高野学長室長と懇親会。たくさんのヒントをもらった。

2017 年 10 月 28 日 品川:修士論文予備審査会。大学院教授会。九段:インターゼミ (社会工学研究会)

品川:大学院:9 時から

- 修士論文予備審査会:徳岡研究科長と。日本経済の問題とビジネスマンの苦悩がみえる。
「トリプルメディア時代のPRマーケティングの仕掛け方」「中国におけるホテルノフロント」業務
の研究」「企業(サービス業)ノイノベーションにおける経理部門の役割」「自律協調モデル組
織の研究」「ベトナム進出日系企業・今後の課題」
- 大学院教授会
- 喫茶で懇談:金先生・バートル先生。非常勤採用、リテラシーとコンピテンシー。知識量と主体
性。。。。。

九段:インターゼミ:16 時から

- 水盛先生「中国出張。60 歳以上が 2.3 億人。周金平・中国が凄いというテレビ番組」。
- バートル先生:「留学生。大学院に中国、モンゴル・ベトナム、ミャンマー、ロシア。起業家精神
が高い。留学生ネットワーク。日本人院生とのコラボ事業。」
- 大場先生「グローバルスタディーズ学部。ゼミ説明会が盛況。。。」「
- 学長講話:国会議員一人 2 億円。絶対投票率 17.9%で議席は 61%。与党で三分の二以上で、
与党を支持したことになる。安保法セ、憲法改正、。政治に失望する国民。5 年で 3 回の選挙。
毎回 700 億円。解散権の首相専権事項には疑問。リベラルバネ。1 期 4 年。若者の保守化。
49%が自民。不満は少ない(期待はない。せめて安定を)。不安は多い(将来不安)。条理を
尽くして考えよ。
- グループ討論。
- 金先生・松井さんと多摩大型の高大接続アクティブ・ラーニングについて意見交換と方向性
の確認。

帰りは杉田学部長の車に便乗し、学部運営の意見交換をしながら帰る。歴史、人事、予算、、、。

2017 年 10 月 29 日 台風接近中、一日書齋で過ごす

台風接近中なので、自宅で来週のイベントの準備

- 10 月 31 日(火):1 年生対象の「問題解決学入門」の講義「図解思考を用いた問題解決の軌跡
ー私の問題解決人生」
- 11 月 1 日(水):T-Studio での録画「久恒啓一の名言との対話」(センテナリアン:日野原重
明・片岡球子)
- 11 月 2 日(木):読書イベントのパネル「読書への回帰」(飯田先生・中澤先生とのパネル)
- 11 月 5 日(日):シルバーデモクラシー企画(山梨)でのミニ講演「教養としての人物記念館の

旅」

2017 年 10 月 31 日「問題解決学入門」で講義――「図解思考を用いた問題解決の軌跡――私の問題解決人生」

- 1 年生対象の「問題解決学入門」の講義を担当。担当は、彩藤先生、増田先生、野坂先生
テーマ「図解思考を用いた問題解決の軌跡――私の問題解決人生」。以下、要旨。
 - ・ なぜこの科目ができたか
 - ・ 大学時代：知的生産の技術の発見。自己否定と変格の時代。
 - ・ JAL時代：図解思考の発見と活用。企業と知研の狭間で武器を磨いた修行と改革の時代
 - ・ 宮城大学時代：図解思考の適用。図解一刀流で全方位に切り込んだ成長と飛躍の時代。
 - ・ 多摩大学時代：図解思考の応用と実践。大学全体の立て直しに取り組んだ貢献と完成の時代
 - ・ 著作カル道＝100 冊以上。課題解決が本に。
 - ・ 仕事＝問題解決の連続＝キャリアを磨く＝人生鳥観図
 - ・ 新規分野の開拓に挑み続けた探検精神。
 - ・ 13 年目を迎える「人物記念館の旅」という新しいテーマ：現在 810 館。「名言集」など 4 冊
 - ・ 二つのライフワーク：日本人のアタマの革命（図解）トコロの革命（人物）

下記写真は、終了後のレポート書きの様子。



担当の野坂先生からもらった受講生のレポートをすべて読む。よく理解してもらった。「驚いた」「びっくりした」、。。。。。

- ラウンジ
 - ・ 野坂先生:レポートをいただく。私の近著「名言」「青春記」を手交。
 - ・ 山本さん:T-Studio「名言との対話」の打ち合わせ
 - ・ 高野課長:情報交換
 - ・
- 研究室
 - ・ 近藤秘書と今週のイベントの配布資料等の作成。
 - ・ スケジュール調整
 - ・ 川手課長:私学協のセミナー出席の件
- 湘南キャンパス
 - ・ 安田学部長と懇談:人事
 - ・ 学部運営委員会:TOEIC対応。外部委託。履修登録。留年。離学の数字と対策。就職の状況。、、、(ディプロマポリシーの5つの体系化のアイデアが浮かんた。理解・思考・表現・意欲・志。リテラシーとコンピテンシー)

**2017年11月1日 T-Studio「トレンドウォッチャー」(久米信行客員教授)をリリース。
T-Studio での録画・録音「名言との対話」はセンテナリアンの「日野原重明」と「片岡球子」**

- T-Studio「トレンドウォッチャー」(久米信行客員教授)

「家業の繊維会社のために、IT を活用したことが、日経や経済産業省の各種賞の受賞に繋がり、全国各地からの講演依頼に応えているうちに、地域観光、まちおこしの「プロの旅人」として、日々、東奔西走する久米信行氏。SNS を駆使して地域を元気にする極意を、久恒啓一教授との対談で伝える番組です。」
- 多摩大 T-Studio での録音・録画風景。

本日のテーマは「センテナリアン(百寿者)」。片岡球子(日本画家)と日野原重明(医師)。



- 研究室
 - ・ 金先生:ディプロマポリシーの体系
- ラウンジ
 - ・ 杉田学部長:ディプロマポリシー
 - ・ 講義にみえた多摩大OBの(株)バザールエンターテイメントの大和田氏、青山氏に紹介される。

2017年11月2日 大森拓也先生の授業参観。T-Studioでの公開講座「読書への回帰」に出演。リレー講座:西垣通「AIの過去・現在・未来」

- 2限目:授業評価の高く表彰の常連の大森拓也先生の授業参観
 「教育相談」というタイトル。カウンセリング技法が中心。共感のレッスン。
 杉田、小西、金、浜田、バトル、同僚の先生たちが見学。
 学生は心理学に興味あり。作業と発表という参加型のアクテュブラーニング授業。

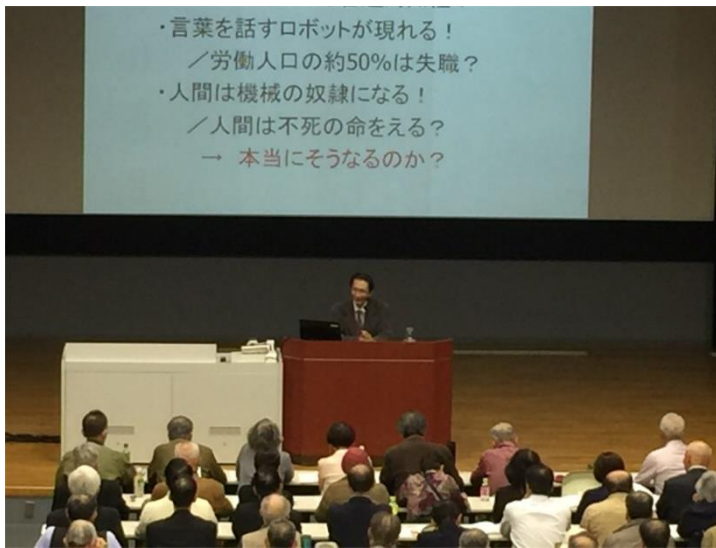


- 渡辺客員教授の授業も参観。
- 3 限目: T-Studio での公開講座「読書への回帰」。中澤先生と飯田先生と私の鼎談。
38 人の出席。この公開講座も人数も増えて定着している。



- ・ 中澤先生「大学生の読書(1 週間):ゼロ 49%。30 分ー60 分は 18.7%。60 分以上は 19.1%」「1ヵ月本を読まなかった大人 47%」「積ん読の効用」
- ・ 飯田先生「スマホの危険性」「本を読む意味」「つながり」「トーマス・マンの魔の山。バーバラタックマンの 8 月の銃声。キッシンジャーの本」
- ・ 久恒「なぜ読書か(探検と知的生産)」「私の読書データベース(ブログの読書日記)」「私の精読法ー図読」「読書に力かかわる名言集」「目利き・SNSで若い人から学ぶ・耳読書」。最後に私の著書「偉人の命日 366 名言集」「団塊坊ちゃん青春記」「万葉歌の世界」20 冊をジャンケンでプレゼント(感想、アマゾンの書評という期待も)。

● リレー講座：西垣通「AIの過去・現在・未来」。



- ・ 「人間は機械の奴隷になる」、「人間は不死の命を得る」という両極端の意見があるが、私はどちらにも賛成しない。
- ・ ビッグデータの時代：2020 年には1人5兆バイトの情報、これは新書 2000 冊相当。
- ・ コンピュータは思考機械という考え方。「人間の正確な思考とは論理記号の形式的操作にある」。哲学者のフレイゲ、ラッセル。数学者のチューリング、フォン・ノイマン」
- ・ AIという言葉は 1956 年のダートマス会議で誕生。囲碁などのソフトは計算能力が高まったただけだ。コンピュータには現実の問題は解けない。
- ・ 第一次AIブーム(1950 年代後半)：日本は出遅れた。第二次AIブーム(1980 年代)：日本経済の最盛期、第五世代コンピュータ開発に多額投資したが実用化は出来なかった。
- ・ 第三次AIブーム：第一次は論理、第二次は知識、第三次は統計。統計という意味は確率は高い者を提示するというものであり、間違ってもいいという考え方。実用性が高まった。深層学習とはパターンの特徴を自動抽出することであり、正確性には欠ける。高精度のパターン統計処理に過ぎない。
- ・ シングularity(技術的特異点)：レイ・カーツワイル「2045 年」に汎用AIの誕生という説。バラット「AIは最悪の発明だ」、これにビル・ゲイツ、テスラモーターズの創始者、フォーキング博士などが賛成。軍事は危険。
- ・ 根本の議論が必要だ。AIの考え方は西洋の「絶対知」という考え方からきている。ユダヤ教から出発したキリスト教の「不死」、イスラム教の「絶対知」という概念。古代ユダヤ教の現在試練という救済思想とギリシャの論理哲学(神の知)が融合したところからAIという考え方がでてきた。
- ・ イエスはユダヤ教の改革者だった。律法や十戒によってじ上層は救われるという考えから貧しい下層も救われると説いた。ユダヤ戦争に敗れて離散したが、300 年後の 4 世紀に「すべての人は救われる」というキリスト教としてローマが国教化し広がった。神・イエ

ス・聖霊の三位一体で化意味と人間が近づいた。1517 年の免罪符を否定するルター、カルヴァン「予定説」は活版印刷の発明とあいまって宗教改革が始まり、プロテスタンティズムが誕生する。そこでは「働く人は救われる」ことになった。

- ・ 神が宇宙も、人間も、機械も創造した。神はリゴス(真理)だ。機械も論理だ。論理を組み合わせれば真理に近づくという考え方。ユダヤ系は神の真理を地上に実現しようとするミッションをもって活動しているのではないか。選民思想。
- ・ 私はそういう考えに違和感を持っている。生命と機械は違う！深く考えよ。生命は、未来に向けて意味を編集。今、この時点で生きている。身体活動を通じて観察者として世界を創り、多様な価値を追求する。機械は過去のデータを統計処理してデータを出す。没価値的に単一機能を追求する。だから、人間とコンピュータの競争はナンセンスで愚かなことだ。シンギュラリティ神話は、一神教的妄想である！・
- ・ AIは人間の仕事を奪うか？AIはデータ処理。環境条件が安定していることが必要。変転流動する仕事には向かない。臨機応変は苦手。人間が行ってる家事労働、案内係なども流動的で無限に広い世界。環境条件は常に変化し、例外だらけだ。AIはサービス業には向かない。芸術という創造的な仕事は現代に生きる人間がやるべき仕事だ。自動運転など実用研究に絞るべきだ。本質を考えよ。

(日本人の自然観、無常観などが根底にある。西垣通「ビッグデータと人工知能」を再読しよう)

2017 年 11 月 3 日 文化の日も授業:朝は学部「立志人物伝」。夜は大学院「立志人物論」

11 月 3 日は、「文化の日」。でも大学は授業がある。

午前

- 客員の久米先生と楽しく懇談:エニアグラム、、、。



- 授業「立志人物伝」。本日のテーマは「怒濤の仕事量」。
紹介した人物は、漫画家。手塚治虫。石ノ森章太郎。藤子不二夫。赤塚不二夫。米沢嘉博
(明治大学「マンガ図書館」創設)。長井勝一(「ガロ」初代編集長)

夜：品川キャンパスで大学院の授業「立志人物論」。今回のテーマは「持続する志」。

- 運慶展。安藤忠雄展。ゴッホ展。来週は、石橋湛山、鈴木貫太郎を予定。
- 名言：中江兆民。ミッテラン。河上肇。
- 「持続する志」の講義：牧野富太郎。大山康晴。原敬。池波正太郎。市川房江。宮城まり子。
羽仁もと子。講義と動画で解説。話し合い。「心が豊かになる授業」という声も。



- 以下、受講生の感想
 - ・ 本日も貴重な講義をありがとうございました。池波正太郎の、「顔というものは変わりますよ。だいたい若いうちからいい顔というものはない。男の顔をいい顔に変えていくことが、男をみがくことなんだよ」という言葉が胸に突き刺さった。自身の面構えの甘さは日々行じることが足りず、真剣勝負をしていな証拠だと思う。人間的な深みを増していきたい。そのためにも、毎日の日誌を書くようにして(宣言します！)、毎日を振り返ることから始めたいと思う。
 - ・ 本日もありがとうございました。以下感想です。今回は大山康晴名人が一番印象に残った。29歳で名人になりその後長らくタイトルを保持していたが50歳にして無冠となる。本来ならここで引退し解説などへ進むのが一般的だと思うが、再起を誓い棋士としてまた勝負の世界に身を投じていく姿勢には感銘を受けた。私は勝負師という個人種目のスポーツ選手や競馬のジョッキーなどを思い描いていた。また棋士については確かに勝負師ではあるが将棋しかできない人というふうに思っていた。しかし今回の講義で棋士の名言という動画を観てそのイメージはかなり変わった。「努力は嘘をつかない。ただその前には、長い目で見れば、という言葉がつく」「真剣に考えれば前進し、深刻に考えれば

停滞する」「前進できない駒はない」など多くの棋士が人間として深みのある、共感できる名言を残しており、人間として、勝負師としての魅力を感じた。将棋の世界にはあまり関心がなかったが、これからは現在活躍している棋士の人物像について知りたいと思った。以上になります。次回もよろしくお願いします。

- ・ 今日の授業の感想。大山康晴は将棋棋士であるが、賞はごほうびではなく、激励のしるしである。との言葉は自分のことと対照して考え深かった。われわれも人道援助や救命救急で何度もなく行政から表彰状や感謝状をいただきましたが、いただくことはわれわれの仕事の評価していただいたと素直に感謝します。しかし心の中ではいただいた以上これ以下の仕事はできないといつも思っています。たくさんの賞をいただければいただくほど質の高いよい仕事をしなければならないと思います。毎回非常にためになることを教えていただきます。ありがとうございます。
- ・ 今日の講義もありがとうございました。大山康晴は 29 歳で名人位に就いた天才棋士である。21 年経つ、50 歳で無冠になった。一般にはこの年齢が引退すべきが、大山康晴が人生に再出発した。「賞はご褒美ではなく、激励のしるしである」「一時の栄光を求めるより、長く続けることが大切」と話して、自分自身がこの信念を貫徹する。63 歳のち機、当代の名人に挑戦して、一番年長な名人挑戦者になった。また、66 歳の時、当代の棋王に挑戦して、一番年長な公式戦の挑戦者になった。69 歳で A 級在籍のまま死去した。一生はたくさんの名誉がもらったのに、満足できなかった。自分自身の全てが将棋に捧げ、自分の道が最後まで終わらず。私は心から尊敬の念を抱いている。
- ・ 久恒先生、第 4 回の講義、ありがとうございました。今回も、文字で偉人の人生に接触し、色々な名言を勉強しました。大山康晴の「一時の栄光を求めるより、長く続けることが大切」という言葉が、「ブランド戦略」の授業を連想させました。一般的に小企業が目下の利益を追求する傾向にあります。それに対して、大手が長期計画、ブランド戦略を立てて、長い目で見た利益を求める特徴があります。確かに、小企業が人力や財力などに制限されます。だが、長期のもくろみが企業成長への重要性が無視できないことが事実だと思います。

2017 年 11 月 4 日「ライト・アクティブラーニング」の橋本メソッドを学ぶ高大接続FD／SD勉強会

FD/SD 勉強会。

富山大学の橋本勝教授が講師。で、「ライト・アクティブラーニング」で、橋本メソッドを学んだ。教職員 40 名に対するライトなアクティブラーニングの実習型の勉強会。和気藹々の 1 時間半。



- 「タイムスリップ」: 清松先生、水谷室長、中村有先生、出原先生と、私のグループ
- 「いかがでしょうか?」: 水盛先生と中村有先生: 楽しい
- 橋本目そつだ: 質問時間が半分以上。学生の発表と学生の質問。質問しやすくなる。授業の最後の「シャトルカード」、これをコメントをつけて返す。一対一の関係。
- 「どう思われましたか?」: ライト・やる気の乏しい学生に焦点。競争原理とゲーム感覚。
- 「学生はALを好むか?」: 好むのは 2 割。マスプロ・資格試験、、という実状。学びにおける「楽しさ」・笑顔・目の輝き。「主体的、対話的、深い学び」。知的な楽しさを実感する学び。結果として深い学びが自然にでてくる。
- 「ディープか? ライトか?」: 小林先生「生の経験による成熟度によるのではないか。」目黒の松井先生「学力水準によるのではないか、多様な学生、高校が変わりつつあるから大学も変わらなければならない」。潜在能力を出させる。多様性のある対応に工夫。萎縮させない。「幅広さ」と「工夫」のある授業。
- 根拠はあるともないとも言えない。データを信用していない。研究論文としてまとめないが、かわりに授業を全部公開している。自分の目で実感して欲しい。400 人以上。
- 「ライト」は軽負担、write、、。シャトルカード。ALの核心は「楽しさ」「競争原理」「遊び感覚」「相互支援」、。学生も含めたFD。教員は思考停止しないように。やり方の問題。



修了後、名刺交換。ラウンジで金アクテュビラーニングセンター長、担当の浜田先生を交えて橋本先生と懇談。

2017 年 11 月 5 日 多摩大学主催シルバー・デモクラシー企画第三弾「山梨ぶどうX講座」

多摩大学主催シルバー・デモクラシー企画第三弾「山梨ぶどうX講座」に参加。

7 時半に永山から出発、山梨で過ごした後、20 時過ぎに永山に到着。

バスの中での講座

- 駒澤大学の青木茂樹先生
- 多摩大の趙先生
- 私も 5 分ほど石橋湛山を解説。

南アルプス市中央図書館の「ふるさと人物室」で石橋湛山を学ぶ。

2 年落第で大島校長の薫陶。同級生に早川のりつぐ(東京メトロ)、中村せいほ。書斎にクラーク博士の肖像。早大学部首席(哲学)・中村は英文科首席。特待生。1940 年 8 月 25 日「日本の未来は明るい。科学立国」。初の衆院選で落選するも大蔵大臣。石田博英と松永安左エ門。「わが 5 つの誓」。

- 途中で、金丸一元市長の挨拶。「農業は楽しい。面白い。中野地区。10 歳から 18 歳。望月日顕」

名取えいいち(沼津市長)が地元対応をすべて行う。支えた人物。

東京タワーを建てた内藤多仲博士は「鉄塔博士」「耐震構造の父」。歌舞伎座。



- 南アルプス市ゆかりの人物「再発見」。17 人。こういう企画は素晴らしい。
穴吹朝次郎(政治家)。石橋湛山(総理大臣)。ウェストン(近代登山の父)。小野徹' 医師)。

小野要三郎(果樹栽培)。河西豊太郎(文化人実業家)。北村雄治(北海道開拓)。功刀亀内(甲州文庫)。内藤多仲(東京タワー)。名取春仙(歌舞伎浮世絵版画)。埴原正直(外交官)。福田甲子雄(俳人)。矢崎きよみ(愛育の母)。矢崎源九郎(言語学者)。若尾逸平(甲州財閥)。



- 甲州市勝沼「ぶどうの丘」
 - ・ 270 度の絶景を眺めながら、バーベキューの昼食。
 - ・ 講義
 - ・ 久恒「教養としての人物記念館巡り」:「山梨の人物記念館。教養とは？ 二つのライフワーク。人物記念館の旅。わかったこと。人生 100 年時代のモデル。漱石山房記念館。名言の宝庫、、」20 分
 - ・ 斉藤秀樹(南アルプス市教育委員会)「南アルプス市」20 分
- 懇親会

「IBM」「テニス」「日野市臨職」「稲毛。長州」「薬剤師。永山」「化学。ITリレー講座」「宮古島。49 歳。」「長野移住。給食ボランティア。介護福祉士」「川崎。3 世代同居」「73 歳。公開講座」「団体。8 年」「町田。夫とホスピス。初年度から。アクティブに」「山淵。日経と朝日。音楽」「広告。多摩センター。歩き」「世田谷。呉服業。マンション管理。メディアの会」「GIN。観光」、、、、。
- NHKビデオ「石橋湛山と吉野作造。石橋：日中双方で冷戦を緩やかに解凍。第三原理。吉野作造・片山哲・南原繁・丸山真男。増田弘「勇気」。選択肢を広げた。発想の柔軟性。、、」



私の図解の本を読んでいる人。私のブログを毎日読んでいる女性。九大理学部化学科卒の女性。、、、。

さて、この 3 回シリーズの財産をどう生かすか。

2017 年 11 月 6 日 2017 年度第 2 回研究開発機構評議員会

2017 年度第 2 回研究開発機構評議員会を九段サテライトで開催。

私は研究開発機構長として議長役。今回は中間報告と全学(学部・大学院を含む)の情報交換

会。

審議事項

- ルール形成戦略研究所人事:客員教授。副所長。

報告事項

- 多摩大学総合研究所:大いなる多摩学会。昭島市。多摩大出版会。2017 年度事業進捗状況報告。
- 多摩大学情報社会研究所:LINE。ニトリ。
- 多摩大学医療・介護ソリューション研究所:アジアヘルスケア戦略研究会。日本ドラッカー学会医療介護部会。カネカ。医療介政策ニュース。『医療危機:高齢社会とイノベーション』(中公新書)など出版。
- 多摩大学ルール形成研究所

その他

- 2018 年度事業計画スケジュール:2 月 9 日×切
- 多摩大学シーズ集:「大いなる多摩シーズ集」の原稿の依頼。11 月 30 日×切。
- 第 3 回評議員会日程:2 月 13 日。
- 学部、研究会の近況報告と懇談。

2017 年 11 月 7 日 全国戦略経営塾 2017ーウーバー・ジャパンの高橋社長。経済産業省の前田審議官。三重大の西村副学長。寺島塾長。

全国戦略経営塾 2017 が九段のグランドパレスで開催された。全国から100名の経営者たちが参集。

冒頭は寺島塾長の挨拶。

続いてウーバー・ジャパンの高橋正巳社長「Future of Mobility テクノロジーに夜交通の変革」。

- ボタンを押すと車が来るサービス。77ヶ国600都市。一日1000万乗車。現在は全体の4%、10ー15年後には25%へ。ウーバー・プールでの乗り合いにより交通量の削減。ライドシェア(所有から利用へのパラダイムシフト。ウーバーブラック(高級車)、バン、SUV、2輪、小型、タクシー、アシスト、、、。都市の抱える問題を解決していく。タクシーとのパートナーシップ。
- テクノロジーによる安全安心の提供。ユーザー:相互評価(ユーザーとドライバー)。情報の対称性。リアルタイムで情報共有。カード決済。ドライバー:200万人以上。自分の責任・自由な働き方。週15時間以下が多い(一日1ー2時間)。副業や子育て者。専用アプリは50言語。需給が見えるのでマッチング。ダイナミックプライシング。
- 海外:フランス:成長の2%に貢献。収入、保険、リース、販促、飲食、観光に影響。
- 日本:東京は3年半前からハイヤーと提携したハイエンド向きサービス。地方では2つの過疎地域で自治体と組んで実験。京丹後ではNPOに提供(タクシー・バス無し)。北海道中頓別町(JR廃止。高齢化4割)では住民ボランティアに提供(代理配車・現金。病院・買い物)。

- ウーバーイーツ:フードデリバリーサービス(料理の注文・配達)。1年前から東京17区。1000店舗以上が参加。世界29ヶ国100T都市。横浜も。ユーザーeater(ホームパーティ・オフィス)は今どこか、配達車の名前、やりとりも分かる。手軽で選択肢が増える。一人前もOK。レストランはコスト安い、マーケティングに有効。配達者(パートナー)は5000名以上、大学生・高齢者・主婦・芸人・役者が登録。ゴールドパートナープログラムも。豊かな食生活。新しい働き方。
- ウーバームーブメント:ビッグデータ(雨・災害時の動きなど)を都市開発者・シティプランナーに提供し都市づくりに貢献していく。自動走行サービスの提供を実験中(ピッツバーグ・アリゾナ)。ウーバーエア(空飛ぶ車)の研究開発。人を運ぶ。2020年にドバイ、ダラスで実用化を目指す。2時間が15分に短縮。トラック版ウーバー(物を運ぶ)。スマホさえあればOK。新しい働き方の提供。



経済産業省の前田泰宏審議官(IOT担当)

ディープラーニング協会(松尾先生)。AIという用語もデータという用語も使わない。産業利用にフォーカス。目的。課題発見。テーマ設定。何のためのデータか。何処にどういうデータがあるか。重要なデータ。プライバシー・セキュリティ・権利配分が加わればビジネスモデルになる。日本はデータの利活用が遅れている。整理がきれいな。異業種交流が大事。教育産業政策、町工場とDJのコラボ、文学と数学、、遊んでいる量に比例する。経営者は方向性を大胆に指示せよ。(飛騨高山にイスラエル人の記念館。誰か?)



西村訓弘三重大学副学長。「三重から世界を見て最近思うこと」

- 末端から見える。テクノロジーによってライフスタイル(生き方)が変わる。中国はフィンテック大国(スマホ決済)。カンボジア。Leapfrogging で一気に進展する。M-Pesa でGDPの10%になったが、GDPは増えていない。イノベーションは起こっていない。社会は豊かになったのか？社会の背骨であるインフラに新たな技術を組み合わせる。組み合わせを生み出す能力がカギ。
- 三重県は南北格差。エア・ビービーの人気のおばあちゃん。若い農業者が定着しつつある。新結合。本居宣長と伊勢商人。地方でじっくりと取り組むのもいい。「井の中の蛙大海を知らずされど空に青さを知る」



寺島塾長。

- 時代認識: プラットフォームが大事。戦略経営塾もそれ。
- 中年の危機: 出会いと使命感。
- 異次元の高齢化社会: 80 歳 1000 万人・100 歳 7 万人。2050 年に 80 歳 1600 万人・100 歳 53 万人。80 歳の 7 割は健常者、社会参画のしくみが必要。
- 知の再武装: ジェントロジー(学際的老年学)。レジリエンス(心の回復力)。時代と向き合う気迫が必要。価値観、メソドロジー(方法論)、情報基盤が必要。
- 世界をどう見るか? トランプ政権の経済政策(産業政策は保護主義。金融政策は規制緩和。エネルギー政策は化石燃料・原子力維持)。株高。西海岸と東海岸の亀裂。西海岸シリコンバレーの光と影。ベンチャー経営者には天国、中間層には地獄(不動産 2 億円以上)。コンビニの無人化。時給 1000 円のレジはなくなる。中間層の没落が起こっている。トップと末端で成り立つ経営。バーチャル(IT)とアナログ(生身)のバランス。映画「ザ・サークル」。世界同時好況。アジアダイナミズム。日本との貿易: 大中華(31.6%)は米国(15.8%)の 2 倍。中国: 2000 年は日本の 4 分の一。2010 年並ぶ。2018 年は日本の三倍。10 数年後には 6-7 倍に。エネルギー: 供給ではアメリカの原油と天然ガスの京供給力が強くイランも登場。エネルギー弾性値の低下(日本はマイナス 1.8%。世界は 0.32%)で需要はあまり増えていない。需給関係からはバーレル 70 ドルを下回るはずだ。ただしマネーゲームの対象となれば 100 ドルもあり得る。日本は現在の 50 ドル前後が望ましい。脱石油。サウジとカタールの断交で湾岸産油国が割れた。イランの台頭とトルコの野心。ペルシャ帝国とオスマン帝国の再現という先祖帰り。100 年前のサイコス・ピコ協定という大国の横暴。
- 日本: トランプへの接近。親米を装った反米。プーチンロシアへの接近。核兵器禁止条約への不参加。ASEAN9 ヶ国とモンゴルが署名。東南アジアの非核化と北東アジアの非核化への構想。奇妙な状態。日本の政治: 絶対得票率 17.9%(投票率 53.68%×比例自民党 33%)。

安倍政権支持は 10 数パーセント、議席は 61.1%。国民とのギャップ。マグマの高まり。



終了後のパーティ。モンゴル旅行で一緒した方々と旧交を暖める。宮城大時代に交流のあった盛岡の山田裕幸さん(山田総合労務事務所長)とも久しぶりに近況交換。寺島さんから拙著『図解で身につく！ドラッカーの理論』の話題も。

2017 年 11 月 8 日 文科省の平成 29 年度「私立大学研究ブランディング事業」に採択された。「大都市郊外型高齢化へ立ち向かう実践的研究ーアクティブ・シニア活用への経営情報学的手法の適用」

- 多摩大は文科省の平成 29 年度「私立大学研究ブランディング事業」に採択された。「大都市郊外型高齢化へ立ち向かう実践的研究ーアクティブ・シニア活用への経営情報学的手法の適用」。期間は 5 年間。

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shinkou/07021403/002/002/1397956.htm

- ラウンジ
 - ・ 樋口先生: 思い出話。幻燈の話題。母に電話で確認。
 - ・ 杉田学部長: 研究ブランディング
 - ・ 杉本係長: 小論文・スピーチコンテスト
 - ・ 中澤先生: 千葉市美術館

2017 年 11 月 9 日 午前: 昭島市と顔合わせ。午後: リレー講座は米倉誠一郎先生

「日本の創造的対応を求めてーイノベーターたちの日本史」

午前。

- 昭島市との顔合わせミーティング。

早川副市長、永沢市民部長、青木産業活性課長、薬袋産業振興係長。

多摩大:私、杉田学部長、中庭地域活性化マネジメントセンター長、松本総合研究所副所長、中村その子先生、久保田先生、水嶋課長、矢内さん。

松本先生が産業活性中期計画の委員長を務めている縁で、連携に踏み切ることになった。

終了後、杉田・中庭・松本・久恒で、学部の当面のプロジェクトについて意見交換。

- 事業構想、問題解決学の教科書、、、、。

午後。

- 本日のリレー講座講師の米倉誠一郎先生（法政大）と面談。宮城大時代に一度会ったことがある。「偉人の命日 366 名言集」を贈呈。「僕と同じテーマ。リレー講座の受講生には喜ばれるでしょう」と。
- リレー講座「日本の創造的対応を求めてーイノベーターたちの日本史、近代日本の創造的対応から」。



- ・ 創造的レスポンス。情報感受性。大国意識を持つと破滅する日本。小国意識で通商。収入 56 兆円で予算 100 兆円の国。都内の自家用車稼働率 4%。ウーバー。ラスクル（印刷）。規制緩和は生活を豊かにするため。死亡時の財産の平均 2000 万円、都内 8000 万円。不安。格差の固定化が問題。分配（社会主義）でも保護主義（トランプ）でも解決しない。教育のみが富の生産（資本主義）。昔は公立で勉強できた。今は子供の貧困率は 6 分の 1。自殺率世界 9 位。自己肯定感 90 位。OECD で教育支出は最低。一律でなく多様性の教育が必要。部下にしかねない教育からの脱皮。上昇処理能力から情報創造能力へ。ワークスマート。ドイツは日本より休日は 50 日多い。リニアによるスーパーメガリージョン構想には疑問。2045 年に人口 1 億。大事ななのはクリエイティビティ。

- ・ 人物：高島秋帆（長崎奉行）。笠井順八（小野田セメント）。三野村利左衛門（三井）。益田孝（「自伝」）。岩崎弥太郎（三菱）。大隈重信（秩禄処分）。大久保利通（士族授産）。高峰譲吉（大日本肥料）。大河内正敏（理研）。鈴木梅太郎（ビタミン）。A・スローン（GM）。シュレーダー首相（ドイツ）。
- ・ 近著『イノベーターたちの日本史』（米倉誠一郎）

2017 年 11 月 10 日 副学長日誌

- 秘書とスケジュール調整
- マグネットの岩澤さんと打ち合わせ

2017 年 11 月 11 日 多摩祭初日ー「私の志」小論文・スピーチコンテスト

多摩祭の初日。すっかりこの名称も定着したようだ。



飯田先生の古本屋は今年の 5 倍の売上げ。飯田先生と樋口先生。

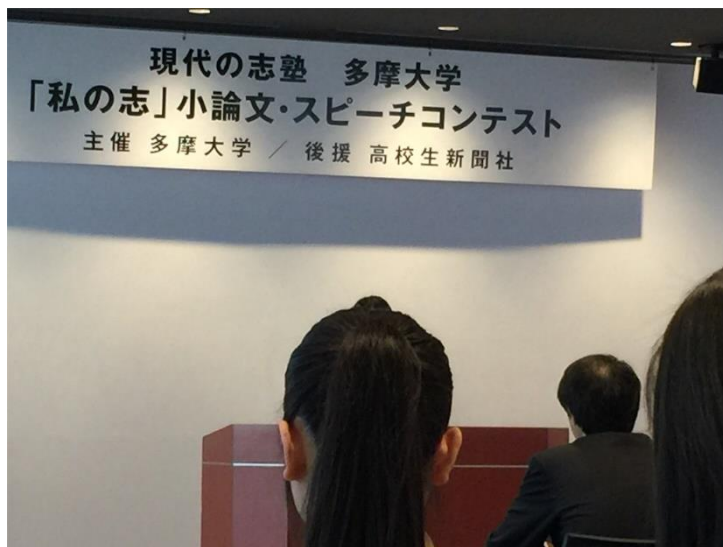


13 時から「私の志」小論文・スピーチコンテスト。

私は冒頭の「開会の挨拶」

「教育理念＝現代の志塾」「何々になろうではなく、何々をしよう」「自分の歌を歌えばいいんだよ」

「小さな完成よりも大いなる未完成へ」「偉い人に」「賞は激励」。





英語と日本語での「私の志」のプレゼンテーション。

内容も素晴らしいが表現力も豊か。英語も日本語も音楽のように語る。8人のうち7人が女子高生。志という言葉が高校生が使うのは聴いていて気持ちがいい。ドラマチックプレゼンテーション。ユーモアが混じればもっといい、、、。

プレゼンテーションが終わると、全員が付き添いの両親と目を見合わせて、上気している姿はほほえましい光景だ。



審査委員長の中村その子先生の講評。

「背筋が伸びた」「情報を鵜呑みにしないで社会に目をしっかり開いている」「ゆるくなく明確な志」「夢ではなく、壁を意識し努力し、きちんとステップを踏もうという考えが良かった」



2017 年 11 月 12 日 多摩祭二日目 ―「多摩大・立志人物伝」

多摩祭二日目。

本日も入場者は多い。おそらく昨年を超える史上最高の入場者数となるだろう。

午後の多摩大OBを招くイベントは、杉田学部長の「多摩大・立志人物伝」だった。

33 人の多摩大の歴史上の人物を解説しながら多摩大の歴史を説明する興味深い講演だった。結論は「教育の多摩大」だった。



野田一夫初代学長(コンセプター)。中村秀一郎初代学部長(2 代学長)。尾高敏樹(大学の番頭)。松谷泰行 2 代学部長(全員添削)。鈴木雪夫(初代研究科長)。井上伸雄(いたずら王)。日下公人研究科長(人生最高にして究極のレジャーは教育)。国津信博(人生訓)。内藤則邦(ゼミ中心大

学の起源)。白根礼吉(ダンディズム)。近藤隆雄(教務委員長)。門間晋(英語の前に日本語)。大槻博(日本初の授業評価)。河野大樹(ドラッカー)。井上一郎(那野比古)。河野。星野克美(消費社会)。楠木光雄(教養としての音楽)。松浦敬紀(3代学部長)。今泉忠 4 代学部長(初代副学長。ネットワーク環境)。飯田健雄(ダジャレ・陸上・サーフィン)。常見耕平(図書館へ引っ越し)。望月照彦(志士を)。北矢行男(現代の私塾)。山原克明(教職)。秋山純一(国際会計)。中谷巖(4 代学長。自己発見)。野田稔(初年次教育)。大森拓哉。田口聡志(スーパー切れ者)。豊田裕貴(名物ゼミ)。諸橋正幸(5 代学部長。副学長)。広瀬一郎(スポーツマーケティング)。

下記写真は創業教授陣。



続いて現役教員を交えた懇親会。黒瀬同窓会長を囲んでの写真。



私は開会の挨拶。

「多摩大・奇人変人伝！ 現代の志塾はどうして決まったかを語り継ごう(北矢先生の「現代の私塾」を土台に望月先生の「私を志に」の提案を受けたもの)。学部同窓会と大学院同窓会の合体で多摩大「志塾会」を結成。ライバルは慶応「三田会」。2018 年から毎月のセミナーと懇親会を連続開催。)」



2017 年 11 月 14 日 副学長日誌

- 秘書とスケジュール調整
- 藤村さんと高野課長と面談：多摩大事務局長だった方。現在は野田事務所。
- 杉本さん：戦略会議「研究」

2017 年 11 月 15 日 丸の内の日本興業倶楽部で坂村健先生の講演「オープンIoTの考え方と実践。IoTからIOSへ」

19 時：寺島文庫リレー講座は坂村健先生の「オープンIoTの考え方と実践。IoTからIOSへ」。坂村先生は東大退官の後、東洋大学情報連携学部長に就任。

- 東洋大学の創始者・井上円了(1858－1919 年)。東大文学部哲学科一期生。哲学館。妖怪退治。社会不安を統計データで解消していく。哲学とは人生や世界観の根本原理を考えること。設計図。実用性。心の近代化が必要と説いた。哲学館事件で退任し生涯学習に転身。5400 回の講演行脚。(井上円了記念館は一度訪問したが休みだったので再度訪れよう)
- 日本は少子高齢化と人工知能が迫ってくる。世界では小学校からプログラミングを教えている。プログラミングは簡単になってきた。開発環境。ネットでクラウドにつなぐ。設備も持つ必要はない。少しプログラミングを学べば凄いことができる。日本の法律はポジティブリスト型でありイノベーションが起こしにくい。ハンコ、印紙。紙も電子も。ETCも現金も。全部やろうとす

るからできない。アメリカはネガティブリスト型の法体系。書いていないことはやっていい。インターネットは自由に使える。

- 中国: モバイルペイメント(アリペイ・Wechat)。スマホがお金・通貨。QRコード。乞食への恵みもQRコード。現金を持たない社会へ。mobike(シェアリング自転車)。どこで乗ってもどこで降りてもOK。QRコードの組み込み。1年500万台。世界中100都市。一日2500万回。道路の混雑状況のビッグデータを自治体に提供。クラウドですぐれたユーザにはインセンティブを与える仕組み。IOTはコンピュータを組み込んだ物のネットワーク。違反者は拒絶。途家(Tuija)はシェアハウスのマッチングサービス。利用者を遠隔監視。罰金の自動引き落とし。
- オープンなIOT: IOTという言葉に収斂してきた。インターネットでモノを繋ぐ。普及のカギはオープン性だ。APIの公開。クローズではダメ。「オープンIOT」。APIエコノミー。系列や業界を超えるVCMプラットフォーム。IOTからIOS(service)へ。
- 坂村の開発したトロンは世界標準として全世界に展開。米国の学会に知的所有権を寄贈。ハヤブサ、H2ロケット、デジカメ、プリンター、FAX、楽器、クラウンのエンジンなどにもトロンが採用されている。
- AIはIOTにとって重要。大量データをAIで解析。ロボット化も重要。強化学習。プログラミングなしでトライさせて学習させる。並列学習ですべてのロボットが成功を共有する。ロボット同士の勝負を繰り返すとロボット自身が定石をつくる。脳のニューラルネットワーク。
- 新しい教育が必要だ: 論理性の強化。AIと問題をつなぐプログラミングを少し学べばよい。基礎学力としてのプログラミング。文・芸・理融合。高い専門性とチーム連携力の高い人材。
- 東洋大学赤羽キャンパス(隈研吾・坂村健): INIAD。mooks。電子図書館。オンドセンサー、鍵、、ペーパーレス、、、。連携(コラボレーション)。自分で考える力。多様性。社会人教育の必要性。プログラミングとコミュニケーションは1年生の必修。

2017年11月16日 リレー講座: 浜矩子「これからどうなるグローバル経済と日本」

- こえラボの岡田社長来訪: ポッドキャスト配信の打ち合わせ
- 杉田先生: 学部運営委員会
- 金先生: ディプロマポリシー
- 小西先生: ディプロマポリシー
- 黒瀬学生課長: 多摩祭の総括。OB会の方向性。
- 彩藤先生
- 杉本係長: 戦略会議
- リレー講座の浜矩子先生と懇談
- 本日のリレー講座: 同志社大学の浜矩子先生「これからどうなるグローバル経済と日本ー反グローバルの落とし穴」



- ・ グローバル時代とは何か:スケールの大きさと速い速度のグローバル化。格差と貧困。人に冷たい世の中。これに対し、フランスの極右ルペン党首「右も左もない。グローバルと愛国の対決だ」という国粹主義の危険な主張の登場。そうではなく、グローバリズムとどうつき合うかが重要だ。
- ・ グローバル時代の本質1:誰も一人では生きていけない時代。3・11 後の福島の一部品メーカーの操業停止で世界中で自動車生産が止まった。支え合う共生の生態系ができています。本質2:誰も親分になれない時代。突出できない、、、。グローバル時代は仲良くやらざるを得ない時代だ。3つの落とし穴がある。
- ・ 1:引きこもり型落とし穴:トランプ大統領。2:拡張主義型落とし穴:安倍首相。共通点は幼児性凶暴性(ヒステリー・大人の感性の欠如・反撃・被害妄想)と人のために泣くことができない(もらい泣きはない)。相違点:引きこもり型のトランプ大統領就任演説 170120「アメリカ・ファースト」。拡張型の安倍首相の 170120 の施政演説「世界の真中で輝く国造り」。誇大妄想。「ASEAN、オーストラリア、インドと環太平洋諸国」。大東亜共栄圏より広い。戦後レジームからの脱却とは戦前の大日本帝国への帰りだ。一見オープンに見えるのがやっかいだ。安倍「TPPは経済的価値だけでなく、戦略的価値が重要」。これは 21 石版大東亜共栄圏という下心。
- ・ 人殺しの落とし穴:働き方改革は労働生産性の向上がテーマ。実行計画では「同一賃金」「長時間労働の是正」「柔軟で多様な働き方」を提示。労働法制で縛られないフリーランサーの勧めであり、労働者の権利は保全されない。一見よさげに聞こえるが、人を使い倒す、人殺しの落とし穴だ。気をつけよ！

2017年11月17日 長い一日:学部「立志人物伝」。「トレンドウオッチャー」収録。事務局との定例会議。赤坂。品川の大学院「立志人物論」

- 5時起床:ブログで昨日を総括。授業準備。
- 9時:大学に出勤。授業準備。
- 10時:久米先生と懇談、打ち合わせ。
- 10時40分:「立志人物伝」の授業。本日のテーマは「怒濤の仕事量:女性編」。
- 12時半:T-Studioでの「トレンドウオッチャー」の収録:久米先生との対談。テーマは「音」。ポッドキャスト、アマゾンエコー。
- 13時:事務局との定例ミーティング:杉田学部長。宮地事務局長・水嶋教務課長・川手総務課長。
- 15時半:赤坂の野田事務所で仙台の富田さんと合流
- 18時:品川の大学院に到着。春学期の「インサイトコミュニケーション」の授業評価であるVOICE結果(5.0)をもらう。教授会で示された数字(4.95)と違う。なぜか？
- 18時半ー21時40分:「立志人物論」の5回目。テーマは「怒濤の仕事量」。1月の最後の授業は都内の人物記念館の訪問と食事会というフィールドワークに決定。どこにしようか？





以下、翌日 5 時までフェイスブックに書き込まれた受講生の感想。

- ・ 久恒先生、第五回の講義、ありがとうございました。まず、今回の講義のテーマであった、怒涛の仕事量。圧倒的な仕事量をこなすことにより、そこから先に質の高い仕事が見えてくるのではないかと思います。特に今の私は仕事を選んでいる場合ではなく、まずは先人たちに学び、仕事量を増やし、その報酬として更なる仕事を得たいと思います。そして、自分の世界を作るためにも、手塚治虫の言葉にあるように、一流の人に触れ、一流の文化に触れることが大切だと学びました。
- ・ 久恒先生、今日の講義ありがとうございました。与謝野晶子さんは本当に素晴らしい人間であると思う。17 年間いつも妊娠状態、子供 13 人を育てながら、自分の作品を完成した。この想像できない仕事量、一般人には決して完成できないだろう。与謝野晶子さんは本当に「一能一芸」を深く究め、自分の人生のエネルギー、持っている才能と仕事に対する愛を生かせる。また、手塚治虫の作品は、普通の漫画ではなく、哲学を包む。昔は医者として戦争体験があったので、今の時代の漫画を大きな区別があると思う。『ブラ

ックジャック』という一つの漫画を進みたい。主人公は手塚治虫と同じ医者であり、世界各地戦争がある場所に行き、色々な物語が作って、漫画で現実に対する思考を表現する。(中国人)

- ・ 第5講ありがとうございました。今週の師に、樋口一葉を選定。彼女は幼少期 裕福な家庭環境で育つも、やがて父の事業が倒産。父と兄の死後は大借金を背負い、母と妹で貧しい生活の中、肺結核のため 24 歳で他界。当時は女性作家が珍しかったであろう時代に、逆境をバネにした短い人生の中に世代を超えて読み継がれる作品が幾つかある。「何をなすべきかを考え、その道をひたすら進んで行くだけ」という生き方から、置かれた環境に左右されず本業に取り組む熱意と強いパーソナリティを感じました。
- ・ 今日の授業のコメント:漫画家の手塚治虫と石ノ森章太郎の比較をしました。手塚治虫は、社会の倫理を教える内容で読む人の人生観に強い影響を与える作品です。石ノ森章太郎の作品は、どちらかといえば笑をとる内容で、今のテレビのバラエティー番組の内容に似ています。私は手塚治虫ファンなので手塚治虫の方が好きです。
- ・ 久恒先生、講義、ありがとうございました。今回、私は与謝野 晶子さんの「人は何事にせよ、自分に適した一能一芸に深く達してさえおればよろしい」という言葉に大変に啓発されました。好きなことをやれば、必ずよくやれると思います。従って、自分にとって、何がやりたいことを明確するのが非常に重要です。その後で、あの方面に向けて、色々な専門知識を身につけます。これに基づいて、職業を選択すれば、良いと考えます。また、志村ふくみさんの映像について、感想を述べたいです。なぜ志村さんが優れた作品を作成できるかというと、心から物への尊敬を持っているからだと思います。実は、染めだけではじゃなくて、マンガでも、何事にせよ、同じじゃないですか。心から従事することに尊敬の念を抱いて、本気の気持ちを注いだら、どんな難局でも、切り抜けると思います。(中国人)

2017 年 11 月 18 日 インターゼミ

学長講話時の資料のみ受け取る。

- 週刊エコノミスト「日本の株式市場は意図的に形成された相場。公的資金の投入がなければ 1 万 2 千円を割る。政治主導によってゆがめられた金融資本主義。原油価格は需給だけでなくマネーゲームに左右される。金融取引税など新しい政策科学屋ルールづくりが必要だ」
- ドラッカーから学ぶもの「時代との緊張。境界人。脱イデオロギー」



松井先生。杉本係長。

杉田学部長と情報交換をしながら帰宅

2017 年 11 月 21 日 T-Studio「名言との対話」:センテナリアンの「片岡球子」(第 23 回)と「日野原重明」(第 24 回)をリリース

- 多摩大 T-Studio「名言との対話」で 2 つをリリース
「異次元の高齢化に立ち向かうために、何が必要なのかを、センテナリアンと呼ばれる 100 歳の人生を生き抜いた先人の名言から答えを見つけていきます。」
 - ・ 第 23 回「片岡球子」。日本画家、103 歳。
片岡 球子(かたおか たまこ、1905 年(明治 38 年)1 月 5 日 - 2008 年(平成 20 年)1 月 16 日)は、昭和・平成時代に活躍した日本画家である。日本芸術院会員・文化功労者・文化勲章受章者。北海道札幌市出身。
 - ・ 第 24 回「日野原重明」。医師。105 歳。
日野原 重明(ひのはら しげあき、1911 年(明治 44)10 月 4 日 - 2017 年(平成 29)7 月 18 日[1])は、日本の医師・医学博士。聖路加国際病院名誉院長、上智大学日本グリーンフケア研究所名誉所長、公益財団法人笹川記念保健協力財団名誉会長、一般財団法人ライフ・プランニング・センター理事長、公益財団法人聖ルカ・ライフサイエンス研究所理事長などを務めた。
- 午後:研究室で事務処理
- ラウンジ:水嶋教務課長と「授業評価」(voice)の数字について確認、全学の統一が必要。杉本係長と「多摩大式コンピテンシーの構造と評価」の図、「戦略会議」の国際交流の打ち合わせ。
- 夕刻.:多摩大目黒高校で橘川先生と一緒に松井先生から教室見学と説明を受ける。
- 橘川先生と懇親:いくつかの案件を考える。

2017 年 11 月 22 日 多摩:学部教授会。新人先生の授業見学。品川:大学院運営委員会。

- 杉田先生・金先生・杉本係長:メンター。VOICEのあり方。多摩大式コンピテンシー。
- 学部運営委員会:教授会前の執行部の打ち合わせ:ゼミのあり方を議論し考え方を变えることに(今年は 2 次・3 次で吸収)、教授会で説明。
- 教授会:文科省研究ブランディング事業が採択された。今年の文科省私立大学改革総合は 3 つ合格した。
- 小林先生:研究ブランディングの進め方

- デメ研とのZOOM会議トライアル：説明本を注文。
- ラウンジ
 - ・ 杉田学部長：ゼミのあり方。事業計画。
 - ・ 志賀先生
 - ・ 杉本係長
 - ・ 飯田先生：英語教育
 - ・ 高野課長・山本：ZOOM。Podcast。
- 14 時 40 分から授業見学：新人の野坂先生の「多摩学」。見学者は、杉田、金、水盛、小西、私の 5 人。



最初に本日の授業の全体像を説明。事前に指名した 2 人の調査を発表させる(フィールドワークのインタビュー、自分のダンス、音楽も付けた動画を制作して発表する学生も)。どんどんあてていく。大人数であるが静かに聴いている。質問するとポイントがもらえる。クイズ方式。課題用紙に数字などを書き込ませ提出させる。スライド資料はT-NEXTにアップ。個人ワークあり。テンポがいい、、、野坂先生本人が多摩についてよく勉強している。アクティブ・ラーニングを強く意識した授業スタイルに感心。

- 品川キャンパス
17時半：大学院運営委員会：事業計画。規程変更(3コースから一本化)。教務(時間割。シラバス。研究ブランディング。VOICE の数字)。入試広報(入試。MBAEXPO。体験講座)。院生(授業料減免)。2018 年度教授会・運営委員会。

2017 年 11 月 23 日 多摩大インターネット放送局「トレンドウォッチャー」第 10 回――久米信行さんとの対談は「音声データ」がテーマ

インターネット放送局トレンドウォッチャー第 10 回掲載お願いいたします。

「第 10 回」多摩大学 客員教授 久米繊維工業株式会社 取締役会長 久米信行 氏
多摩大学 教授 久恒啓一

「時代の先端で活躍する久米信行 客員教授と久恒啓一 教授が、最近発売されたばかりのスマートスピーカーについて、私達の生活をどのように豊かにしていく可能性があるのかを、音声データがもたらす可能性も含めて熱い思いを語ります。」

2017 年 11 月 24 日 副学長日誌

- 10 時: 久米先生と懇談。
- 10 時 40 分: 授業「立志人物伝」。本日のテーマは「修養・鍛錬・研鑽」。安岡正篤、二宮尊徳、野口英世、新渡戸稲造、サトウハチローを取り上げて、映像や音声も含めて紹介。終了後のアンケートをみると、圧倒的に二宮尊徳への共感が大きいのに驚いた。
- 12 時半 T-Studio での収録「名言との対話」。テーマは百寿のセンテナリアン。具体的には児童文学の石井桃子と、短歌の土屋文明。
- 13 時: 事務局との定例ミーティング: 杉田学部長。川手総務課長、水嶋教務課長。

2017 年 11 月 26 日 学部の「立志人物伝」: 8 回目は「女性」の偉人編。与謝野晶子・樋口一葉・石井桃子・向田邦子・草間弥生・志村ふくみ

学部の授業「立志人物伝」は快調に進んでいる。

8 回目の授業「怒濤の仕事量」では「女性」の偉人を取り上げた。以下、受講生のアンケートから。毎回のメッセージは若者の心に届いている。

- 偉人に負けないように自分の世界観を広げようと強く考えさせられた。
- 白洲正子さんの言葉は自分でも薄々と感じている部分があった。「命がけで何かを実行すること」今の私に足りていないのは「命をかける覚悟」なのかもしれない。
- 命がけで何かを実行してみることが大切だと分かった。私も何かを実行してみようと心がけたい。
- 与謝野晶子の詩は当時の日本の思想には反していたが公表できたことの凄さが分かった。
- 与謝野晶子「人は何事にせよ、自己に適した一能一芸に深く達してさえおればよろしい」という言葉は今回の講義で一番いいものと思った。
- 与謝野晶子のエッセイを少しずつ読んでみようと思った。
- 与謝野晶子は詩も素晴らしいが、その生きるエネルギーが凄まじい。
- 与謝野晶子は 13 人子どもを育てながら仕事をこなしたと知り、どういう生活をしたらそこまですることができるのか不思議に思った。
- 与謝野晶子や樋口一葉は戦時中に男尊女卑の時代にまわりの風習や視線に負けずに自分自身の生き様を精一杯出し切った事に羨望の念を感じた。与謝野晶子の死にたはふことな

かれには、とても驚きを覚えた。

- 樋口一葉の言葉の中で「このような時代に生まれた者として、何もしないで一生を終えて良いのでしょうか。何をすべきかを考え、その道をひたすら進んでいくだけです」という言葉から、限られた中で活躍していく女性の力強さが素晴らしいと思った。
- 樋口一葉は今の私達と同じくらいの年齢で亡くなっていた。言葉を調べようと思う。
- 石井桃子さんに感心を持った。有名な本を作っていることを知らなかった。本を詳しく知っていても、作者のことを知らないといけなと感じた。
- 石井桃子は 70 年間にわたり本を出し続けその対象が全て子ども向けということに驚いた。
- 向田邦子さん、いつ死んでもいいように一日全力をかけているのが心に刺さった。
- 向田邦子のいうように人生は終わるかは誰も分からないから後悔無く今を生きていかなければならないと思った。
- 向田邦子のエッセイはとても好きで良く聞いていたので、本講義で取り上げられてとても驚いた。
- 草間彌生さんの人物像には惹かれるものがあった。
- 草間さんの美術館に行ってみたい。
- 志村ふくみ氏の「人は自然と対等な関係ではなく自然の中に人が生かされている」という言葉に現代の人々のエゴや傲慢さが含まれていると思った。

2017 年 11 月 27 日 ビジネススクエア多摩

- 「ビジネススクエア多摩」企画運営委員会。多摩大(総研)・多摩市・多摩信金の三者連携の会議。電通大の竹内先生。以下、メモ。
多摩センターのビジネスセンター化の進行。多摩信金本店ビル。企業と大学のお見合いの小さな仕組み。私立大キャリア懇。京王電鉄。地域課題解決創業。相談が入り口。武蔵野プレイス。人。創業支援の方向調査、、、。



- 午後は、研究室で学部と大学院の授業の来年度シラバスの作成、教員活動のプレ報告書作成を、一気に完了！ ディプロマポリシーとの関連を意識。
- 飯田先生、池田課長。：ラウンジの活用法。
- 高野課長・山本さん：ZOOM。T-Studio 録画。

2017 年 11 月 29 日 文庫リレー塾は寺島塾長の「2017 年の総括と 2018 年への展望」

- 講義に見えた内閣府の越田さん
- 杉本係長
- 今泉先生：大学院の時間割の確認
- 杉田学部長・高野課長：事業構想論。誰が講師で来ているのかPR。メンター制度の実効化。人事。
- バートル先生
- 松本先生
- 19 時-20 時半：日本工業倶楽部での寺島文庫リレー塾。本日の講師は寺島実郎塾長。「2017 年の総括と 2018 年への展望」
 - ・ 時代認識。AI・IOT。異次元の高齢化。ジェロントロジー。知の再武装。
 - ・ アベノミクスの総括：家計は疲弊(1997 年対比 80 万円のマイナス)。企業は好決算(95 年 25 兆円、2016 年 75 兆円の経常利益)。人件費と設備投資は増えていない。内部留保と配当金が増加。株価の上昇(2.3 万円)は公的資金(年金・日銀ETF)と外資。実力は 1 万 5 千円未満。雇用の増加は保安(ガードマン)と建設(オリンピック)。事務職は不調 0.69。技能オリンピック 2017 で日本は 9 位にダウン！。1 位中国・2 位スイス・3 位韓国。IMFの経済見通し：世界同時好況(3.2%－3.6%)
 - ・ 政治と経済の分離という論点：政治リスクは高まっている。株価だけ上昇中。北朝鮮・中東・強権的リーダー(周金平・プーチン・トランプ。台湾問題解決と北朝鮮問題に中国の軍事介入)。化石燃料(原油・LNG)は米国とイラン要因で安定、不安材料はマネーゲーム。株価の上昇は米国の戦争経済の匂い、産軍金複合体、軍事政権化。2017 年はプラネット・トランプ。2018 年はトランプイズムとマクロニズム。大テーマ「デモクラシーはマネーゲーム経済を制御できるのか？」。
 - ・ 日本の外交・安保：日本の運命がトランプにかかってきている。100%支持というが核を使うことには反対を表明すべき。国連の核兵器禁止条約に日本は賛成しなかった。北東アジアの非核化への構想力。沖縄問題解決への構想力。安倍政権はトランプとプーチンとの連帯とみえている。
 - ・ 絶対投票率：投票率 53%×比例自民党 33%=17%。しかし議席は 61%。違う方向へといういらだち、マグマ。官邸主導政治の落とし穴。外の知恵・官僚の知見を取り入れない。臨界点に。維新 10 議席・公明 700 万票。中道リベラル、保守リベラルを軸という政策

軸！

- ・ 生命史と人類史：宗教。認識（目的合理性）と意識（コンシャス）。自分を越えた大きな力の存在を意識。月からみた地球に感動、涙。AIには中東一神教の匂いあり。五識を越えた識。仏教思想の深さ。

2017 年 11 月 30 日 ・ リレー講座：小林先生「変わりゆく組織と個人の関係」

- 客員の渡辺先生を囲んで趙先生、志賀先生：健康談議。ZOOM は大学院も。
- 客員の木村先生：本日のゲスト講師のNHK編成局の草場編成主幹を紹介される。放送デジタルのキーマン。
- 飯田先生：桂太郎、ラウンジ、、、。
- 知研の八木会長、高橋さん来訪：打ち合わせ。
- リレー講座：小林先生「変わりゆく組織と個人の関係」

以下、参考になったポイント

- ・ バウンダリーキャリア（境界をこえるキャリア形成）。プロティアンキャリア（変幻自在に組織との相互依存関係の中でキャリアを形成）。心理的成功を目指す。
- ・ ライフキャリアとワークキャリア。外的キャリアと内的キャリア。
- ・ マズローの 5 段階欲求の上に「自己超越欲求」がある。自己を超越してコミュニティを発展させたいという欲求。
- ・ 初期段階のベンチャー参画（経営チームの一員）：プロティアンキャリアを歩み、キャリアの内的満足度を高める。創造的活動により磨かれた能力は高い市場価値を持つ。
- ・ 組織から個人へ：技術革新。ワークライフミックスへ（？）。貢献と利益による短期的な契約の連続へ。

2017 年 12 月 1 日 午前は多摩：「立志人物伝」の授業。午後は九段：研究活性化センター運営委員会・大学戦略会議・大学運営会議。夜は品川：「立志人物論」の授業 多摩

- 0900：授業準備
- 0930：杉本：本日の 2 つの会議の事前ブリーフィング
- 10 時 40 分：「立志人物伝」10 回目の授業。本日のテーマは「飛翔する構想力」。後藤新平。水戸光圀。嘉納治五郎。松下幸之助。棟方志功。

九段

- 3 時 50 分：研究活性化センター運営委員会：選定された平成 29 年度私立大学研究ブランディング事業についての説明と意見交換。プロジェクト本部を立ち上げ実行へ。

- 14 時半:大学戦略会議:前回のテーマ「アクティブラーニング」の回答の報告。今回のテーマは「研究」。競争的資金。私立大学研究ブランディング事業。大いなる多摩学会、、、。
- 15 時半:大学運営会議:補正予算。2018 年度予算編成方針。経営情報学部専任教員採用人事。規程の改定。研究ブランディング事業。2018 年度人事。学長(大学連携。ジェロントロジー。シニアの参画型プラットフォーム。ライブビューイング、、)

品川

- 8 時半ー21 時 40 分:「立志人物論」の授業 6 回目。本日のテーマは「修養・鍛錬・研鑽」。安岡正篤。二宮尊徳。野口英世。新渡戸稲造。サトウハチロー。朝倉文夫。本多静六。8 人が受講。日本人 4、中国人 3、ロシア人 1。以下、ブログへの感想の書き込み。
 - ・ 私の至らないところ、それを表現する言葉が新渡戸稲造にありました。つつい自分甘く現実から逃げて新しいことに飛びついたり、先のことを考えたりしてしまうが、「終生の業は、その日その日の義務を完了するより外にない」「事の成る成らぬは天に任し、自分はひとえにその日その日の務めを全うすれば足る」成功するかどうかは天に任す。自分はその日その日を全うするのみ。つまり、その日その日を全うすることが未来にも繋がるのだと思う。毎日毎日をもっと真剣に生きなくてはと改めて考えました。
 - ・ 野口英世は、私の母校日本医科大学の先輩です。日本医科大学出身の有名人のなかで1位です。彼が幼少期から苦勞しハングリー精神が彼を世界的な医学研究に打ち込ませたのだと思います。また彼の転機は米国ロックフェラー医学研究所との出会いだと思っています。私も米国メイヨークリニックに留学しましたが、医学的思考、医師としての生き方が変わりました。安岡正篤は、哲学者だとも思います。人間としての生き方は最終的には人格形成、人間形成だとも思います。彼の本は早急に読みたいと思いました。
 - ・ 本日の講義では新渡戸稲造が一番印象に残りました。特に女子教育について語った動画の内容は今の学生にきかせても何ら遜色のないものであり、また、理想をもつことの大切さを改めて痛感しました。この理想という言葉からは吉田松陰の「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし、故に夢なき者に成功なし」という言葉にもつながりました。渋沢栄一も同様の言葉を残しており、これまで学んできた偉人たちの言葉には多くの共通点があるように思いました。それをいくつかのカテゴリーに分けて自分なりに整理してみたいと思いました。あわせて新渡戸稲造の本も読んでみようと思います。
 - ・ 自己修養において、受講生各自のイデオロギーやロールモデルとなりうる偉人が数人登場した第 6 講であった。安岡正篤の思想・貢献や野口英世の偉業は表面的とはいえ理解しているつもりだが、5 千円の肖像であった新渡戸稲造の功績は今般初めて知ることになる。『一日一言』のように適宜内省し、人生の鍛錬を重ねた彼の生涯は、意外にも身近な暮らしでみる名言が多い。1800 年代を生きた人たちは総体的に教養が深いため、私もその時代に生まれ 弟子入りしたかった... 現北大の前身である札幌農学校出身者

である彼からは、思想に加え、勤勉な姿勢×継続力を見習うことにする。早速「終生の業は、その日その日の義務を完了するより外にない」という訓えから、明朝(土)科目の課題仕上げにとりかかる前に、本科目の省察を大学院からの復路で行った。追伸：サトウハチローは、ルックスや生き方の意外性から、聴き慣れた日本名童謡や軍歌の作詞に感動を覚えた。

- ・ 今回では二宮尊徳さんが一番印象に残りました。彼は日本の復興事業を推進しました。その思想は戦前の日本の模範、倫理観となりました。また、面白いことは、亡くなる前に何も建てなくて、土を盛り揚げ、木を一本上置けばいいと望みました。しかし、客死した後弟子達がすぐ立派な神社を建てました、遺言と心からの尊敬している弟子の行動は矛盾です。最後は武士道は神道と儒教と仏教の混合体という視点、私は複数の教を融合することを全然考えなかった、私にそれは新しい視点です。
- ・ 朝倉 文夫さんの『『百』扱ったならば、卒業というか、入門というか、正しく一段階を得て、人生四十にして立った境地である。それからほんとうの途が発するのであるが、またそれで初めて一人前の域に入ったときでもあると思う』という言葉に非常に気になりました。意味について、よく考えました。結果として、「全ての終わりは本当の始めだ」という考え方が出てきました。私は主に二つの面から理解します。普通の生活で、さなざまなことに直面しなければならないです。簡単でも、厄介でも、最後まで必ず解決できます。しかし、これが終わりではなくて、次のことの始めです。人生の最後まで、ずっとこのように循環すると思います。もう一つ面は、愛情です。恋人関係から付き合い始まって、何年間、ひいては十数年を経てきて、結婚します。つまり、恋人から夫婦へ行きます。これは恋の終わり、愛の始めです。我々が、すべきのことをやって、このように日々を過ごしていると考えます。

2017 年 12 月 2 日 高大接続アクティブラーニング研究会。インターゼミ

- 高大接続アクティブラーニング研究会：多摩大学、多摩大目黒高校、多摩大附属聖ヶ丘高校の担当者の研究会



2017 年度から始まった研究会だが、動きのスピードが速く、広がりが大きく、深まりが深い。3

つの大きな組織が共通の方向に向けて前進し成長している全体像がみえる。

- ・ 組織的対応: アクティブラーニング支援センターの位置づけ。
- ・ アクティブラーニングの成果指標と目標値についての検討。
- ・ 企業・行政・NPOなど外部のニーズ、問題を解決していきながら地域活性の貢献するのがアクティブラーニングとの認識。

多摩大式高大「融合」アクティブラーニング。多摩大メソッド。アクティブラーニングの多摩大モデルへ。



● 九段サテライトでインターゼミ

学長講話「日本の人口はピークから 150 万人減少。田舎は自然に帰りつつある。国際技能オリンピックで日本は 2007 年までは 1 位だったが、9 位に転落。中国、スイス、韓国、、、。現場の力が落ちている。経団連会長の東レ関連企業の不祥事など経営がおかしくなっている。IT は中間層の排除が本質であり空洞化。中国は 2000 年には日本のGDPNお 4 分の一、2010 年に肩を並べた。2018 年には 3 倍。このスピード感が理解できない。屈折。猜疑心と嫉妬心。キャンパスアジア構想では文科系がうくいかない。歴史認識の存在。従軍慰安婦、南京大虐殺について自信を持って意見を言えるか? 「世界」にモンゴル。東芝問題は日本企業の情報力・インテリジェンスの弱さが原因。」

2017 年 12 月 5 日 多摩大学インターネット放送局「T-Studio」久恒啓一の『名言との対話』ー第 25 回は「石井桃子」

7 時ー19 時: 湘南台のグローバルスタディーズ学部の学部運営委員会に出席。

ー一定員。時間割。離学。入試。就職。

■多摩大学インターネット放送局「T-Studio」久恒啓一の『名言との対話』

<http://www.tama.ac.jp/t-studio/hisatune/index.html>

高齢社会の生き方を 100 歳人生を生き抜いてきたセンテナリアンに学ぶ第 3 弾。児童文学一筋を貫き、300 冊を超える子供向けの絵本などを世に送り出した石井桃子の聖なる生涯。

2017 年 12 月 6 日 夜:多摩大「志塾会」(学部OB会・大学院OB会)のセミナーで講師。午後:日本私立大学協会・教育学術研究委員会。午前:研究室で仕事。

- 18 時半から 20 時半。九段サテライトで 多摩大「志塾会」の初回セミナー。志塾会(学部同窓会と大学院同窓会の合同)セミナー。オール多摩大で知の再武装へ。毎月一定の日に九段でセミナーを行う予定。



本日は私が講師。テーマは「大学改革の多摩大モデル」で 45 分。



午前：研究室で仕事。

13 時—17 時半。

日本私立大学協会・教育学術研究委員会。テーマ「私立大学の将来像」。

アルカディア市ヶ谷。出席者は全国 407 の私立大学の理事長・学長・副学長ら。

- ・ 村田私学部長(文科相)「高等教育政策の諸動向について」
- ・ 小杉礼子(労働政策研究・研修機構)「就業構造の変化と大学の役割」
- ・ 佐藤東洋士(桜美林大学総長)「高等教育の未来を拓く私立大学」
- ・ 住吉廣行(松本大学学長)「地方創生と私立大学」
- ・ 濱名篤(関西国際大学理事長)「大学教育の質保証に向けた制度改革」



以下、引っかけポイント。

- ・ 教育の成果の予算への反映。定員割れ大学への予算減額措置。専門職大学の申請は 10 数件。学び直しのリカレント教育。成人・勤労者、退職高齢者。人づくりに 2 兆円。
- ・ フリーターは半減。大学は非正規雇用は少ない。大卒内の賃金格差拡大。再就職者が辞めた原因は長時間労働。ドイツの「労働 4.0」ではAIにより2極化(中間層の雇用収縮)と完全監視リスク。学び直し支援の充実。技術力と人間力。STEM人材が必要。コミュニケーション能力が重要。
- ・ 河合雅司『未来の年表』に着目。2018 年国立大学倒産の懸念へ。2021 年介護離職増。2022 年一人暮らし社会。2024 年社会保障費大。2030 年東京郊外にゴースタウン。2033 年 3 戸に一戸が空き家。2035 年未婚問題。2039 年火葬場不足。2040 年自治体の半数が消滅危機、後継者不足。2050 年現在の居住地の 20%が誰も住まない。2053 年一億人。2055 年 4 人に一人が 75 歳以上。2059 年 5 人に一人が 80 歳以上。2115 年総人口が 5055 万人。
- ・ 提言「私立大学審議会」「審議会への中小規模大学の登用」「都道府県に高等教育制作室」「定員割れ大学への補助金不交付は地域社会の崩壊」「社会貢献係数」「私大中心

の地域プラットフォーム」

- ・ ディプロマポリシー。内部質保証は通用するか。見える化。アセスメントプラン(測定可能。直接・間接基準)。最終的に何ができるようになったかを自己説明できること。専門と汎用。学習成果に関し産業界とのチューニング。アクティブラーニング型インターンシップ。人生 100 年時代構想会議(授業料減免と給付型奨学金。成績不良者への支給打ち切り。良い取り組みをやっている大学のみ対象。カリキュラムに産業界。実務家教員)。支援大対象大学には外部人材を理事任命、、、)。無償化の条件が出てくる。

2017 年 12 月 7 日 リレー講座:寺島学長「2017 年の総括と 2018 年への展望」

- 中村その子先生
- 趙先生:来年度
- 木村先生:多摩大スケッチ
- 飯田先生:ちよい飲みクリスマス会
- 山本さん:多摩大電子新書
- 学長報告:志塾会。音声テープ、、、。
- リレー講座:寺島学長「2017 年の総括と 2018 年への展望」
 - ・ もの作り国家・日本の凋落。中間管理職の空洞化。熟練の価値の後退。
 - ・ 昨日の株の 445 円の下落:トランプのエルサレムへの大使館移転というイスラエルファクター。これで中東の液状化へ。全イスラムを敵にまわした。
 - ・ 日本の株高:実体経済は低空飛行。異常な株高の要因は公的資金(日銀ETF買い・年金基金GPIF)で 56 兆円。外資も先週末 3 兆円。実力は 1 万 5 千円以下。株の 75%は高齢者所有。
 - ・ 北朝鮮:政治リスクは高まっているが、株価は高騰(根拠なき熱狂)。政治と経済の乖離。要因 1 は戦争経済の予感(武器商人トランプ・懐の深い軍需産業)要因 2 は政権のウォールストリートシフト(規制緩和派)。トランプ政権は産。金・軍複合体。戦争計画の具体化。北朝鮮木造船の漂着。食料難、決死、農業に兵士の投入ができなかった。中国による北朝鮮への軍事介入の可能性と台湾併合。トランプのディールはないか。米軍の日本駐留のビンのふた論(日本軍国主義を抑える役目)。
 - ・ 英エコノミスト 2018 年は「振り子は揺れる。政治と市場」。トランプ主義とマクロン主義。
 - ・ 2017 年は歴史的節目:1517 年のルターの宗教改革から 500 年:宗教の中世から政治の自立の近代へ。聖書への原点回帰。1549 年のイエズス会のザビエル日本到着はカソリックの対抗改革。グーテンベルクの活版印刷革命(聖書)は情報技術革命。1917 年のロシア革命から 100 年:第一次大戦は日英同盟による集団的自衛権で参戦。共産主義への恐怖。55 年体制。ソ連崩壊で東西冷戦終了。労働組合の凋落。連合 13%未満。若者は自民党に 5 割投票。

- ・ ジェロントロジー(体系的学際的老年学);高齢者を生かし切る社会システムへ。



今回のヒント。

1:朝日新聞日曜版 GLOVE 購入。

2:運命の5年間(1914年ー1919年)の研究。1914年第一次大戦。1915年対支21カ条の要求。1917年ロシア革命・シベリア出兵。1919年ベルサイユ講和条約。1923年関東大震災。1925年治安維持法。

2017年12月8日 授業「立志人物伝」11回目:テーマは「日本への回帰」ー司馬遼太郎と梅棹忠夫

午前

- 杉本係長:戦略会議の打ち合わせ
- 久米先生と雑談
- 「立志人物伝」の授業。本日のテーマは「日本への回帰」。司馬遼太郎と梅棹忠夫。
- 金先生:来年度

午後

- 岩澤さん
- 事務局との定例会議:杉田学部長。宮地事務局長、川手総務課長。
- こえラボ(BS多摩に入居)の岡田社長:新年から配信する podcast「偉人の名言 366」の打ち合わせ。声の録音。本の購入。。。。。

2017年12月9日 多摩大アクティブラーニング発表祭(9回目。2学部1研究科。外

部2大学。附属高校): 史上最高の発表数。

多摩大アクティブラーニング発表祭。

金アクティブラーニングセンター長:「9 回目。55 件の発表(史上最高)。全学園・全学的行事(2 学部・1 研究科。附属高校)。地域・AL・ホームゼミ 42 件、手塚山大・東京理科大・明治大 5 件、高大連携 8 件。地域創造・問題解決・相互成長。教員の成長が学生の成長へ。アクティブラーニング技法＝文献研究とフィールドワーク。」

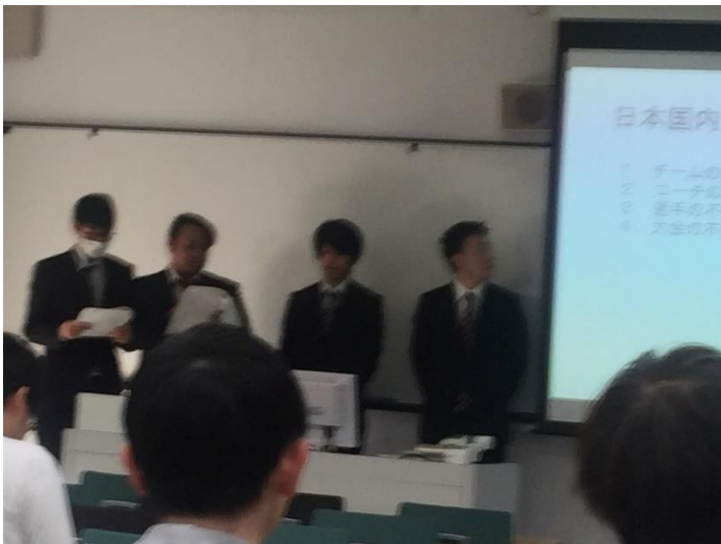
- 手塚山大菅学長補佐「6 年前から参加。しだいに学会の様相を呈してきた。社会に役立つ人材。研究を教育に生かす。」
- 東京経済大山本先生「4 年目」
- 多摩大目黒松井先生「中高生の発表」



今回は、5 つの会場を往き来し、12 の発表を聞いた。

「第四次産業革命(韓国チェジュ島フォーラム。AI・ロボット化。器械と人間の調和・電子政府・環境問題)」「いちよう団地」(騒音・悪臭・高齢化。2000 世帯の 500 が外国人。ボランティア・ダンス交流・日本語教教室)「インターゼミ多摩学班」(子育て世代対応・シェアリングサービス・若者のニーズ)「上海東海学院サマースクール」(上海見聞)「多摩未来奨学金」(SNS。HANA)「e-Sports」(2024 年オリンピック種目へ。日本は 15 分の一の市場。e-Sports 秋葉原)「日本アニメ産業の未来(低年収・長時間労働。西東京。インバウンド)」「仙台・オータムフェア(メッセージ収集。目黒区民キャンパス。角田市・金沢市。ミッドタウンで紹介)」「八王子コンソーシアム」(サロン)「多摩未来奨学金」(生業マルシェ。若者奨励金。認知度)「在宅高齢者の食事」(咀嚼・味)「インターゼミアジア班(モンゴル帝国のユーラシア交流史。経済連携による平和と安定。リーダーの思想と視野)」







私の全体的な感想は以下。

ヨコへの広がり

- 地域の広がり(大多摩。奈良。仙台。韓国。中国。、、)
- テーマの広がり(アニメ、震災、、、、)
- タテへの深まり
- 高校生から、大学生、大学院生、院生OB、周辺住民、外部関係者、、
- サキへ(先端的テーマ)
- e-sports、AI、、。高校生のiPadミニを使っての発表。

関係した教職員の全体撮影



初参加の目黒高校のメンバー。田村校長。



2017 年 12 月 12 日 「名言との対話」第 26 回「土屋文明」をリリース

久恒啓一の「名言との対話」第 26 回「土屋文明」

「100 歳人生を生き抜くセンテナリアンに学ぶ第 4 弾。「アララギ」の選者から編集発行人となり、ライフワークの万葉集に関する著書も多数ある土屋文明。短歌とともに生き抜いた生涯は多くの人に勇気を与えました。」

2017 年 12 月 13 日 人事委員会。学部運営委員会。

- 人事委員会：非常勤講師の選任
- 学部運営委員会：学長・幹部人事。私大協セミナー、、、。
- 金先生・杉田先生・川手課長：雑談。施設点検ツアー、、、。
- 金先生：リレー講座の講師人選の相談。

2017 年 12 月 14 日 リレー講座：佐高信「権力とジャーナリズムーわが筆禍史と舌禍史」

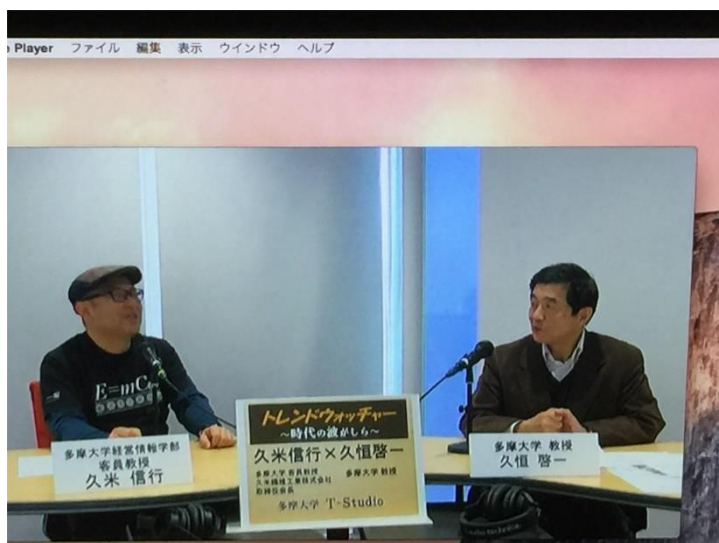
- 杉田学部長：事業構想論の講義
- 駒沢女子大の入試関係者と顔合わせ：杉田学部長、志賀入試委員長、森島入試課長、酒井さん。
- 水谷室長：IRデータの解説
- 渡辺客員教授：元祖ザ・クラブ
- バートル先生：スパイスアップ・アカデミアの森山社長、江徳さんを紹介される。
- 14 時半：佐高信先生と懇談
- 14 時 50 分からリレー講座：佐高信先生「権力とジャーナリズムーわが筆禍史と舌禍史」
 - ・ 山尾しおり「立ち向かう」「保守コンプレックスはない」
 - ・ 知性とは見抜くこと。物差し。
 - ・ 安倍政権：かきくけこ。か（加計）き（北・共謀法）く（憲法 9 条）け（原発）こ（公明党）
 - ・ JR 東海のリニア問題：アベ友。桁が違う。
 - ・ ジャーナリズムは権力に立ち向かうのが本質だ。訴えられる覚悟はあるか。上品の壁。
 - ・ 経済を会社、株で考え格差を広げる竹中平蔵・長谷川慶太郎・堺屋太一。経済を国民の購買力と考える城山三郎・内橋克人・佐高信。
 - ・ 近著『わが筆禍史』（河出書房新書）。



- 杉田学部長と一緒に事長報告:16 時 15 分から 18 時半。
全学、学部内の懸案につき、幅広く意見交換。

**2017 年 12 月 15 日 朝:学部の授業「立志人物伝」。昼:「トレンドウオッチャー」録画。
夜:大学院の授業「立志人物論」。**

- 10 時:久米先生:昼休みの録画のテーマを相談。事前に考えていたことで一致！
- 10 時 40 分:授業「立志人物伝」12 回目:マネジメントの名言「孫正義」「スティーブ・ジョブズ」。
佐高信のセミナーまとめの解説。吉本せい・浜田庄司・東海林太郎・大谷竹次郎・ノーベル。
エニアグラムによるタイプ別適職の解説。久恒の職歴とエニアグラム。パワーポイントによる
図解の描き方講座。
- 12 時半:久米先生と T-Studio でトレンドウオッチャーの録画。テーマは「人生 100 年時代とS
NS」。30 分近い長い対談となった。



- 飯田先生：来週のちよい飲み会
- 品川のインターシティでコーヒーを飲もうとしたら、ビルの入り口に多摩大大学院の各種チラシがいい位置にいてあったのを発見。



- 17 時半：品川キャンパスで授業準備。徳岡研究科長と渡辺先生の件、時間割の件。
- 18 時半：大学院「立志人物論」の 7 回目の授業。以下、「立志人物論」の総括感想。
 - ・ 本日の講義もありがとうございました。これまでの講義でたくさんの偉人や名言に触れることができました。そのなかで初めて知る人物も多く、その人物の経歴や業績についてさらに知りたいと思いました。章としては仰ぎ見る師匠の存在についてが一番印象に残りました。私はもともと山本五十六という人物に興味がありましたが、その師は河合継之助であることを知りました。河合継之助について調べると山田方谷との出会いが大きな影響を受けたことが分かりました。このつながりからも人生の師をもつことの大切さを改めて感じました。講義で取り上げた人物としては司馬遼太郎が一番印象に残りました。まだ『坂の上の雲』しか読んでいませんが来年は河合継之助を取り上げた『峠』や『翔ぶが如く』を読みたいと思います。そして東大阪の記念館にも足を運んでみようと思います。最後に、この講義の第 1 講で自身の座右の銘を見つけることを課題にしていたましたが、私の座右の銘は「好きこそものの上手なれ」でいきたいと思います。偉人たちは驚くべき仕事量をこなし、ずっと高い志を持ち続けていました。それを周囲の人々は偉業と讃えるのと同時に凡人から見るとそんな苦行は真似できないと感じてしまうものだと思います。しかし当の本人たちは苦行とは感じていないのではないかと思います。それは取り組んでいることが大好きだから継続できるのだと思います。司馬遼太郎にしても日本の歴史や幕末から明治にかけての日本人が大好きだったのではと思います。だからこそ丹念に歴史を調べ、膨大な資料を読み込むことであれだけの本が書けたのだと思います。私もまずは好きなことからはじめたり、今取り組んでいることの面白さを見つけていきたいと思います。次回は最終講になります。フィールドワークとその後の飲み会を楽しみます。

にしております。次回もよろしくお願いいたします。

- ・ 立志人物論を受講して。受講の初期は、過去の人物の解説と思っていました。しかし、受講を重ねるに従って、その人物の生き方、考え方がその人を歴史に残る業績、伝説として形成される事を教えていただいていると感じるようになりました。その分野が芸術、作家、政治家、社会活動家など多種にわたりますが、その生き方はすべての人物で、能動的で積極的に前向きに生きている事がわかりました。自分の今までの人生を振り返りそしてこれからの生き方を考えると、彼らのように、前向きに、積極的に考え生きなければいけないと思いました。有言実行、今から生きようと誓いました。有意義な価値のある講義でした。ありがとうございました。
- ・ 久恒先生、第 7 回めのご講義ありがとうございました。率直な感想としても、まだまだ講義を受け続けたい、あと 1 回しかないというのが寂しい思いです。私は今まで古典や歴史、過去というものにどちらかというと苦手意識があり、避けてきました。しかし、久恒先生の講義を受けて、その考えは間違っていたと認識しました。それは、どの偉人の生き方も考え方も、それは全て過去のものではなく間違いなく現代に通用するものだからです。その中で特に衝撃を受け、自分自身の考えを改める必要があると思った講義は、圧倒的な仕事量のテーマでした。私は 10 年以上会社経営をしています、自分が楽になるために効率の良さばかり追求してきたところがあります。しかし、その仕組み作りばかり追いかけた結果、日々行じることを忘れ、薄っぺらい無知な経営者になっていることに気付き、今春から大学院の門を叩きました。がむしゃらに仕事に没頭することによって、その先はいずれ見えてくるはずなのに、先のことばかり考えていた私です。そのようなことを立志人物論という講義で過去の偉人から学び、改めて初心に帰る必要があると思った次第です。
- ・ これまで 14 限分の講義ありがとうございました。昨夜述べた感想と一部重複しますが、毎回たくさんの偉人に出逢わせていただき、大変刺激的でした。受講中～復路でその時代を生き抜いた立志人物に思いを馳せますが、一晩眠れば現実(多忙本務)に戻されるため、十分な省察による自身の心意気や資質向上に繋がれていませんでした。来たる最終講のフィールドワーク@渋沢栄一資料館+を機に、今後は気の向くまま関連施設の訪問や読書を通して人物理解を深めようと思います。ちなみに、心酔は別にして個々が人生の取組について考え、ロールモデルを見つけるには、中等教育課程後期に本科目を設置するほうが適切かもしれませんね。また、様々な側面から偉人について語る久恒先生の考察内容×文章表現力も今般の受講で勉強になりました。『知的生産技術』は私にとって必読すべき一冊となりそうです。立志人物論レポート 1.18 掲載×切、極力楽しみながら がんばります。
- ・ 久恒先生、今回もありがとうございました。この授業を後、一回しか受けられないです。何となく、惜しい気持ちが出ました。毎回、偉人の言葉を拝読する時、必ず周りで起こたことと繋がり、自分の考え方を加えることができ、本当に大いに受益しました。つまり、偉

人の生涯がしっかりわかって、また、自分の考える能力も高められる。留学生にとって、授業方法も非常に良いと思います。授業の最後、ほとんど日本人とチームをつくって、互いに感想を述べて、発表します。その過程で、面白い話題が様々出るかもしれませんし、自分と全く違う考え方も学べますし。自分の成長に大変役に立つと思います。今まで、先生とクラスメートの皆さんでも、色々ありがとうございました。

- ・ これまでの講義ありがとうございました。毎回は過去の偉人の言葉と生涯を紹介し、簡単ですけど全てはこれからの人生に助力になれると思います。毎回自分が気に入る偉人の生涯を学んで、尊敬、悲しい、惜しいなど複雑な感情が心底から生まれました。人生は辛い、厳しい、どこでも困難があり、僕達だけではなく、歴史上の偉人も同じです。でも何故偉人が成功したか、それは前進し続けられたのは、自分がやることを愛していたからです。怒涛の仕事量、持続する志、休養、鍛錬、研鑽など色々な方面、私は全部を学ぶべき、今からでも遅くない。また、私は留学生ですから、この講義が留学生に対して利点が多いと思います。毎回講義は偉人のことを学び、知識はもちろん、日本の文化と歴史も学べます。講義の最後、日本人と一緒にお互い感想を交流し、先生に発表します。日本式の考え方を学びながらコミュニケーション能力も上昇します。課外は実地に好きな記念館に行って、現場に偉人のことを体験し、大変勉強になりました。この講義は長時間の将来、私の人生に重要な影響があります。ありがとうございました。
- ・ 立志人物論を受講して。刹那と言う言葉がありますが、その言葉が持つ時間の単位は置いておくとして、一種の無常性を表す言葉だと思います。過去の偉人の言葉も歴史の流れの中にあり、常ならぬ流れの中で、その解釈や受け止め方も変化して行くものかもしれません。しかし、その原点を学ぶ事は、時代に合った解釈をする上でも、とても大切な事だと思います。イノベーションも同じ事だと思います。原理原則、原点を学び、基礎と骨格をしっかりと作り、正統を芯にしてこそ、異端を融合することが可能になるのだと思います。最近、過去の偉人の言葉に触発されて自分なりに学んでみようと思い立ち、以下の書物にチャレンジを開始しました。中村元訳の『スッタニパータ』と『大パリニツパーナ経』、そして『原始仏典』です。なかなか、重量級で難儀しておりますが、後には井筒俊彦の『大乘起信論』の哲学、も控えております。立志人物論の講座は、ともすると揺らぎがちな精神を真っ直ぐなものに直すきっかけを得られる学びの時間だと思います。ラスト一回、何とかやりくりして出席したいと思います。ありがとうございました。

2017 年 12 月 16 日 品川で大学院教授会。九段でインターゼミ。

- 13 時から品川キャンパスにて大学院教授会。
 - ・ 審議承認:2018 年度事業計画。2018 年度時間割・科目名称変更。規程見直し。CRS プログラム終了証明証。私費留学減免審査。2018 年度学年暦再検討・教授会・運営委員会日程。

- ・ 報告事項:教務分科会。入試・広報分科会。院生分科会。、、、。
- 16 時:九段サテライトにてインターゼミ。
 - ・ 杉田学部長と一緒に目黒高校の松井先生と面談
 - ・ 杉田学部長と金先生と、新入試への対応を協議:学部生の教育効果との関連でたたき案ができた。

2017 年 12 月 18 日 トレンドウオッチャー第 10 回「AIスピーカーが暮らしを変える」。 ラウンジで「ちょい飲み会」

本日の夕方は、大学のラウンジで飯田先生が発起人のちょい飲み会。

入れ替わりで 10 数人の先生たちが集合。ちょくちょくやりましょう！





16 時:杉田学部長:来年度人事についての相談

2017 年 12 月 20 日 多摩:「事業構想論」で講義、教授会。野田先生を囲む会

- 9 時:「事業構想論」の授業でゲスト講義:テーマは「大学改革の『多摩大モデル』」。問題解決と事業構想。事業構想とは何か。多摩大再生の戦略と現在、そして未来。
- 10 時:学部運営委員会。教授会前の意思統一。
- 10 時 40 分:教授会。580 頁のデジタル資料。
- 12 時 20 分:パソコン関係会議。



- 17 時:赤坂の野田事務所でBMネットワークの高橋茂人さんと待ち合わせ。
- 18 時半:広尾のレストランで野田先生囲む会に出席。



以下、名刺交換した方々たち。

NIインテリジェントイニシアティブの西野会長(NPO法人 CeFIL 理事)と再会。SELTECHの井川さん(総務・人事マネジャー。多摩大で一緒だった)。オーエスグループの奥村代表(岡山で会っている)。浜銀総研の佐伯部長。エムオーテックスの河之口社長。木村税理士。ミキフーズの井沢社長。伊藤忠商事の中井さん。玉川大学の小酒井先生。CylanceJapan の金城社長。かぜの子チェーンの成田さん。仙台の陽季亭の八田美夕店主。アトリエ・マ・ヌー主宰のカ丸さん(宮城大久恒ゼミ一期生)。トイレの白倉さん。弁護士の石橋さん(宮城大久恒ゼミ)。

2017 年 12 月 22 日 副学長日誌

- 9 時半: 杉本係長: 戦略会議
- 10 時: 久米先生: 日下(公人)スクール、、、。
- 10 時 40 分: 「立志人物伝」13 回目の授業。作業に没頭中。
- 九段サテライト
 - ・ 14 時: 大学戦略会議: テーマ「国際」。国際交流センターの方針、、、。
 - ・ 15 時半: 大学運営会議
 - ・ 17 時: JALの栢沼部長来訪。
- 新宿三井ビルで懇親会。樋口先生、中村先生、石川先生。



2017 年 12 月 23 日 第 9 期インターゼミの最終発表会ーサービスエンタメ班・AI 班・アジアダイナミズム班・多摩学班

- 14 時半: グランドパレスホテル: 杉田学部長と来年度の運営について意見交換。
- 16 時: 九段サテライトでインターゼミの最終発表会。以下、学長コメント
 - ・ サービスエンターテイメント班「ショッピングモールからみる消費文化」
日本の貧困化の中で消費がどうなっているのか。ショッピングセンター「ひまつぶしができる」という視点は面白い。デパートの落ち込みにも通じる、デパートはひまつぶしができない。スマホ命。人生が空ろに。SCにはユニクロ、ファンケル、ニトリ、、、デフレ型ビジネスモデル企業。
 - ・ AI班「高齢者の明日へーAIを活かし共生の道をひらく」

時代の中心テーマ。AIスピーカーは便利だが人間がダメになる。価値観の問題。老人と若者には尊敬と期待のコネクトが重要。共通のテーマ、プロジェクト。ジェロントロジーは異次元高齢化社会の社会工学。参画と活用のダイナミズム。3500 の公共図書館の貸本屋化。文庫の図書館、ゼミ、カフェ機能に注目。生きた図書館。ネットワークと連携。参画のプラットフォーム。藤沢SSTの見守りへの注目。

- ・ アジアダイナミズム班「モンゴル帝国のユーラシア興隆史」

世界観が変わる。重層的歴史観。日本はモンゴル研究が進んでいる。ハンガリー人にも蒙古斑。韃靼・タタール。タルタル(地獄が語源、潰す、ミンチ状)。司馬遼太郎「モンゴル紀行」。岡田、杉山。西洋史からの史観。モンゴル中心史観(中国の相対化)。中華史観(明は元の王子を沖縄に流した。ゆるやか)。日本にとってのモンゴルという視点(満蒙問題。「徳王の研究」内モンゴルの末裔の傀儡化の野望)。

- ・ 多摩学班「若者にとって魅力ある多摩地域の創生ー若者呼び込みにむけた提案」

多摩は都市郊外型のモデル。サラリーマンのキャリアを持つ高学歴高齢者。スキルのデータベース化。ビッグデータ。語学、、、。リニア新幹線で品川と甲府が 10 分。高齢者対応の若者によるビジネスモデル。多摩型ウーバー。コレクティブハウス多摩。交流の中心軸、思想、リーダーが必要。







帰りは新宿まで水盛先生と雑談。その後は、原稿のブラッシュアップ作業で南大沢まで。

2018 年 1 月 5 日 大学は仕事始め。

仕事始め。学長をはじめ、皆さんと年始のあいさつを交わす。

- 幹部教職員を前に、学長の年頭訓示が始まる。



東アジアの大変化：周金平の二期目。香港・台湾・北朝鮮。台湾の9万社が中国進出、2万社が引き上げたいができない。持ち出し禁止。中国はビットコインを禁止しキャピタルフライトを避けている。

多摩大は平成元年開学。冷戦後の世界と並走。グローバル化とIT革命。

1. ジェロントロジー（高齢化社会工学）：高齢社会の再設計。大都市郊外の多摩ニュータウンを背景。単身化。80歳の7割は健常者。国道16号線の外側の事件多し。腐臭。精神的な寂寥感、孤立感。100 年人生へ。生き方、思想、哲学、宗教。人生のテーマ・軸が大事に。5 年間のブランディング事業を成功させたい。

2. アジアダイナミズムの新展開: 1989 年日本は中印・アセアンよりも大。2000 年中国は日本の 4 分の 1。2010 年中国が日本を抜く。2018 年中国は日本の 3 倍に。やがて中印アセアンは日本の 5 倍に。実感が湧かないだろう。SGS が悩みだったが輪郭がハッキリしてきて入学も者も増加。

3. IT。IOT。ビッグデータの新局面: ネットワーク情報技術革命。大学にとっての IOT とは何か。ライブビューイング。コンテンツ力。OB 会。

結束力。学生に向き合う力。そそりたつような知性。育てる側の力量が問われる。学会・専門のネットワーク(外)で戦える力。多摩大出版会の活用。学生が満足できる教育。挑戦する学生。磨き上げて納得できる人生へ。そのためのプログラム。不満はないが不安あり。AI 時代にどう生きるかを教える。

- 事務局との定例ミーティング: 杉田学部長。宮地・川手・水嶋。
- 久保田先生。山本さん。飯田先生。高野課長、、、。

2018 年 1 月 6 日 インターゼミ「新年リゾリューション」

- 九段サテライトで、杉田学部長からの相談。
- 松井先生と面談
- インターゼミ。

提出してもらった各自の「新年リゾリューション(2018 年に挑戦したいこと。人生において挑戦し、実現したいこと)」を題材に、教員 3 名、学生 4 名、院生 1 名に発表してもらう。





学長講話

- ・ ショッピングモール。玉川高島屋(1969 年)がショッピングセンター。1970 年代にハワイノアラモアナS/C、消費の文化空間。モール(Mall)、遊歩道の左右に店、木陰道。「ひまつぶし」。百貨店の行き詰まり(2000 年 450、2016 年 200 に半減)。スーパーマーケットも食品をのぞき減少。
- ・ 「時代」:1 世帯当たり年間 40 万円の消費の減少。貧困化。衣(32%減)住(18%減)、製造小売りのユニクロ、お値段以上のニトリのみ。デフレ型ビジネスモデルの隆盛。寡占化の進行。テーマパーク人口は 7000 万人(ピーク 8000 万人)、ディズニーとUSJのみ隆盛。ジャニーズ・秋元軍団が流行、ネットで加速。
- ・ 若者は不満(怒り、)はない。不安(おびえ)がある。自分で力をつけていくしかない。
- ・ 「歴史意識」:歴史の中で自分をどう位置づけるか。価値座標軸の多様性。西洋中心史観、中華史観、ユーラシア史観、。相対化して考える。無間地獄に陥らないように。全体知。自分のものの見方をつくっていく。
- ・ 「ジェロントロジー」:安定企業はない。東芝、銀行、。自分でつくっていく根性、自分とは何ものか。
- ・ 「生命科学の進歩」:6 万年前にアフリカからのグレイトジャーニー。日本列島 38 万年前。東アジア史。純粋日本人などいない。1.2%の違い。人間の特徴＝言語と意思疎通。暦書の進歩＝不条理の克服。2500 年前、ブッダと孔子。2000 年前、キリスト。利他の精神の登場。それが宗教。自分を見つめる怖い眼(神、天、)。認識(論理的)と意識(アースライズ時の涙、感動)。宗教は認識でなく意識。AIは目的合理性。人間は利害打算だけでは動かない。仏教の九識＝5識。6 識(理知・感情)、7 識(末那識)、8 識(阿頼耶識)、9 識(阿摩羅識)。自分を超えるもの。思想。哲学・宗教・価値観、を磨かなければ人生 100 年に対処できない。

年末に提出した論文の指導教員のフィードバック



- 18 時半からインターゼミ教員の新年会。杉田、金、バートル、水盛、グローバルの韓先生も。

2018 年 1 月 9 日 午後、多摩。夕刻、湘南

多摩キャンパス

- 研究室で秘書と打ち合わせ。スケジュール調整。
- 杉田学部長：来年度人事
- 山本さん：T=Studio の収録打ち合わせ

電話

- 柴生田
- 落合
- 中澤

湘南キャンパス:学部運営委員会に陪席

- 人事。離学率。入試。就職。、、、。
- 英語の取り扱い。新カリキュラムの議論に参加。

2018 年 1 月 10 日 副学長日誌

ラウンジ

- 酒井さん:入試
- 杉田学部長:情報交換
- 下井先生:出版会
- 金先生
- 杉本係長:戦略会議

日本地域社会研究所を訪問

- 橘川・高橋・院生・教授、、、。1500 円・1000 部・400 部・0.7、、、。

2018 年 1 月 11 日 多摩市議会の議長らが来訪。リレー講座最終回:寺島学長「2018 年の展望。17 世紀オランダ論」

- 多摩市議会の岩永議長、三階副議長、梅田事務局長が来訪。杉田学部長、高野課長と対応。
T-Studio での議長インタビュー、多摩大鳥瞰図絵を贈呈、、、。



- 来年度のリレー講座の講師人選の ミーティング。
- 学長報告:JAL、出版会、リレー講座のまとめ、、、。

- リレー講座の皆勤賞の表彰式。



- リレー講座: 寺島学長

- ・ 2018 年の展望1:リーマンショックから 10 年、その教訓は？ 2007 年は世界GDPの 4.2 倍の世界金融資産。2018 年は 4 倍を超えてきた。実態はもっと金融が肥大化。サ金融ビジネスの変容(産業金融からマネーゲームへ)。1908 年代から軍需から金融への理工系人材の移動、90 年代から金融工学が発展(FTとITの結婚)、2010 年代から FIntech。早晚、危機が訪れるだろう。
- ・ 2018 年の展望2:中国のGDPが日本の 3 倍に！スピード感。中国周金平政権 2 期目。香港の締め付け、台湾の締め付け(送金させない、ビットコイン禁止)、北朝鮮への中国の軍事介入・軍事駐留のシナリオも。日本は近隣から尊敬されていない。トランプをけしかけている。アジアの民主国家として重要な年になる。国家主義と民主主義の緊張関係。
- ・ 20 世紀とは何だったか。戦後とは何だったか。そして近代とは何か、17 世紀オランダ論。世界観の構築。十字軍(キリスト教徒イスラム教)、蒙古襲来と十字軍。この三つともえ。キリスト教は 635 年長安に渡った後に奈良時代の九州に伝わったが 845 年に禁止。奈良時代の国家鎮護仏教、鎌倉時代の親鸞の民衆仏教、日蓮の日本を意識する思想、ザビエルのキリスト教伝来時「日本人は砂に水がしみこむように理解した」という感想。西欧中心世界史、中華世界史、モンゴル史観、そして日本からみた世界史へ。
- ・ 日本は元寇(蒙古襲来)によって日本人意識が芽生えた。1 回目は南宋攻略の一貫。2 回目は南宋の江南軍の農業開拓移民という武装農民の襲来。そこから北畠親房の神皇正統記、日蓮の立正安国論(聖なる人が日本を戒めにやってくるという予言)、本居宣長の古事記伝へ。
- ・ 文科省の研究ブランディング事業。ジェロントロジー(高齢社会の社会工学)。国道 16 号線沿いの異次元の高齢化。スマホとモール。高齢者の社会参画のプラットフォーム。知の

再武装。

2018 年 1 月 12 日 大学院「立志人物論」の最終回は、フィールドワークで「渋沢（栄一）史料館」を訪問

多摩大大学院で担当する「立志人物論」の最終回は、フィールドワーク。

午後、王子の飛鳥山公園の中にある「渋沢（栄一）史料館」を受講生と一緒に見学した。



私にとっては二度目だが、今回も刺激を受けた。渋沢栄一は 1840 年（天保 11 年）生まれ、1931 年（昭和 6 年）に没。91 歳という長寿であった。

晩香廬は、渋沢の喜寿祝いに清水組から贈られた。渋沢は自作の漢詩から命名。賓客の接待の場とした。

青淵文庫は、「論語」普及のための蒐集、保存。徳川慶喜公の伝記資料の保存。青淵は渋沢の雅号。接客の場。

渋沢史料館は 182 年に開館。渋沢栄一の生涯と事跡に関する資料の展示とイベントを開催。実業家として 500 社の企業を設立・育成。社会事業家として 600 の教育、社会福祉、国際交流などの社会公共事業団体の設立・運営に大きな貢献をした。

渋沢が 91 歳で亡くなったとき、もちろん多くの市民が葬儀を見守った。天皇陛下からの「沙汰書」が目に入った。侍従本多猶一郎が勅使として遣わされ、以下の沙汰書とともに昭和天皇から祭資・幣帛・供物・花を賜った。この沙汰書に渋沢の功績が見事に示されている。

「高ク志シテ朝ニ立チ、遠ク慮リテ野ニ下リ、経済ニハ規画最モ先ンシ、社会ニハ施設極メテ多

ク、教化ノ振興ニ資シ、国際ノ親善ニ努ム、畢生公ニ奉シ、一貫誠ヲ推ス、洵ニ経済界ノ泰斗ニシテ、朝野ノ重望ヲ負ヒ、実ニ社会人ノ儀型ニシテ内外ノ具瞻ニ膺レリ、遽ニ溘去ヲ聞ク、曷ソ軫悼ニ勝ヘン、宜ク使ヲ遣ハシ、賻ヲ賜ヒ、以テ弔慰スヘシ」



以下、フィールドワークを終えてのフェイスブックへの書き込み。

- ・ 渋沢栄一は幕末、明治、大正、昭和を生き抜いた人である。まず最初に驚いたのはそのバイタリティーである。現代の普通人の何百倍の仕事をしていた。我々現代に生きる普通人から見ると広大な敷地の屋敷に思われるが、その当時の裕福な著名人の中ではそれほど広大な敷地の屋敷ではなかったそうです。それはその人格にあると考えました。目的は金銭ではなく、尋常でない社会に対する興味がありそれを知り企画、開発、実行という有言実行能力にあります。その結果は、彼の残した名言の＜思いどおりにならないことが普通＞＜長所を生かして自分のレールを敷こう＞＜成功や失敗は身に残るカス＞＜現状維持にはリスクが潜む＞に現れている。常に失敗を乗り越え前に進む気力。現状を守ることはすでに後退で常に将来を考え前に進む姿勢と生き方がにじみ出ている。結果として現在も社会の基盤となっている組織、学校、会社のほとんどが彼が手がけたものであることが実証している。今の日本を作った人物である。そして 90 歳過ぎまで現役で仕事をしたことは尊敬され、自分の目標になる偉人であります。
- ・ 本日は思い出に残るフィールドワークをありがとうございました。以外本日の振り返りです。渋沢栄一。これまで名前は知っていたがこれほど偉大な業績を残した人物であるということは知らなかった。今回史料館を見学して印象に残った 2 つキーワードから感想を述べる。
①「道徳経済合一説」。これはまさに渋沢栄一の哲学を表現した言葉だと感じた。道徳と経済。これは今も相反する言葉だと捉えられているように思う。特に現代の激しい競争社会では、利益のためには手段を選ばない、他者の不利益など顧みない経営が横行するように思う。そして、それが行きすぎた結果不祥事というかたちで表面化しているのだと思う。そんな時代だからこそこの渋沢栄一の哲学は心に響くものがあつた。渋沢栄一は数多くの会社を興したが、

どの会社の起業についても、それは儲かるのか？という発想は全く感じられなかった。渋沢栄一が興した会社は、それは世のため、人のために役立つのか？という発想が全ての出発点にあると感じた。人には人徳があり会社には社徳がある。その徳について自らの行いや職業人としてのあり方を改めて考える直す機会となった。

②「社会事業」。渋沢栄一は経済活動だけでなく社会事業の発展にも注力していた。特に明治5年に生活困窮者や高齢者を対象にした養育院を開設しその初代院長に就任していたことは驚きであった。私の勤務する法人は明治44年の創設であるが、その約40年も前から先駆的な取り組みをしていたことになる。さらに驚いたのはその時の渋沢栄一の年齢である。西暦で計算すると32歳の若さで初代院長に就任していることになる。社会的に成功を収めた方が社会事業に関わりを持つのはよくあることだがそれは晩年になってからが一般的のように思う。このことから渋沢栄一の徳と人望の厚さを感じた。

最後に今回実際に史料館を訪れたが、やはりただ本を読むだけでは感じられない部分に触れられたように思う。渋沢栄一が生活した空間に身をおいたり、本人が実際に書いた文字に触れることによってその場の雰囲気やぬくもり。そして、その人となりをさらに深く感じる事ができた。また、史料館スタッフの方との会話も史料館を訪れることで得られる醍醐味の一つだと感じた。以上になります。久恒先生、受講生の皆様約半年間ありがとうございました。今日は多くの偉人や著名人が訪れるお店でお酒が飲めて楽しかったです。人物記念館訪問では思いがけず家族との楽しい思い出をつくることもできました。これからも偉人たちの言葉を胸に刻み、自分の人生を歩んでいきたいと思えます。大学院生活はまだあと一年ありますので今後ともよろしくお願いいたします。

- ・ 久恒先生、本日の最終回、フィールドワークありがとうございました。渋沢栄一について。凄い人だとは知っていましたが、具体的に何をしたかとまでは今まで答えられなかったです。ですが、渋沢栄一は今の日本を作った人だと言っても過言ではないと思えます。多くの大企業を手がけてきた渋沢栄一は日本型経営の神様であると思うが、しかしそれだけではなく、病院や学校にも尽力を注いできたエネルギーは凄まじい。特に教育に関しては、女学校や商業学校、現在の教育の礎を作ったと感じられました。また夕方からは、岡本太郎も通った歴史あるお店でお酒を飲み交わす楽しい時間。全ての講義に休まず出席することができたが、MBA コースを学ぶうえで大切な志を偉人から学ぶことができ、何よりとても楽しい全講義でした。改めて、久恒先生、講義で一緒だった皆さん、ありがとうございました。
- ・ 「偉人達の記念館は追体験の場。」立志人物論の講義では、偉人達の遺した言葉を紐解いて来ました。時に、インタビューの光景を動画で見る事もありました。それはそれで、極めて高い学びを得る事が出来ました。しかし、実体験ではありません。人は経験する事によって、学びを心に刻み込み、後々の糧とします。偉人達の遺した言葉は、素晴らしいものですし、心に響きます。しかし物故者ゆえに、残念ながらそのエネルギーを直にリアルに感じる事は不可能です。素晴らしい絵画を、美術館で実際に観るのと図録で観るのでは受けるインパクトが全く違いますよね。やはり、実体験してみたい。その時に、本日のようなフィールドワークがと

でも役に立つのだと思います。記念館や〇〇館というのは、その建設に携わった方々の主人公への強烈な「思い」がエネルギーとして込められていると思います。当然、展示物も主人公の「思い」や「志」を的確かつ強く現すものでしょう。テキストベースで学んだ後に、その「強い思い」のエネルギーの中に入り、主人公が生きた時代へタイムスリップする。そして主人公の生き様を追体験する事で、あたかも自分が経験したような学びが得られるのではないかと思います。現代は混沌と行き詰まりの様相を呈してます。こんな時こそ、温故知新。偉人達の遺した言葉が、より生きてくるのではないのでしょうか。とても意味のある深い講義だったと思います。久恒先生、ありがとうございました。

- ・ 久恒先生、最終回もありがとうございました。渋沢栄一は授業で勉強した人ですけど、そんな偉い人と思わなかった。しかし、今回は渋沢記念館に訪問して、印象が全く違います。この人は人類ですかと疑問が心から生み出します。渋沢栄一作った、または創設に参加した企業はほとんど残っています、さらに半分以上は今の大手です。日本全ての業界、五百以上の企業に仕事していた。そんなに多くの仕事量は天才までできないと思うが、渋沢さんが 90 歳までやっていました。一人で日本経済を救った、神様のような何でもできる人間と思っています。仕事量だけではなく、頭の中の思想と知識も僕を感心させます。日本の伝統教育、或いは社会暗黙知と違う、始めて女子大学を開創しました。道德と商学の学問、博物館の推進、特別な発想など、全部が社会の先頭に立って、人々を感心させる。亡くなった時、天皇陛下が自ら書類を作って弔問しました。その全部、今まで渋沢栄一しかいないと思っています。今度は渋沢栄一さんにもっと深い印象が残ります。そんな偉い人になるのは無理だと思いますけど、少しだけ接近したい、自分が努力しなければならない。
- ・ 【第 15 限: フィールドワーク@渋沢史料館+岡本太郎が通った居酒屋】。My Hero の 1 人として、「人物記念館訪問レポート」で彼をとりあげるため、所感で人物については触れず。フィールドワークは民間外資時代に国内外で時折実施した調査技法である。テーマに即した場所を実際に訪れ、その対象を直接観察し、現地で史料・資料の採取、関係者に聞き取り調査などを行う。昨日はクラスメンバーで同じ空間に同時間滞在し、一人の生涯について学んだ。学生や統率の久恒先生の関心は異れど、晩香廬や職人技に脱帽の青淵文庫を見て、史料館内では感想・意見を共有し合い、渋沢氏への理解が深まった最終講であった。放課後のワイガヤ打上げと近隣に鎮座する烏森神社の礼拝も楽しい思い出になりました。社会人大学院のためデイトタイムにメンバーでフィールドワークは難しいですが、週末を利用するなど今後もある有意義な課外学習の機会を増やしてほしいと思う。今期お世話になりました皆さん、ありがとうございました。

夕刻からは、岡本太郎が通った新橋の「蛇の新」で打ち上げの懇親会。



2018 年 1 月 13 日 大学入試センター試験初日

大学入試センター試験初日。8 時集合。

多摩大会場は、多摩大と駒沢女子大の混合チーム。

冒頭の主催者挨拶は私の担当。19 時半まで。

2018 年 1 月 14 日 センター試験二日目。「センター側のミスがあったのは多摩大(東京都多摩市)の会場、、、」

センター試験二日目。

本日も多摩大・駒沢女子大の教職員のチームに対して、冒頭の挨拶。

初日にテレビ、ラジオ、新聞に載った多摩大で起きたトラブルについて説明した。本日の日経朝刊が詳しく書いているのでそれを引用。

「センター側のミスがあったのは多摩大(東京都多摩市)の会場、、、センターの窓口受験科目を変更できるか、電話で問い合わせた。直前の変更は認められないが、センター職員は『できます』と誤回答、、、時間に会場入りしなければならず、遅刻と見なされた、、、結果的に 3 時間繰り下げて授権が認められた。センターは『どの科目を受けないつもりなのかをきちんと確認せず、国語や外国語を受けないと誤認した』と説明している。」

この記事では「センター側のミス」「誤回答」「きちんと確認せず」「誤認した」と数回にわたってセン

ターの不手際を説明している。多摩大には問題はなかった。

2018 年 1 月 16 日 T-Studio で 2 本の番組を録画:「ポッドキャスト」と「平成命日編」

研究室で秘書と打ち合わせ。スケジュール調整。各種連絡。

Tスタジオで録画収録。「ポッドキャスト配信」「平成命日編」

ラウンジ

- 金先生:入試関係
- 高野課長

2018 年 1 月 18 日 副学長日誌

電話で打ち合わせ:近藤秘書、杉田学部長。高野課長、、、。

2018 年 1 月 19 日 相談。打ち合わせ。授業。録画。ミーティング。面会。移動。会議。相談。

多摩キャンパス

- 8 時 45 分:高野課長と相談
- 9 時:秘書と打ち合わせ。講演準備、シラバス改訂、、、。
- 10 時:客員の久米先生と懇談。午後の録画の打ち合わせ。
- 10 時 40 分:「立志人物伝」の 14 回目の授業
- 12 時半:T-Studio で久米先生と「トレンドウオッチング」の対談録画。30 分。
- 13 時:事務局との定例ミーティング
- 14 時:多摩信金の長島部長が融資部長への異動の挨拶にみえる。地域支援部長の後任は川口幸子さん。
- 14 時半:知研の八木会長。岩澤さん。

杉田学部長の車で意見交換をしながら九段サテライトへ。

- 6 時半:学長主催のブランディングの会議(2 学部1研究科)。構想力。シンガポール。オランダ。プレステージ。参画のプラットフォーム。高齢者社会工学。大浮上作戦。日本全体。グローバルな視界。
- 意見交換。私からは「総合力」「長寿社会工学」「日本型」「山野の美」「運動論」などの観点から意見を述べた。今年度に 2 回会議を予定。
- 終了後、3 階の文庫で、人事案件で学長と相談、説明、意見交換。

2018 年 1 月 20 日 一般入試。インターゼミ。脳力のレッスン「2018 年への確かな視座」

多摩：一般入試で本部詰め。

九段：インターゼミ。

- 木村：メディアの劣。正月のバラエティ番組。イスラエルのハーレッツのインタビュー。荻野。松井：デューイ。経験値を高める。学力と人間力。思想・哲学。
- 学長講話：団塊世代は不条理の経験がない世代で物欲の塊。団塊ジュニアは甘っちょろい。その子たちが大学に入ってくる。志には不条理をはじき飛ばすものがなければ。100 歳人生には自分とは何か問うことが必要。アイデンティティ。世代。ヒューマンリレーションマップ（進化・相手に貢献しているか。つながり。問題解決に重要）。アセットマップ（資産。進化？）。中年の危機。壁を突破。力をつけなければ蔑まれる。試練の場。課題解決力。アセットとヒューマンリレーションで解決していく。高校の同級会。そろそろカードを置き始めているのが残念。テーマ。一生のテーマ。一定以上の知見。インターゼミはますます重要になる。戦後日本の多摩ニュータウン。団塊世代、団塊ジュニア、団塊の孫をどうづるのか。ジェロントロジーは若者を対象としたテーマ。（ジェロントロジーとアクティブラーニングをどう組み合わせるか）
- 「世界」の連載「脳力のレッスン 190」（寺島実郎）
- ・ 2017 年：政治リスクの高まりと異様な株高。幸運。トランプは自我狂とディールという貧弱なリーダー。日本はトランプに運命を預託すべきではない。適切な距離感・温度差を。宗教革命 500 年。400 年ぶりの宗教の蘇りと宗教の名による殺人。五識（眼・耳・鼻・舌・身）・六識（理知・感情）・末那識、阿頼耶識、阿摩羅識に至る意識が情報の結合により宿る。宗教は認識ではなく意識。
- ・ 2018 年。政治と市場。トランプ主義とマクロン主義。閉ざされた世界とプロ・グローバリズム。永久政権をはかるプーチン。強権化する周金平。主体的にあるべき日本を構築する意思。鍵はジェロントロジー（体系的高齢者学）。社会参画のプラットフォームの創造とそのための意識醸成の知の再武装システム構築の試み。

2018 年 1 月 21 日 サテライト入試 2 日目

サテライト入試の二日目。

大学のコートでフットサルの東京都大学リーグの試合が行われていた。東京外語大と多摩大との試合を見たが、18 対 0 という結果で勝利。今年のチームはさらに強くなっている。

2018 年 1 月 22 日 「立志人物伝」14 回目の授業の感想から。

「立志人物伝」14 回目の授業の感想。

<タイプ1>

・レポートの内容をどうしようか悩んでいる。・昔の人ほど様々な情報があり、本当の情報なのか疑ってしまうことがある。・レポートの骨組みができた。・レポートは終わっている。年末年始は計画的に行動できた。・レポートを進められた。知れていない部分があった。・課題をやる時間を作ってくれて有り難い。・福澤諭吉をロールモデルにしている。・タイプ9のウィングが発達したタイプ1に自分は属していると思った。・メジャーではない人物にした。・ニコラエ・チャウシェスクにした。失敗から学ぶ方が失敗せずに成功するよりも教訓になるから。・手塚治虫について調べていくうちに偉人と呼ばれる理由がよく分かった。今後役立てたい。

<タイプ2>

・調べていくと新しい発見があったり、楽しい。・先生のポッドキャストを聞いて朝練を頑張りたい。・鳥瞰図がまとまってきた。一人の人物を色々調べる機会があって面白い。・高橋是清元大蔵大臣。・市川海老蔵・レポートが完成した。先生とゴルフに行きたい。・野球選手を取り上げた。江川事件に関心を持った。・鳥瞰図が書き終わった。色々調べ知ることができた。・レポートを提出してしまったので、野口英世について調べ直した。・寺島学長について調べようと思う。・大泉洋にする。・宮本武蔵にしようと思ったが星野仙一さんにする。・リオネル・ messiについて学び書き終えた。・本田圭佑にした。凄い人だった。この講義が無ければ知ることがなかったので、取って良かった。・ウィングがあまり合っていないと思った。

<タイプ3>

・期限までには提出したい。・「人生のバッターボックスに立ったら見送り三振だけはするな」という言葉に感動した。

<タイプ4>

・課題が進めば進むほど、その人により近づきたいと考えた。・図と文でまとめることで、どこが凄いのかが理解できた。・人生鳥瞰図の素晴らしさを知った。目標となる人をより理解する最適な方法だと思った。・般若さんを調べた。・スポーツ選手を調べていると短い現役時代を過ごした後の考え、キャリアデザインが重要。・ウォレス・ヘンリー・ハートリー。ホスピタリティという面で、この人物を知ったことで価値観が変わった。・イチロー選手

<タイプ5>

・毛利元就にする。・自分の知らないことを久恒先生目線で知ることができて楽しかった。・アーサー王にしたい。・レポートが大きく進んだ。・図にすることでどういう人なのか見えてきた。・新年の計画を緻密に立てて今年を頑張る！計画をたてることの重要性が分かった。・伊達政宗について書いた。・ウィングが強い弱いで性格に違いが現れることが良く分かった。・偉人達の芯に裏打ちされた価値観にふれることで自分の価値観を良い意味で広げられた。・また来年もこの様な講義があったら受講したい。・エニアグラム毎回楽しい。偉人の名言のポッドキャスト、面白いと思った。・レポートを書く時間を授業時間の中で作ってもらえるのはとてもありがたい。・エニアグラムは毎回自分に合ってるのでびっくりした。

<タイプ6>

・井伊直弼について書こうと思う。・武田信玄について書く。・しっかり分析して自分の人生に反映させていきたい。レポートも良いものにしたい。・宮沢賢治や柳田國男について更に知りたいと思った。・従姉妹を書きたい。小林しげる「人生のバッテリーボックスに立ったら見送りの三振だけはするな」が心に残った。1 年の目標を書きだしているという話を聞いて、新規でやりたいことも書き出したい。・ポッドキャストの「偉人の名言」を聴きたい。・小林と江川の話は有名なので知っていた。・レポートが終わったので新年の目標を考えていた。新たな挑戦も積極的に行うことを目標に、今後の学生生活を送っていきたい。・色々な人との関係を築いていきたい。・嘉納治五郎にする。・岡本太郎について書く。・松岡修造さんの人生鳥瞰図を作ること、どういった人が講義を受ける前より詳しくなった。・川上国彦氏を選んだ。・パワーポイントが上手く書けるようになるので、とてもためになると思った。・パワーポイントが難しいが、良いものを作れるように頑張る。

<タイプ7>

・マリリン・モンローについて調べた。・スティーブ・ジョブズの資料を調べた。

<タイプ8>

・今年の目標は他人のために尽くすことです。・徳川家康に変えた。

<タイプ9>

・ホームページを読んでみようと思った。・そろそろ将来をしっかりと考えなければならない。・野球界の話が面白かった。・坂本龍馬についていろいろ調べたいと思った。・遠藤保仁選手について書いた。知らないところが分かった。

<タイプ?>

・この 90 分のおかげで課題が終わった。・梅棹忠夫先生のことを調べた。・久恒先生の偉人の名言 366 命日編、これから毎日学校に向かう途中に聴きます。朝練頑張れます。・ポットキャスト聞いてみます。マイケルジャクソンについて鳥瞰図を書きます。・新年の計画をしっかりと立てて、今後活かしたい。・ポットキャストに興味湧いた。・本田圭佑選手について書こうと考えた。・母のことを書いた。・三島由紀夫さんにした。・人物を調べていくうちに人生を考えるようになった。・課題は終わったので、今年の目標を決めた。・人生鳥瞰図を書くことが楽しかった。・年ごとに計画書をつくるのはいいなと思った。自分もやってみようと思う。・偉人の習慣や生き方が分かりとてもためになった。・本田圭佑選手にした。・次の講義でこの講義が終わってしまうのは残念に思った。・ポッドキャストを教えてもらった。毎朝 5 時に聞いて、朝練がんばります。・織田信長について鳥瞰図を制作中。

2018 年 1 月 23 日 「この授業(立志人物伝)を受けてあなたはどうか変わりました

か？」

- 授業を受けてあなたはどうか変わりましたか？（最終回のアンケート）

エニアグラム＜タイプ1＞完全主義者

・自分がどのような人間か理解できた。・自身の志を再確認できた。最終レポートを書き終え人生の指針を決める礎とすることができた。名言に興味が高まった。・さらに歴史を好きになった。・色々な人物に興味を持つようになった。目標となるものが見つかり、悩むことが少なくなった。・偉人の名言を聞いて、自分もそういう人になろうと思い、変わろうと思う。・「みんな努力して頑張っているのだな」と思い、ぐーたらしていると「こんなコトしてる場合じゃない」と思えるようになった。・将来について深く考える時間ができた。

＜タイプ2＞助ける人

・自分の志が決まった。・偉人達の言葉を受け止め、自分なりの強い考えを持って生きたいと思った。・迷った時に、自分のロールモデルの人ならどうするかな。と考えられるようになった。・将来ボビージョーンズの様な人間になりたいと思った。最近では陽気な人間になろうと決心し、今では優しい人間へと変わったと思う。・変わった事は3つある。1 つ目は、歴史や偉人に興味関心を持てた。2 つ目はエニアグラムの存在を知れた。3 つ目は、人物を図解することにより頭の中を整理しつつ理解を深めるという事が出来た。寺島学長を選んだ。・100歳を超えている人が多いことに驚いた。

＜タイプ3＞成功を求める人

・目標にする人ができたので良かった。・偉人から学んだ事を社会活動に活かしていく。

＜タイプ4＞芸術家的な人

・日本の文化の成り立ちなどに更に意欲がわいた。・誰かをテーマにして人生を生きるのは大切だと思った。・20 歳になり人生の 4 分の 1 が終わった。一日一日を無駄なく過ごしたいと感じた。20 代は積極的に行動したいと思った。

＜タイプ5＞観察者

・「学ぶ力」を得られた。・井伊直弼を調べている内に更に知らなかったことに触れ、より一層好きになった。・どのように生きていくのか指標を見つけ出すことができた。・価値観が広がった。・エニアグラムが好きになった。・坂本龍馬についてレポートを書いた。調べて図解したらその人について良く分かった。・目標にする人物を明確に分析することでさらに理解が深まった。・意識が変わった。・個人的に気になった人物を調べていこうと思う。・人物について図解することは新鮮だった。尊敬している人を見て、自分に活かせるところはないかという考えを持つきっかけになる授業だった。

＜タイプ6＞忠実な人

・この講義のおかげで自分の人生を見つめ直すきっかけになった。・見習うべきものが増えたので楽になった。・考え方や価値観が大きく良い方に変えることができた。エニアグラムは活用したい。この講義によって大きく成長できた。受講することができて良かった。・井伊直弼について調べた。知らずにいた部分が知れて良かった。・偉人の真似をする、ということ学ん

だ。・自己分析ができるようになった。・自分も何か世の中に役に立てるような人になりたいと思った。・アルベルト・アインシュタインは偉大。

<タイプ7>冒険者

・4月から仕事が始まるが、辛いことや苦しいことがあるときは、ポジティブに物事を考えて、壁を乗り越えていきたい。・歴史に残った人物の話は、刺激的だった。

<タイプ8>独裁者

・野口英世の様に努力して成功する人になりたい。・お手本にしたい人を決めることができた。・自分の人生について考える時間ができた。

<タイプ9>調停者

・考え方や成した事を深く考えるようになった。自分の頭の中で図解も使えるようになった。・生活習慣と考え方が、良い方に変化した。・山あり谷ありを好む人間たちの話を聞くのが面白かった。・新しい表現法を見つけることができた。・やりたいことを全力でやる。・行き詰まることがあったら、この講義で聞いた言葉を思い出したい。

<タイプ?>

・ロールモデルを発見した。・興味を持つ幅が広がった。計画を立てて行動するようになった。自分の興味、価値観、心がけを変化することができた。・自分の人生を今からでも見つめ直してみようと思った。・偉人達を書いた本を読みたい。・自分の志が明確になった。・楽しい講義だった。・特別講座の解説もあり、復習の大切さを学ぶことができた。分析する力が、身についた。・自分の向き不向きが多少分かった。・お年寄りの方とのコミュニケーションをはかる時にとても会話が弾むと思う。・偉人の言葉は、前向きになれる、背中を押してくれる言葉だった。・改めて言葉の大切さが身にしみた。・多くの偉人の尊敬する部分が見えた。・ロールモデルと心を重ねていながら物事を考えるようになった。・白洲正子を取り上げた。・人に強い影響を与える人は偉い人である。・偉人の言葉に影響を受けた。・来期もこのような授業があったら取りたい。

● 午前

- ・ 久米先生と懇談: グーグルマップが素晴らしいとのこと。「墨田区から四輪駆動で雪の中をスイスイと運転できた」。
- ・ 「立志人物伝」の最終回の授業。大雪のため、遅刻者が多かったが、最終的には出席者は多くなった。

● 午後

- ・ 近藤秘書と打ち合わせ
- ・ 松本先生: 多摩大総研の人事案件(客員教授)。多摩大出版会。
- ・ 阿部多摩市長、浦野企画政策部長、若林シティセールス政策監らが新年の挨拶に見える。杉田学部長、小林学長室長、松本地域活性化委員長、高野課長で対応。ブランディング事業、マンホール、橋、、、。
- ・ 杉田学部長: 情報交換

2018 年 1 月 24 日 「志」入試センター会議

- 志入試センター会議
 - ・ 経営情報学部とグローバルスタディーズ学部の現在の入試状況の確認と最終見通し。
 - ・ 入試改革に向けてのスケジュール確認。
 - ・ 入試改革に向けての意見交換: グローバルは元々少人数のアクティブラーニング教育、それにゼミが全学部的に始まっている状況。教育に関わる実態把握と資源の確認とPR方法を考える。アドバイザーへ基本情報と最新情報提供を頻繁に行う。偏差値と独自性の関係、、、、。
 - ・ 私から: 社会と大学と高校の関係。社会は問題解決力(実学)を求めている。社会人はアクティブラーニングで育っていく。多摩大の実学は現代の志塾・ゼミカ・アクティブラーニングへと進化してきた。高校は知識教育から考える力を養成するアクティブラーニングに変化しつつある。高校と大学の接続が入試、それを变えることにことによって偏差値にまみれた教育界を変えようとするのが現在の大学改革の要請だ。多摩大は附属の 2 高校との高大接続アクティブラーニングを構築しつつありこれが強みになっていく。多摩大の入試改革のポイントはアクティブラーニング入試だ。アクティブラーニングで学んだ高校生を、大学でさらに磨き、社会に出していくという一貫した体系の中で入試改革を考える。教育もさらに磨き上げていく。アクティブラーニング入試の中身は自然に決まってくる。このビッグチャンスを生かそう。
- 理事長報告(久恒・杉田)
人事関係。多摩大出版会。入試と就職の状況。、、、。
- ラウンジ
 - ・ 杉田学部長。森島課長。酒井さん。
 - ・ バートル先生: 出版
 - ・ 高野課長

2018 年 1 月 25 日 品川キャンパスで大学院運営委員会。

夕刻: 品川キャンパスで大学院運営委員会。

- 志賀入試委員長: 志入試センター会議
- 徳岡研究科長: 品川塾の件の提案
- 2018 年度事業計画。教務分科会。入試・広報分科会。院生分科会。、、、。
- 「研究」について多摩大出版会の活用を提言。「シニア起業」と「優秀論文集」。

2018 年 1 月 26 日 副学長日誌

13 時:大学運営委員会

2018 年 1 月 27 日 インターゼミの打ち上げパーティ

インターゼミ(社会工学研究会)の論文提出日。17 時から 19 時まで、文庫カフェで打ち上げパーティ。

2009 年からの 9 年間で、のべ参画者数は、学生・院生 298 名。教職員は 136 名(実数 32 名)。インターゼミ卒業生は 72 名。

本日の参加者は、現役 25 名。OB23 名。教員 14 名。職員 3 名。

サービス・エンターテイメント班。



AI班。



アジアダイナミズム班。



多摩学班。





2018 年 1 月 28 日 後援会主催「就職セミナー」

後援会主催「就職セミナー」

第 1 部 講演

- 後援会長挨拶: 浅田会長「人生 100 年時代。縁起」
- 学部長挨拶: 杉田学部長「人生 100 年時代。就職の現状。問題解決力。アクティブラーニング」
- 中庭就職委員長「人手不足。考える力。実質的成果。筆記試験。、、」
- 浜田就職委員「通年採用へ。即戦力。中途採用。2 年次のインターンシップ。3 年の 11 月からスタート。複数の内定。、、」





第 2 部 第四次産業革命のリーディングカンパニーは多摩大性をこう見ている。

司会: キャリア支援課: 高部大問。

「28000 の職業。蒸気機関(機械化)。電気と石油(量産化)。コンピューター(自動化)。第 4 次はIoT・AI(自律化)。。。。。



国際自動車株式会社(km):1920 年創業の総合サービス業。2020 年に 100 周年。業界初が多い。仮面就職。すっぽんぽん採用。アプリ「フルフル」。マタニティタクシー。ホスピタリティ。個人を見る姿勢。楽しく働くこと、、、。



動画:優れた企画力と実行力の興味深い映像。内定者 3 人。学内の職業人。父兄。新橋のサラリーマンインタビュー、、、。タクシー業界の変革の様子がわかる内容。仕事、キャリア、人生を考えさせる、、、。

サプライズ登場の西川社長「社員 7000 人。4800 人のドライバー。5 年で 500 名を採用。タクシー、ハイヤー、バス、車関係のサービス業。若手が自由に動ける、、、。



「企業のリアルな姿」を知ることが大事であることが伝わったと思う。時代のニーズと働く人たちの意識の変化にあわせて、企業が変わっていかうとする姿が示されたセミナーだった。今までのセミ

ナーの殻を破った優れた企画となった。関係の皆さん、ご苦労様でした！

司会：梅澤就職副委員長の挨拶



2018 年 1 月 29 日 副学長日誌

13 時半：宮地事務局長と人事の相談。

2018 年 1 月 30 日 副学長日誌

16 時半：湘南キャンパスでグローバルスタディーズ学部運営委員会に出席。

2018 年 1 月 31 日 人事委員会と学部運営委員会。カンカンガクガク、、。

- 9 時半：人事委員会：非常勤
- 10 時 40 分：学部運営委員会：13 時までカンカンガクガク。
- 14 時半：JMAの池淵さん来訪：総研。知研。地研。図解本。「グローバルリーダー」の改訂の相談。
- 15 時半：多摩大総研松本先生に池淵さんを紹介：多摩大出版会の相談。



2018 年 2 月 3 日 『ポッドキャスト 偉人の名言 366 一日一言』の紹介番組

27 回目の『久恒啓一の名言との対話』テーマは、『ポッドキャスト 偉人の名言 366 一日一言』。

「2017 年 7 月に上梓した「偉人の命日 366 名言集～人生が豊かになる一日一言」を 2018 年 1 月 1 日よりポッドキャストにて無料で毎日配信。時を超えて輝く「偉人の名言」は人生百年時代の人生観を磨き上げるソフトインフラです。」

「多摩大学創立 25 周年記念ファシリティ『T-Studio』では、地域への情報発信拠点として「課題解決型情報番組」を制作し、インターネットを通じて発信しています。

久恒啓一副学長の番組『久恒啓一の名言との対話』第 27 回を追加しました。

『久恒啓一の名言との対話』は、10 年に亘る偉人の記念館を訪ねる旅から生まれた番組です。全国で(一部海外)約 800 の人物記念館を訪問し、見えてきた日本の真の近代史、時代を超えて心に響く偉人の名言を、独自の視点で紹介します。」

2018 年 2 月 5 日 多摩大シルバー・デモクラシー企画参加者懇親会

多摩大シルバー・デモクラシー企画懇親会。

60 代 11 人。70 代 8 人。80 代 1 人。50 代 1 人。

多摩市。日野市。調布市。横浜市。長野県。川崎市。稲城市。渋谷区。相模原市。府中市。町田市。世田谷区。荒川区。千葉市。

1 分間スピーチ」多摩ウオッチングの会。湛山に刺激。心の健康。経営とITを考える会。歩き遍路。

高齢化コスト。知らない世界を知る喜び。柳田邦男。メディアの会。二世帯住宅。棚田会。北杜市に小屋。50才現役。富士見町に移住、お達者クラブ。高齢化のリスク。晴耕雨読。、、、。

多摩大側は、寺島学長、小林先生、杉田先生、趙先生、金先生、私。高野課長と山本さん。



学長:ジェロントロジー(高齢化社会工学)。山野美容。美齢学。思想の軸。大きな流れ。参画プログラムの実験。社会人大学へ。司馬遼太郎記念館。本を若い人に使わせよ。文庫。ガラクタとオタカラ。公共図書館が寺島文庫に興味。勉強会・研究会など活動の拠点。サロン。コンテンツがあるか。岐阜と京都。ライブビューイング。文化活動の拠点。段階的接近。独居老人・病院食のセントラルキッチン。広島、熊本、、、駒沢ハウス。6万冊の本。座標軸の中でプロット。本同士のつながり。ピンポイントでなくアナログ的な物理的配架。相関性から広がり。束。、、、。

2018年2月7日 来年度執行部による学内施設点検ツアーを実施。徳川斉昭「何事にてても、我より先なる者あらば、聴くことを恥じず」

- 学部運営委員会
- 教授会
- 施設点検ツアー: 昨年から始めた学内ツアー。来年度の執行部の教職員が学内資源の確認をしながら、遊休施設を発見するツアーで、その場で結論をでるケースもあるので、有意義な時間だ。私からは、「大学の玄関」と「一等地は一番大事な役割を」を最後のミーティングで提案しておいた。



確認ミーティング：川手総務課長



- 杉田学部長：給与の考え方を相談。
- 金アクティブラーニングセンター長：教学マネジメント会議の運営。入試の課題。、、

2018年2月8日 多摩大総研運営委員会。学園本部で折衝 多摩キャンパス

- 秘書とスケジュール調整。打ち合わせ。
- 11時：杉田学部長と学園本部との折衝資料の検討
- 13時：多摩大学総合研究所運営委員会：松本副所長、金先生、彩藤先生、中庭先生、宮地事務局長、高野課長。冒頭に私から所長挨拶。来年度以降の事業計画案（大いなる多摩学会・多摩大出版会、）と新体制案（新運営委員と出版会の企画編集委員）の発表。

目黒の学園本部

15 時半から 18 時：杉田学部長と一緒に理事長面談。

2018 年 2 月 9 日 副学長日誌

多摩キャンパス

- 近藤秘書と打ち合わせ
- 高野課長
- 山本さん：次回はアスリートで。

2018 年 2 月 10 日 大学院修士論文審査会・教授会・人事委員会

品川

- 10 時から大学院修士論文審査会：25 人の修士論文審査会。私は徳岡研究科長と一緒に 3 名の審査を担当。「トリプルメディア時代のORマーケティングの仕掛け方」「中国におけるビジネスホテル・フロント業務に関する提案」「T社上場実現に向けた経理部門からの組織改善の提案」を審査。
- 大学院教授会：最終試験審査。優秀論文決定。大学院事業計画。来年度時間割、。
- 大学院人事委員会：再任審査。特任教授。

2018 年 2 月 13 日 研究開発機構評議員会

多摩キャンパス

- スケジュール調整
- 打ち合わせ

九段サテライトで研究開発機構評議員会

多摩大傘下の多摩大学総合研究所・多摩大学情報社会研究所・多摩大学医療・介護ソリューション研究所・多摩大学ルール形成戦略研究所の 4 つの研究所の会議。私は昨年度から研究開発機構長を拝命。オボザーバーとして学部長、研究科長、事務局長。次回は 5 月。

- 2017 年度事業報告
- 2018 年度事業計画（含む人事案件）

2018 年 2 月 14 日 全体方針共有会

毎年行っている全体方針共有会を開催。経営情報学部の「全体の構造と部分同士の関係」が分

かる貴重な時間。教職員の情報共有による結束が一段と増す機会。

- 10 時: 杉田学部長: 2018 年度着任教員紹介。経営情報学部現状と今後について。
- 1020: 2017 年度の8委員長による実績報告: 以下、私の感想メモから「数字の壁。下と上。高大接続改革。離学は入試と教務の課題へ。多摩大出版会の活用。多摩大式高大接続アクティブラーニング。大いなる多摩学会と産官学民連携センター。長期留学と地域拡大。研究ブランディングから大学ブランディングへ」
- 1130: 昼食
- 1240: 2018 年度委員会での方針策定及び討議。
主要委員会とサポート委員会の2回。
- 1515: 2018 年度委員長からの発表: 以下、私の感想メモから「質の向上の具体策。入試改革元年・大手術。数字への執念。入試改革と教育改革。出版会の活発化。アクティブラーニングセンターの範囲の変更。産官学民協創センターへの準備。留学の質の向上。教育ブランディング」
- 16 時半: 杉田学部長の全体総括: 以下、私の感想メモから「グローバルはアジアダイナミズム。地域はジェロントロジー。ICTはIOT」
- 17 時: 教授陣全員で撮影。



- 18 時半: 多摩信金の長島部長を囲んで。松本先生、杉田学部長。



2018 年 2 月 15 日 副学長日誌

ラウンジ

- 杉田学部長: 人事案件
- 高野課長: 情報交換

研究室

- 知研の八木会長来訪。打ち合わせ。
- マグネットの岩澤さん
- 「名言との対話」3 月を書くための書籍を 20 冊ほど注文。

荻窪の「地研」で飲み会を兼ねたミーティング。18 時から 21 時まで。

- 『偉人の誕生日366名言集』の原稿 442 ページを落合社長に渡す。5 月発刊か。
- 一般社団法人ザ・コミュニティについて

2018 年 2 月 19 日 副学長日誌

- 梅澤先生: 世代間交流
- 久保田先生: 小豆島合宿。ドローン、アクティブシニア、、、。
- 山本さん: 今週の T-Studio 録画の打ち合わせ
- 高野課長: 近況

2018 年 2 月 20 日 湘南キャンパスでグローバルスタディーズ学部の学部運営委員会に出席

- 16 時: 湘南キャンパスでグローバルスタディーズ学部の安田学部長と懇談

- 16 時半：学部運営委員会に出席：入試の状況。藤沢市との連携。ストレート卒業率。リレー講座のライブビューイング。就職の状況。離学率、、、。

2018 年 2 月 21 日 役員室(会議)。研究室(ミーティング)。ラウンジ(相談)。研究室(打ち合わせ)

役員室

- 柏原先生：雑談
- 入試判定会議

研究室

- 事務局との定例ミーティング：局長・総務課長・教務課長と学部長と



ラウンジ

- 杉田学部長・下井先生：科研費
- 田学部長：教員採用。フットサル部への助力
- 高野課長：「学部長日誌(3 年分)」「副学長学部長日誌(2 年分)」のアップ

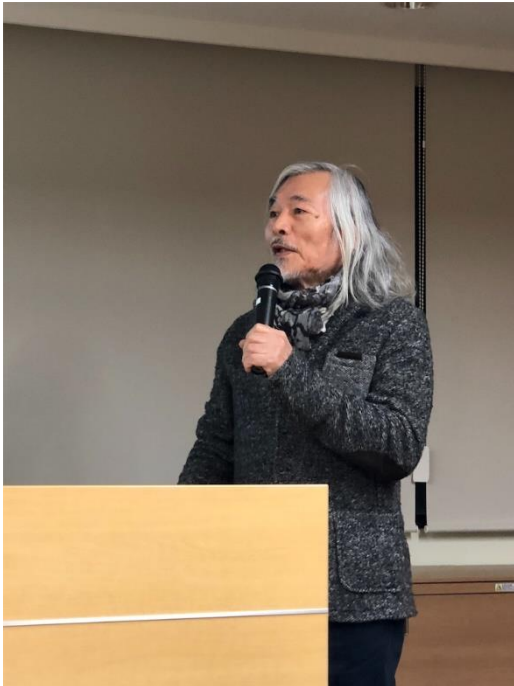
研究室

- 秘書と打ち合わせ

2018 年 2 月 22 日 多摩大”志塾会”の第 3 回セミナー。講師は望月照彦名誉教授。「シンギュラリティ時代の世界徘徊老人の生き方」ー頭脳都市・渋谷を構想する

夜は多摩大”志塾会”の第 3 回セミナー。講師は望月照彦名誉教授。

「シンギュラリティ時代の世界徘徊老人の生き方」ー頭脳都市・渋谷を構想する」



東京の前頭葉・渋谷。都市は頭脳だ。最高の頭脳は世界首都。ホストヒューマン。浅野孝雄『心の発見』。五蘊。先端脳科学と仏教思想の心。脳はデジタルとアナログの統合システム。七蘊。思考（哲学カフェ）。瞑想（世界都市禅センター）。考作（考房）。知の杜（明治神宮）。空間（グッゲンハイム美術館。東洋美術ミュージアム）。発情。身体（逍遙）。オードリー別府パーン。徘徊する俳諧師。、、、、

終了後、懇親会。多摩大”志塾会”は学部 OB 会と大学院 OB 会の合同会。



2018 年 2 月 23 日 副学長日誌

10 時: 多摩キャンパスの T - Studio で「名言との対話」の収録。今回の 2 本(アスリート編)で 30 本の大台に乗る。

- 29 回: 金子繁治(ボクシング)。出羽錦。大鵬。柏戸。(以上、大相撲)
- 30 回: 力道山(プロレス)。山内一弘。小林繁。(以上、プロ野球)

12 時: 秘書と打ち合わせ

15 時半 - 17 時半: 九段サテライトで大学経営・運営合同会議。

- 自己点検評価委員会
- 審議: 2018 年度予算。2018 年度事業計画。教員人事。危機管理規則改定。
- 報告: 学園理事会報告。戦略会議報告(国際)。各セクション報告。学長報告「ジェ推進協議会。答案(不安・おびえ・平準化とパターン化。コピペ・スマホ・モールのトライアングル)

終了後、理事長と懇談(高大接続アクティブラーニング)

2018 年 2 月 24 日 共同研究発表会——共同と研究と

- 教授会: 卒業判定と進級判定
- 研究発表会(FRC): 共同研究の事前説明会。司会は下井研究委員長。11 人の発表
 - ・ 小西先生: 高大接続アクティブラーニング研究会。AL 評価技法の開発。AL 評価の多摩大へ。高校のラーニングポートフォリオ、入試での多面的評価、大学でのコンピテテンシー(主体性・多様性・協同性)の評価手法の開発。
 - ・ 野坂先生: アクティブシニア。都市農業者へのヒヤリング。マッチングプラットフォーム、シェアリング農業のビジネスモデルへ。
 - ・ 大森先生: ビジネスモデル検定。e-learning で補完。Moodle。小テストで自動採点。
 - ・ 水盛先生: 中国における企業ガバナンス。日本人経営者インタビュー。中国崩壊論の崩壊。国営企業、国有企業(党)、民間企業、外資系に導入。
 - ・ 久保田先生: 多摩地区のアクティブシニアの実態調査。就労健全者 20%、非就労健全者 33%、介護予備軍 29%、介護 19%。多摩の実態。非就労健全者を就労健全者へ。IT リテラシーの活用。
 - ・ 彩藤先生: 見守り AR ペット。AI、AI スピーカー。
 - ・ 良峯先生: 脳波を活用した高齢者 QOL 支援と評価。マインドフルネス、セラピートレーニング、脳波トレーニング。
 - ・ 丹下先生: 中小企業におけるインバウンドビジネスのマネジメントに関する実証研究。企業に焦点を当てた研究は少ない。インバウンド対応を目指す中小企業への示唆。グローバルビジネス。

- ・ 今泉先生：鳥の目・蟻の目。厚労省裁量労働、ナイチンゲール。動的可視化システム。ドローン映像。ツリーで表現。
- ・ 出原先生：歩行画像解析による高齢者運動能力の推定（歩行年齢 Kinect）。スマホ利用の継続観測によるAL学修効果測定（ALの定量効果測定）。スポーツ指導のためにお道がアーカイブの実装（フットサル、一連プレーというシーン、範囲のAI学習）
- ・ 飯田先生：中国北京郊外の起業家と学生の交流。、、、。



興味深い共同研究が多かった。「共同」の趣旨は十分。「研究」については二大潮流が確認できたのは収穫。

- ・ アクティブラーニングに関するものは、小西・大森・良峯・出原・飯田。5件
- ・ ジェロントロジーに関するものは、野坂・久保田・良峯・彩藤・出原。5件。
- ・ 他は、企業経営：水盛・丹下。AI：出原・彩藤

終了後、良峯先生、志賀先生と懇談し、私は良峯先生の「脳波」に参加することにした。図解学習による前頭前野の測定に関心あり。脳波 NewroSky のヘッドセットを早速購入し実験始めることにした。



● ラウンジ

- ・ 飯田先生:北京
- ・ 水盛先生:中国国営企業を買収し社長をつとめた友人を紹介することにした

2018 年 2 月 25 日 大学院「授業の様子」コーナーに秋学期の「立志人物論」が掲載
大学院「授業の様子」コーナーに秋学期の「立志人物論」が掲載された

2018 年 2 月 26 日 大学院「授業の様子」コーナーに秋学期の「立志人物論」が掲載
された

多摩大 T-Studio「名言との対話」第 28 回。

取り上げた人物「河原淳。小西和人。松本重治。坂田道太。大島渚」

河原淳「ぼくの人生はおおかたのぞきに費やされてきました」

小西和人「釣りに国境なし」

松本重治「日米関係は日中関係である」

淡路恵子「体から心まで、とにかく自分のことは自分で管理していないと、女優はつとまらないわよね」

坂田道太「むしろ素人の方がよい」

大島渚「情報もいいでしょう。でも、生の体験は強い」

2018 年 2 月 28 日 副学長日誌

ラウンジ

- 小林経営情報学科長:出口から考える。
- 杉本係長:来年度の戦略会議の日程
- 高野課長:大学院の入試状況
- 志賀先生・趙先生・飯田先生:脳波
- 北嶋さん(総務):『日航 123 便墜落の新事実』

研究室

- 書類整理
- 書棚整理

2018 年 3 月 1 日 副学長日誌

ラウンジ

- 増田先生
- 柏原先生

研究室

- 3月に入って、本と書類の大整理を始めた。

2018年3月2日 ラウンジ(相談)と研究室(準備)

ラウンジにて

- 金アクティブラーニングセンター長(来年度は入試委員長を兼務):2時間ほど意見交換。高大接続AL、来年度入試、、、。
- 志賀入試委員長:今年度入試の最終着地点
- 小林学長室長(来年度は経営情報学科長を兼務):来年度からの経営情報学科の運営

研究室にて

- 今週末から来週にかけてのイベントの準備
- 書棚の整理

17時半から、名誉教授の樋口先生とイタリアンの「アペーテ」で懇親。入試。出版の相談。家庭の話題、、、。



2018年3月4日 経営情報学部FD(教員)・SD(職員)高校大学接続合同研究合宿。 テーマはアクティブラーニング

経営情報学部FD(教員)・SD(職員)高校大接続合同研究合宿。

テーマは「高大接続アクティブラーニング」。

大学の教員・職員 50 名。二つの附属高校教職員 8 名。フットサルの福住監督ら、計 60 名が、湘南国際村に 13 時に参集。昨年に続き、2 回目。

冒頭に私の挨拶。

- 躍進の 10 年、凋落の 10 年、再建の 10 年、そして開学 30 周年を迎えて、飛躍の 10 年に！
- 再建の 10 年の歴史を振り返って説明
- 2017 年でサバイバルステージ(再建)は終了。2018 年からは外圧のもとで「多摩大ブランド構築」(再興)の時代に入る。教育は「アクティブラーニングの多摩大」(高大接続ALの先進大学)。研究は「ジェロントロジーの多摩大」(大都市郊外型高齢化に立ち向かう大学)。
- 安堵感あ。数字の壁。数字に対する執念が薄れている。向上し続ける決意！。最大の危険は、目標が高すぎることではない。目標が低すぎて達成してしまうことだ。
- 教員一人あたりの学生数の問題。学生の人数の減少と教員の人数の増加というテーマ。
- 先日のFRC(教員研究会)では二大潮流が確認できた。アクティブラーニングとジェロントロジー。社会は実学。多摩大は問題解決学。中高はアクティブラーニング・探究。これを繋ぐのが高大接続で入試改革。文科省の研究ブランディング事業で 5 年間行う「ジェロントロジー」。
- いい加減だとグチがでる、中途半端だと言い訳が出る、真剣にやれば知恵が出る！



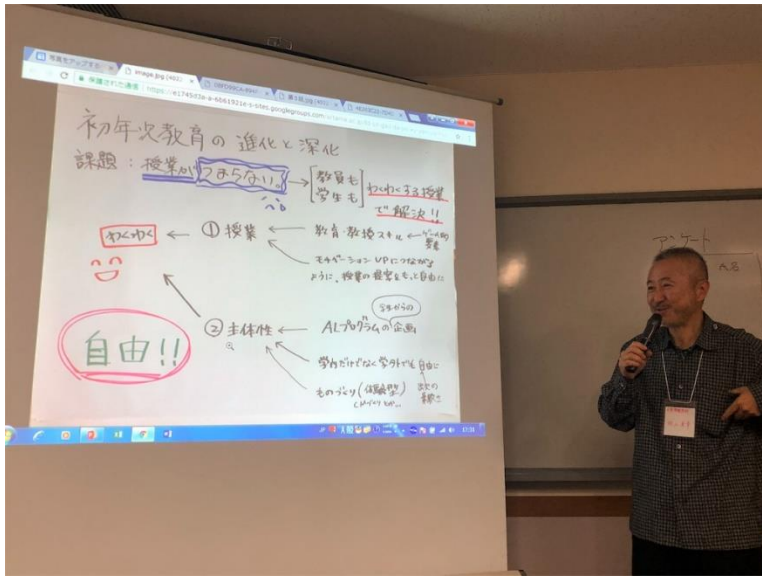














ヒント

- オフィスアワーを使って、学修支援サービスを担当する仕組み
- 春秋にリーダースクール(インターゼミのような)
- 初年次教育にゲーム感覚を。
- AL発表祭で全員の発表。スポーツフェスティバル。
- 成長モデルのスキルセットの提示、
- 360 入学・320 卒業のモデルによる構造改革。ストレート卒業率 90%に。
- 目黒高校のiPadを使った課題を参考に。
- 1 人1サークル。学生会との連携。教員・職員の顧問、副顧問。
- 学内アルバイト。

懇親パーティ。



2018 年 3 月 5 日 副学長日誌

湘南国際村での研修の往復は、往路は自宅から逗子の湘南国際村まで小林先生、復路は三崎から自宅まで小西先生の車に便乗。往復とも 1 時間半ほど車内でじっくりと意見交換ができ、また改善のアイデアもたくさん出てよかった。研修の合間には、中村有一先生、中澤先生とは読書の話で盛り上がった。附属高校の先生たちとも交流できた。

このブログを読んでいただいている飯田先生から、「名言との対話」は、だんだん弔辞のようになってきたとの感想をもらった。確かに、今年の「平成命日編」は、私自身との関係も書くようにしているから、本質をあててもらった感がある。

2018 年 3 月 6 日 副学長日誌

先日の研修合宿で、隣になった彩藤先生が描いてくれた私の猫の似顔絵。

キャラクターにしようか、、、。



2018 年 3 月 7 日 学部長・学科長連絡ミーティング

- 9 時：研究室で秘書と打ち合わせ。
- 10 時 40 分：学部長・学科長連絡ミーティング。杉田学部長、趙事業構想学科長、小林経営情報学科長、これに私が加わって、課題の確認、連絡、情報交換を行うインフォーマルなミーティング。初回はFD／SD研修の総括、経営情報学科の科目体系などが話題になった。この四者は委員会に所属していないので裏番組としてコミュニケーションをとることにしたもの。
- 12 時：図解ウェブの打ち合わせ
- 13 時：書棚の整理。出版企画の検討。

2018 年 3 月 8 日 新宿

客員の渡辺先生と新宿の京王プラザホテルで昼食を摂りながら情報交換。東北、魚、アンテナ、16 年、2000 回、つなぐ、長者、香港、食と音楽、サメ、ロス、舞浜クラブ、レシピロボット、開発、センター、ボランティア、京王、2 日、サンケイ、、、、。

学長から電話。「多摩大出版会」

2018 年 3 月 9 日 副学長日誌

- 春休みの間に、研究室で本棚の整理を実行中だ。ようやく一列 5 段の棚から不要な本を抜き出して段ボール箱に収納。6 箱になった。
- 同僚の先生たちは海外出張の人も多い。そうでない人は研究室の整理に追われているようだ。
- 高野課長と雑談

2018 年 3 月 10 日 大学院学位授与式

品川キャンパスで大学院学位授与式。

始まる前

- 学長と懇談：知研。野田先生。出版会、、、
- 理事長と懇談：FD・SD合宿の報告

学位授与式

- 寺島学長：知の再武装。知の拠点。異次元の高齢化。100 歳人生に耐えられますか。60 歳から 40 年。20 歳から 80 年。コンピュータサイエンス (IT 革命・ビッグデータ・AI)。ライフサイエンス (DNA)。人間とは何か。ジェロントロジー (高齢化社会工学)。心構えと制度設計。終わらないたび。金融ジェロントロジー。アセットは師友。人的ネットワーク。一つずつ駒を進めていく。次の一手。
- 田村理事長：まなび続ける。卒業後も母校の大学院の活用を。学園歌、、、
- 徳岡研究科長：イノベーション。SDGs。73 億人野内 40 億人が貧困。ローコスト、デジタルによるイノベーションで解決。マーケットは 2006 兆円。人生 100 年・現役 80 歳。
- 坂西同窓会長：自分の 39 期は 4 割が転身。同窓会ネットワーク。学部 OB 会と大学院同窓会の合同で多摩大「志塾会」。
- 小泉在学生代表：多摩大は実践ファースト。知ることと使えること。
- 小川終了生代表：密度の濃い 2 年。人生が 2 倍。学んだことは「自己限定しないこと」。志と使命感が支え。一隅を照らす存在に。



修了生の全体像

- 修了者 25 名：日本人 28 歳から 63 歳。30 代、40 代中心。留学生 48%（中国 7／台湾 2・モンゴル 2・ベトナム 1）。企業派遣 4 名（全員が優秀論文を獲得）。
- ルール形成プログラム（1 年間）7 名。38 歳から 55 歳。
- ヒント：学部同窓会・大学院同窓会の国際化というテーマ。中国の各都市、台湾、モンゴル、、、などで多摩大「志塾会」の支部をつくろう。



懇親会



2018 年 3 月 13 日 「改善と改良」。「進歩と進化」。

- 研究室：事務局との定例ミーティング：杉田学部長。宮地局長、川手課長、水嶋課長。「来年の FD/SD 合宿の来年に向けて」「卒業式のライブビューイング」「アクティブラーニングの進め方」、、、、。「改善と改良」。
- ラウンジ：学長室の山本さん：来年度の T-Studio での録画について意見交換。「進歩と進化」。

2018 年 3 月 14 日 脳波測定。新メンバーの学部運営委員会。

- 9 時半：人事委員会：非常勤。学科所属。
- 10 時 40 分から 13 時まで：学部運営委員会の第 0 回。新委員長ら。
 - ・ 金先生：アクティブラーニング。新担当者の仕事について。
 - ・ 趙先生：離学対策の意見交換。
 - ・ 良峯先生：脳波に関する共同研究の件の企業との関係を相談。先日購入した脳波測定器で試し中。



2018 年 3 月 15 日 T-Studio「名言との対話」第 29 回をリリース。

多摩大T-Studioの「名言との対話」の 29 回目がリリース。

平成命日編。スポーツマンシリーズの第一弾。

大相撲：出羽の海。大鵬。柏戸。ボクシング：金子繁治。

12 時：新宿の東宝ビルにあるお好み焼き「京ちゃばな」で橘川先生と情報交換。

ゲーム。e-learning。産休。女子大。自治体。スクーリング。八代。セゾン美。本物。検定。美術館・博物館。地域。原子力。知のカルテ。記名情報。人が保証。学び。学習。100 問。コンテンツ。無限。1000 人。エキスパート。ユーチューバー、、、。

2018 年 3 月 16 日 目黒：多摩大目黒高校卒業式で来賓挨拶。

9 時半から多摩大学目黒高校第 79 回卒業式に来賓として出席。



349 名の高校卒業者。1 クラス 38－39 名で 9 クラス。厳肅な気持ちになる。

「教育」という仕事の尊さを思う。やはり教育は聖職である。自分の高校卒業時と、その後の有為転変の人生航路を思い出す。高校卒業生の顔を眺めながら、前途に幸あれと願う。どんな人生が待っているのだろう。

中学・高校と 6 年間の皆勤賞が 8 人いたのに驚く。理事長賞をはじめ様々な賞で多くの生徒が表彰される。歌は、「君が代」。「揚げば尊し」。「蛍の光」。そして「学園歌」。

私の来賓代表挨拶。10 分強。

- 「外的世界の拡大と内的世界の深化」「世界はアジアダイナミズム」「時代は、人生 100 年・80 歳現役」。「新しい人生観。キャリア 3 期。人生 6 期」。
- 以下、贈る言葉。「エルバート・ハバード」「鈴木大拙」「中野孝次」「安岡正篤」「石坂洋次郎」「頭山満」「ジャン・パウル」「臼井吉見」「手塚治虫」「トルストイ」「ドラッカー」。



2018 年 3 月 19 日 予定を鳥瞰し整心へ。整頓から整理へ。ワクワクする未来へ

研究室

- 秘書とスケジュール打ち合わせ。毎週月曜日に予定を立て直し、心を整える。
- 書棚整理: 捨てる本の整頓が終わったら、分野別の整理も必要だ。
- 多摩大総研の松本先生: 多摩大出版会と今後の総研の方向。未来を見据えて

ラウンジ

- 杉田学部長・大森学生委員長: 表彰
- 杉田学部長: フットサル部

2018 年 3 月 21 日 彼岸の日の雪の卒業式

- 卒業式。彼岸に日に雪は珍しい。記憶に残るだろう。

壇上者紹介。左から、学長、理事長、私、学部長(松が邪魔)、後援会長、同窓会役員



- ・ 学長: アジアダイナミズム: 2000 年、日本はアジア断トツ 1 位。中国は 4 分の 1。その他アジア(印・東南アジア)は日本の 4 分の 1。2010 年中国が日本を抜く。2018 年、中国は日本の 3 倍に。日本を除くアジアは 4 倍。2030 年以降にはリニアで 7000 万人の人口ゾーン。中国は日本の 6 倍。日本を除くアジアは 10 倍。2800 万人のインバウンドは 4000 万から 6000 万へ。ジェロントロジー: 現在、65 歳以上 3500 万人、80 歳以上 1000 万人にシフト、100 歳以上 7 万人。ライフプランが必要。経済的自立と社会的貢献。何のプロになるのか。学び続けよう。
- ・ 理事長: 専門・友人・先生。夢と志。本気。高木美保。人に勝つ人は力あり、自分に勝つ人は強し。夢なき人に構想無し、構想なき人に計画なし、計画なき人に実行なし、実行なき人に成功なし、ゆえに夢なき人に成功なし(吉田松陰)。

- ・ 杉田学部長:時代と社会を知る。情報を得たら判断し行動せよ。職業を通じて成功をはかれ。現代の志塾を説明できるか。日本のナイチンゲール・井深八重の人生。
- ・ 水越さん(同窓会):挑戦。失敗を成長に。友人。(JR東日本で私が講師をしていた時の受講生)。
- ・ 島本(総代):松本ゼミ一期生。大学祭・奥多摩・栃木のフィールドワーク。
- ・ 岡(総代):フットサル部福住監督「オフザピッチ日本一」「自らの力で自らの価値を高める」「当たり前なのに感謝」。チームマネジメント。杉田ゼミ。

- 11 時半:理事長と昼食を摂りながら報告と相談。人事方針。
- 12 時 20 分:学長に報告と相談。出版会。食のジェロントロジー。人事方針。
- 12 時 40 分:学部長に理事長・学長との相談結果を説明。



2018 年 3 月 22 日 品川(大学院):入試最終予測、運営委員会、研究発表会。

品川の大学院

- 15 時半:滝川課長:大学院入試の最終予測。
- 15 時 45 分:志賀入試委員長:学部入試の最終予測。
- 16 時:アジア子ども若者研究会のメンバー(私は顧問)を事務局に紹介。5 月 16 日にキックオフ。
- 16 時半:橘川さんと懇談:児玉博。未来学会。一本ゲタ。公文塾。
- 17 時半:大学院運営委員会:自己点検進行確認。修了生アンケート報告(カリキュラム:院生サービスの問題。ハラスメント担当。講義資料アップ、)。VOIC褒賞。オリエンテーション。論文基礎講座。入試広報委員会報告(最終予測、女子院生)。入学式。

- 19 時: 大学院研究会: テーマは「大都市郊外型高齢化に立ち向かう実践的研究」の共同研究。今泉教務委員長と小林学長室長から説明: 以下、アイデア。多摩大出版会から「ジェロントロジー・ブックス・シリーズ」(資金援助)。過去の修士論文の出版・共著。院生・客員教授への参加募集・説明会。大学院の担当は徳岡・今泉。
- 20 時: 小林先生に「食のジェロントロジー」の説明

2018 年 3 月 23 日 多摩大学教職員懇親会(京王プラザホテル)

15 時半: 大学運営会議: 多摩大出版会も議題に。

新宿の京王プラザホテルで、多摩大学教職員懇親会。

経営情報学部、グローバルスタディーズ学部、大学院経営情報学研究科の教員と職員。

学長あいさつ。理事長挨拶。永年勤続表彰: 30 年 2 人。10 年 9 人。退職者: 4 人(教員 3 人・職員 1 人)。新規採用者: 5 人(教員 3 人)。



私も 10 年表彰。



私の中締め挨拶。

「サバイバルステージは終了」「量から質への転換の初年度」「躍進の10年、衰退の10年、再建の10年。そして飛躍の10年へ」「教育はアクティブラーニング・研究はジェロントロジーで大学ブランディング確立へ」。

終了後は、2階の「樹林」で、杉田学部長、小林経営情報学科長、趙事業構想学科長と懇親。臨時学科連絡会(?)となった。

2018年3月24日 品川での大学院教員勉強会に出席

大学院教員研修会:対象は主として客員教授。

- 徳岡研究科長

実務家教員 100%・60名体制・100講座。ポラリス・デロイト・IBM・編集工学研究所。テーマ専門コース(ルール形成・奉行・ベンチャーCFO)。研究所フェロー。ソーシャルイノベーションセンター・ライフシフトキャリアセンター・ライフシフト教養セミナー(ライフシフト連塾)・品川塾。多摩大出版会・TGSテキストブックシリーズ、、、



- IBM鈴木先生

ビジネスイノベーション推進能力。アルファ基・グーグルスピーカー・ロボット・マネジメントエキスパート(医者・弁護士。これがポイント。ベテランの継承、海外の仕事)。プロセスに知がつまっている(議事録など)。チャット、JAL、簡保、カルテ、人材マッチング、確定申告、、、



● ミニパーティ

- ・ 新人: 博報堂からの徳永先生(客員・博士課程。マーケティング)と懇談。
- ・ 他に、コールセンターの専門家(日本の課題が凝縮)。事業承継(税理士・中小企業コンサル)。ベンチャー(日本CFO協会)。医療コミュニケーション(医師。異業種交流)。。。。
- ・ 佐藤先生: 入試
- ・ 滝川課長: 設備、秋入試。。。。

2018年3月27日 T-Studio「名言との対話」第30回をリリース: スポーツ編「力道山」「山内一弘」「小林繁」

平成命日編: スポーツ。

- プロレス: 力道山
- 野球: 山内一弘。小林繁

久恒啓一の名言との対話第30回 <https://www.tama.ac.jp/t-studio/hisatune/index.html>

2018年3月28日 学内最高の位置にある「物見の塔」で桜観照の会。聚楽第、天守閣での酒盛り。

本日の最後は、学内でもっとも高い場所にある「物見の塔」で飯田先生主催のちよい飲み会。半数の先生たちが入れ替わり立ち替わり集合して楽しく過ごした。

窓からは、横浜、立川、新宿、聖蹟桜ヶ丘などが遠望できる。また三方の満開の桜に囲まれて、天守閣に居るように実にいい気分だ。聚楽第の主であった豊臣秀吉の気持ちがわかる。新入生には愛校精神を養うために、学内ツアーでここを見せようという話になった。飯田先生、またやりましょう！





10 時:学部運営委員会

10 時 40 分:教授会

12 時 20 分:人事委員会

12 時 45 分:金先生:アクティブラーニング研究会の進め方。教学マネジメント会議。

13 時:ビジネススクエア多摩企画運営委員会。多摩センターに資源が集積しつつある。

- ・ 近況報告:多摩大・多摩市・多摩信金
- ・ 平成 29 年度事業計画。平成 30 年度事業計画。意見交換

15 時:松本先生:多摩大出版会の企画編集委員会の開催。

15 時:高野課長:多摩大出版会の運営の件の調整。



2018 年 3 月 29 日 2018 年度に向けて、学内調整の日
ラウンジ

- 杉田学部長:情報交換
- 宮地事務局長:職員の職務についての調整。多摩大出版会の構成について意見交換(企画委員会と編集員委員会)
- 金アクティブラーニングセンター長:業務分担についての確認。教学マネジメント会議のメンバー確認。
- 高野課長:多摩大出版会の進め方の確認。
- 小林学長室長:明日のブランディング会議。
- 水谷IR室長:学生満足度調査の分析結果を聞く。SGSと経営情報の比較など。来週は 2018 年度入学生の分析がでる。
- 杉本係長:4 月の大学戦略会議(入試)の依頼事項の打ち合わせ

2018 年 3 月 30 日 第 2 回研究ブランディングタスクフォース戦略会議

- 研究委員会、総研、大学院などから報告。
- 社会科学研究者として、大都市郊外型高齢化に立ち向かう覚悟
- 現代日本の社会構造と社会心理の変化――静かに進行する内向と屈折(学長メモから)
- 21 世紀日本の貧困化と中間層の没落――「不安」の心理の蔓延
- 勤労者世帯可処分所得の圧縮(1997 年のピークから年間 80 万円減少(17 年))
- 消費の低迷(全国全世帯の家計消費は 21 世紀の 17 年間で年間 40 万円減少)
- 貧困なる高齢化社会の予感(40-50 代世代は過去 20 年間右肩下がり時代。蓄積、資産、貯蓄のない高齢者となる可能性大。二極分化。4 割が下流老人(年収 200 万円以下、金融資産なし)
- 鏡としての若者の潜在心理における「不安」(不満花井が将来が不安。仕事に情熱:米国 32%、日本 8%。非正規雇用 35.2%、その 74%が 200 万以下)。
- 生活保護 213 万人(2017 年に水準引き下げ。格差と貧困)
- 国家主義、国権主義への誘惑
- 帰結としての内向＝縮む日本と心理的焦燥としての右傾化
- 中国の台頭とアジアダイナミズムへの幻覚(優越感の喪失と自失)
- 2000 年:中国のGDPは日本の 4 分の一、2018 年日本の 2 倍
- 押しかける中国人(大中華圏から 1400 万人への屈折した心理。不快感と爆買期待
- 日本を自賛する空気の蔓延(「すごいぞに日本」心理)
- 異次元高齢化社会の到来(1.26 億人。100 歳以上 7 万人。80 歳以上 1000 万人超。65 歳以上 3500 万人超。シルバーデモクラシー(老人の老人による老人のための政治)。2050 年:1 億人。100 歳以上 53 万人。80 歳以上 1607 万人、65 歳以上 3841 万人。
- 21 世紀に際だって変化したもの――フェイクと過剰同調
- ケータイの普及とネットワーク情報革命の進行(情報環境への依存と考える時間の喪失)

- アナログからデジタルへ(生身の人間観の希薄化)
- スマホ人生(検索で生きる)
- コンビニの浸透(4.5 万店)とショッピングモール(3500)。コンパクトな幸福空間、幸福家族の原風景)
- AKB、ジャニーズ、ご当地アイドルに熱狂する時代(至近距離のアイドル。創造よりも平準)
- ディズニーランドとUSJの寡占(幸福に見える疑似空間、疑似体験への陶醉。かわいいという浅薄でファジーな価値観。現実社会からの逃避)。皆と同じ行動)
- 迫り来るAI時代への緊張(シンギュラリティは 2030 年代か。仕事の 6 割がAIに。人間は何をするのか、創造性。働き方改革のパラドックス
- 物事の本質を深く構造的に思索する必要性
- 知の再武装(人生 100 年時代。・生命科学とAI。時代認識。社会工学(NPO)。思想・哲学・宗教)
- ジェロントロジー(高齢化社会工学)

新宿で池淵さん(日本総研客員主任研究員)と多摩大出版会の打ち合わせ。